

西東京市教育計画策定のためのアンケート調査 報告書

平成 25 年 3 月
西東京市教育委員会

西東京市教育計画策定のためのアンケート調査 報告書

<目次>

第1章 調査概要	1
第2章 調査結果概要	3
第3章 小学生調査の結果	
1 基本的な属性	
(1) 学年	23
(2) 性別	23
(3) 通っている小学校	23
(4) 同居家族	24
2 学校での生活の状況	
(1) 学校の楽しさ	25
(2) 学校で楽しいところ	27
(3) 学校で困っていること	28
(4) 登下校時の危険さ	29
(5) 学校や先生に望むこと	30
(6) 個別に教えてほしいと思った経験	31
3 ふだんの生活の状況	
(1) 習い事や塾の状況	32
(2) 規則的な生活習慣	33
(3) 学校以外の過ごし方	34
(4) 友だちとの外出先	35
(5) 自宅での過ごし方	36
(6) 家の中で手伝うこと	37
(7) 家族と話す内容	38
(8) ふだんの生活で気になっていること	39
(9) 携帯電話やパソコン等の所持状況	40
(10) 携帯電話等の使用時間	41
(11) 携帯電話等の使い方についての家族との約束	42
(12) 公民館の認知状況	43
(13) 近所とのつきあいの程度	43
(14) 地域行事等への参加状況	44
(15) 登下校時の避難場所の認知状況	44
4 自分自身の意識や行動	
(1) 相談相手の有無	45
(2) 相談できる相手	46
(3) 自分に自信のもてる場所	47
(4) 決まりや約束に対する意識・行動	48
(5) 尊敬する人や目標にしている人	49
(6) 将来なりたい人物像	49
(7) 将来就きたい仕事の有無	50
(8) 就きたい仕事の内容	50
5 意見・要望等（自由回答）	53
第4章 中学生調査の結果	
1 基本的な属性	
(1) 性別	56
(2) 通っている中学校	56
(3) 同居家族	56
(4) 部活動の状況	57

(5) 部活動の活動時間	58
2 学校での生活の状況	
(1) 学校の楽しさ	59
(2) 学校で楽しいところ	60
(3) 学校で困っていること	61
(4) 登下校時の危険さ	62
(5) 学校や先生に望むこと	63
(6) 個別に教えてほしいと思った経験	64
3 ふだんの生活の状況	
(1) 習い事や塾の状況	65
(2) 規則的な生活習慣	66
(3) 学校以外の過ごし方	67
(4) 友だちとの外出先	68
(5) 自宅での過ごし方	69
(6) 家の中で手伝うこと	70
(7) 家族と話す内容	71
(8) ふだんの生活で気になっていること	72
(9) 携帯電話やパソコンの所持状況	73
(10) 携帯電話等の使用時間	74
(11) 携帯電話等の使い方についての家族との約束	75
(12) 公民館の認知状況	76
(13) 近所とのつきあいの程度	76
(14) 地域行事等への参加状況	77
(15) 登下校時の避難場所の認知状況	77
4 自分自身の意識や行動	
(1) 相談相手の有無	78
(2) 相談できる相手	79
(3) 自分に自信のもてる場所	80
(4) 決まりや約束に対する意識・行動	80
(5) 尊敬する人や目標にしている人	81
(6) 将来になりたい人物像	81
(7) 将来就きたい仕事の有無	82
(8) 就きたい仕事の内容	82
5 意見・要望等（自由回答）	85

第5章 青少年調査の結果

1 基本的な属性	
(1) 性別	87
(2) 年齢	87
(3) 居住地区	87
(4) 同居家族	88
(5) 職業	88
2 学校での生活の状況	89
(1) 学校の楽しさ	89
(2) 学校で楽しいところ	89
3 ふだんの生活の状況	
(1) 自由な時間の過ごし方	90
(2) 悩みや心配事	91
(3) 悩みや心配事の相談相手	92
4 学校以外の学習や活動の状況	
(1) 学習や活動の内容	93
(2) 学習や活動ができない理由、しない理由	94
(3) 市内施設の利用状況	94

(4)	学習や活動で得た知識・技術の活用方法	95
(5)	西東京市の学習環境	95
5	公民館・図書館の利用状況	
(1)	公民館の利用状況	96
(2)	公民館の利用目的・内容	96
(3)	公民館を利用しない理由	96
(4)	「公民館だより」の認知状況	97
(5)	図書館の利用状況	97
(6)	図書館の利用目的内容	98
(7)	図書館を利用しない理由	98
6	地域との関わりの状況	
(1)	近所とのつきあいの程度	99
(2)	地域・社会活動への参加状況	99
(3)	地域・社会活動に参加しない理由	100
(4)	地域・社会活動への参加意向	101
7	家庭の役割について	
(1)	家庭で身につけるべきこと	102
8	小学校・中学校について	
(1)	小学校・中学校で教えることで重要なこと	103
(2)	望ましい小学校・中学校の教師像	104
9	携帯電話・パソコンの利用状況	
(1)	携帯電話やパソコンの所持状況	105
(2)	携帯電話、パソコンの使用時間	105
(3)	インターネット利用の際のトラブル状況	106
10	いじめや不登校問題について	
(1)	いじめや不登校等の防止のために必要な対策	107
11	意見・要望等（自由回答）	108

第6章 一般市民調査の結果

1	基本的な属性	
(1)	性別	110
(2)	年齢	110
(3)	居住地区	110
(4)	同居家族	111
(5)	職業	111
2	学習や活動の状況	
(1)	学習や活動の内容	112
(2)	学習や活動ができない理由、しない理由	114
(3)	市内施設の利用状況	115
(4)	生涯学習に関して知りたい情報	116
(5)	学習や活動で得た知識・技術の活用方法	117
(6)	西東京市の学習環境	118
3	公民館・図書館の利用状況	
(1)	公民館の利用状況	119
(2)	公民館の利用目的・内容	120
(3)	公民館を利用しない理由	120
(4)	「公民館だより」の認知状況	121
(5)	図書館の利用状況	122
(6)	図書館の利用目的・内容	123
(7)	図書館を利用しない理由	123
4	地域との関わりの状況	
(1)	地域への関心の程度	124
(2)	地域の子どもたちと接する機会の有無	125

(3)	地域の子どもたちとの接し方	126
(4)	地域・社会活動への参加意向	127
(5)	学校・家庭・地域の連携・協力を深める上で大切なこと	128
5	家庭の役割について	
(1)	家庭で身につけるべきこと	129
(2)	家庭教育を強化するために必要な支援	130
6	学校教育について	
(1)	公立学校教育で取り組んでほしいこと	131
(2)	学校教育で教えることで重要なこと	132
(3)	望ましい小学校・中学校の教師像	133
(4)	障害のある子どもたちの教育を充実するために必要な取組	133
7	西東京市の子どもたちについて	
(1)	西東京市の子どもたちになってもらいたい将来像	134
(2)	西東京市の子どもたちを取り巻く環境の変化	135
8	いじめや不登校問題について	
(1)	いじめや不登校等の防止のために必要な対策	136
9	意見・要望等（自由回答）	137
第7章 資料編		
1	小学生用調査票	143
2	中学生用調査票	151
3	青少年用調査票	159
4	一般市民用調査票	171

第1章 調査概要

1 調査目的

西東京市教育委員会では、平成21年3月に「西東京市教育計画（計画期間：平成21年度～25年度）」を策定し、現在様々な施策に取り組んでいる。現計画が平成25年度で計画期間が終了することに伴い、次期「西東京市教育計画（平成26年度～30年度）」として、新たに策定するものである。

本調査は、次期「西東京市教育計画」の基礎データとして、西東京市民の学習状況や教育に対する意識を把握することを目的に実施した。

2 調査対象

本調査では、西東京市民の実態を把握するために、ライフステージに合わせて4種類の調査を実施した。

調査種別	調査対象
①小学生調査	市内の全小学校の4年生及び6年生（各学年1クラス）を調査対象とした。
②中学生調査	市内の全中学校の2年生（学校規模に応じて各3～4クラス）を調査対象とした。
③青少年調査	市内に住む15～19歳*の男女400人を住民基本台帳から無作為に抽出し、調査対象とした。 （※平成24年9月1日現在、平成5年4月2日～平成9年4月1日生まれ）
④一般市民調査	市内に住む20歳以上の男女3,000人を住民基本台帳から無作為に抽出し、調査対象とした。

3 調査方法

各調査の調査方法は以下の通りである。

調査種別	調査方法
①小学生調査	小学校を通じて、一斉配布・一斉回収にて実施した。
②中学生調査	中学校を通じて、一斉配布・一斉回収にて実施した。
③青少年調査	郵送配布・郵送回収にて実施し、調査期間中に1回、礼状兼督促状を送付した。
④一般市民調査	郵送配布・郵送回収にて実施し、調査期間中に1回、礼状兼督促状を送付した。

4 調査期間

調査種別	調査実施期間
①小学生調査	平成24年10月5日（金）～10月26日（金）
②中学生調査	平成24年10月5日（金）～10月26日（金）
③青少年調査	平成24年10月5日（金）～10月26日（金）
④一般市民調査	平成24年10月5日（金）～10月26日（金）

5 設計数及び回収数

調査種別	設計数	有効回収数	有効回収率
①小学生調査	-	1,166件	-
②中学生調査	-	1,140件	-
③青少年調査	400件	157件	39.3%
④一般市民調査	3,000件	1,443件	48.1%

6 調査報告書の見方

【数値の見方】

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。%の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（○は1つだけ）と複数回答（○はいくつでも）の選択式で回答する場合と、具体的に数値を回答する場合がある。複数回答設問の場合は、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがある。
- 図表やコメント部分での回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な回答の選択肢は、資料編の調査票を参照のこと。

1 学校の楽しさ、学校で楽しいところ（小学生・中学生・高校生等）

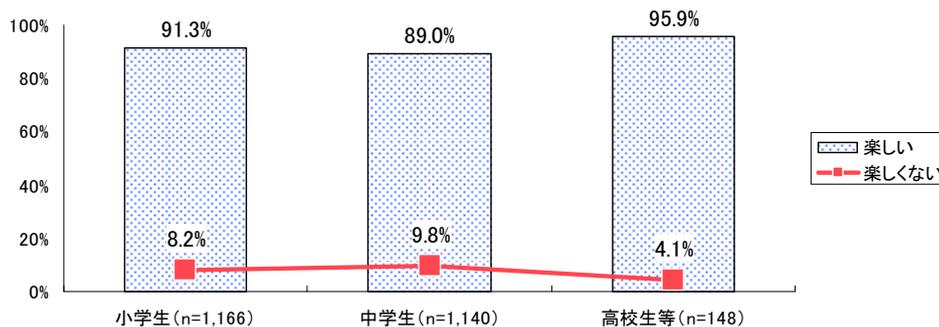
（詳細は下記ページを参照

小学生：P25, 27 中学生：P59, 60 高校生等：P89）

学校を楽しいと思う児童・生徒の割合は、小学生 91.3%、中学生 89.0%、高校生等 95.9%となっており、9割前後で推移している。

学校で楽しいところは、「休み時間」、「友だちがいること」、「遠足や運動会などの行事」、「クラブ活動・部活動等」が上位にあげられている。「休み時間」と回答する割合は学年が上がるにつれて低くなり、「友だちがいること」は学年が上がるにつれて高くなっている。

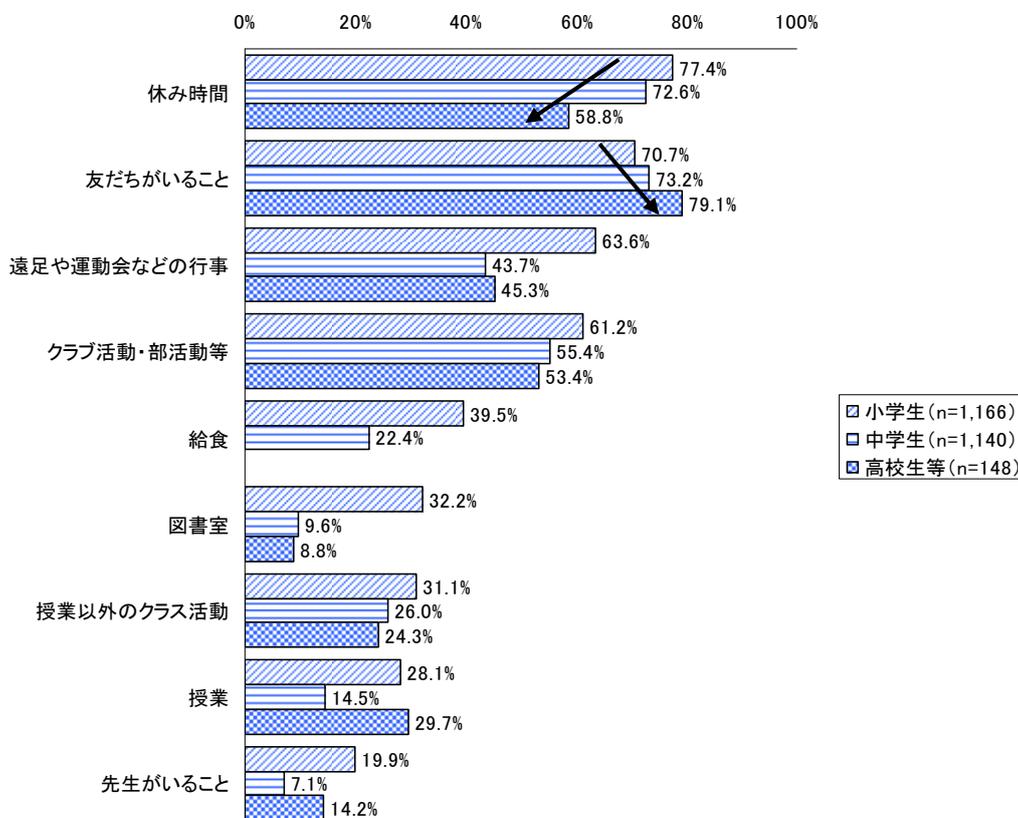
【学校の楽しさ】



※楽しい＝「とても楽しい」＋「まあまあ楽しい」、楽しくない＝「楽しくない」＋「あまり楽しくない」

※高校生等には、「高校生」「短期大学生・高等専門学校生」「専門学校生」「大学生」が含まれる。

【学校で楽しいところ】



※複数回答のため、各回答割合 (%) の合計は 100% とならない

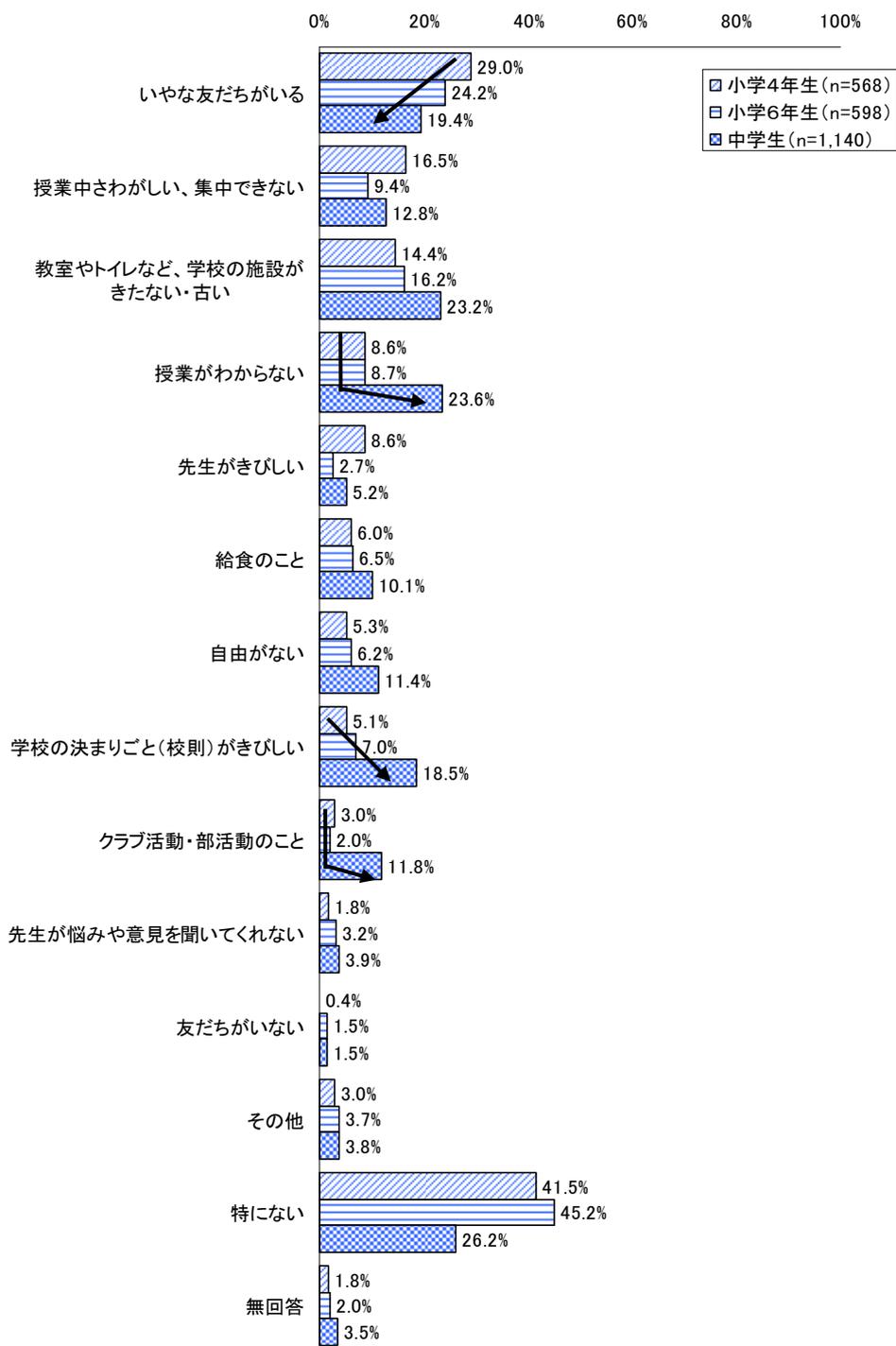
※「給食」は小学生及び中学生調査のみの選択肢である。

2 学校で困っていること（小学生・中学生）

（詳細は P28, 61 参照）

学校で困っていることが「特にない」のは、小学4年生 41.5%、小学6年生 45.2%、中学生 26.2% となっており、小学生の約半数、中学生の約7割は何らか困っていることがあると回答している。

困っていることの上位には、「いやな友だちがいる」、「授業がさわがしい、集中できない」、「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」、「授業がわからない」等があげられている。「いやな友だちがいる」と回答する割合は学年が上がるにつれて低くなり、中学生になると「授業がわからない」、「学校の決まりごと（校則）がきびしい」、「クラブ活動・部活動のこと」の割合が高くなっている。



※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。

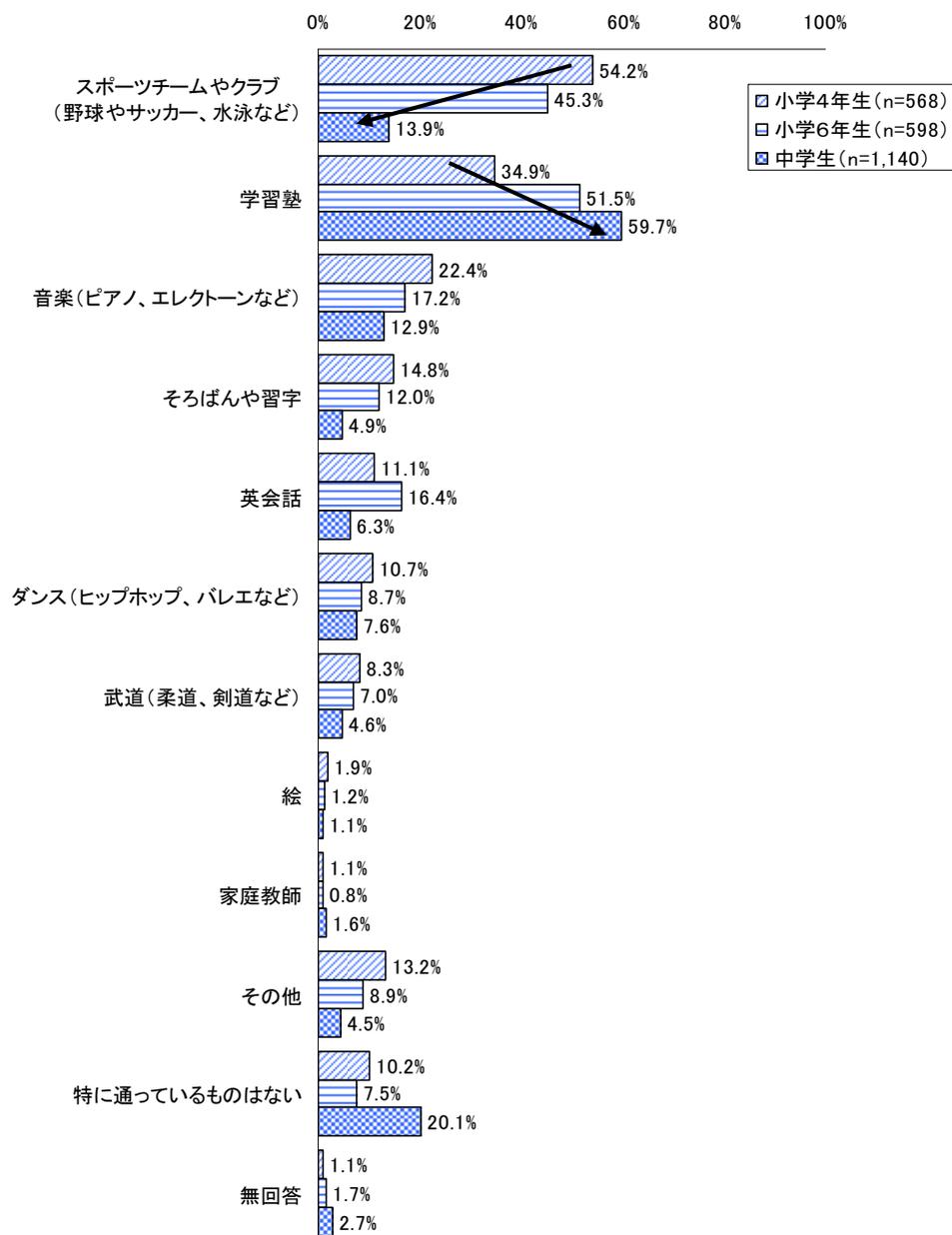
3 通っている塾や習い事（小学生・中学生）

（詳細は P32, 65 参照）

小学生の約9割、中学生の約8割は何らかの習い事に通っている。小学4年生では「スポーツチームやクラブ（野球やサッカー、水泳など）」が最も多いが、学年が上がるにつれて割合は低下し、「学習塾」に通う割合が高くなっていく。中学生では59.7%が「学習塾」に通っていると回答している。

	小学4年生(n=568)	小学6年生(n=598)	中学生(n=1,140)
習い事をしている割合	88.7%	90.8%	77.2%

※「習い事をしている割合」は、「特に通っているものはない」と「無回答」を除いた割合。

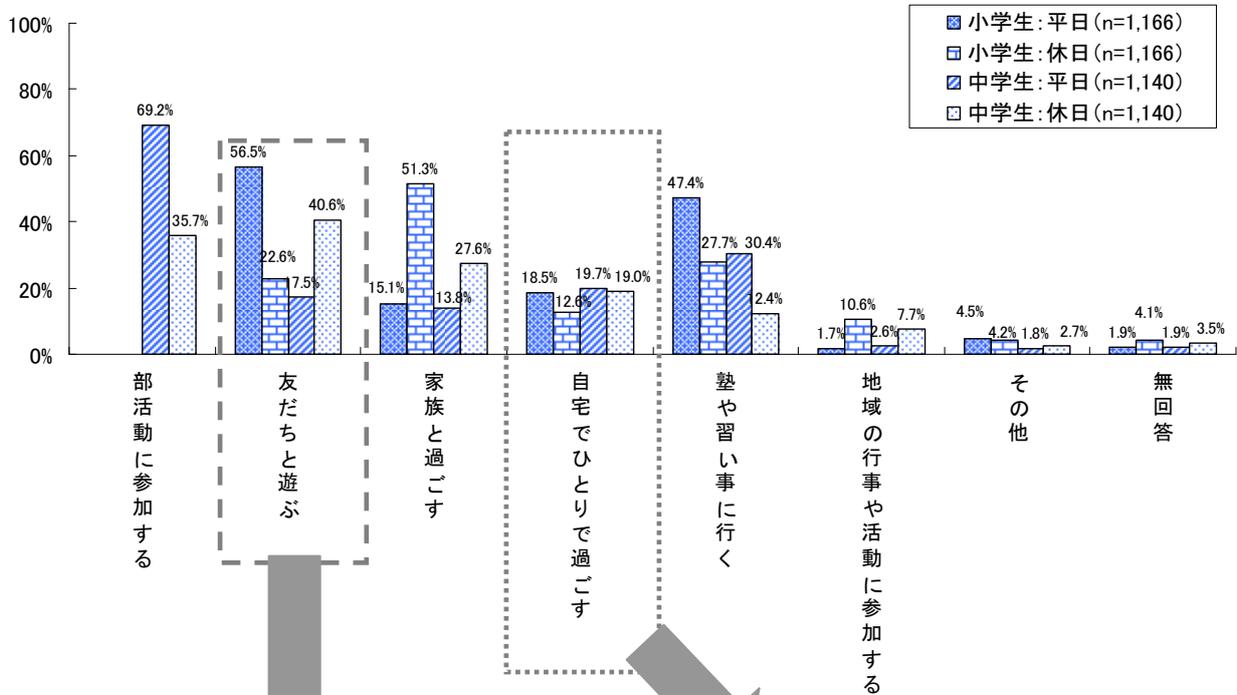


※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。

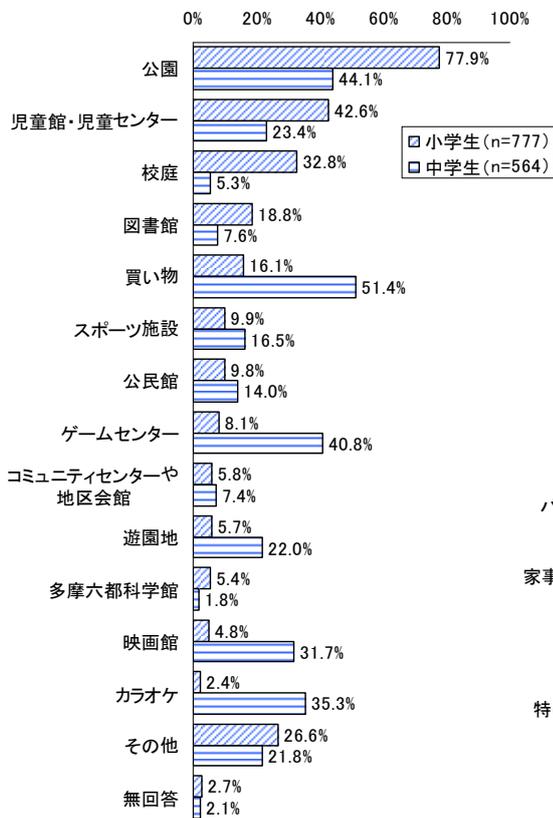
4 学校以外の過ごし方（小学生・中学生）

（詳細は、小学生：P34～36, 中学生：P67～69 参照）

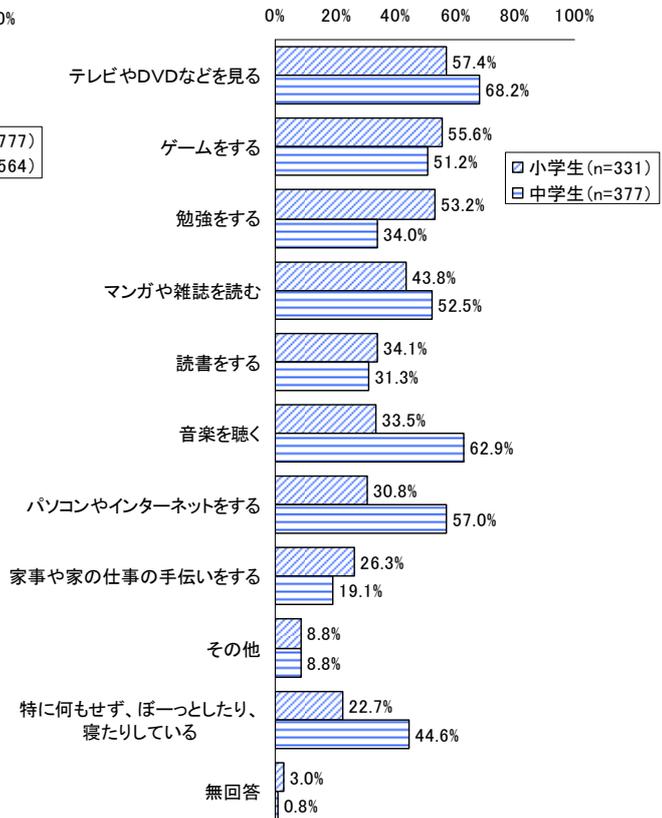
平日の学校以外の過ごし方は、小学生では「友だちと遊ぶ」、「塾や習い事に行く」が多く、中学生では「部活動に参加する」が多い。休日の過ごし方は、小学生では「家族と過ごす」、中学生では「友だちと遊ぶ」、「部活動に参加する」が多い。



友だちと外出するところ



自宅での過ごし方

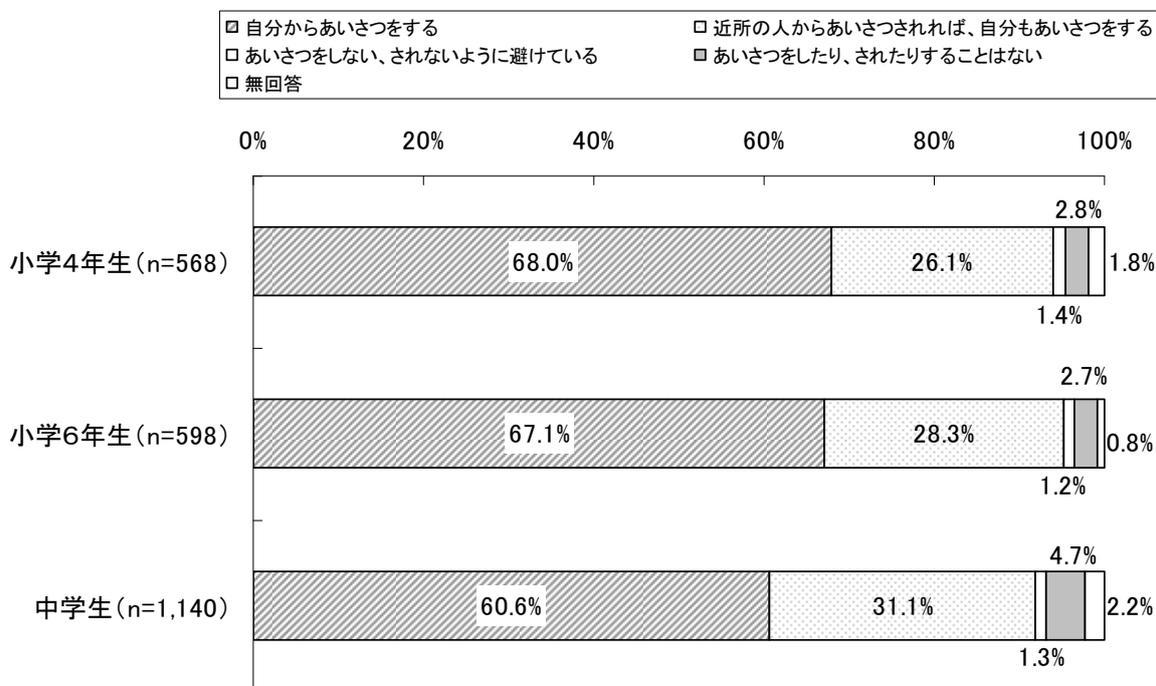


※いずれも複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。

5 近所の人とのあいさつの程度（小学生・中学生）

（詳細は P43, 76 参照）

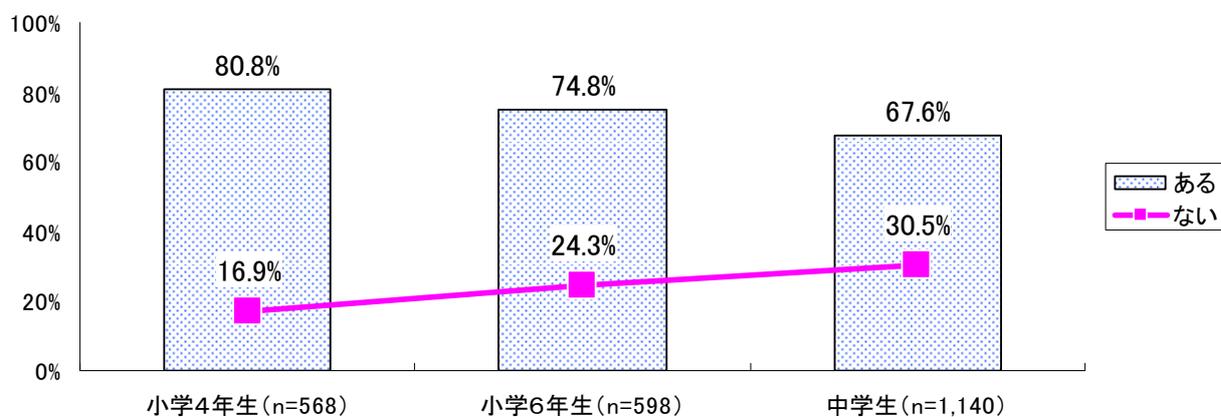
小学生では「自分からあいさつをする」が約7割を占める。一方、中学生では「自分からあいさつをする」のは60.6%と低下しており、「近所の人からあいさつされれば、自分もあいさつをする」割合が31.1%と高くなっている。



6 自分に自信のもてるところ（小学生・中学生）

（詳細は P47, 80 参照）

自分に自信のもてるところが「ある」と回答する割合は、学年が上がるにつれて低下しており、中学生では自分に自信のもてるところが「ない」生徒が3割を占める。

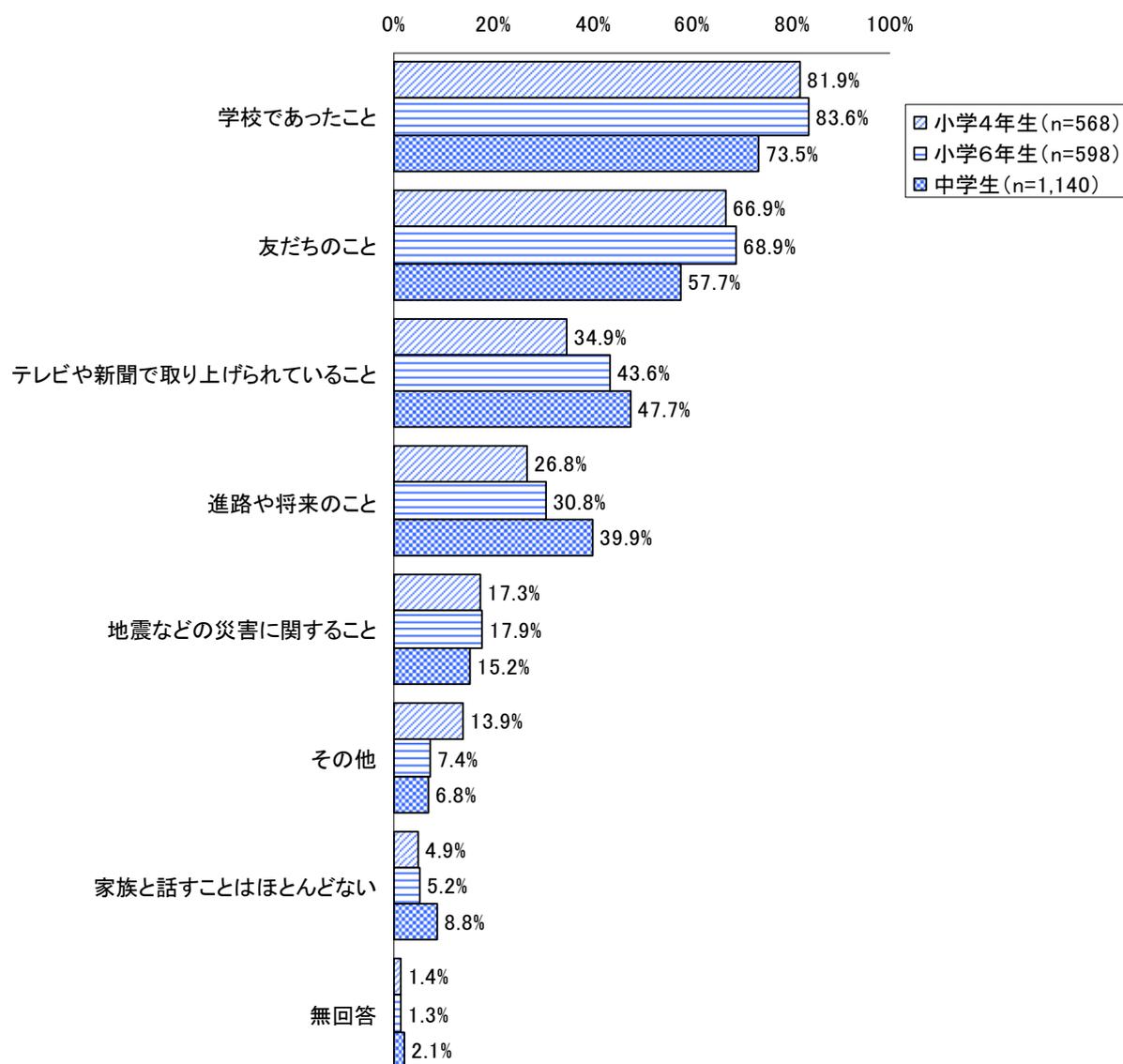


※「ある」＝「あると思う」＋「どちらかといえばあると思う」
 「ない」＝「ないと思う」＋「どちらかと言えないと思う」

7 家族と話す内容（小学生・中学生）

（詳細は P38, 71 参照）

児童・生徒の9割以上は家族と会話をしており、主な内容は「学校であったこと」、「友だちのこと」、「テレビや新聞で取り上げられていること」等である。また、中学生になると「家族と話すことはほとんどない」の割合がやや増加している。

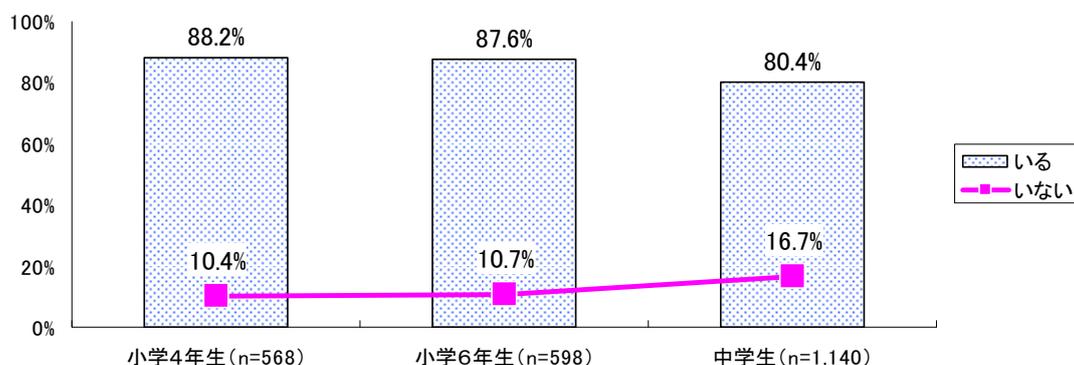


※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とにならない。

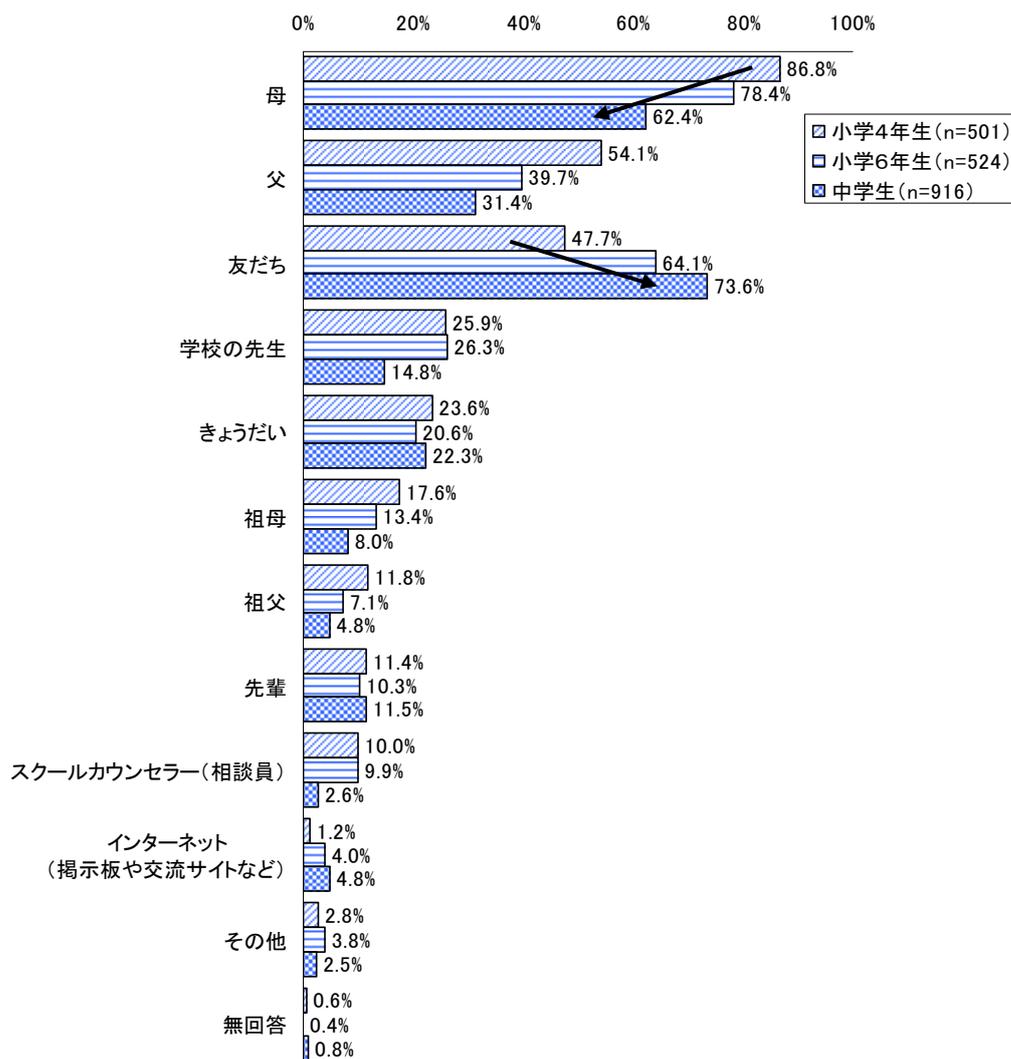
8 相談相手の有無、相談できる相手（小学生・中学生）

（詳細は P45, 46, 78, 79 参照）

小学生の約9割は、いやなことやつらいことがあったときに相談できる人が「いる」と回答している。一方、中学生では相談できる人が「いる」割合は80.4%となっており、小学生よりも低い割合である。相談相手としては「母」をあげる意見が多いが、学年が上がるにつれて「友だち」の割合が高くなっていく。また、「インターネット（掲示板や交流サイト）」に相談するという児童・生徒も、低い割合ではあるが存在する。



相談できる相手



※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とにならない。

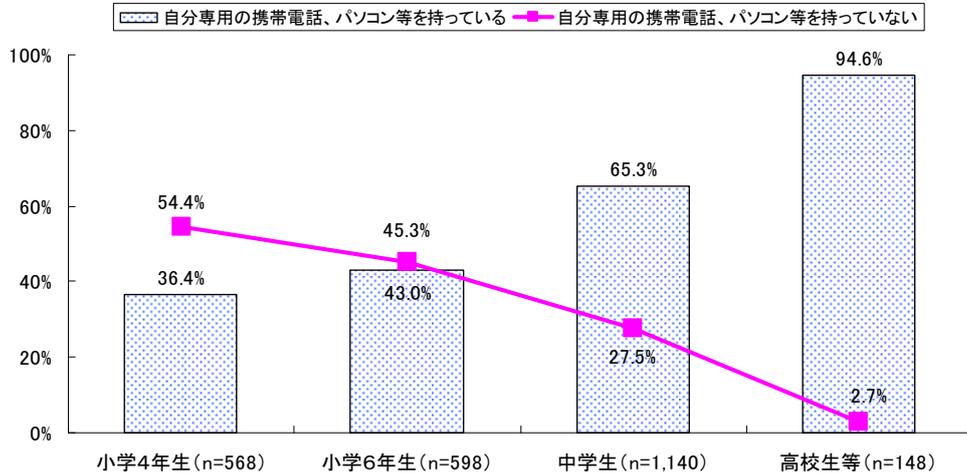
9 携帯電話やパソコンの利用状況（小学生・中学生・高校生等）

（詳細は下記ページを参照

小学生：P40, 41 中学生：P73, 74 高校生等：P105）

自分専用の携帯電話またはパソコン等を持っている割合は、小学生で4割前後、中学生では65.3%、高校生等では94.6%となっている。

1日の使用時間は、平日よりも休日の方が長く、学年が上がるにつれても長くなっていく傾向がある。

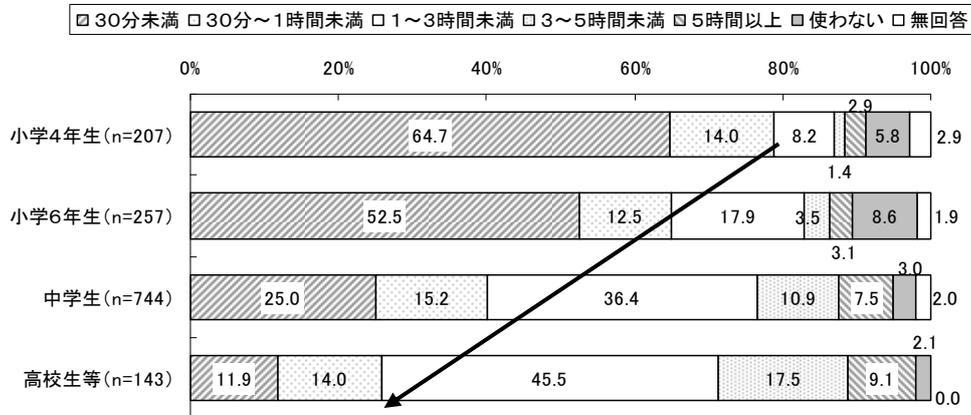


※高校生等には、「高校生」「短期大学生・高等専門学校生」「専門学校生」「大学生」が含まれる。

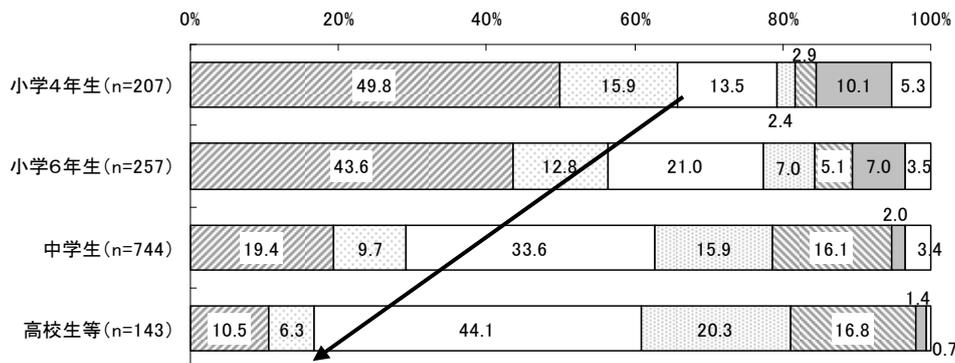
※高校生等では、携帯電話とパソコンのそれぞれについて所持状況を聴取している。

ここでは、自分専用の携帯電話またはパソコンを所持している割合を示す。

平日の使用時間



休日の使用時間



※小中学生の使用時間は、自分専用の携帯電話またはパソコン等を持っている者を対象に集計。

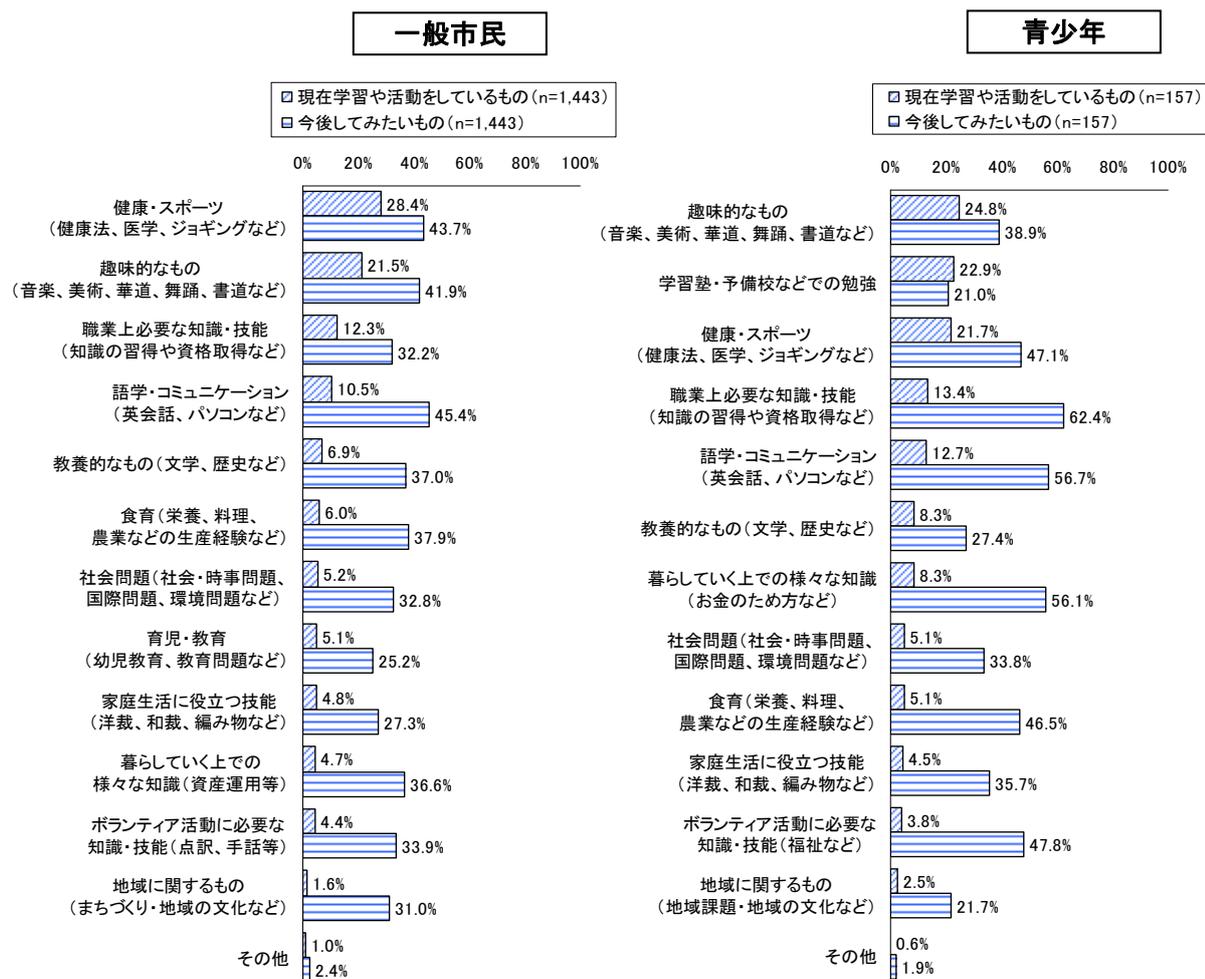
高校生等では、自分専用かどうかを問わず、携帯電話またはパソコン等を持っている者を対象に集計。

10 学習や活動の内容（一般市民・青少年）

（詳細は P93, 112 参照）

現在している学習や活動の内容は、一般市民では「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギングなど）」や「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」が多く、青少年では「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」、「学習塾・予備校などでの勉強」が多い。

青少年は、今後してみたいものとして「職業上必要な知識・技能（知識の習得や資格取得など）」や「語学・コミュニケーション（英会話・パソコンなど）」、「暮らしていく上での様々な知識（お金のため方など）」を上位にあげており、今後社会に出て行く上で必要になるとと思われる内容を学びたいと考えていることがうかがえる。

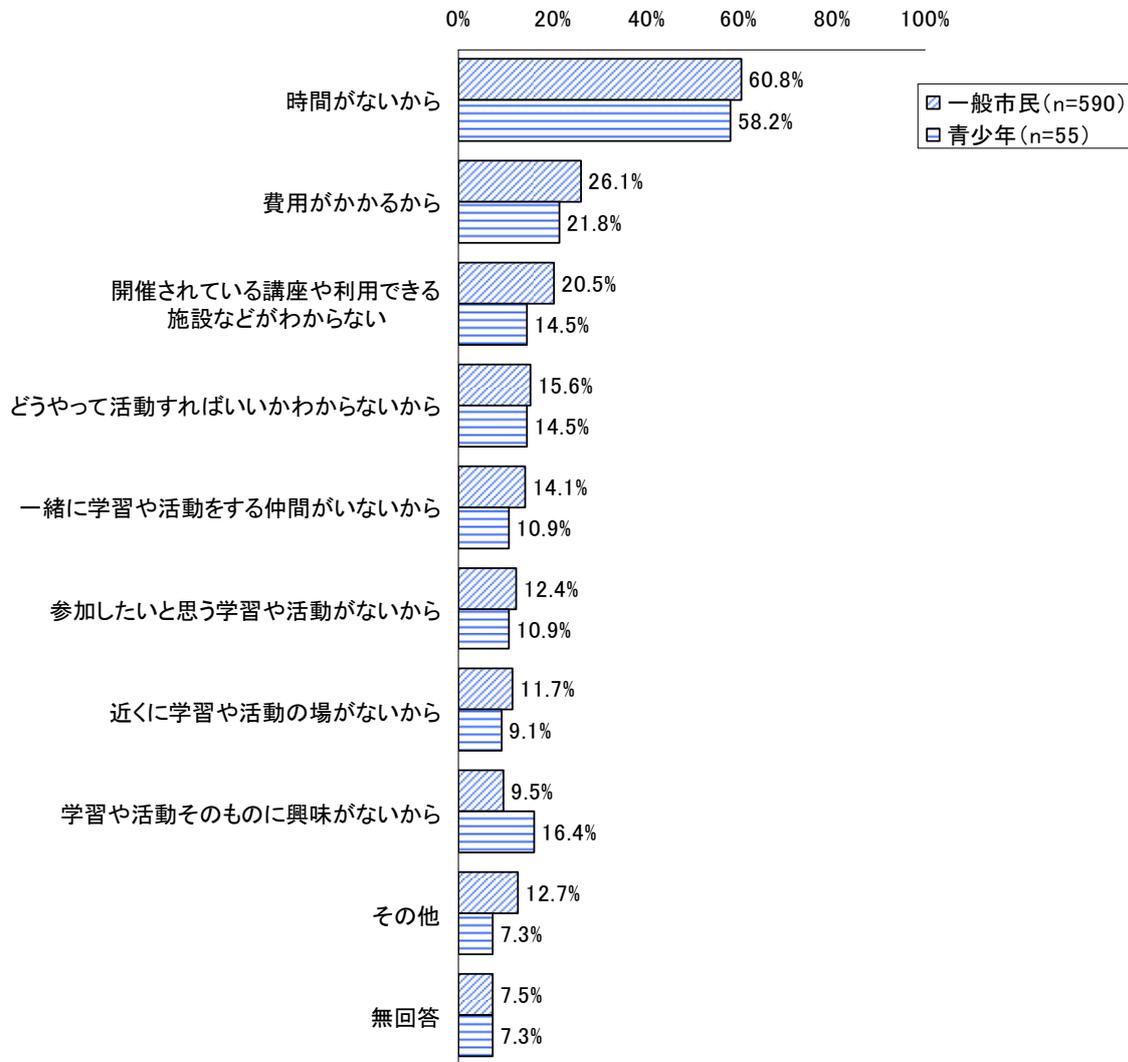


※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。
 ※学習・活動の種類の名前は、一部簡略化して記載している。

1 1 学習や活動ができない理由・しない理由（一般市民・青少年）

（詳細は P94, 114 参照）

現在、学習や活動をしていない理由として最も多かったのは「時間がないから」で、一般市民、青少年のそれぞれ約6割を占める。次いで「費用がかかるから」、「開催されている講座や利用できる施設などがわからないから」と続く。

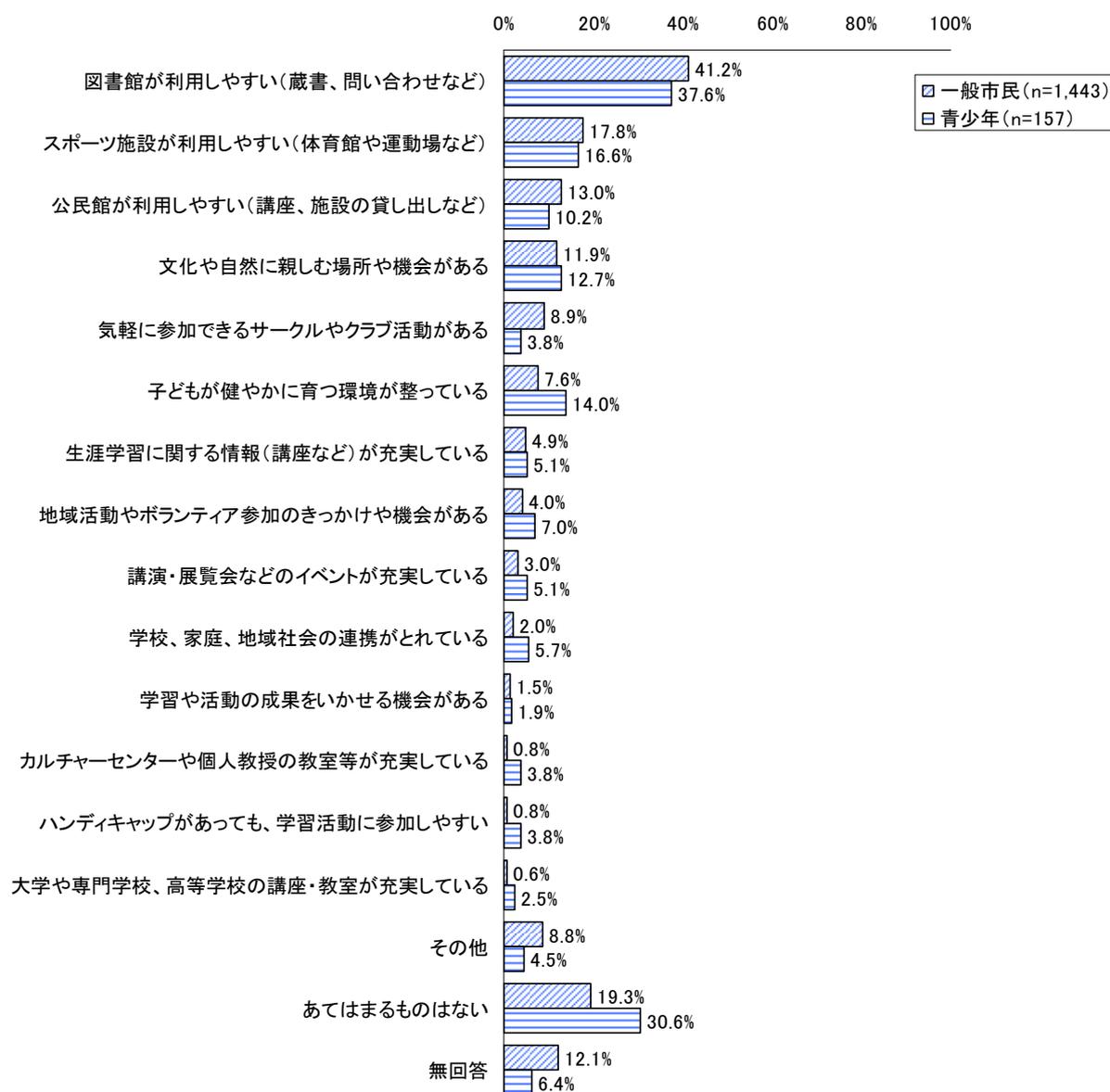


※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。
 ※現在学習をしていない人を対象に集計。

1 2 西東京市の学習環境（一般市民・青少年）

（詳細は P95, 118 参照）

西東京市の学習環境としては、「図書館が利用しやすい（蔵書、問い合わせなど）」という意見が約 4 割と最も多い。次いで「スポーツ施設が利用しやすい（体育館や運動場など）」、「公民館が利用しやすい（講座、施設の貸し出しなど）」、「文化や自然に親しむ場所や機会がある」等が続く。

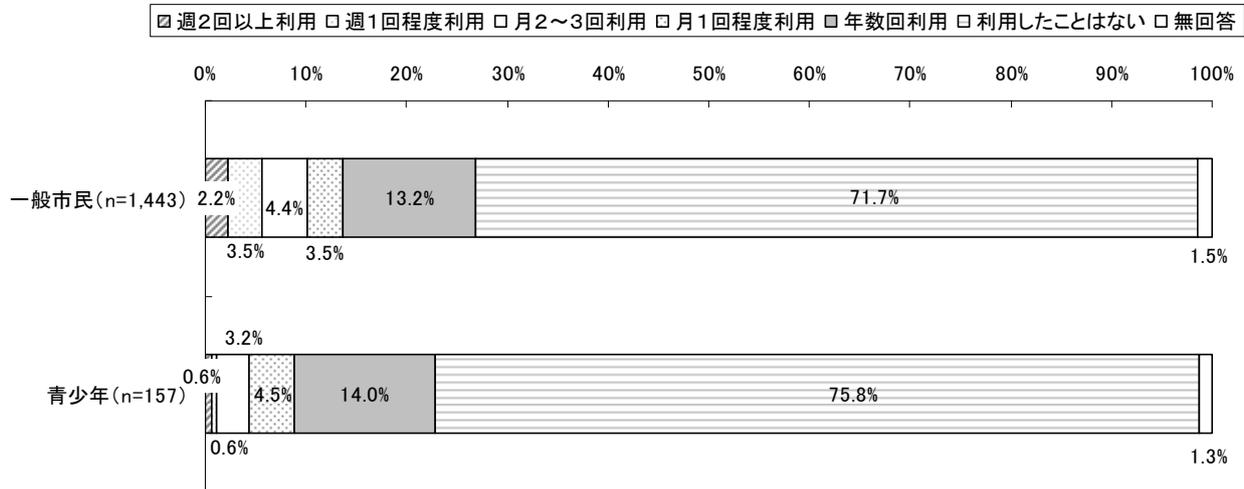


※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は 100%とならない。
 ※選択肢は一部簡略化して記載している。

1 3 公民館の利用状況（一般市民・青少年）

（詳細は P96, 119, 120 参照）

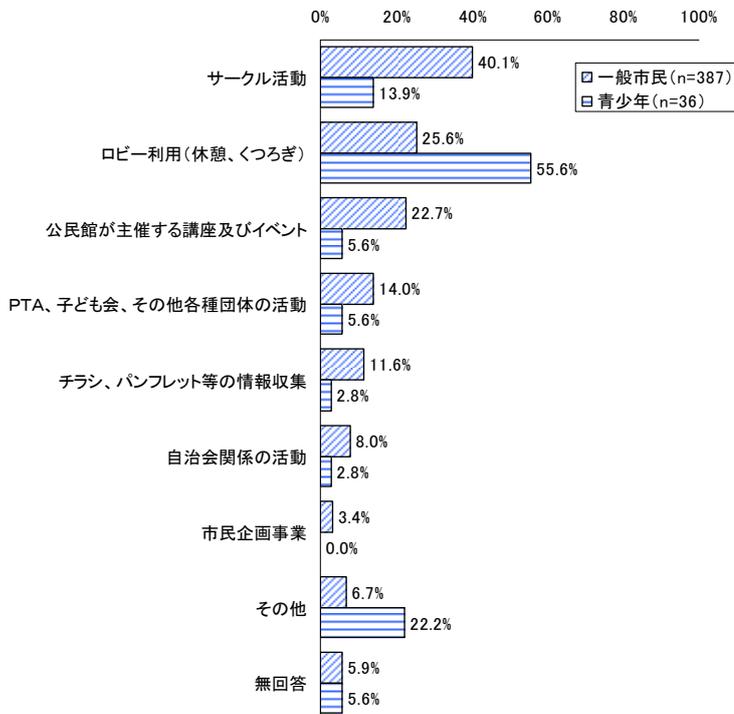
一般市民の 26.8%、青少年の 22.9%は、この 1 年間に公民館を利用したことがあると回答している。利用者の主な目的は「サークル活動」、「ロビー利用（休憩、くつろぎ）」等であり、未利用者は「時間がないから」を利用しない理由にあげている。



※「週2回以上利用」は、実際の調査では「ほぼ毎日利用」「週4～5回利用」「週2～3回利用」として聴取。割合が低いため、まとめて表記している。

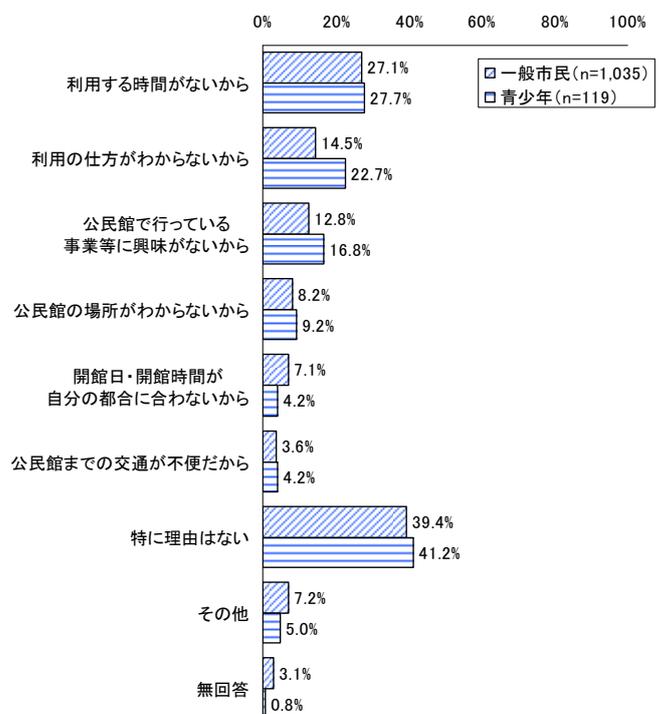
主な利用目的

※公民館利用者を対象に集計



利用しない理由

※公民館未利用者を対象に集計

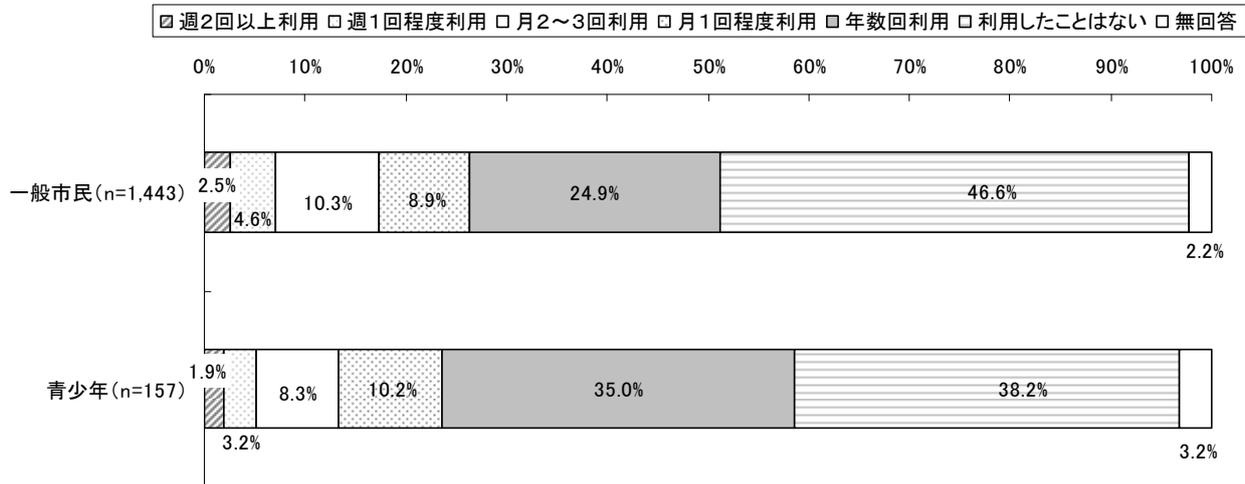


※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。

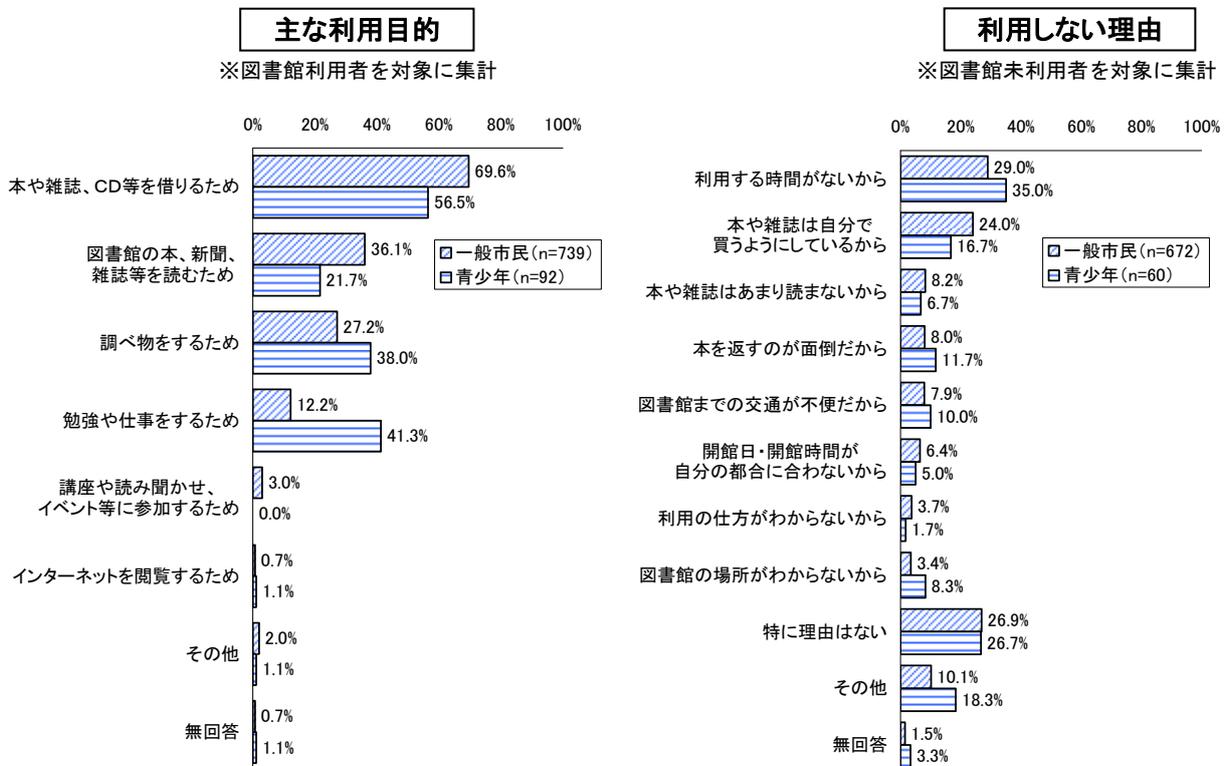
1 4 図書館の利用状況（一般市民・青少年）

（詳細は P97, 98, 122, 123 参照）

一般市民の 51.2%、青少年の 58.6%は、この 1 年間に図書館を利用したことがあると回答している。利用者の主な目的は「本や雑誌、CD等を借りるため」、「図書館の本、新聞、雑誌等を読むため」等のほか、青少年は「調べ物をするため」、「勉強や仕事をするため」と回答する割合が高い。未利用者は「時間がないから」、「本や雑誌は自分で買うようにしているから」を利用しない理由にあげている。



※「週2回以上利用」は、実際の調査では「ほぼ毎日利用」「週4~5回利用」「週2~3回利用」として聴取。割合が低いため、まとめて表記している。

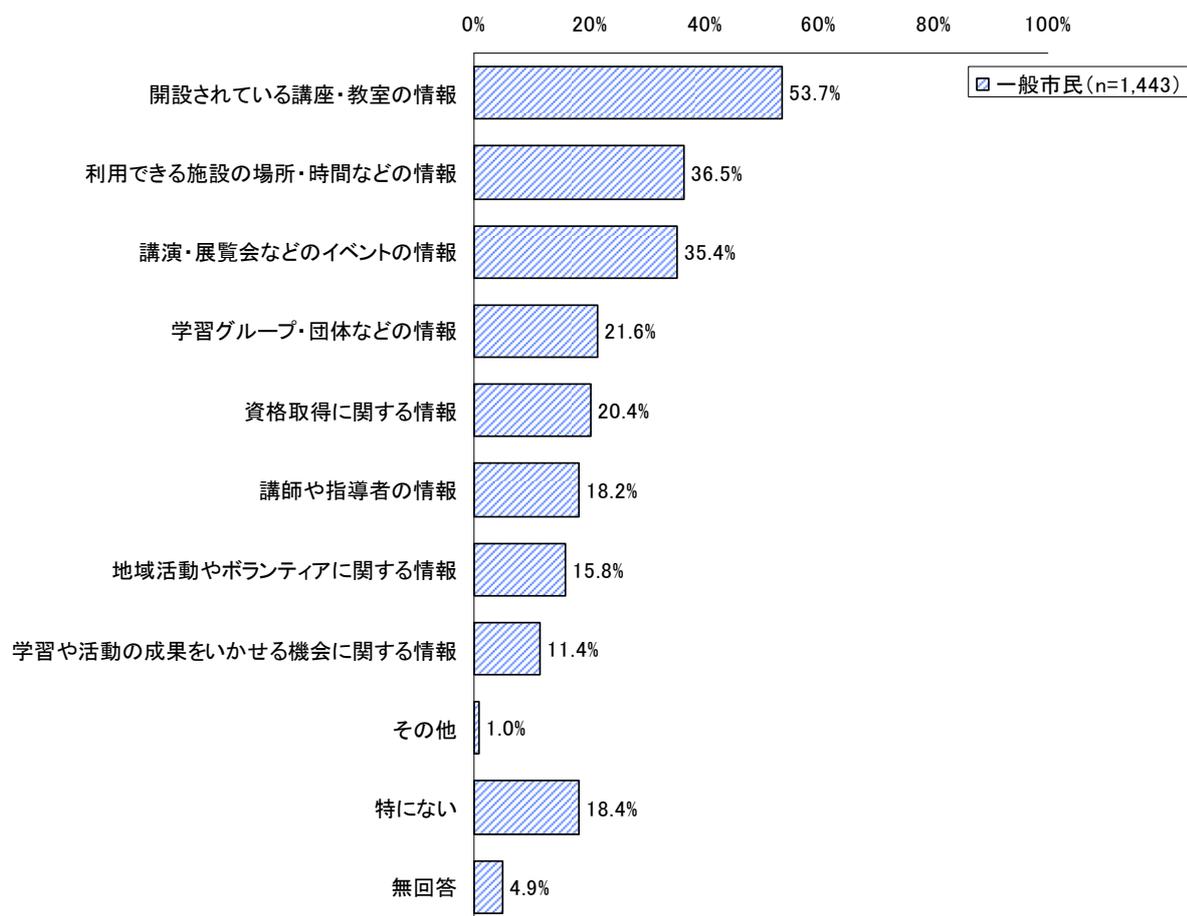


※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。

15 生涯学習に関して知りたい情報（一般市民）

（詳細は P116 参照）

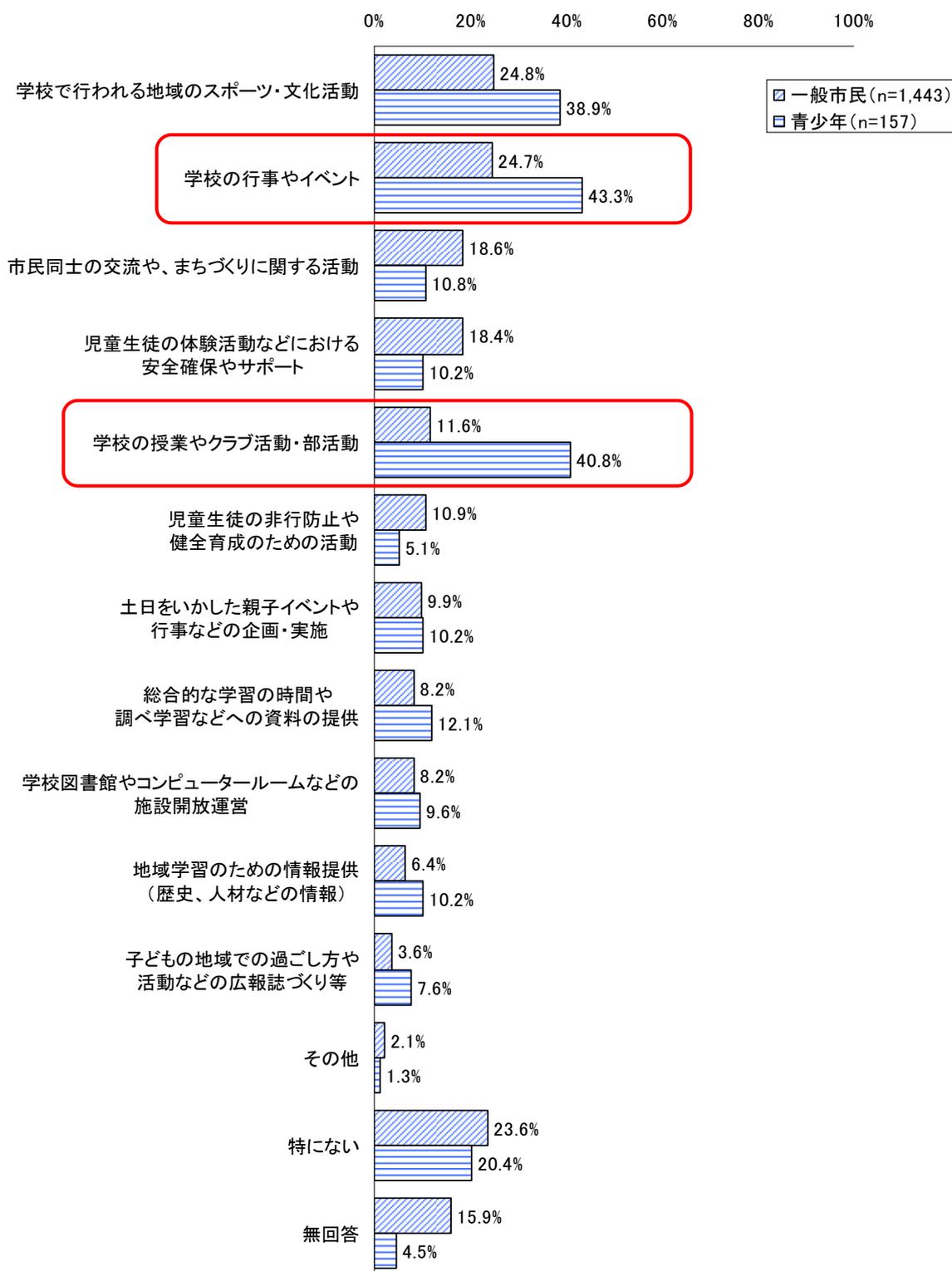
生涯学習に関して知りたいこととしては、「開設されている講座・教室の情報」、「利用できる施設の場所・時間などの情報」、「講演・展覧会などのイベント情報」等があげられており、どこに行けば何を学ぶことができるのか、市民への周知が十分でないことがうかがえる。



16 地域・社会活動への参加意向（一般市民・青少年）

（詳細は P101, 127 参照）

参加・協力してもよいと思う活動としては、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」、「学校の行事やイベント」、「市民同士の交流や、まちづくりに関する活動」、「児童生徒の体験活動などにおける安全確保やサポート」等が上位にあげられている。青少年においては、「学校の行事やイベント」、「学校の授業やクラブ活動・部活動」等の学校に関わる活動への参加意向が高い。

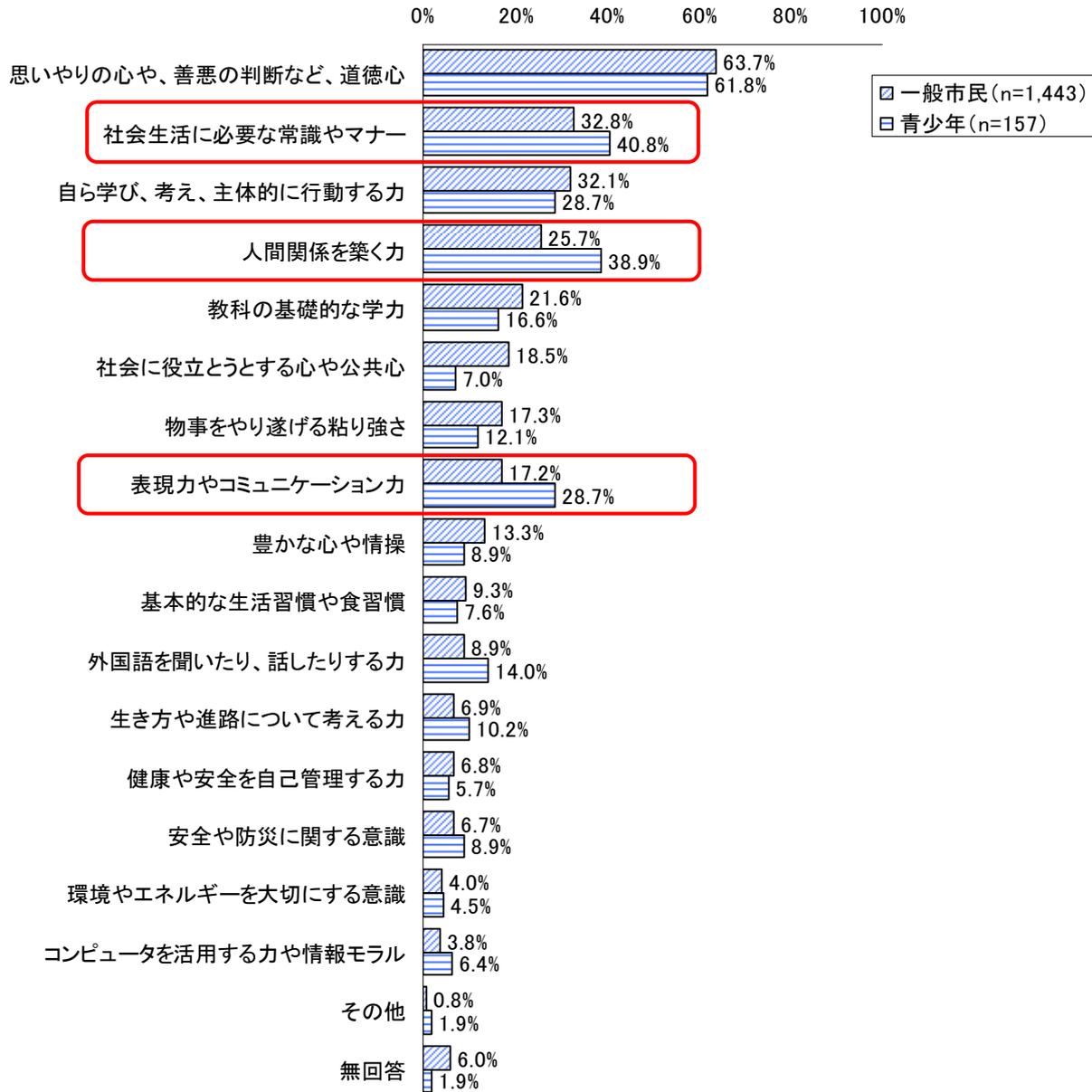


※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。
 ※選択肢は一部簡略化して記載している。

17 小学校・中学校で教えることで重要なこと（一般市民・青少年）

（詳細は P103, 132 参照）

小学校・中学校で教えることで重要なことは、「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」、「社会生活に必要な常識やマナー」、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」、「人間関係を築く力」等があげられている。一般市民と比較すると、青少年は「社会生活に必要な常識やマナー」、「人間関係を築く力」、「表現力やコミュニケーション力」等が重要であるという意見が多い。



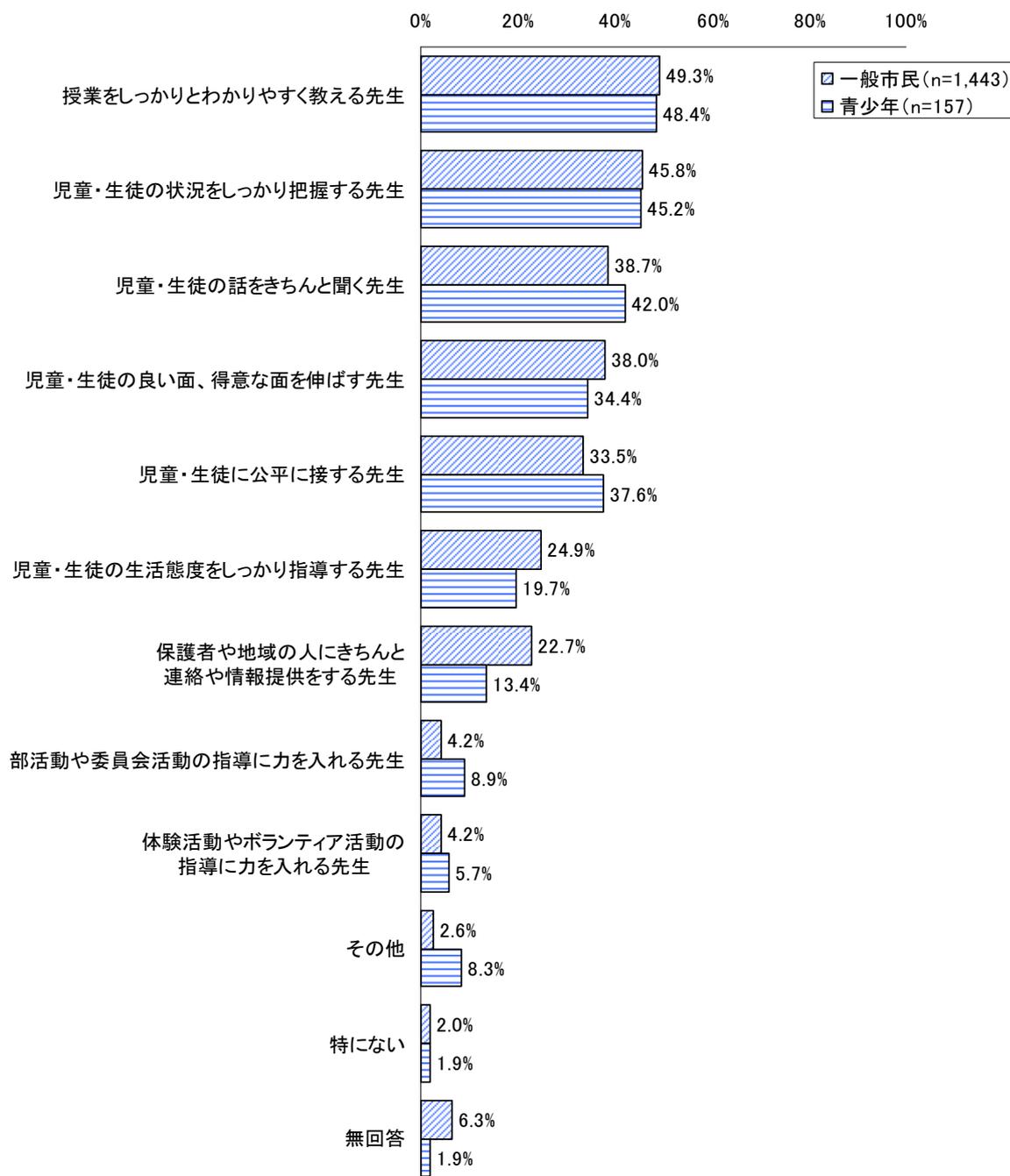
※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とまらない。

18 望ましい小学校・中学校の教師像（一般市民・青少年）

（詳細は P104, 133 参照）

望ましい小学校・中学校の教師像としては、「授業をしっかりとわかりやすく教える先生」、「児童・生徒の状況をしっかりと把握する先生」、「児童・生徒の話をきちんと聞く先生」、「児童・生徒の良い面、得意な面を伸ばす先生」等があげられている。

一般市民に比べ、青少年は「児童・生徒の話をきちんと聞く先生」、「児童・生徒に公平に接する先生」と回答する割合がやや高い。



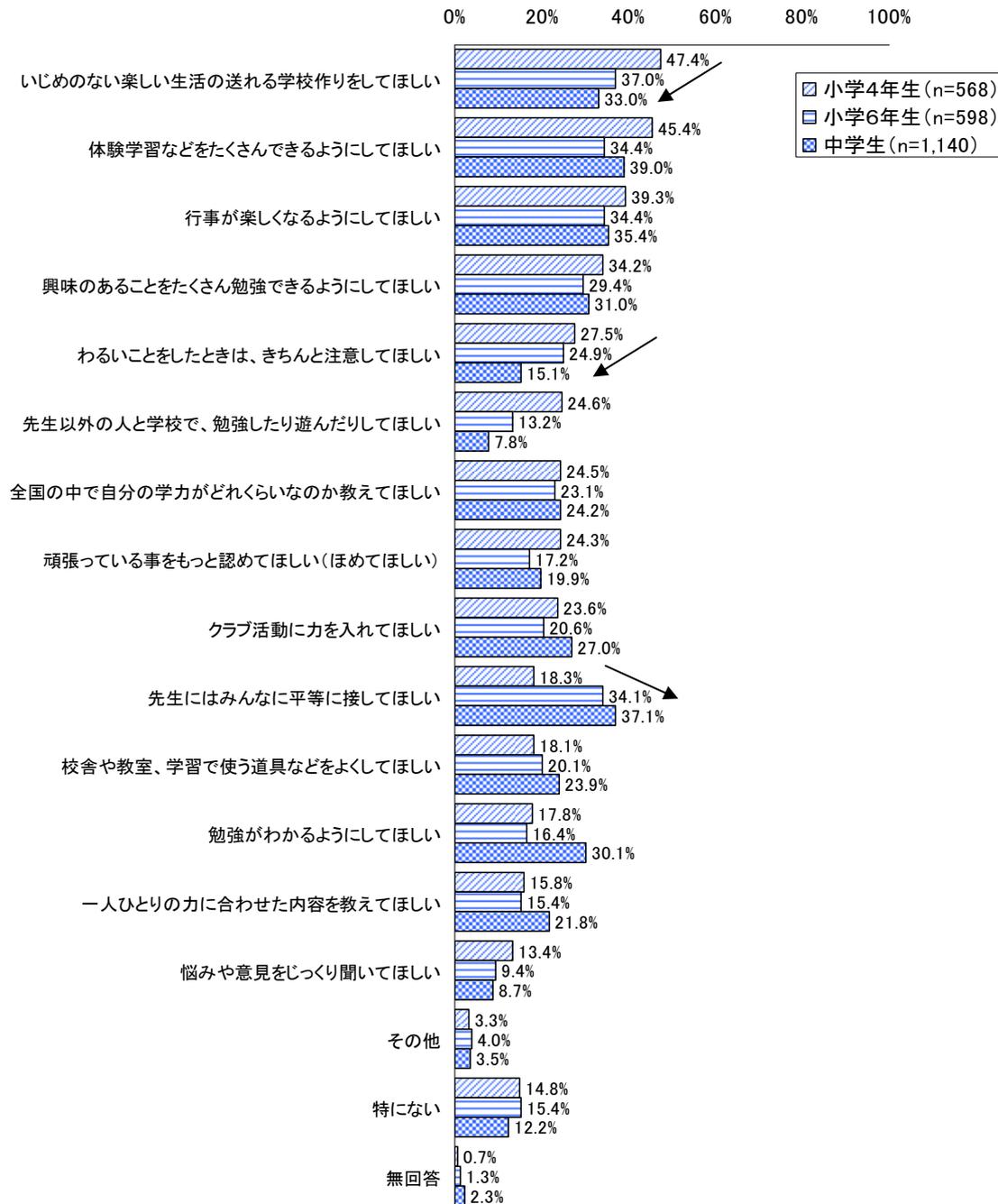
※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。
 ※選択肢は一部簡略化して記載している。

学校や先生に望むこと（小学生・中学生）

（詳細は P30, 63 参照）

学校や先生に望むこととしては、「いじめのない楽しい生活の送れる学校づくりをしてほしい」、「体験学習などをたくさんできるようにしてほしい」、「行事が楽しくなるようにしてほしい」、「興味のあることをたくさん勉強できるようにしてほしい」等が上位にあげられている。

学年による違いを見ると、「いじめのない楽しい生活の送れる学校づくりをしてほしい」、「わるいことをしたときは、きちんと注意してほしい」は小学4年生で最も高く、学年が上がるにつれて割合が低くなっている。一方、「先生にはみんなに平等に接してほしい」は学年が上がるにつれて高い割合となっている。

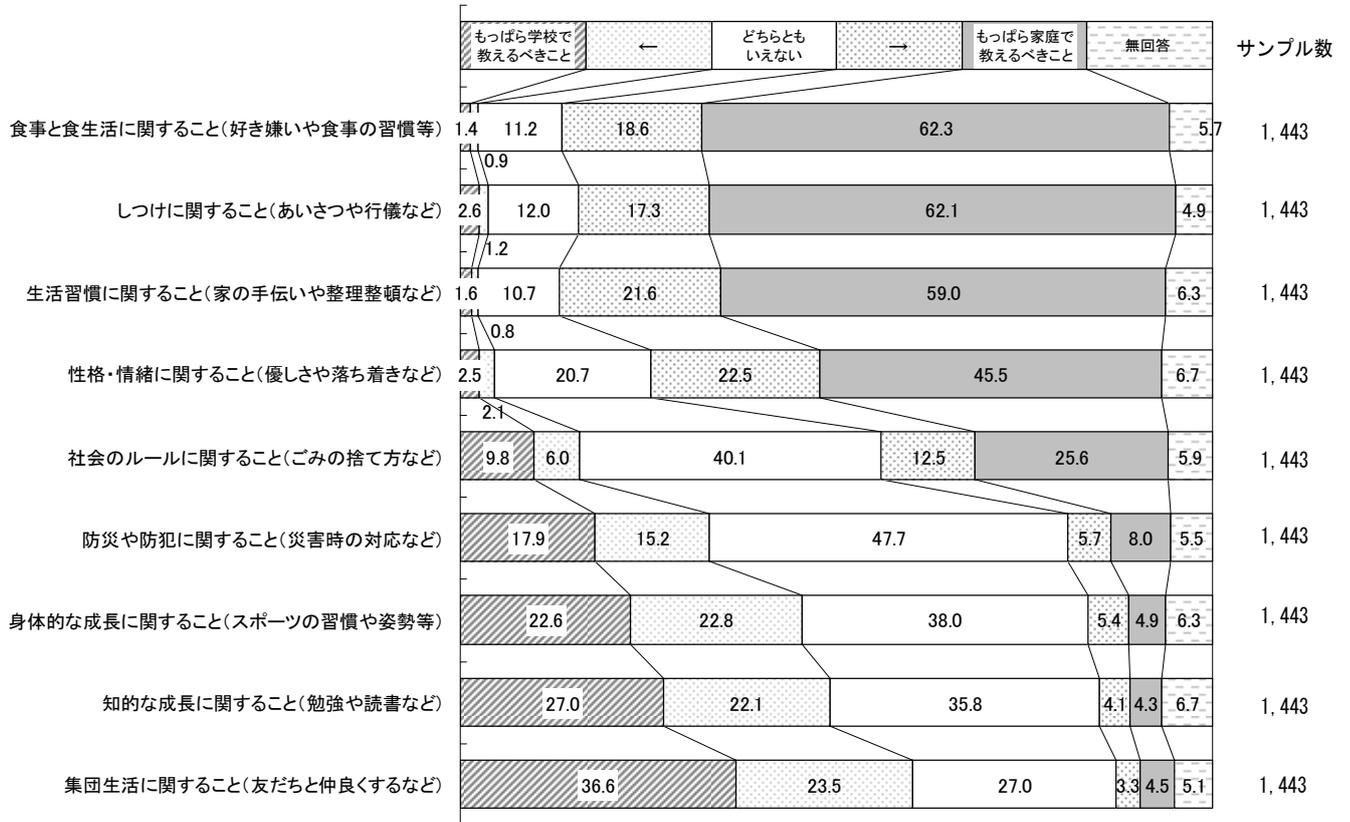


※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。
 ※選択肢は一部簡略化して記載している。

19 学校と家庭の役割（一般市民）

（詳細はP129 参照）

食生活やしつけ、生活習慣等に関しては、もっぱら家庭で教えるべきであるという意見が多く、集団生活や学業面・身体面での成長等に関しては、もっぱら学校で教えるべきであるという意見が多い。

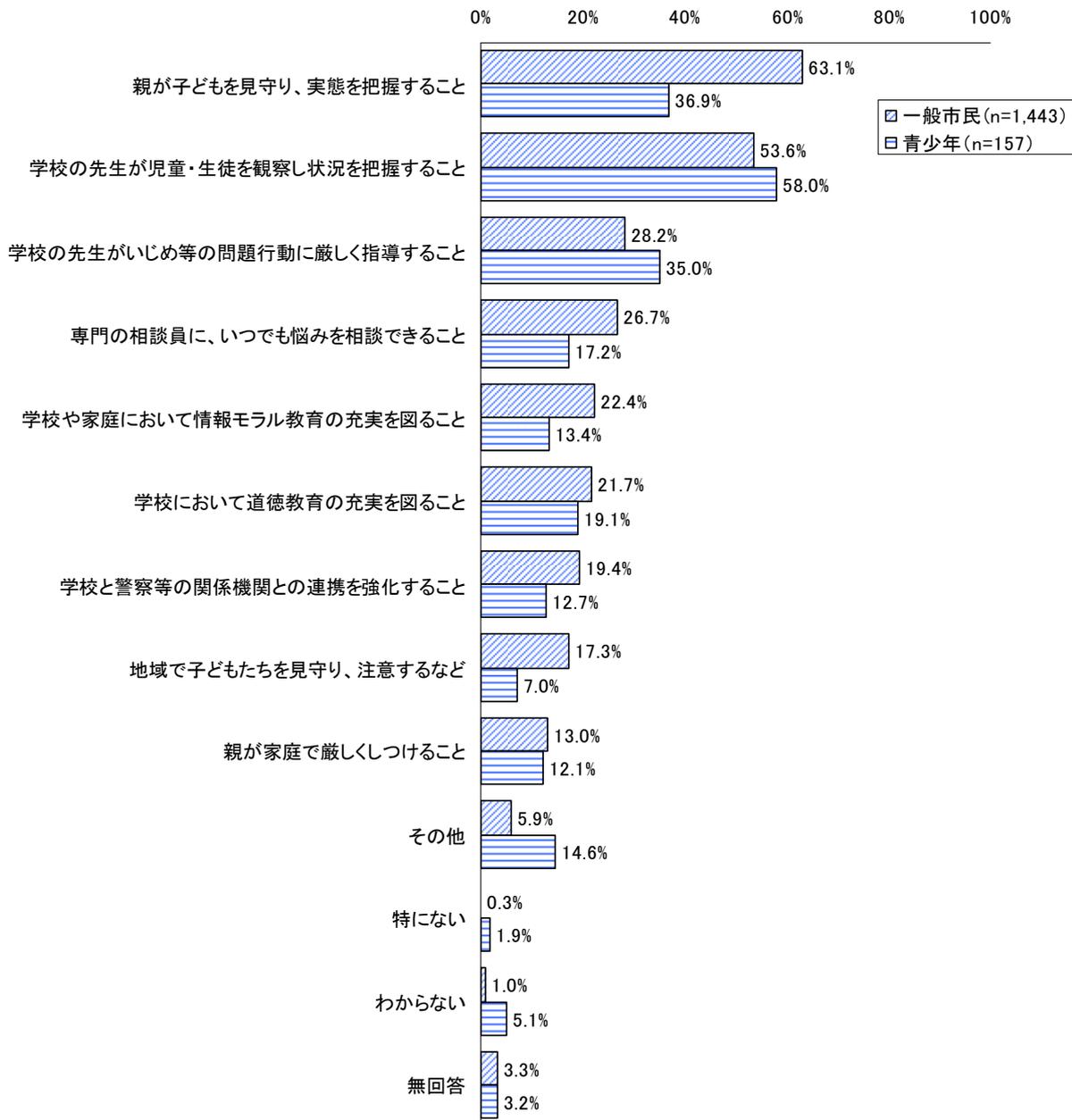


※選択肢は一部簡略化して記載している。

20 いじめや不登校防止のために必要な対策（一般市民・青少年）

（詳細は P107, 136 参照）

いじめや不登校防止のために必要なこととして、一般市民は「親が子どもを見守り、実態を把握すること」と回答する割合が最も高い。一方、青少年は「学校の先生が児童・生徒を観察し、状況を把握すること」、「学校の先生がいじめ等の問題行動に厳しく指導すること」と回答する割合が高く、学校内で教師が対策にあたることが重要だととらえている。



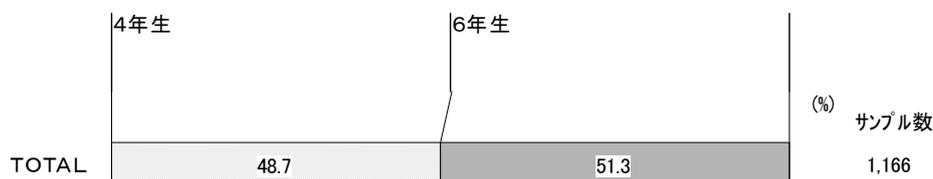
※複数回答のため、各回答割合(%)の合計は100%とならない。
 ※選択肢は一部簡略化して記載している。

1 基本的な属性

(1) 学年

問1 あなたは何年生ですか。(○は1つ)

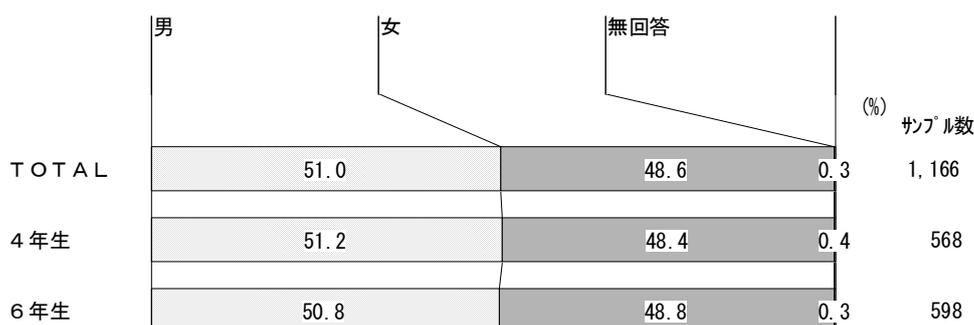
学年の構成は、4年生 48.7%、6年生 51.3%である。



(2) 性別

問2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

性別の構成は、男子 51.0%、女子 48.6%である。



(3) 通っている小学校

問3 どの小学校に通っていますか。(○は1つ)

学校の内訳は、以下の通りである。

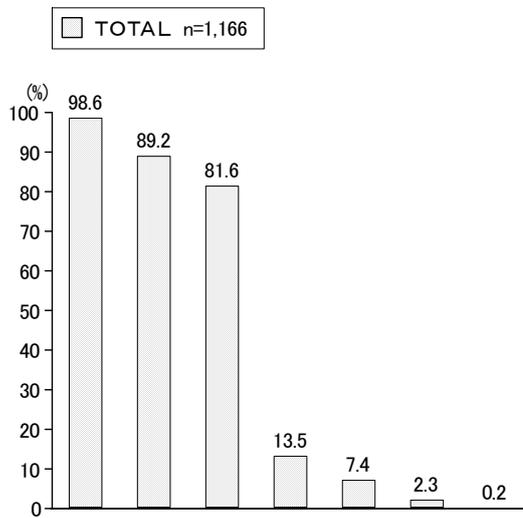
	田無	保谷	保谷第一	保谷第二	谷戸	東伏見	中原	向台	碧山	芝久保
人数	66	61	73	61	57	61	66	61	69	57
(内訳)男子	33	32	38	32	27	34	30	33	35	33
女子	33	29	34	29	30	27	36	28	33	24
無回答	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
構成比	5.7%	5.2%	6.3%	5.2%	4.9%	5.2%	5.7%	5.2%	5.9%	4.9%

	栄	泉	谷戸第二	東	柳沢	上向台	本町	住吉	けやき
人数	66	49	62	49	64	70	63	43	68
(内訳)男子	33	21	31	28	38	33	28	22	34
女子	32	28	31	21	26	36	35	21	34
無回答	1	-	-	-	-	1	-	-	-
構成比	5.7%	4.2%	5.3%	4.2%	5.5%	6.0%	5.4%	3.7%	5.8%

(4) 同居家族

問4 一緒に住んでいる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

同居家族は、「お母さん」が98.6%、「お父さん」が89.2%、「きょうだい」が81.6%である。



		2	1	5	4	3	6	7	
		お母さん	お父さん	きょうだい	おばあさん	あじいさん	その他	無回答	
問1	学年	n							
0	TOTAL	1,166	98.6	89.2	81.6	13.5	7.4	2.3	0.2
1	4年生	568	99.1	90.5	79.9	12.9	6.7	1.8	0.2
2	6年生	598	98.2	88.0	83.1	14.0	8.0	2.8	0.2

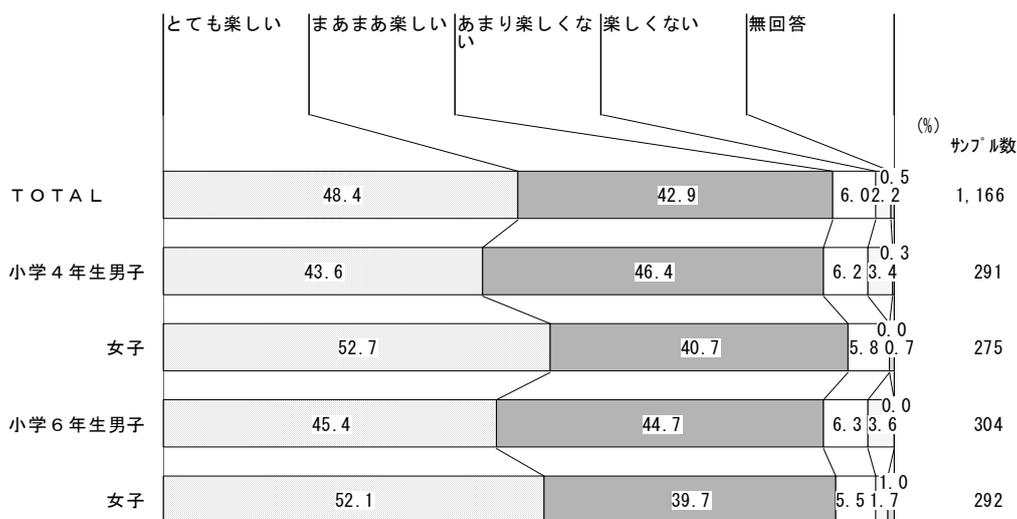
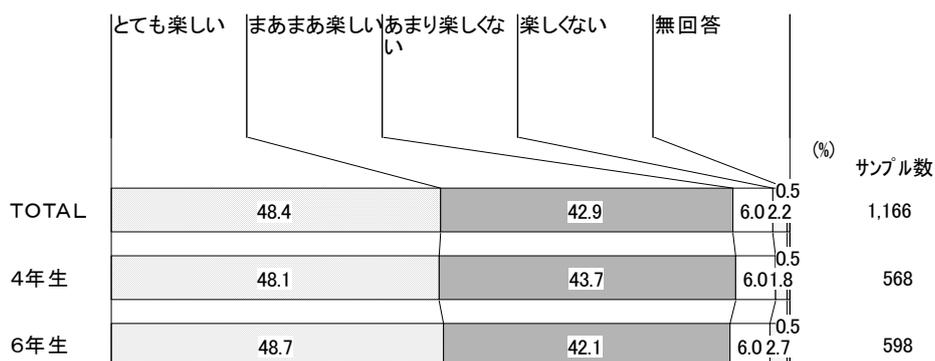
2 学校での生活の状況

(1) 学校の楽しさ

問5 学校は楽しいですか。(○は1つ)

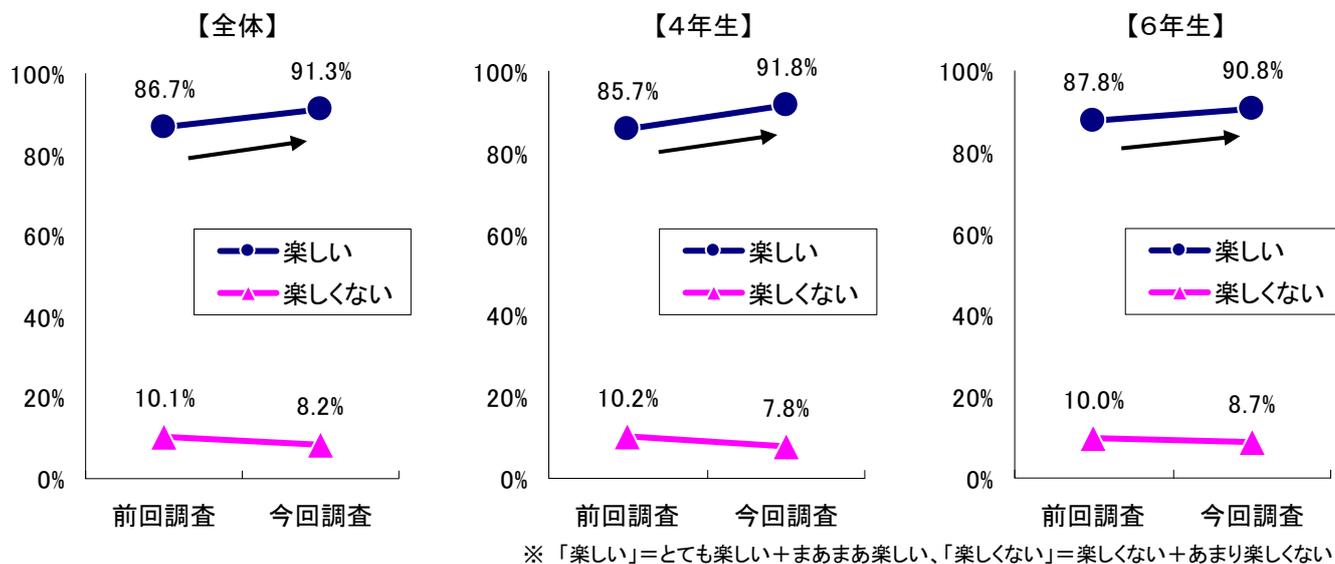
学校が「とても楽しい」と回答した児童は48.4%、「まあまあ楽しい」は42.9%で、合わせると約9割の児童は、学校が楽しいと感じている。一方、「楽しくない」と回答した児童は2.2%、「あまり楽しくない」は6.0%で、1割近くの児童は、学校が楽しくないと感じていることがわかる。

男女別に見ると、4年生、6年生ともに女子の方が「とても楽しい」と回答する割合が高い。



《小学生》

前回調査と比べると、「とても楽しい」または「まあまあ楽しい」と回答した児童の割合は 4.6 ポイント増加し、「あまり楽しくない」または「楽しくない」と回答した児童の割合は 1.9 ポイント減少している。6 年生では、「とても楽しい」と回答した児童が 7.8 ポイント増加している。



参考 平成 20 年調査結果

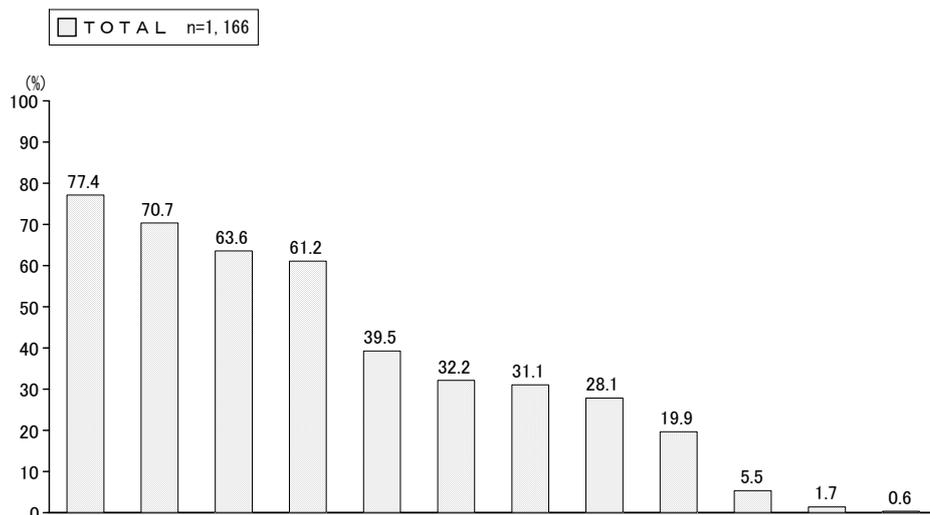
	n	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	無回答
TOTAL	1,112	45.2%	41.5%	7.5%	2.6%	3.1%
4年生	545	49.7%	36.0%	8.4%	1.8%	4.0%
6年生	563	40.9%	46.9%	6.6%	3.4%	2.3%

(2) 学校で楽しいところ

問6 学校のどんなところが楽しいですか。(〇はいくつでも)

学校の楽しいところとしては、「休み時間」をあげる児童が 77.4%と最も多く、次いで「友だちがいること」(70.7%)、「遠足や運動会などの行事」(63.6%)と続いている。

学年別に見ると、「図書室」をあげる児童は4年生では 40.5%だが、6年生では 24.2%と 16.3 ポイント低くなっている。同様に、「授業」は、4年生 35.2%、6年生 21.4%と 13.8 ポイント低くなっている。



問1 学年	n	2	4	6	8	9	7	3	1	5	10	11	12
		休み時間	友だちがいること	遠足や運動会などの行事	クラブ活動	給食	図書室	授業以外のクラス活動	授業	先生がいること	その他	特にない	無回答
0 TOTAL	1,166	77.4	70.7	63.6	61.2	39.5	32.2	31.1	28.1	19.9	5.5	1.7	0.6
1 4年生	568	77.5	68.1	72.2	70.1	45.6	40.5	30.8	35.2	25.0	7.4	0.4	0.4
2 6年生	598	77.4	73.1	55.5	52.8	33.6	24.2	31.4	21.4	15.1	3.7	3.0	0.8

【学年・性別】

1 小学4年生男子	291	83.2	63.6	67.4	69.8	49.1	36.1	31.6	29.2	17.5	6.5	0.7	0.3
2 女子	275	71.3	73.1	77.5	70.2	41.8	45.1	29.8	41.5	32.7	8.4	0.0	0.4
3 小学6年生男子	304	80.3	67.1	53.9	57.9	37.8	20.4	31.6	20.4	12.5	2.3	4.3	0.3
4 女子	292	75.0	79.5	57.5	47.9	29.5	28.1	31.5	22.6	17.8	5.1	1.7	1.4

前回調査と比べると、「授業」が楽しいと回答した児童の割合は、8.6ポイント増加している。

参考 平成20年調査結果 (複数回答)

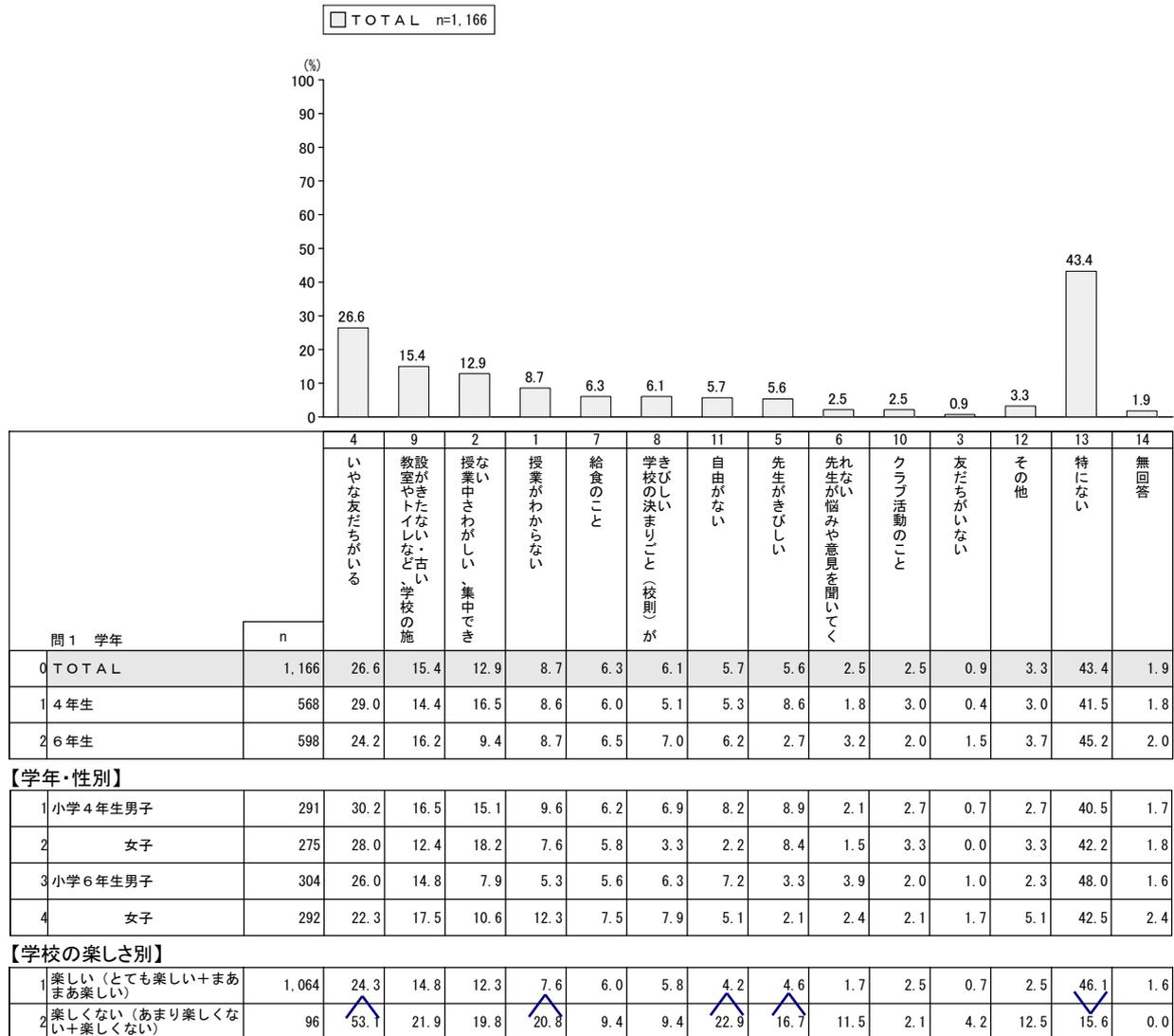
n	授業	休み時間	授業以外のクラス活動	友だちがいること	先生	遠足や運動会などの行事	図書室	クラブ活動	給食	その他	無回答
TOTAL : 1,112	19.5%	69.4%	26.0%	60.8%	19.4%	54.3%	29.2%	60.3%	33.7%	3.3%	2.5%
4年生 : 545	21.7%	67.7%	21.7%	55.0%	21.3%	57.6%	33.2%	65.0%	37.2%	2.4%	2.9%
6年生 : 563	17.6%	70.9%	30.2%	66.3%	17.8%	51.2%	25.6%	56.0%	30.2%	4.3%	2.1%

(3) 学校で困っていること

問7 学校で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

学校で困っていることとしては、「いやな友だちがいる」ことをあげる児童が 26.6%と最も多く、次いで「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」(15.4%)、「授業中さわがしい、集中できない」(12.9%)と続いている。なお、「特にない」と回答した児童は 43.4%であり、半数以上の児童には、何らか学校で困っていることがわかる。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しくないと回答した児童は、「いやな友だちがいる」、「授業がわからない」、「自由がない」、「先生がきびしい」といった内容で困っている割合が高い。

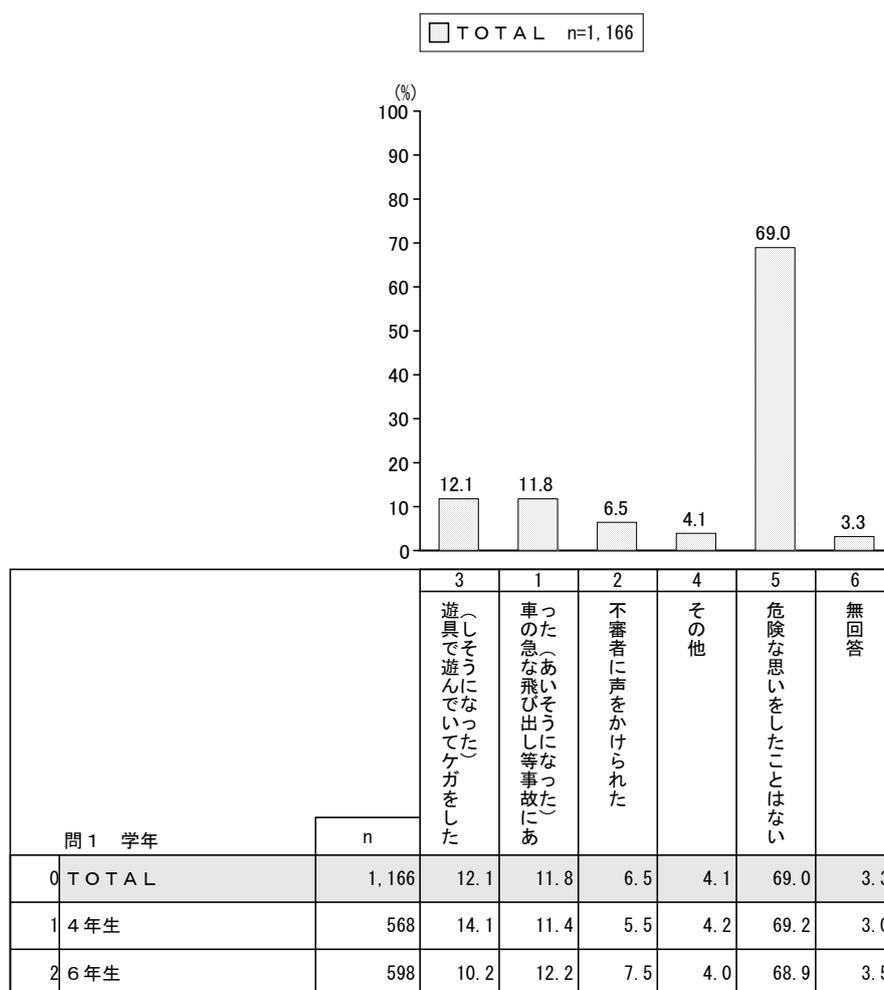


※学校の楽しさ別で 10ポイント以上差がある項目に ▲▼ を付けています。

(4) 登下校時の危険さ

問8 この1年くらいの間に、学校に通うときや学校から帰るとき(登下校時)に危険な思いをしたことはありますか。(〇はいくつでも)

登下校時に危険な思いをした経験を尋ねたところ、約7割の児童は「危険な思いをしたことはない」(69.0%)と回答しているものの、12.1%は「遊具で遊んでいてケガをした(しそうになった)」、11.8%は「車の急な飛び出し等事故にあった(あいそうになった)」、6.5%は「不審者に声をかけられた」と回答しており、約3割の児童はこの1年くらいの間に危険な思いをしたことがわかる。



【学年・性別】

1	小学4年生男子	291	15.8	14.8	6.5	4.8	64.6	2.1
2	女子	275	12.4	8.0	4.4	3.6	73.8	4.0
3	小学6年生男子	304	9.9	11.8	6.6	3.3	71.7	3.0
4	女子	292	10.6	12.7	8.6	4.8	65.8	4.1

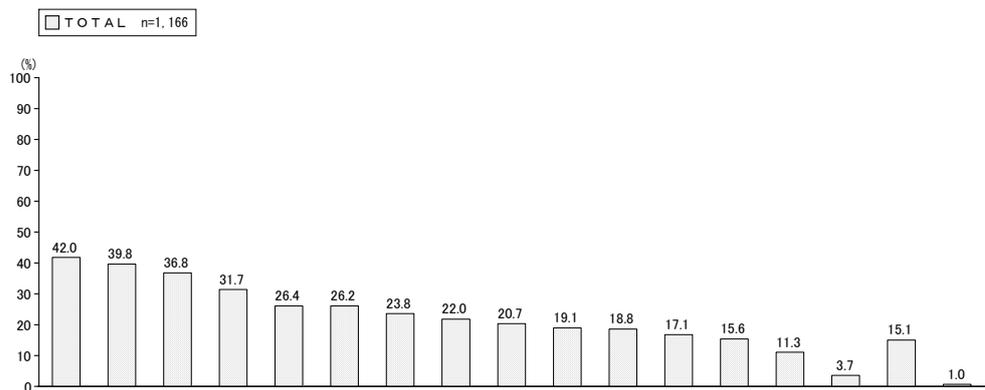
(5) 学校や先生に望むこと

問9 学校や先生に望むこと(してほしいこと)は何ですか。(〇はいくつでも)

学校や先生に望むこととしては、「いじめのない楽しい生活の送れる学校づくりをしてほしい」をあげる児童が 42.0%と最も多く、次いで「体験学習などをたくさんできるようにしてほしい」(39.8%)、「行事が楽しくなるようにしてほしい」(36.8%)と続いている。

学年別に見ると、「先生にはみんなに平等に接してほしい」と回答した児童の割合は、4年生(18.3%)よりも6年生(34.1%)が15.8ポイント高くなっている。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しくないと回答した児童は「いじめのない楽しい生活の送れる学校づくりをしてほしい」(56.3%)を望む割合が高く、半数以上を占めている。また、学校が楽しいと回答した児童と比較して「勉強がわかるようにしてほしい」(26.0%)、「悩みや意見をじっくり聞いてほしい」(19.8%)を望む割合が高いのも特徴である。



問1 学年	n	項目																
		3	1	13	2	7	5	4	12	6	10	14	9	8	11	15	16	17
0 TOTAL	1,166	42.0	39.8	36.8	31.7	26.4	26.2	23.8	22.0	20.7	19.1	18.8	17.1	15.6	11.3	3.7	15.1	1.0
1 4年生	568	47.4	45.4	39.3	34.2	18.3	27.5	24.5	23.6	24.3	18.1	24.6	17.8	15.8	13.4	3.3	14.8	0.7
2 6年生	598	37.0	34.4	34.4	29.4	34.1	24.9	23.1	20.6	17.2	20.1	13.2	16.4	15.4	9.4	4.0	15.4	1.3

【学年・性別】

学年・性別	n	3	1	13	2	7	5	4	12	6	10	14	9	8	11	15	16	17
1 小学4年生男子	291	44.7	41.9	41.6	33.3	19.2	24.1	25.8	28.5	20.6	19.9	25.1	16.8	15.1	12.0	3.8	17.2	0.7
2 女子	275	50.5	49.1	37.1	34.9	17.5	31.3	23.3	18.5	28.4	16.4	24.4	18.9	16.7	14.9	2.9	12.0	0.7
3 小学6年生男子	304	34.2	34.9	39.1	29.3	34.5	26.6	26.0	26.6	15.5	20.4	12.8	14.5	13.5	8.6	3.0	17.1	1.0
4 女子	292	39.7	34.2	29.8	29.8	33.9	23.3	20.2	14.4	19.2	19.5	13.7	18.5	17.5	10.3	5.1	13.7	1.7

【学校の楽しさ別】

楽しさ別	n	3	1	13	2	7	5	4	12	6	10	14	9	8	11	15	16	17
1 楽しい(とても楽しい+まあ楽しい)	1,064	40.9	40.7	37.0	32.0	26.5	26.0	23.0	22.3	20.2	19.0	18.8	16.4	15.4	10.5	3.5	15.8	0.6
2 楽しくない(あまり楽しくない+楽しくない)	96	56.3	31.3	35.4	29.2	26.0	28.1	32.3	19.8	27.1	20.8	18.8	26.0	17.7	19.8	6.3	8.3	1.0

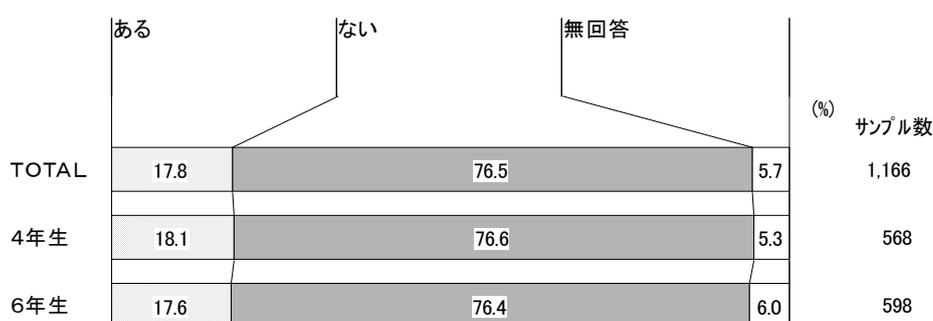
※学校の楽しさ別で10ポイント以上差がある項目に△を付けています
 ※選択肢は一部簡略化して記載している。

(6) 個別に教えてほしいと思った経験

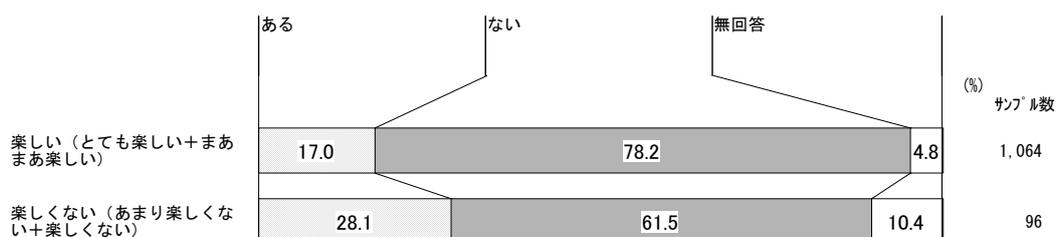
問 10 ふだんの授業以外に、自分の苦手なことや困っていることについて、個別に先生に教えてほしいと思ったことはありますか。(○は1つ)

授業以外に、個別に先生に教えてほしいと思ったことが「ある」児童は17.8%である。学年別による大きな差は見られない。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しくないと回答した児童の28.1%は、個別に先生に教えてほしいと思ったことが「ある」としており、学校が楽しいと回答した児童よりも高い割合となっている。



【学校の楽しさ別】



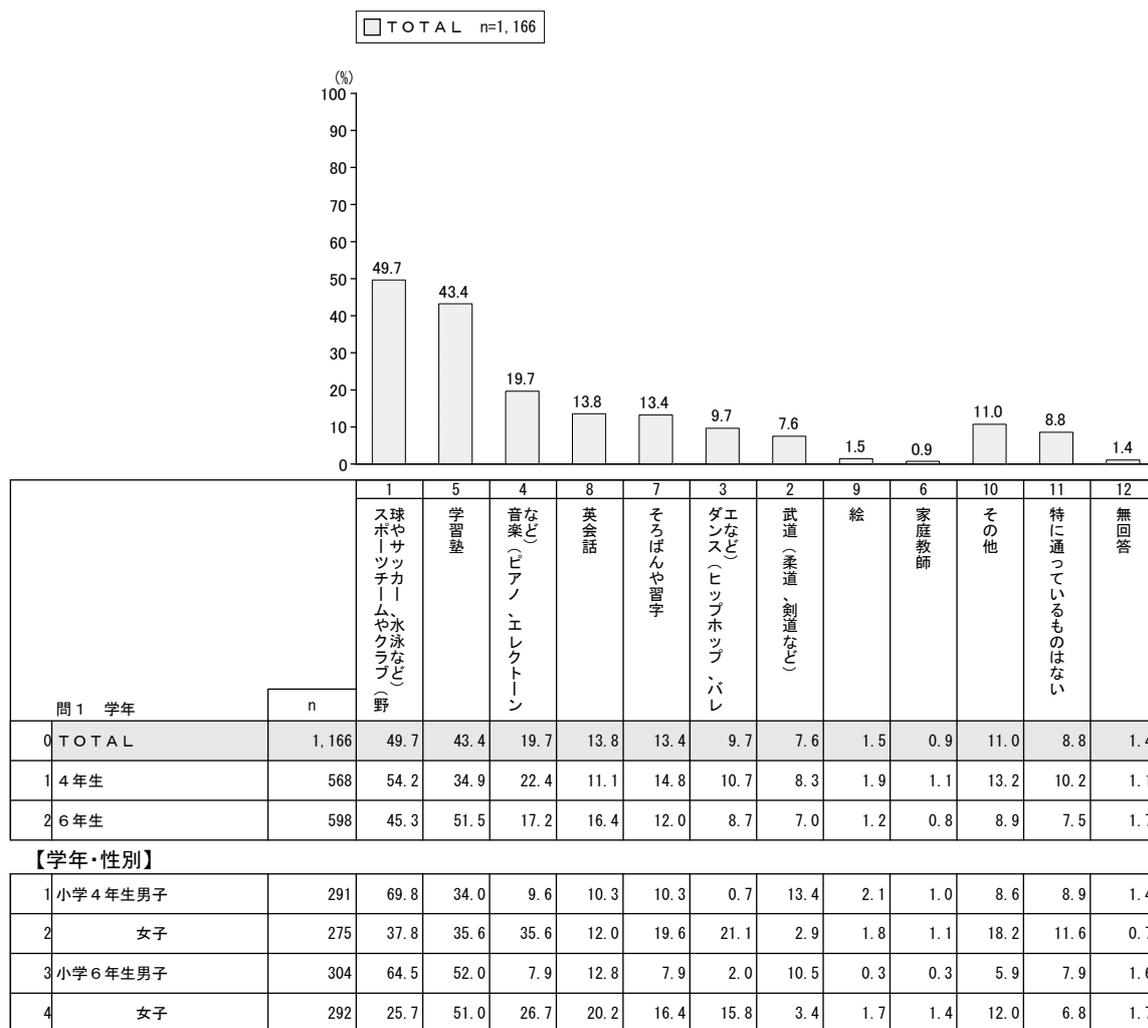
3 ふだんの生活の状況

(1) 習い事や塾の状況

問 11 習い事や塾に通っていますか。(〇はいくつでも)

「(習い事や塾等) 特に通っているものはない」児童は8.8%で、約9割は何らかの習い事や塾に通っていることがわかる。通っている内容としては、「スポーツチームやクラブ(野球やサッカー、水泳など)」(49.7%)と「学習塾」(43.4%)が4割を超えて多くなっている。

学年別に見ると、「学習塾」に通っている児童は、4年生では34.9%だが、6年生では51.5%と半数を超えている。



前回調査と比べると、「スポーツチームやクラブ(野球やサッカー、水泳など)」や「音楽(ピアノ、エレクトーンなど)」に通っている児童の割合は減っているが、「学習塾」は39.8%から43.4%に増加している。

参考 平成20年調査結果 (複数回答)

n	スポーツチームやクラブ	ピアノ、エレクトーンその他の音楽	学習塾	家庭教師	そろばんや習字	英会話	絵	特がない	その他	無回答	
TOTAL	1,112	54.5%	22.1%	39.8%	0.7%	13.9%	13.6%	2.7%	9.5%	9.3%	1.4%
4年生	545	59.8%	25.7%	30.3%	0.6%	15.0%	15.0%	3.3%	9.9%	11.2%	2.0%
6年生	563	49.4%	18.8%	49.2%	0.9%	13.0%	12.1%	2.1%	8.9%	7.5%	0.9%

(2) 規則的な生活習慣

問 12 家では、勉強する時間・寝る時間・起きる時間・食べる時間はそれぞれ決まっていますか。
 (○は(ア)～(エ)ごとに、それぞれ1つずつ)

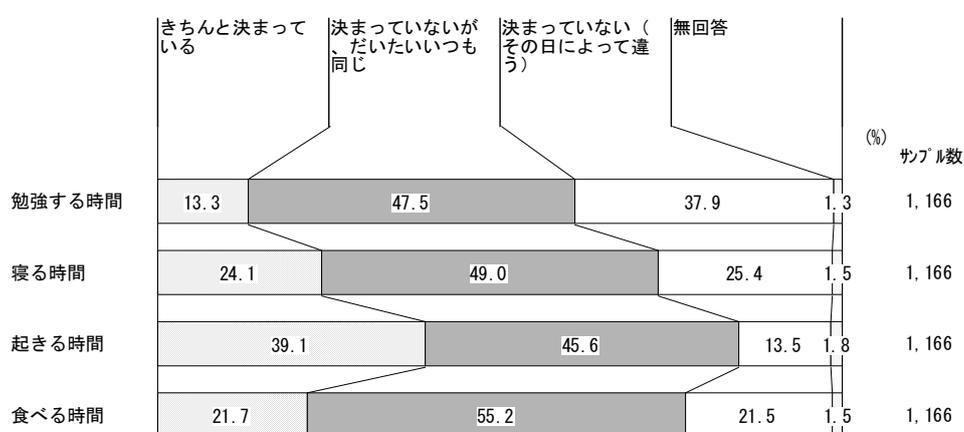
家で勉強する時間が「きちんと決まっている」児童は 13.3%、「決まっていないが、だいたいいつも同じ」が 47.5%で、約 6 割の児童は、決まった時間に勉強をしている。

寝る時間が「きちんと決まっている」児童は 24.1%、「決まっていないが、だいたいいつも同じ」が 49.0%で、概ね 7 割強の児童は、決まった時間に就寝している。

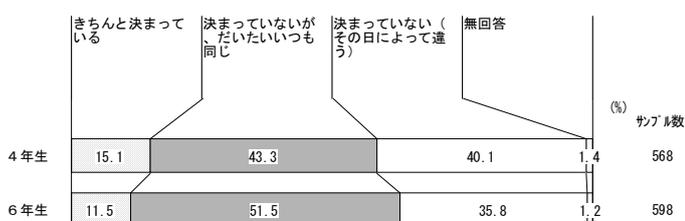
起きる時間が「きちんと決まっている」児童は 39.1%、「決まっていないが、だいたいいつも同じ」が 45.6%で、概ね 8 割強の児童は、決まった時間に起床している。

家で食事をする時間が「きちんと決まっている」児童は 21.7%、「決まっていないが、だいたいいつも同じ」が 55.2%で、概ね 7 割強の児童は、決まった時間に食事をしている。

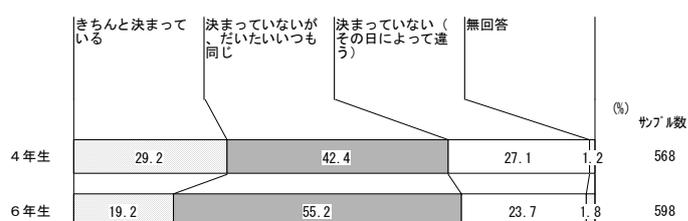
学年別に見ると、いずれの項目においても4年生の方が「きちんと決まっている」割合が高い。



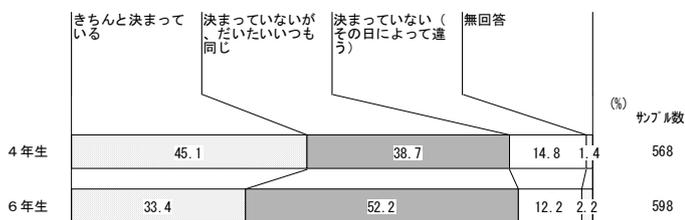
【学年別：勉強する時間】



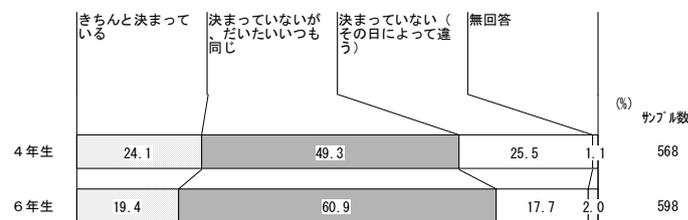
【学年別：寝る時間】



【学年別：起きる時間】



【学年別：食べる時間】



前回調査と比較すると、「勉強する時間」「寝る時間」「起きる時間」「食べる時間」のいずれについても、傾向に大きな差は見られない。

参考 平成 20 年調査結果

n	勉強する時間				寝る時間				
	きちんと決まっている	決まってい ないが、大 体いつも同 じ	決まってい ない(その 日によって 違う)	無回答	きちんと決 まっている	決まってい ないが、大 体いつも同 じ	決まってい ない(その 日によって 違う)	無回答	
TOTAL	1,112	12.7%	40.7%	42.6%	4.0%	23.5%	47.2%	25.3%	4.0%
4年生	545	15.0%	38.0%	42.2%	4.8%	30.8%	38.7%	25.3%	5.1%
6年生	563	10.3%	43.5%	43.2%	3.0%	16.5%	55.8%	24.9%	2.8%

n	起きる時間				食べる時間				
	きちんと決まっている	決まってい ないが、大 体いつも同 じ	決まってい ない(その 日によって 違う)	無回答	きちんと決 まっている	決まってい ないが、大 体いつも同 じ	決まってい ない(その 日によって 違う)	無回答	
TOTAL	1,112	40.6%	42.4%	12.8%	4.1%	21.8%	50.2%	23.2%	4.9%
4年生	545	47.7%	33.6%	13.6%	5.1%	24.8%	47.0%	21.7%	6.6%
6年生	563	33.9%	51.2%	11.9%	3.0%	18.7%	53.6%	24.7%	3.0%

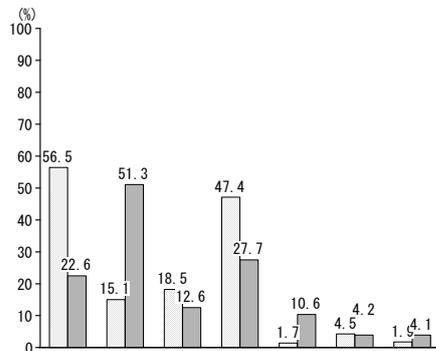
(3) 学校以外の過ごし方

問 13 学校の授業以外では、主にどうやって過ごすことが多いですか。

学校が終わってからの過ごし方としては、「友だちと遊ぶ」児童が 56.5%と最も多く、次いで「塾や習い事に行く」が 47.4%で続いている。

学校が休みの日の過ごし方としては、「家族と一緒に過ごす」児童が 51.3%と最も多く、次いで「塾や習い事に行く」が 27.7%で続いている。

□ 平日 (学校が終わってから) n=1,166
■ 休日 (学校が休みの日) n=1,166



	n	1	2	3	4	5	6	7
【学年別：4年生】								
1 平日 (学校が終わってから)	568	54.9	15.0	17.4	46.7	1.8	6.2	1.4
2 休日 (学校が休みの日)	568	21.5	57.0	12.3	20.2	10.0	3.9	4.2
【学年別：6年生】								
1 平日 (学校が終わってから)	598	58.0	15.2	19.6	48.2	1.7	3.0	2.3
2 休日 (学校が休みの日)	598	23.7	45.8	12.9	34.8	11.2	4.5	4.0

	n	1	2	3	4	5	6	7
【学年・性別：4年生男子】								
1 平日 (学校が終わってから)	291	62.5	13.4	17.2	42.3	1.7	4.8	2.4
2 休日 (学校が休みの日)	291	23.0	51.5	14.1	26.1	10.7	2.7	5.8
【学年・性別：4年生女子】								
1 平日 (学校が終わってから)	275	46.9	16.4	17.8	51.6	1.8	7.6	0.4
2 休日 (学校が休みの日)	275	20.0	62.9	10.5	13.8	9.5	5.1	2.5
【学年・性別：6年生男子】								
1 平日 (学校が終わってから)	304	61.8	15.1	19.1	47.7	2.3	3.6	2.6
2 休日 (学校が休みの日)	304	26.6	39.5	14.8	38.5	11.5	4.6	5.6
【学年・性別：6年生女子】								
1 平日 (学校が終わってから)	292	53.8	15.4	20.2	49.0	1.0	2.1	2.1
2 休日 (学校が休みの日)	292	20.9	52.1	11.0	31.2	11.0	4.5	2.4

(4) 友だちとの外出先

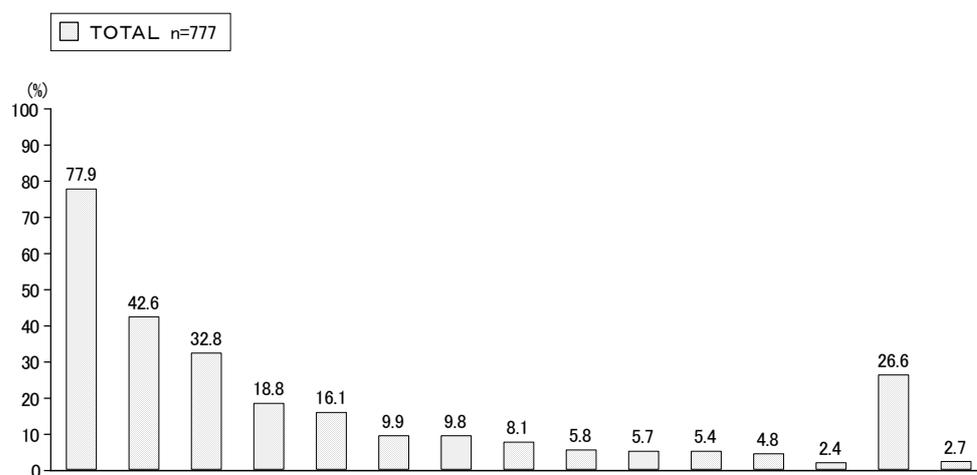
問 14 友だち同士で外出するときは、どのようなところに行きますか。(〇はいくつでも)

※ 平日または休日に「友だちと遊ぶ」と回答した者

友だち同士で外出する際の外出先(目的)としては、「公園」が77.9%と最も多く、次いで「児童館・児童センター」(42.6%)、「校庭」(32.8%)と続いている。

学年別に見ると、「買い物」を外出先としてあげている児童の割合は、4年生では9.7%だが、6年生では22.3%と高くなっている。

学年・性別に見ると、6年生男子は、「児童館・児童センター」に行く児童の割合が51.7%と、女子(32.6%)に比べて高い。反対に、6年生女子は、「買い物」に行く児童の割合が33.1%と、男子(12.8%)に比べて高い。また、友だち同士で「図書館」を利用する児童の割合は、学年によらず男子より女子のほうが高い傾向にある。



問1 学年	n	6	1	7	2	8	4	3	10	5	12	13	11	9	14	15
		公園	児童館・児童センター	校庭	図書館	買い物	スポーツ施設	公民館	ゲームセンター	会館 コミュニティセンターや地区	遊園地	多摩六都科学館	映画館	カラオケ	その他	無回答
0 TOTAL	777	77.9	42.6	32.8	18.8	16.1	9.9	9.8	8.1	5.8	5.7	5.4	4.8	2.4	26.6	2.7
1 4年生	383	81.7	42.6	36.3	20.9	9.7	11.2	8.1	7.0	5.2	5.7	7.3	4.2	1.8	28.2	2.6
2 6年生	394	74.1	42.6	29.4	16.8	22.3	8.6	11.4	9.1	6.3	5.6	3.6	5.3	3.0	25.1	2.8

【学年・性別】

1 小学4年生男子	215	77.2	43.7	35.8	11.6	7.9	14.9	7.9	8.4	6.0	5.1	8.4	4.2	1.9	26.5	3.7
2 女子	167	87.4	41.3	37.1	32.9	12.0	6.6	8.4	5.4	4.2	6.6	6.0	4.2	1.8	30.5	1.2
3 小学6年生男子	211	73.0	51.7	34.1	12.3	12.8	10.9	14.7	9.0	10.0	3.3	3.3	4.3	2.4	21.8	1.9
4 女子	181	75.7	32.6	24.3	21.5	33.1	6.1	7.7	9.4	2.2	8.3	3.9	6.6	3.9	29.3	3.3

(5) 自宅での過ごし方

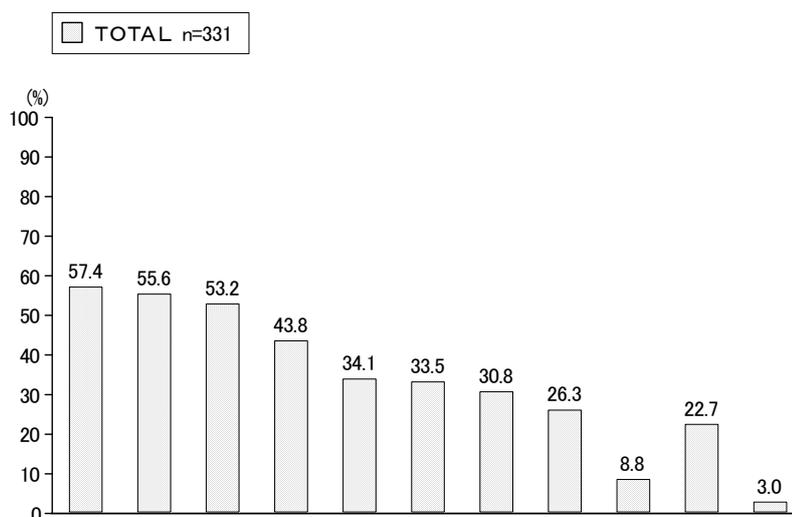
問 15 何をして過ごしていますか。(○はいくつでも)

※ 平日または休日に「自宅でひとりで過ごす」と回答した者

自宅での過ごし方としては、「テレビやDVDなどを見る」(57.4%)、「ゲームをする」(55.6%)、「勉強する」(53.2%)がそれぞれ半数以上と多くなっている。

学年別に見ると、「音楽を聴く」児童は4年生19.9%、6年生45.7%、また「パソコンやインターネットをする」児童は4年生23.1%、6年生37.7%と、4年生から6年生で大きく割合が高くなっていることがわかる。また、「特に何もせず、ぼーっとしたり、寝たりしている」と回答した児童が、4年生では16.7%だったが、6年生では28.0%と高くなっている。

学年・性別に見ると、「ゲームをする」児童の割合は、学年によらず男子のほうが高い傾向にある。反対に、「読書をする」や「家事や家の仕事の手伝いをする」児童の割合は、女子のほうが高い傾向にあることがわかる。



問1 学年	n	1	3	6	5	4	7	2	8	9	10	11
		テレビやDVDなどを見る	ゲームをする	勉強をする	マンガや雑誌を読む	読書をする	音楽を聴く	パソコンやインターネットをする	家事や家の仕事の手伝いをする	その他	特に何もせず、ぼーっとしたり寝たりしている	無回答
0 TOTAL	331	57.4	55.6	53.2	43.8	34.1	33.5	30.8	26.3	8.8	22.7	3.0
1 4年生	156	54.5	52.6	56.4	41.7	32.7	19.9	23.1	22.4	10.9	16.7	3.2
2 6年生	175	60.0	58.3	50.3	45.7	35.4	45.7	37.7	29.7	6.9	28.0	2.9

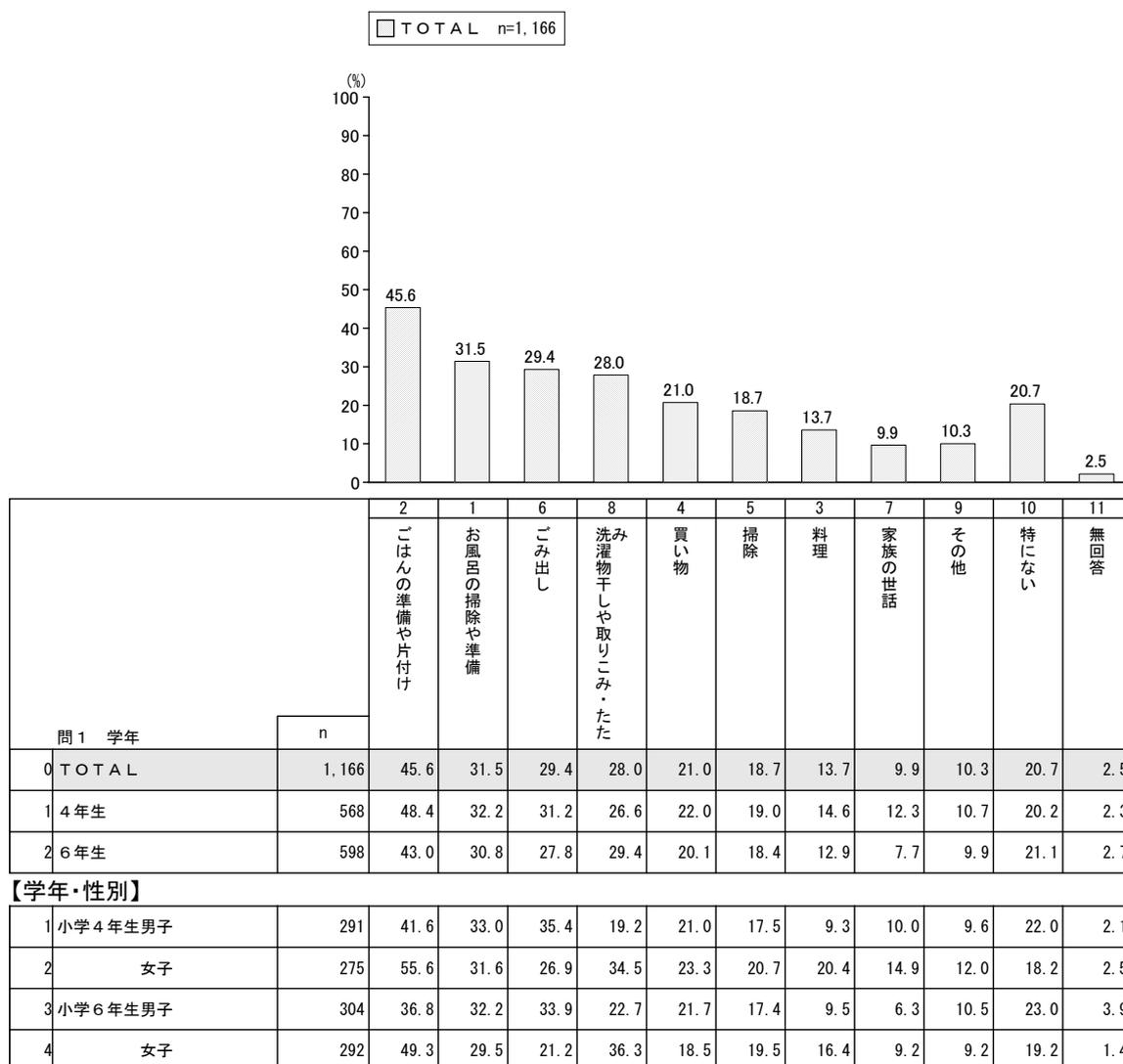
【学年・性別】

1 小学4年生男子	81	53.1	67.9	48.1	44.4	21.0	16.0	25.9	12.3	11.1	17.3	1.2
2 女子	75	56.0	36.0	65.3	38.7	45.3	24.0	20.0	33.3	10.7	16.0	5.3
3 小学6年生男子	95	51.6	66.3	45.3	38.9	27.4	32.6	33.7	23.2	6.3	24.2	2.1
4 女子	80	70.0	48.8	56.3	53.8	45.0	61.3	42.5	37.5	7.5	32.5	3.8

(6) 家の中で手伝えること

問 16 家の中で決まって手伝えることがありますか。(〇はいくつでも)

家の中で手伝えることとしては、「ごはんの準備や片付け」をあげる児童が 45.6%と最も多く、次いで「お風呂の掃除や準備」(31.5%)、「ごみ出し」(29.4%)と続いている。



前回調査と比較すると、上位3項目（「ごはんの準備や片付け」「お風呂の掃除や準備」「ごみ出し」）はいずれも微増している。なお、「特にない」は、前回 21.5%、今回 20.7%となっており、家の中で手伝いをしている児童の割合は、ほぼ変わらない状況となっている。

参考 平成 20 年調査結果 (複数回答)

	n	お風呂の掃除や準備	ごはんの準備や片付け	料理	買い物	掃除	ごみだし	家族の世話	洗濯物干しやとりこみ・たたみ	特にない	その他	無回答
TOTAL	1,112	27.8%	44.2%	11.0%	19.2%	15.6%	24.8%	11.4%	20.0%	21.5%	11.6%	0.8%
4年生	545	27.9%	40.9%	10.5%	18.2%	13.4%	24.4%	12.7%	16.7%	19.6%	12.1%	1.5%
6年生	563	27.7%	47.2%	11.5%	20.1%	17.8%	25.0%	10.3%	23.1%	23.3%	11.2%	0.2%

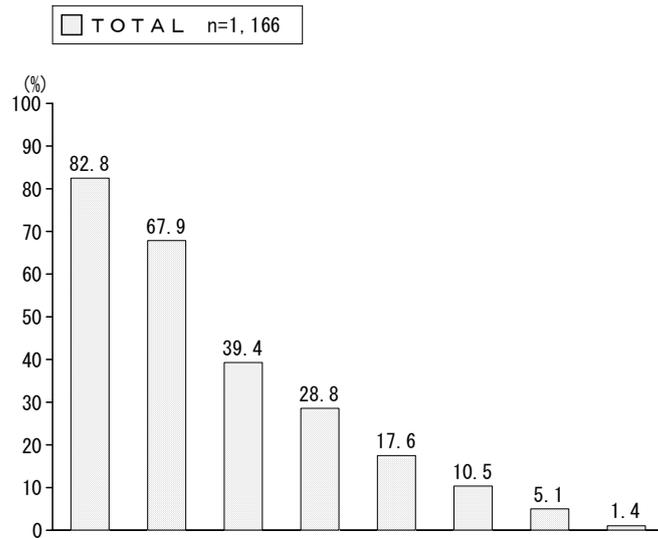
(7) 家族と話す内容

問 17 あなたは、以下のような内容について家族と話すことがありますか。(〇はいくつでも)

家族と話す内容としては、「学校であったこと」をあげる児童が 82.8%と最も多く、次いで「友だちのこと」(67.9%)、「テレビや新聞で取り上げられていること」(39.4%)と続いている。

学年・性別に見ると、「家族と話すことはほとんどない」と回答した児童の割合は、女子に比べて男子のほうが高い傾向にある。特に女子では、4年生でも6年生でも約9割が「学校であったこと」を家族と話すことがあることがわかる。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しくないと回答した児童は、「学校であったこと」や「友だちのこと」を話す割合が低く、学校が楽しいと回答した児童に比べ「家族と話すことはほとんどない」が16.7%と高い割合である。



問 1 学年	n	1	2	5	3	4	6	7	8
		学校であったこと	友だちのこと	テレビや新聞で取り上げられていること	進路や将来のこと	地震などの災害に関する事	その他	家族と話すことはほとんどない	無回答
0 TOTAL	1,166	82.8	67.9	39.4	28.8	17.6	10.5	5.1	1.4
1 4年生	568	81.9	66.9	34.9	26.8	17.3	13.9	4.9	1.4
2 6年生	598	83.6	68.9	43.6	30.8	17.9	7.4	5.2	1.3

【学年・性別】

1 小学4年生男子	291	74.9	58.4	34.4	29.2	19.9	14.1	7.6	2.4
2 女子	275	89.1	75.6	35.6	24.4	14.5	13.8	2.2	0.4
3 小学6年生男子	304	76.3	59.9	41.8	25.7	15.8	8.6	6.6	2.0
4 女子	292	91.1	78.1	45.9	36.0	20.2	6.2	3.8	0.7

【学校の楽しさ別】

1 楽しい(とても楽しい+まあ楽しい)	1,064	84.1	69.4	40.0	28.9	18.0	10.0	4.0	1.3
2 楽しくない(あまり楽しくない+楽しくない)	96	67.7	53.1	31.3	30.2	12.5	16.7	16.7	2.1
3 無回答	6	83.3	50.0	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0

※ 学校の楽しさ別で10ポイント以上差がある項目に△▽を付けています

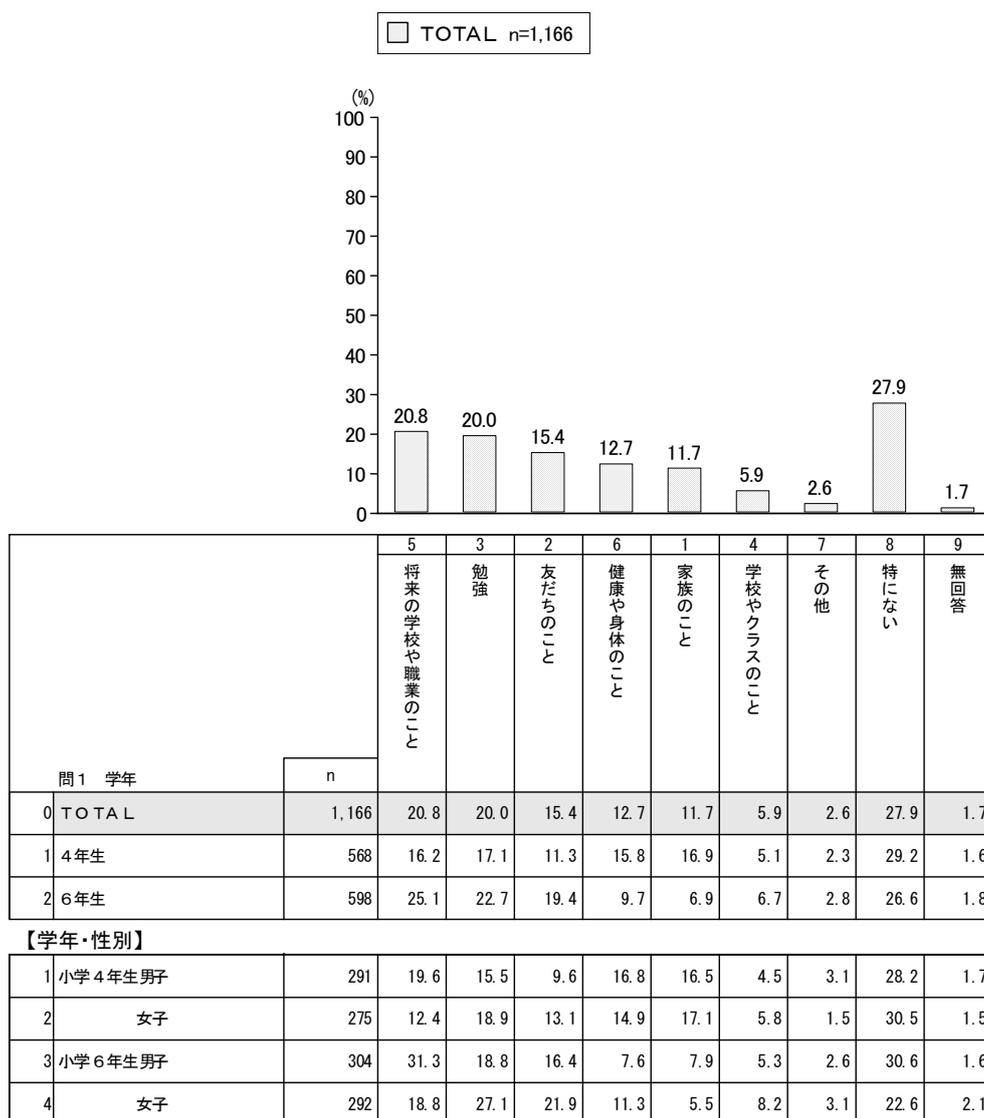
(8) ふだんの生活で気になっていること

問 18 ふだんの生活で、いちばん気になっていることは何ですか。

ふだんの生活で気になっていることとしては、「将来の学校や職業のこと」(20.8%)と「勉強」(20.0%)がそれぞれ約2割と多くなっている。なお、気になっていることが「特にない」と回答した児童は27.9%で、約7割の児童には何かしら気になっていることがある。

学年別に見ると、「家族のこと」が気になっている児童の割合は、4年生(16.9%)に比べて6年生(6.9%)で低く、「将来の学校や職業のこと」(4年生16.2%、6年生25.1%)や「勉強」(4年生17.1%、6年生22.7%)などは、6年生のほうがより高い割合であげられている。

学年・性別に見ると、「将来の学校や職業のこと」が気になっている児童の割合は、6年生男子で特に高く31.3%となっている。また、「勉強」は6年生女子で高く、27.1%である。「友だちのこと」は4年生よりも6年生のほうが気になっている児童の割合が高く、また、男子よりも女子のほうが高い傾向にある。



前回調査と比較すると、「将来の学校や職業のこと」、「勉強のこと」が気になる割合が高くなっている。

参考 平成20年調査結果 (複数回答)

	n	家族のこと	友達のこと	勉強	学校やクラスのこと	将来の学校や職業のこと	健康や身体のこと	その他	特にない	無回答
TOTAL	1,112	8.7%	12.9%	15.3%	5.9%	13.6%	7.8%	2.0%	31.2%	2.6%
4年生	545	10.8%	9.2%	13.8%	6.6%	10.6%	8.1%	2.2%	35.4%	3.3%
6年生	563	6.7%	16.3%	16.9%	5.3%	16.5%	7.6%	1.8%	26.8%	2.0%

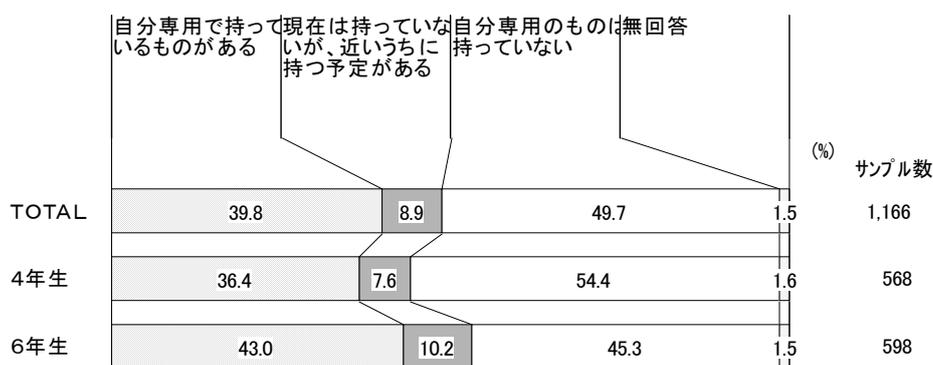
(9) 携帯電話やパソコン等の所持状況

問 19 自分専用の携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。(〇は1つ)

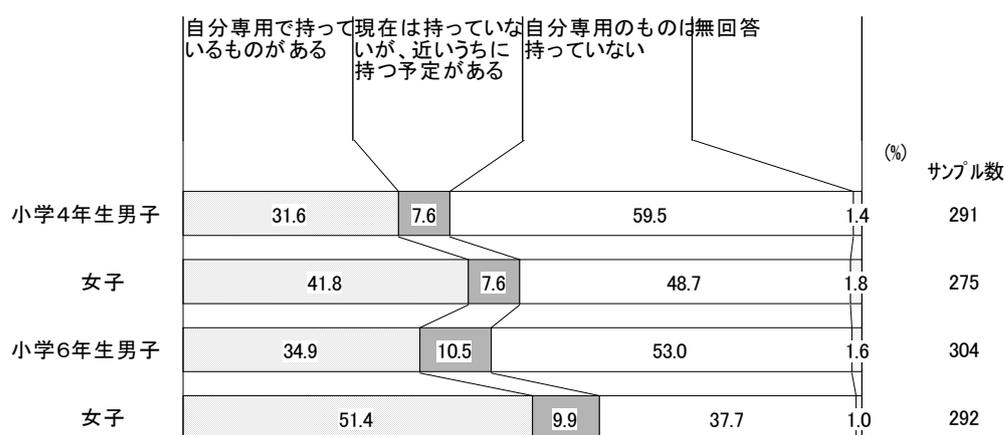
携帯電話やスマートフォン、パソコンに関して、「自分専用で持っているものがある」と回答した児童は、約4割(39.8%)である。

学年別に見ると、「自分専用で持っているものがある」児童の割合は、4年生では36.4%、6年生では43.0%となっている。

学年・性別に見ると、6年生女子では「自分専用で持っているものがある」と回答した児童が半数を超えている。



【学年・性別】



(10) 携帯電話等の使用時間

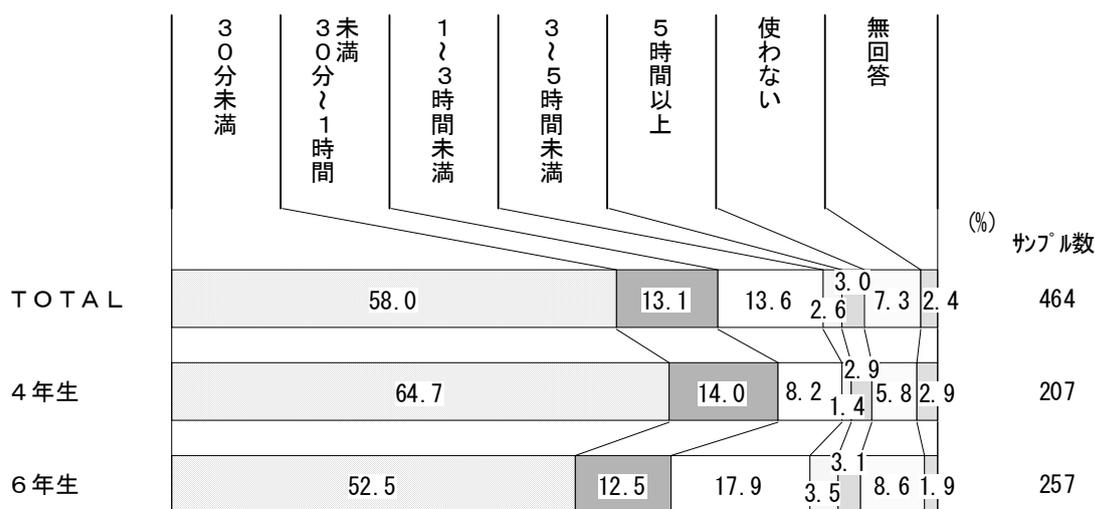
問 20 1日にどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使いますか。「平日」「休日」それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

※「自分専用の携帯電話等を持っている」と回答した者

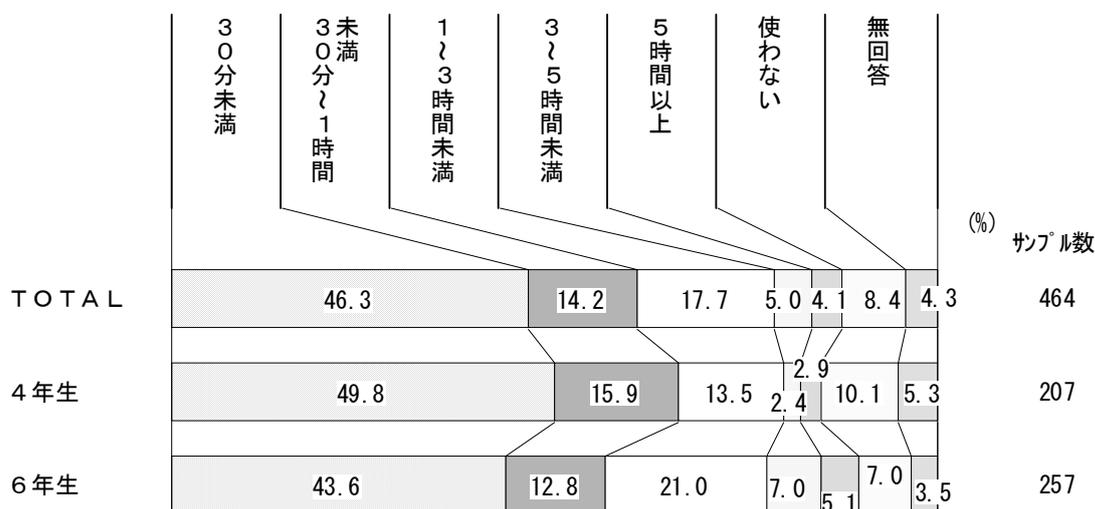
携帯電話やスマートフォン、パソコンの使用時間は、1日「30分未満」が平日では58.0%、休日では46.3%を占めている。

学年別に見ると、4年生に比べて6年生のほうが使用時間が長い傾向にあり、平日で1日1時間以上使用している児童の割合は、4年生12.5%、6年生24.5%、休日で1日1時間以上使用している割合は、4年生18.8%、6年生33.1%となっている。

【平日】



【休日】



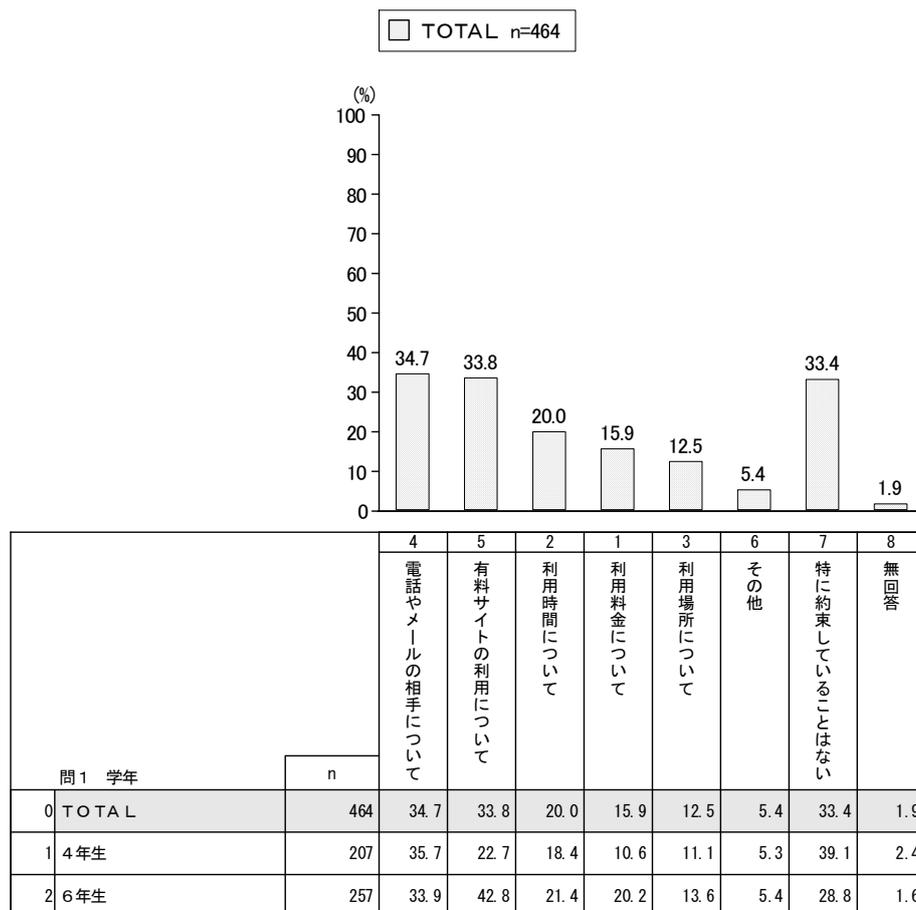
(11) 携帯電話等の使い方についての家族との約束

問 21 使い方について、家族と約束をしていることはありますか。(〇はいくつでも)

※ 「自分専用の携帯電話等を持っている」と回答した者

携帯電話やスマートフォン、パソコンの使い方については、33.4%の児童が「特に約束していることはない」と回答しており、6割強の児童は、家族と何らかの約束をしていることがわかる。約束の内容として多いのは「電話やメールの相手について」(34.7%)と「有料サイトの利用について」(33.8%)で、それぞれ3割以上の児童が約束をしている。

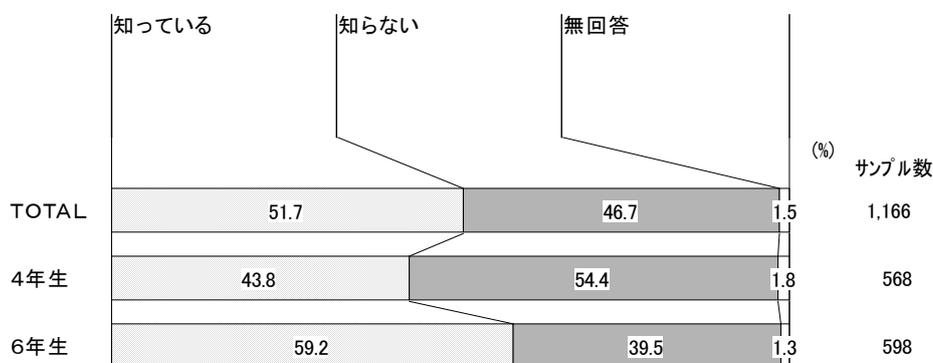
学年別に見ると、「有料サイトの利用について」家族と約束している児童の割合は、4年生では22.7%だが、6年生では42.8%となっている。



(12) 公民館の認知状況

問 22 あなたは公民館がどんなところか知っていますか。(○は1つ)

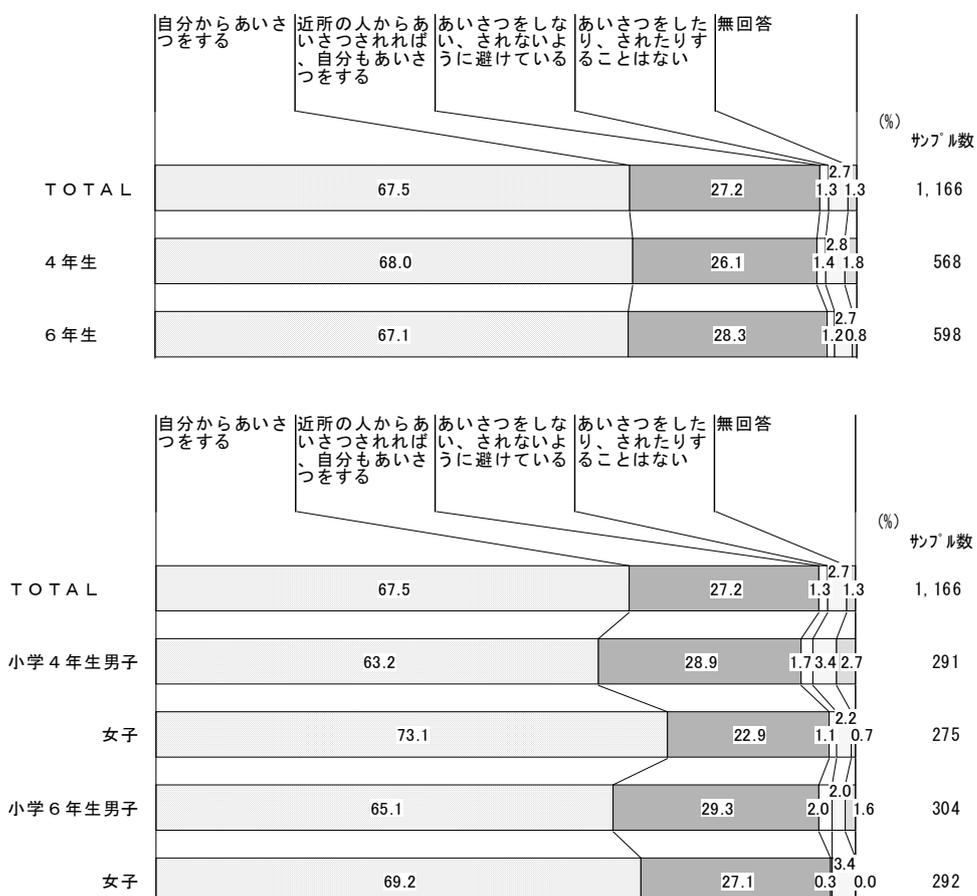
公民館がどんなところか「知っている」児童は51.7%で、「知らない」(46.7%)をやや上回っている。学年別に見ると、6年生では「知っている」児童が約6割(59.2%)である。



(13) 近所とのつきあいの程度

問 23 ふだん、近所の人とはあいさつをしますか。(○は1つ)

近所の人に「自分からあいさつをする」児童は67.5%、「近所の人からあいさつされれば、自分もあいさつをする」が27.2%となっており、9割以上の児童は近所の人にあいさつをしている状況である。

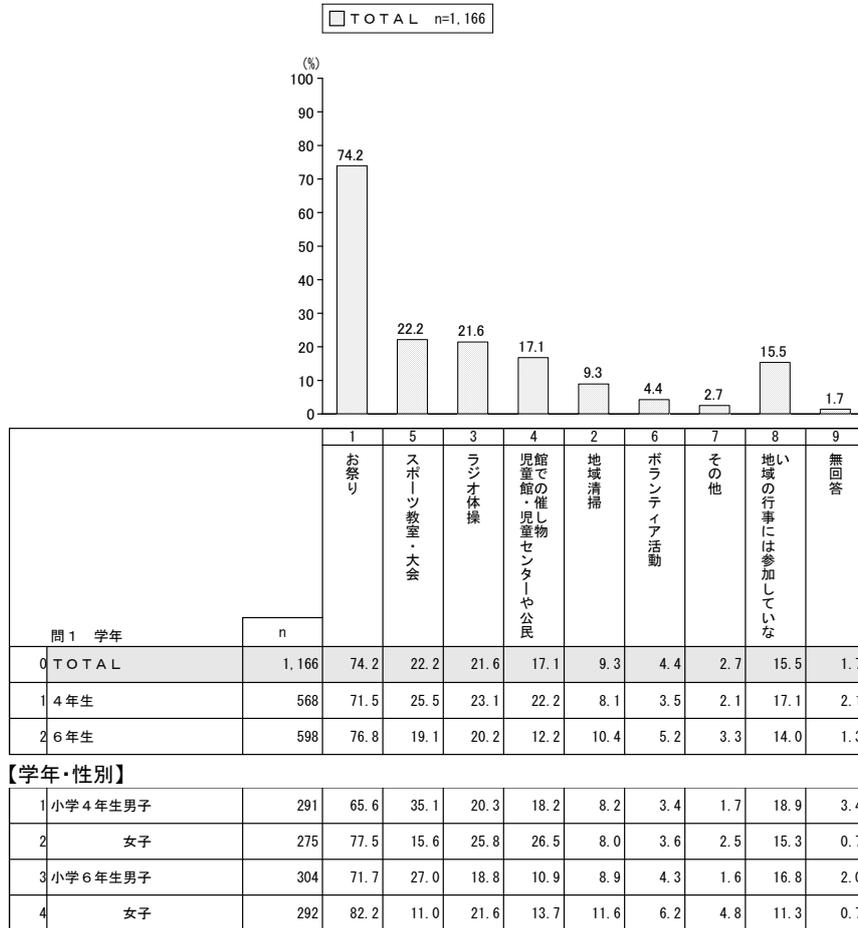


(14) 地域行事等への参加状況

問 24 以下のような地域の行事などに参加していますか。(〇はいくつでも)

参加している地域行事としては、「お祭り」(74.2%)をあげる児童が最も多く、次いで「スポーツ教室・大会」(22.2%)、「ラジオ体操」(21.6%)と続いている。

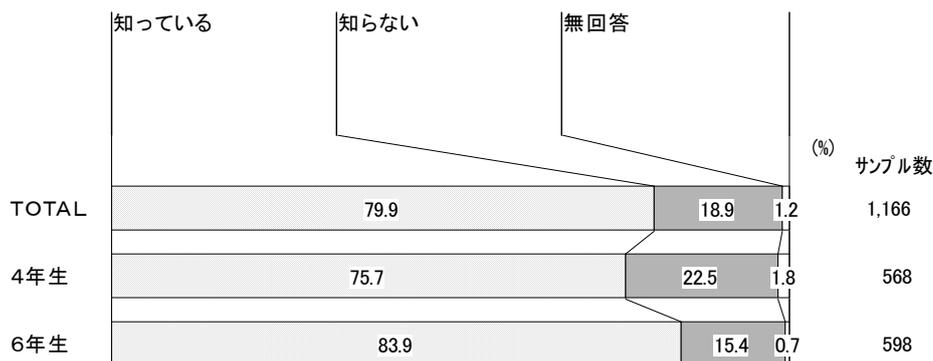
学年別に見ると、「児童館・児童センターや公民館での催し物」に参加している児童は、4年生では22.2%見られるが、6年生では12.2%となっている。



(15) 登下校時の避難場所の認知状況

問 25 あなたは、登下校の途中などに地震などの災害が起きたときに、どこに避難すればいいか知っていますか。(〇は1つ)

登下校中の避難場所を「知っている」児童は、約8割(79.9%)である。



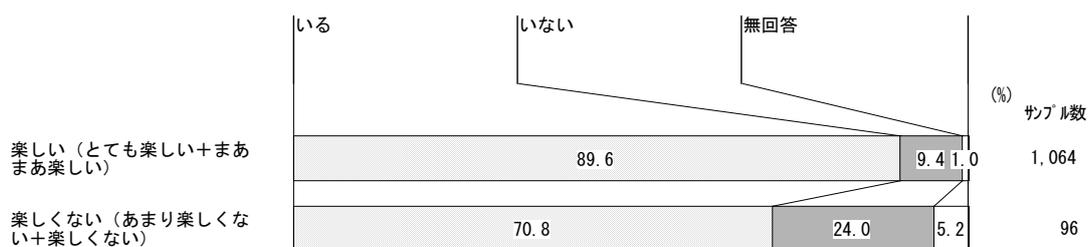
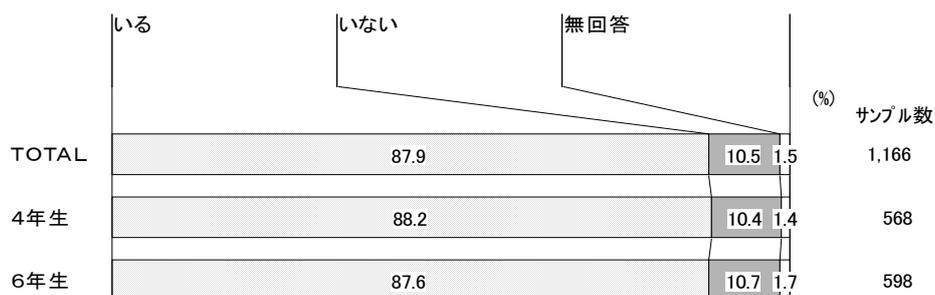
4 自分自身の意識や行動

(1) 相談相手の有無

問 26 あなたは、いやなことやつらいことがあったとき、相談できる人がいますか。(○は1つ)

いやなことやつらいことがあったときに、87.9%の児童には相談できる人が「いる」が、約1割は「いない」(10.5%)と回答している。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しくないと回答した児童の24.0%は相談できる人が「いない」と回答しており、学校が楽しいと回答した児童よりも高い割合となっている。



(2) 相談できる相手

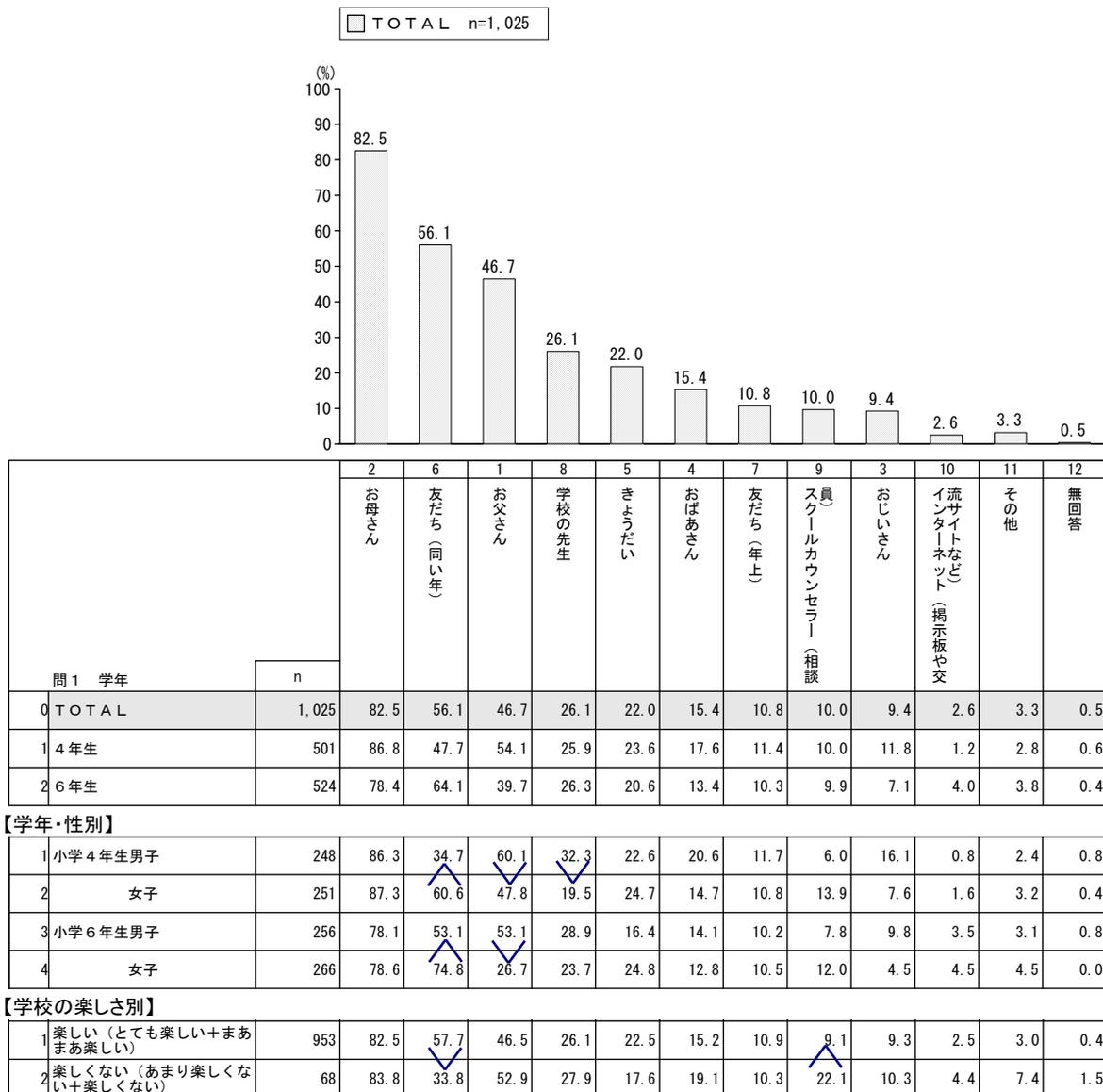
問 27 相談できる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

相談できる相手としては、「お母さん」が 82.5%と最も多く、次いで「友だち (同い年)」(56.1%)、「お父さん」(46.7%) と続いている。

学年別に見ると、「お母さん」や「お父さん」などの家族は、4年生に比べて6年生では低くなっているが、「友だち (同い年)」を相談相手とする児童の割合は、4年生(47.7%)に比べ6年生(64.1%)で高くなっている。また、学年に限らず、概ね4人に1人は「学校の先生」をあげ、約1割は「スクールカウンセラー (相談員)」をあげている。

学年・性別に見ると、「お母さん」に相談する児童の割合は、4年生も6年生も、男子・女子でほとんど差はないが、「お父さん」についてはどちらの学年も女子が低く、6年生女子では 26.7%にとどまっている。また、「学校の先生」に相談する児童の割合は、4年生・6年生ともに女子に比べて男子が高い。反対に、「友だち (同い年)」に相談する児童の割合は、4年生・6年生ともに男子に比べて女子が高くなっている。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しくないと回答した児童は、学校が楽しいと回答した児童と比較して「友だち (同い年)」に相談する割合が低く、「スクールカウンセラー (相談員)」に相談する割合が高い。



※ 男子・女子、学校の楽しさ別で 10ポイント以上差がある項目に△▽を付けています。

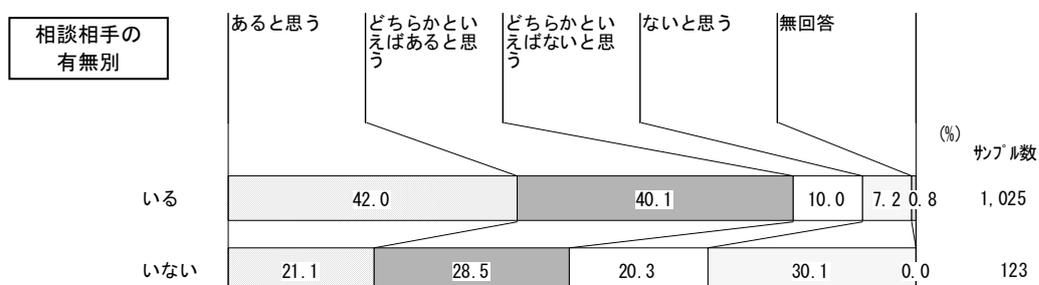
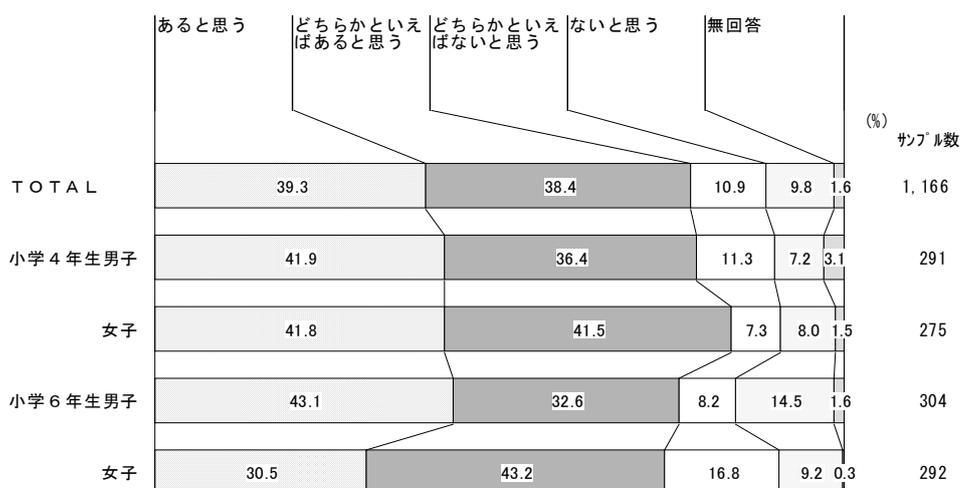
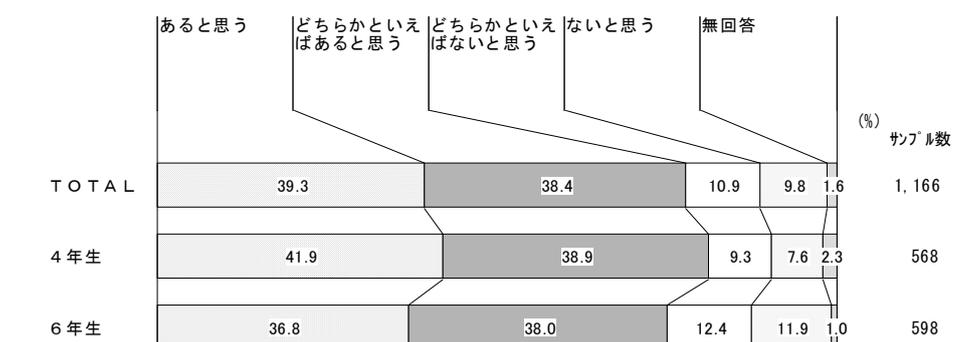
(3) 自分に自信のもてるところ

問 28 あなたは、自分に自信のもてること(よいところ)はありますか。(○は1つ)

自分に自信のもてること(よいところ)が「あると思う」と回答した児童は 39.3%、「どちらかといえばあると思う」は 38.4%で、合わせると 8 割近くの児童は自信のもてるところがある一方、残りの約 2 割の児童は自信のもてることはない(「ないと思う」9.8%、「どちらかといえばないと思う」10.9%)と考えていることがわかる。

学年別に見ると、自信のもてない児童(「ないと思う」+「どちらかといえばないと思う」)の割合は、4 年生では 16.9%だが、6 年生では 24.3%と 7.4 ポイント増加している。

相談相手の有無別に見ると、相談相手がいないと回答した児童は自分に自信のもてない割合が高く、「ないと思う」と「どちらかといえばないと思う」を合わせると 50.4%を占める。

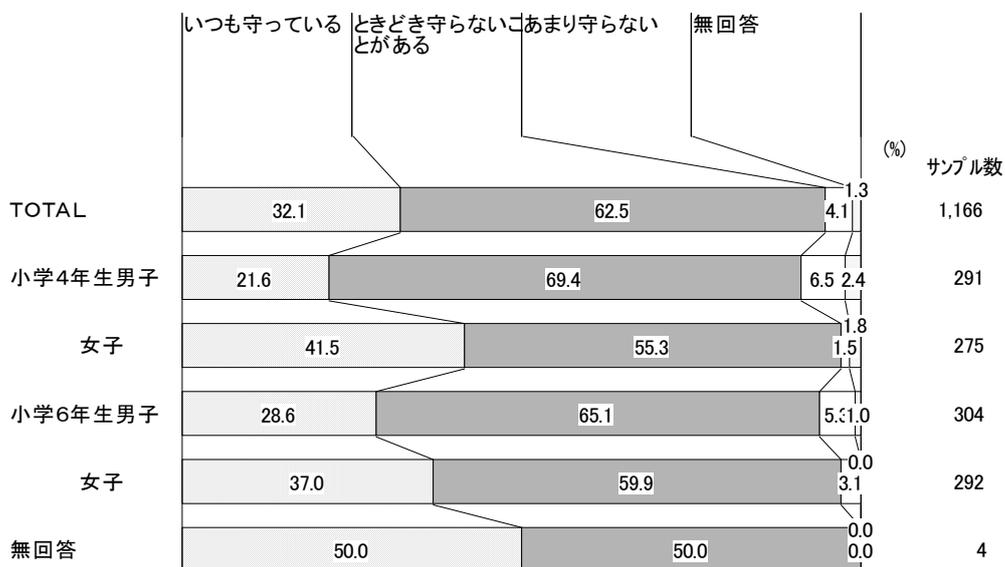


(4) 決まりや約束に対する意識・行動

問 29 あなたは、学校や家での決まりや約束を守っていますか。(○は1つ)

学校や家での決まりや約束を「いつも守っている」という児童は32.1%で、62.5%は「ときどき守らないことがある」と回答している。

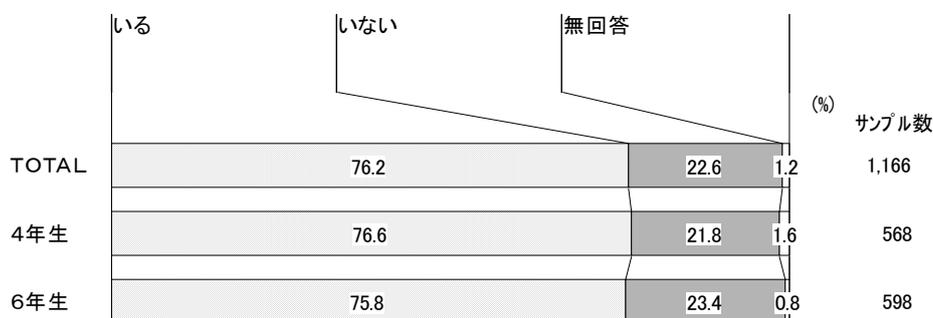
学年・性別に見ると、「いつも守っている」という児童の割合は、学年によらず男子よりも女子のほうが高くなっている。



(5) 尊敬する人や目標にしている人

問 30 尊敬する人や目標にしている人はいますか。(○は1つ)

76.2%の児童には、尊敬する人や目標にする人が「いる」(76.2%)。

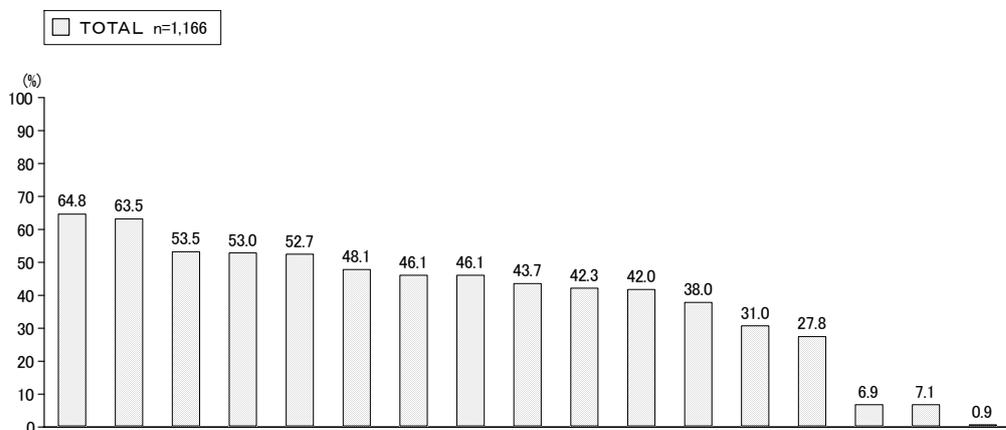


(6) 将来なりたい人物像

問 31 将来はどのような人になりたいですか。(○はいくつでも)

将来なりたい人物像としては、「家族や友だちを大切にする人」と回答した児童が 64.8%と最も多く、次いで「やさしく思いやりのある人」(63.5%)、「信頼される人」(53.5%)と続いている。

学年別に見ると、「信頼される人」になりたいと回答した児童の割合は、4年生 44.9%、6年生 61.7%となっており、特に6年生で高くなっている。



問 1 学年	n	人物像																
		6	5	13	9	10	4	2	12	3	7	14	11	8	1	15	16	17
0 TOTAL	1,166	64.8	63.5	53.5	53.0	52.7	48.1	46.1	46.1	43.7	42.3	42.0	38.0	31.0	27.8	6.9	7.1	0.9
1 4年生	568	63.4	59.3	44.9	53.0	50.2	47.9	43.3	44.7	39.3	41.7	39.1	35.6	28.5	23.2	7.2	7.7	0.9
2 6年生	598	66.1	67.4	61.7	53.0	55.2	48.3	48.8	47.5	48.0	42.8	44.8	40.3	33.4	32.1	6.5	6.5	1.0

(7) 将来就きたい仕事の有無

問 32 将来やりたい仕事はありますか。(○は1つ)

将来「やりたい仕事ははっきり決まっている」児童は 35.8%、「やりたい仕事は何となく決まっている」児童は 29.4%となっており、6割以上の児童は、自分の就きたい仕事はある程度決めている状況である。

	やりたい仕事 がはっきり決 まっている	やりたい仕事 が何となく決 まっている	やりたい仕事 を考えている が、まだ決ま っていない	やりたい仕事 について、考 えたことがな い	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	35.8	29.4	27.6	5.71.5			1,166
4年生	38.6	28.3	25.4	6.71.1			568
6年生	33.3	30.4	29.8	4.71.8			598

(8) 就きたい仕事の内容

問 33 どのような仕事をしたいと考えていますか。

※「やりたい仕事が決まっている」と回答した者

具体的にやりたい仕事についての自由記入欄を設けたところ、750名の記入があった。1人で複数の仕事を記入している児童もあり、記入件数は合計927件である。

以下、主な記入内容及び件数を掲載する。

【スポーツ関係の仕事（サッカー・野球を除く）】 80件

- ・ スポーツ選手、スポーツ関係の仕事 (35件)
- ・ テニス選手 (9件)
- ・ バレリーナ (6件)
- ・ バスケットボール選手 (4件)
- ・ 水泳選手、水泳関係の仕事 (4件) 他 22件

【サッカー関係の仕事】 89件

- ・ サッカー選手 (88件)
- ・ サッカー関係の仕事 (1件)

【野球関係の仕事】 52件

- ・ 野球選手 (51件)
- ・ 野球関係の仕事 (1件)

【デザイン、ファッション、美容・理容関係の仕事】 54件

- ・ ファッション関係の仕事・ファッションデザイナー (34件)
- ・ モデル (8件)
- ・ 美容師・理容師 (7件)
- ・ ヘアメイク・メイク関係の仕事 (4件) 他 1件

【医療関係の仕事】 50 件

- ・ 医師 (17 件)
- ・ 看護師 (16 件)
- ・ 薬剤師 (8 件)
- ・ 歯科医師 (6 件) 他 3 件

【動物・植物・自然に関する仕事】 49 件

- ・ 動物園・水族館の飼育員等 (14 件)
- ・ ペットショップ (9 件)
- ・ 獣医 (9 件) 他 17 件

【学校等の先生】 42 件

- ・ 学校の先生 (先生、国語、保健、図工等) (33 件) 他 9 件

【子どもに関する仕事】 41 件

- ・ 保育士 (28 件)
- ・ 幼稚園・保育園の先生 (13 件)

【料理や菓子づくり等に関する仕事】 41 件

- ・ パティシエ・パティシエール (29 件)
- ・ 料理人 (10 件) 他 2 件

【飲食店に関する仕事】 38 件

- ・ ケーキ店・スイーツ店・お菓子店 (16 件)
- ・ パン店 (14 件)
- ・ 寿司店 (4 件) 他 4 件

【漫画・アニメに関する仕事】 30 件

- ・ 漫画家、漫画に関する仕事 (23 件)
- ・ イラストレーター (6 件) 他 1 件

【芸能・テレビに関する仕事】 28 件

- ・ 歌手 (12 件)
- ・ 芸能人、芸能に関する仕事 (8 件)
- ・ アイドル (4 件) 他 4 件

【公務員】 25 件

- ・ 警察官 (12 件)
- ・ 公務員・国家公務員 (4 件)
- ・ 自衛官 (4 件) 他 5 件

【建築等に関する仕事】 25 件

- ・ 大工 (10 件)
- ・ 建築士 (6 件)
- ・ 建築家 (5 件)
- ・ 設計士 (2 件) 他 2 件

【音楽関係の仕事】 22 件

- ・ ピアニスト (12 件)
- ・ ピアノの先生・講師 (5 件)

-
- ・ 作曲家 (3件) 他2件
-

【学者・研究者】 19件

-
- ・ 学者、科学者、天文学者、考古学者等 (19件)
-

【ゲーム関係の仕事】 19件

-
- ・ ゲームクリエイター、ゲームを作る仕事、ゲームを作る会社 (19件)
-

【鉄道関係の仕事】 16件

-
- ・ 電車の運転手・車掌 (10件) 他6件
-

【航空・宇宙に関する仕事】 12件

-
- ・ 宇宙飛行士 (7件) 他5件
-

【ダンスに関する仕事】 13件

-
- ・ ダンサー (9件)
 - ・ ダンスの先生 (4件)
-

【俳優・声優】 13件

-
- ・ 俳優 (8件)
 - ・ 声優 (5件)
-

上記の他、以下の職業も5件以上あげられている。

- ・ 小説家、作家 (10件)
- ・ アナウンサー、ラジオのパーソナリティ (9件)
- ・ 花屋 (9件)
- ・ キャビンアテンダント、フライトアテンダント (6件)
- ・ 弁護士、裁判官 (6件)
- ・ ディズニーリゾートのキャスト (5件)

また、具体的な仕事の内容ではないが、「人・社会の役に立つ仕事」という回答が13件、「人を助ける仕事、人を守る仕事」という回答が7件見られる。

5 意見・要望等（自由回答）

※原文通りに記載

調査票の最後に、ふだんの生活で感じていることや、アンケートの感想などについての自由記入欄を設けたところ、333名の記入があった。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介する。掲載にあたっては、特に多くの児童から寄せられた意見・要望や、調査票の設問からは浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望を紹介するよう心がけた。

《学校について》

- ・ 授業でわからないことがあり、急にさされたらどうしよう、まちがっていたらどうしようと思うことがある。（6年生女子）
- ・ 勉強がむずかしい（社会）。（6年生女子）
- ・ 私は算数がヨク分からないので教えてほしいです。（6年生女子）
- ・ 社会をやる時間をもっと作ってほしい。（6年生男子）
- ・ 授業はおもしろくて、やりがいがあり、楽しい。（6年生女子）
- ・ 自分はじゅぎょうたいどをなおせるようにしたい。（6年生男子）
- ・ 理科や図工の時に机が向かいあわせなので、みんながしゃべってうるさくて先生の話が聞こえない。（6年生女子）
- ・ ふだんのクラスで、いくつか2~3このグループに分れているような気がする。私はどちらとも仲よくしているけど、どちらかのグループの人がどちらかのグループの人の悪口を言ったりするのはいやだと思った。（6年生女子）
- ・ 西東京市以外の市は移動教室や宿泊が多いけれど、西東京市は少ないので増やしてほしい。（6年生女子）

《友だちについて》

- ・ 友達や家族と一緒にいると、温かい気持ちになる。（6年生女子）
- ・ ともだちとなかよくできてよかった。（4年生男子）
- ・ 友達とたくさん遊んだりしている生活をこれからも続けていきたいと思います。（4年生女子）
- ・ 友達といるときが一番楽しい。（6年生女子）
- ・ 友達がいつも（ほとんど）いやなことを言いあっている。（4年生男子）
- ・ 最近、友だちにきらわれていると、ときどき思うことがある。（4年生女子）
- ・ 今までより、友だちともっと仲よくして、やさしくなりたい。来年はもう中学生になってしまうけれど、今までにできた友だちは大切にして、忘れないで、中学生になったら、友だちを今までよりも、もっとつくりたいです。（6年生女子）

《家族や家のことについて》

- ・ もっと手伝いをするようにしたいです。（6年生女子）
- ・ もっとかぞくの手伝いをしたいと思います。（6年生男子）
- ・ ふだんはたくさんおてつだいとかしているけど、そんなにしない日もあったりするので、なんでもやれるようになる。（4年生男子）
- ・ 習い事が多くて家族といる時間が少なくめいわくをかけている。（6年生男子）
- ・ 家のやくそくをもっと守れるようにしたいです。（4年生女子）
- ・ 一人ですばんは少しさみしい。（4年生女子）

《小学生》

- ・ たいそうの選手になりたいけれど、お母さんが習わしてくれない。ときどきいいことをやろうとしても、いつもしっばいしておこられる。それでいつもトイレで泣いている。(4年生女子)

《いじめについて》

- ・ わたしは、二人からいじめをうけています。前、先生にいったらもっとひどくなっています。体のことをいわれたり、ものをとられたりかくされたり、ちょっかいをだされています。そういうことを守ってくれる人がいたら助かります。(4年生女子)
- ・ 今はいじめにあってこまっている子たちに、そうだんしてあげるような、そうだんぶんしょうをつくってあげて、きっかけをつくってあげてください。(4年生女子)
- ・ クラスにいじめられている人がいるので、先生にはいじめている人にどう対策したらいいのか考えてもらいたいです。(6年生女子)

《心配ごとや困りごとについて》

- ・ なやみがある。(6年生女子)
- ・ このアンケートに記入してみて、なやみなどが意外にあったと思いました。(4年生女子)
- ・ お母さんからのストレスがある。(6年生男子)
- ・ 周りの人は十分信頼できるけれど、その人に迷惑をかけないようにしているので、相談はあまりできません。(6年生女子)
- ・ 私はツライことがあった時は、いつもまわりの人達に助けられているので幸せだなあ・・・と思いました。(6年生女子)
- ・ 習い事が多いのでいそがしくてあまりねれないけど、どれも大好きでやめられない。けれども、やめなければいけないと感じている。(4年生女子)
- ・ いつもクラスみんなに迷わくをかけていないかが心配。(無理して遊んでくれたり、手伝ってくれたり)(6年生男子)
- ・ 自分に自信がもてない。(6年生女子)
- ・ ふだんの生活でストレスを感じている。(6年生女子)

《今回のアンケートについて》

- ・ 自分が友達に言えないことをこのアンケートに全部書いてあるから自分が言いたいことをかけたからすっきりした。(4年生女子)
- ・ こういうアンケートをいつもしてくれるといろいろ思っていることなどが話せていい。(6年生女子)
- ・ 先生にはしょうじきにいけないときがあるけどこのアンケートだとなんでも言える。(4年生男子)
- ・ 自分の名前を書かなくていいから自由に書けました。(6年生女子)
- ・ このアンケートは、少しわからないところがあったけど、かけました。(4年生男子)
- ・ アンケートは時間がかかる。(4年生男子)
- ・ ぼくは、これをやってもっと、他の人の立場になって考えたいと思った。(4年生男子)
- ・ 自分の将来を考えることができて良かったです。(6年生男子)

《将来について》

- ・ 人のために役に立てる人になりたいと思いました。(6年生男子)
- ・ 自分のゆめをあきらめないでがんばろうと思います。(4年生女子)
- ・ しょうらいになったらかぞくやちいきの人を助けたいです。(4年生男子)

- ・ 家族や友だちを大切にできる人にはなりたいと思いました。(4年生女子)

《その他》

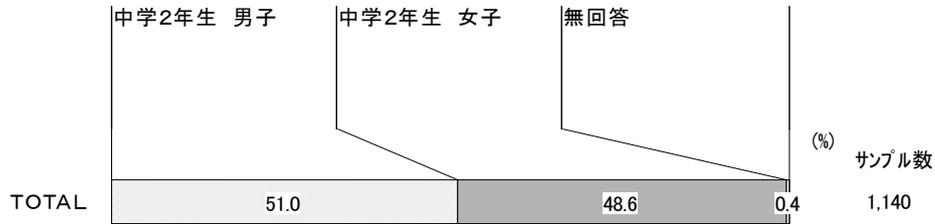
- ・ ぼくは、おこづかいをもらったらすぐつかい、すぐなくなります。もっとお金の使い方を学び、お金を稼ぐのはどんなにむずかしいか感じたいです。(6年生男子)
- ・ 1度でいいからまる1日自由なことしかやらない日をつくりたい。(6年生女子)
- ・ スポーツセンターのプールの料金をもう少し安くしてもらえるとプールへもっと多くいけて水えいがうまくなる。(4年生女子)
- ・ おまつりがあればいいのに。(4年生男子)
- ・ 図書館にもっと本をふやしてほしい。(4年生女子)
- ・ 登下校の時にまだけむりが出ているタバコがあることをどうにかしてほしい。(4年生女子)
- ・ もうちょっとのびのびと生活したい。(6年生女子)
- ・ 私は学校が好きです。(6年生女子)

1 基本的な属性

(1) 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

性別の構成は、男子 51.0%、女子 48.6%である。



(2) 通っている中学校

問2 どの中学校に通っていますか。(○は1つ)

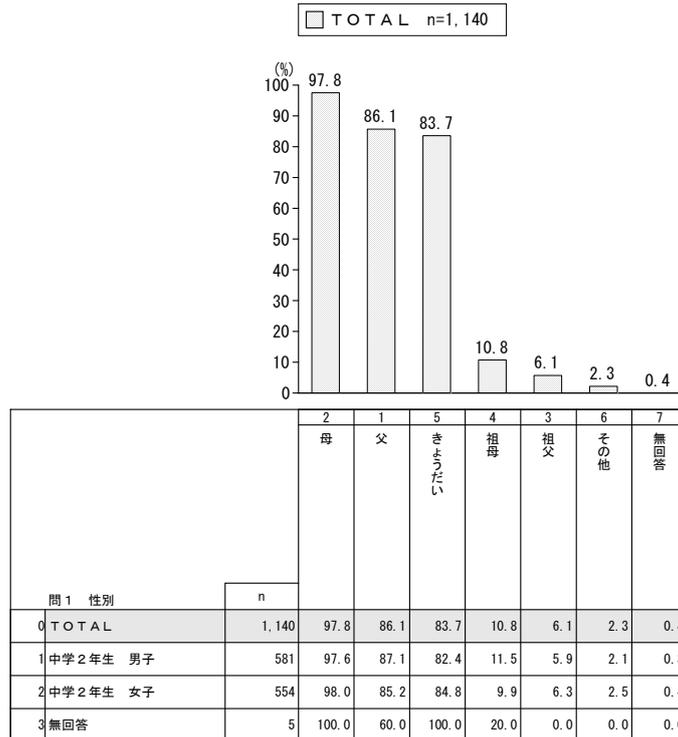
学校の内訳は、以下の通りである。

	田無第一	保谷	田無第二	ひばりが丘	田無第三	青嵐	柳沢	田無第四	明保
人数	146	123	114	129	131	147	86	142	122
(内訳)男子	79	60	65	61	60	66	48	73	69
女子	67	63	49	65	71	79	38	69	53
無回答	-	-	-	3	-	2	-	-	-
構成比	12.8%	10.8%	10.0%	11.3%	11.5%	12.9%	7.5%	12.5%	10.7%

(3) 同居家族

問3 一緒に住んでいる人は誰ですか。(○はいくつでも)

同居家族は、「母」が97.8%、「父」が86.1%、「きょうだい」が83.7%である。

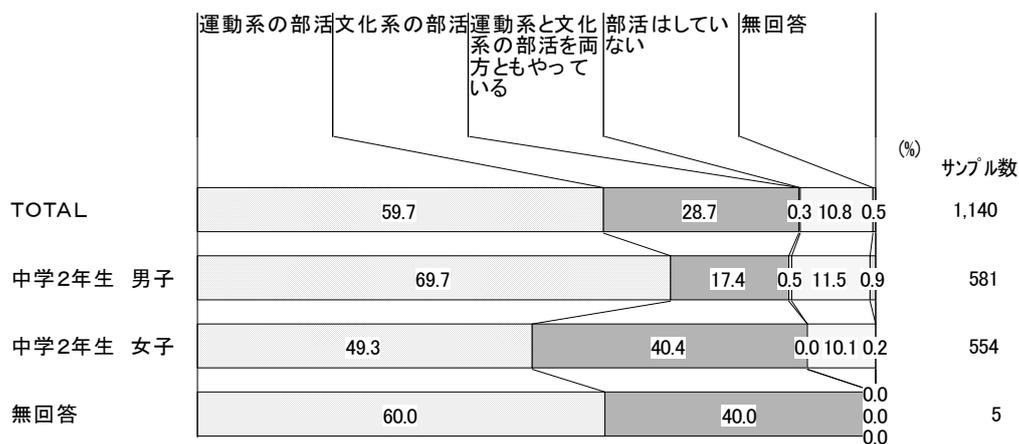


(4) 部活動の状況

問4 部活動は何をしていますか。(○は1つ)

「運動系の部活」をしている生徒が約6割(59.7%)、「文科系の部活」をしている生徒が約3割(28.7%)で、約9割の生徒は何らかの部活動をしている。

性別に見ると、「運動系の部活」をしている生徒は、男子では約7割(69.7%)、女子では約5割(49.3%)となっている。



(5) 部活動の活動時間

問5 一日何時間くらい部活動をしていますか。

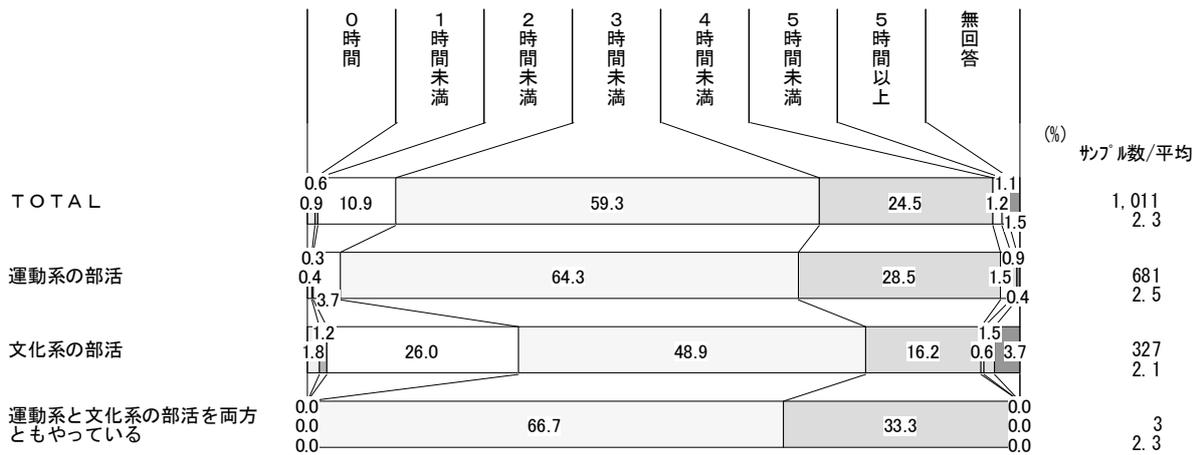
部活動の活動時間は、平日 1 日平均 2.3 時間、休日 1 日平均 3.4 時間である。

平日は、2 時間以上 3 時間未満が約 6 割 (59.3%) を占めている。

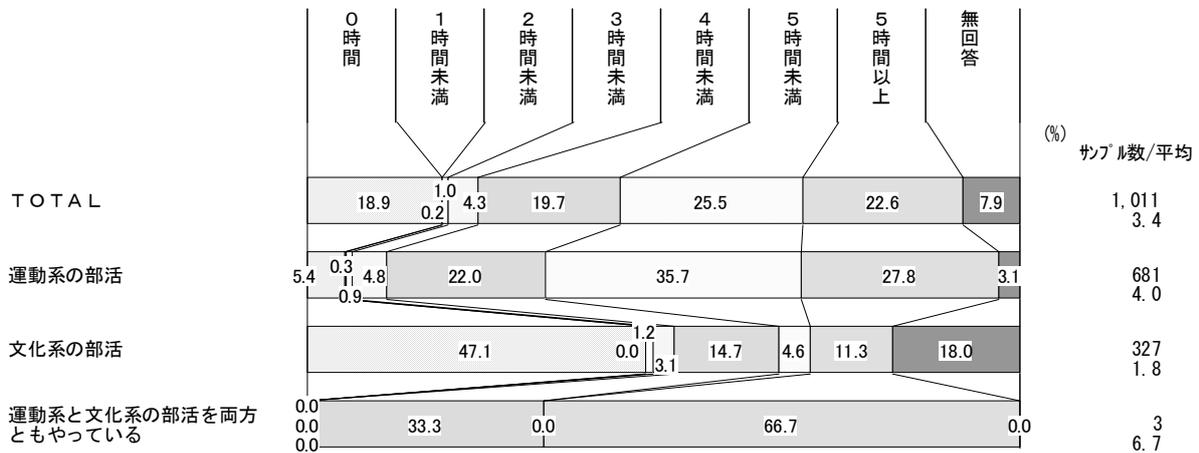
休日は、4 時間以上 5 時間未満が 25.5%、5 時間以上が 22.6%、3 時間以上 4 時間未満が 19.7%となっている。

部活動の内容別に見ると、「文化系の部活」に比べて「運動系の部活」のほうが、活動時間が長い傾向にあり、その傾向は「休日」で顕著に表れている。(休日の平均活動時間：運動系 4.0 時間、文科系 1.8 時間)

【平日】



【休日】

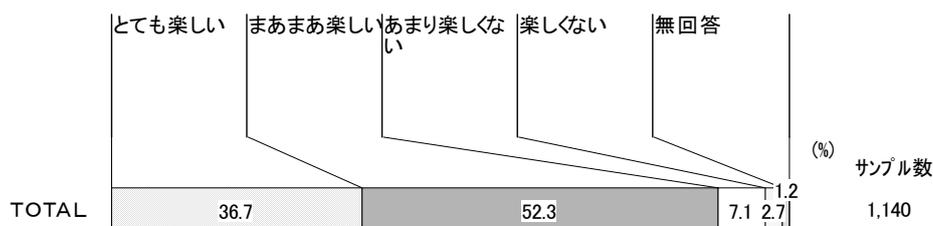


2 学校での生活の状況

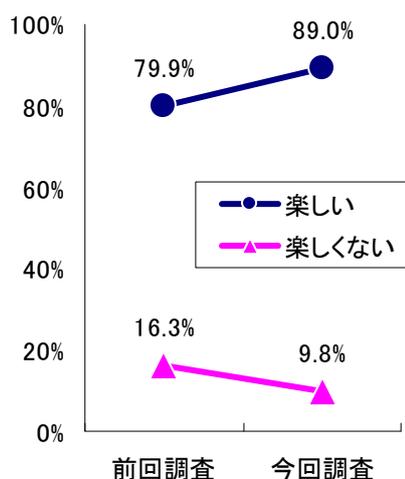
(1) 学校の楽しさ

問6 学校は楽しいですか。(○は1つ)

学校が「とても楽しい」と回答した生徒は36.7%、「まあまあ楽しい」は52.3%で、合わせると約9割の生徒は、学校が楽しいと感じている。一方、「楽しくない」と回答した生徒は2.7%、「あまり楽しくない」は7.1%で、約1割の生徒は、学校が楽しくないと感じていることがわかる。



前回調査と比べると、「まあまあ楽しい」と回答した生徒の割合は前回と同じだが、「とても楽しい」が前回27.6%から今回36.7%と9.1ポイント増加している。



※ 「楽しい」=とても楽しい+まあまあ楽しい、「楽しくない」=楽しくない+あまり楽しくない

参考 平成20年調査結果

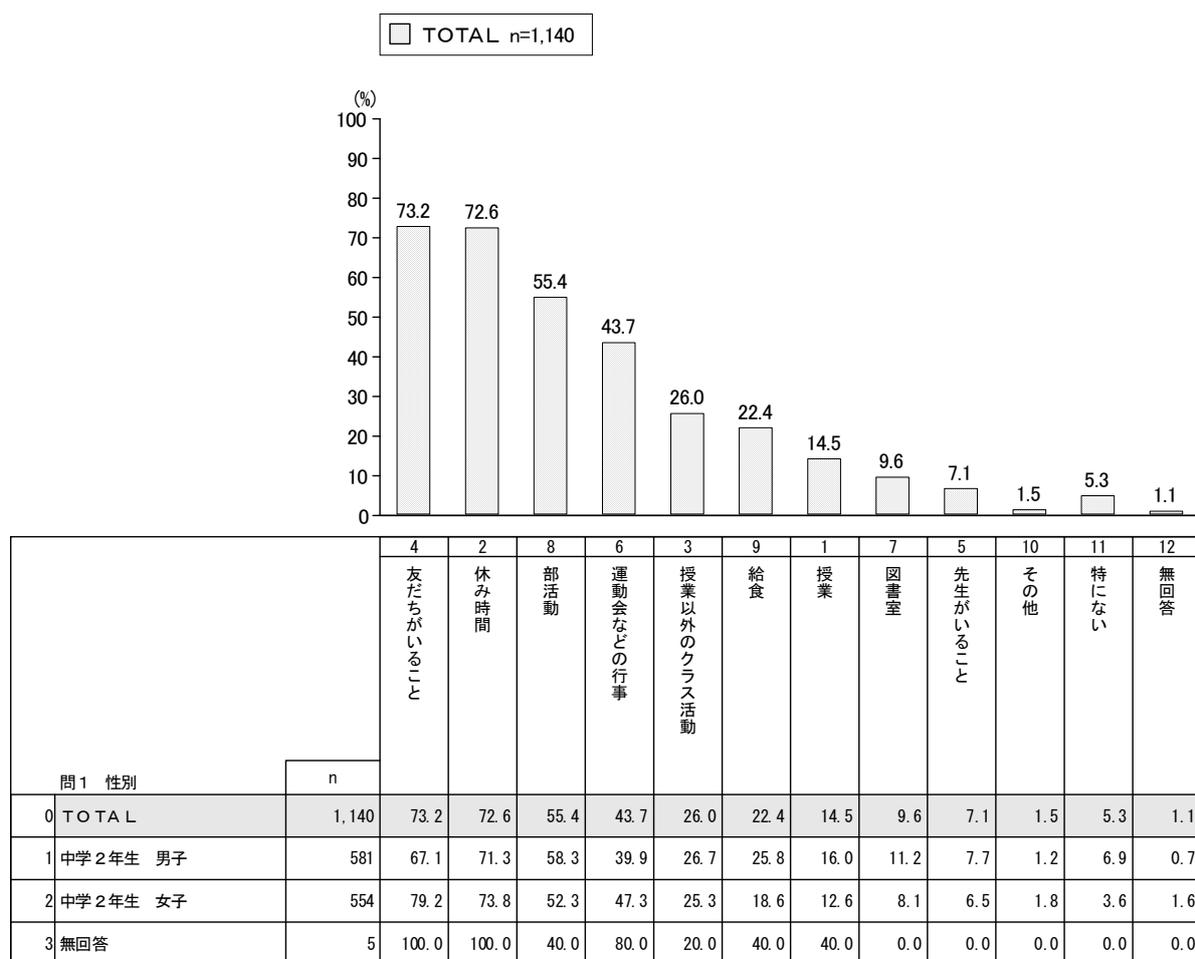
	n	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	無回答
TOTAL	428	27.6%	52.3%	11.2%	5.1%	3.7%

(2) 学校で楽しいところ

問7 学校のどんなところが楽しいですか。(○はいくつでも)

学校の楽しいところとしては、「友だちがいること」をあげる生徒が 73.2%と最も多く、次いで「休み時間」(72.6%)、「部活動」(55.4%)と続いている。

性別に見ると、男子よりも女子が5ポイント以上高い項目は、「友だちがいること」(男子 67.1%、女性 79.2%)、「運動会などの行事」(男子 39.9%、女子 47.3%)となっている。反対に、女子よりも男子が5ポイント以上高い項目は、「部活動」(男子 58.3%、女子 52.3%)、「給食」(男子 25.8%)となっている。



前回調査と比べると、前回より10ポイント以上高くなった項目は、「運動会などの行事」(33.2%→43.7%)、「給食」(4.0%→22.4%)の2項目である。

参考 平成20年調査結果 (複数回答)

	n	授業	休み時間	課外活動	友だちがいること	先生	行事	図書室	クラブ活動	給食	その他	無回答
TOTAL	428	10.5%	66.1%	17.3%	68.7%	6.3%	33.2%	12.1%	50.0%	4.0%	1.6%	3.0%

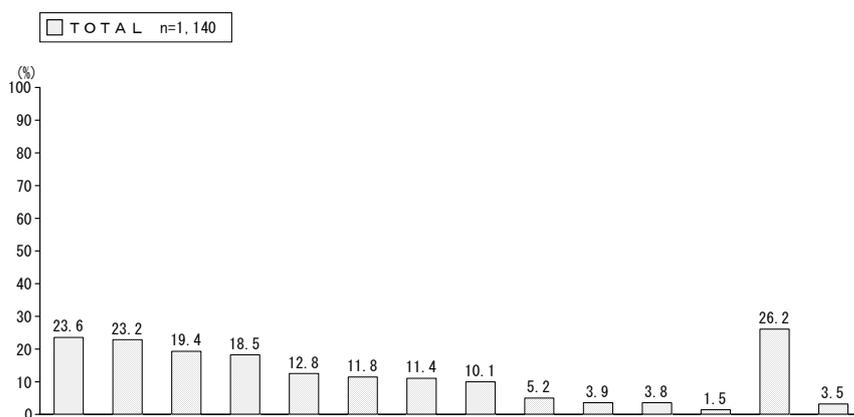
(3) 学校で困っていること

問8 学校で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

学校で困っていることとしては、「授業がわからない」ことをあげる生徒が 23.6%と最も多く、次いで「教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い」(23.2%)、「いやな友だちがいる」(19.4%)、「学校の決まりごと(校則)がきびしい」(18.5%)と続いている。なお、「特にない」と回答した生徒は 26.2%であり、約7割の生徒には、何らか学校で困っていることがあることがわかる。

性別に見ると、「授業がわからない」(男子 16.0%、女子 31.4%)、「いやな友だちがいる」(男子 11.5%、女子 27.6%)、「部活動のこと」(男子 6.9%、女子 17.0%)の3項目は、男子に比べ女子で特に多くあげられている項目となっている。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しくないと回答した生徒は「いやな友だちがいる」、「自由がない」といった内容で困っている割合が高い。



問1 性別	n	困っていること													
		1	9	4	8	2	10	11	7	5	6	12	3	13	14
0 TOTAL	1,140	23.6	23.2	19.4	18.5	12.8	11.8	11.4	10.1	5.2	3.9	3.8	1.5	26.2	3.5
1 中学2年生 男子	581	16.0	22.9	11.5	18.1	11.0	6.9	14.1	12.6	5.5	2.9	4.6	1.0	31.8	3.4
2 中学2年生 女子	554	31.4	23.5	27.6	19.0	14.8	17.0	8.5	7.6	4.7	4.7	2.9	2.0	20.2	3.6
3 無回答	5	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0

【学校の楽しさ別】

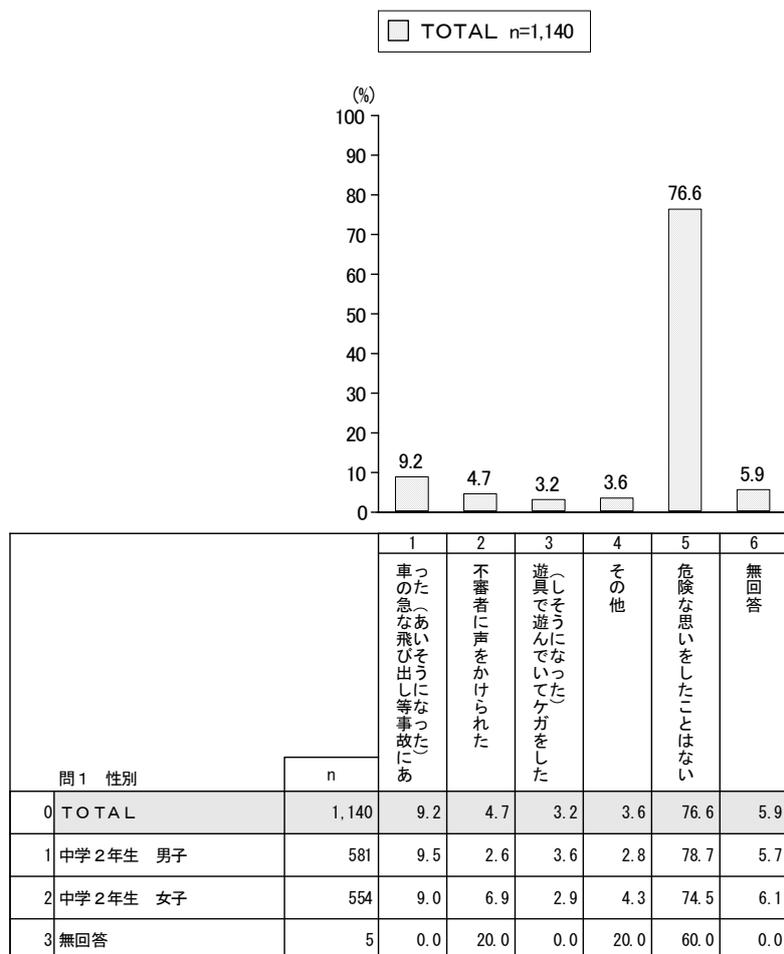
楽しさ別	n	困っていること													
1 楽しい(とても楽しい+まあ楽しい)	1,014	23.4	22.7	17.9	19.1	12.0	11.8	9.9	10.2	4.7	2.9	0.8	3.5	27.7	2.5
2 楽しくない(あまり楽しくない+楽しくない)	112	28.6	30.4	35.7	13.4	20.5	12.5	25.0	10.7	8.0	12.5	7.1	7.1	16.1	3.6

※ 学校の楽しさ別で10ポイント以上差がある項目に \wedge \vee を付けています

(4) 登下校時の危険さ

問9 この1年くらいの間に、学校に通うときや学校から帰るとき(登下校時)に危険な思いをしたことはありますか。(〇はいくつでも)

登下校時に危険な思いをした経験を尋ねたところ、76.6%の生徒は「危険な思いをしたことはない」と回答しているものの、9.2%は「車の急な飛び出し等事故にあった(あいそうになった)」、4.7%は「不審者に声をかけられた」、3.2%は「遊具で遊んでいてケガをした(しそうになった)」と回答しており、約2割の生徒はこの1年くらいの間に危険な思いをしたことがわかる。



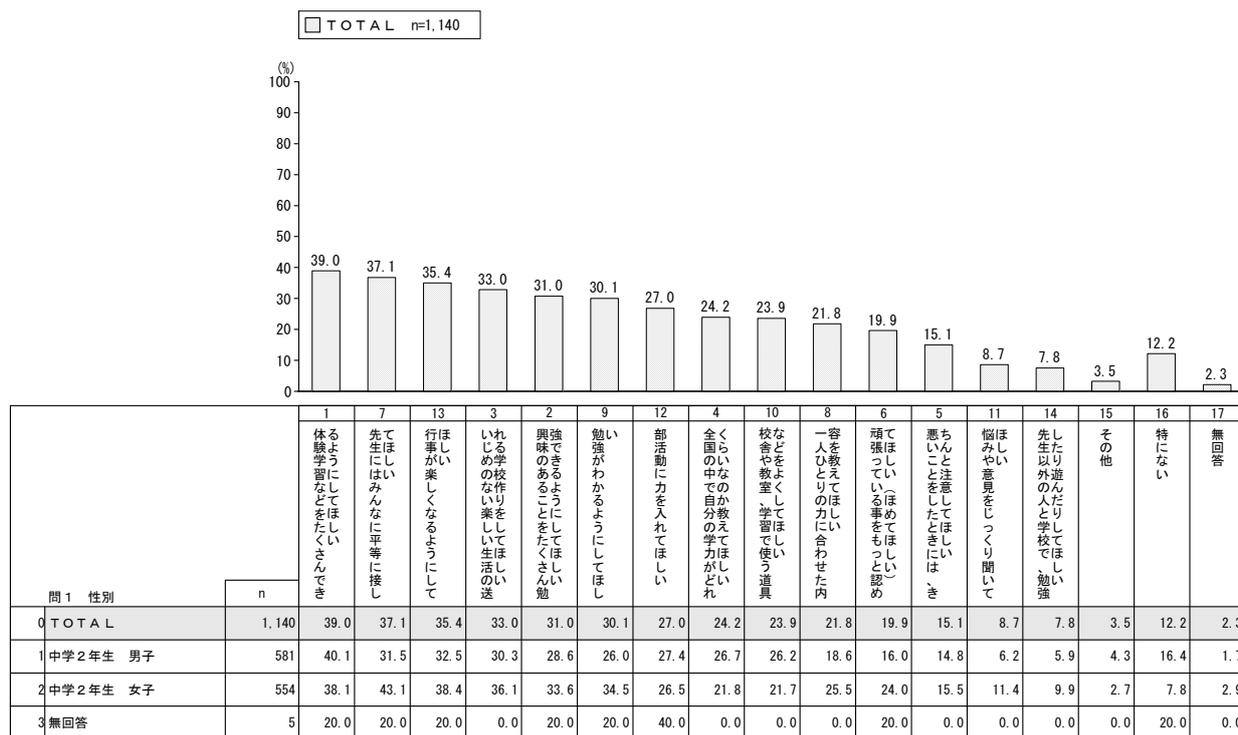
(5) 学校や先生に望むこと

問 10 学校や先生に望むこと(してほしいこと)は何ですか。(○はいくつでも)

学校や先生に望むこととしては、「体験学習などをたくさんできるようにしてほしい」をあげる生徒が 39.0%と最も多く、次いで「先生にはみんなに平等に接してほしい」(37.1%)、「行事が楽しくなるようにしてほしい」(35.4%)、「いじめのない楽しい生活の送れる学校づくりをしてほしい」(33.0%)と続いている。

性別に見ると、女子では「先生にはみんなに平等に接してほしい」(43.1%)が最も多くあげられており、男子(31.5%)に比べて、特に高い割合となっている。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しいと回答している生徒は「体験学習などをたくさんできるようにしてほしい」や「部活動に力を入れてほしい」といった割合が高い。一方、学校が楽しくないと回答している生徒は「悩みや意見をじっくり聞いてほしい」の割合が高いのが特徴である。



【学校の楽しさ別】

項目	n	1	7	13	3	2	9	12	4	10	8	6	5	11	14	15	16	17
1 楽しい(とても楽しい+まあ楽しい)	1,014	40.9	37.3	35.9	32.7	32.0	30.6	28.5	25.0	24.3	21.8	20.0	15.0	7.6	8.2	3.6	11.8	1.2
2 楽しくない(あまり楽しくない+楽しくない)	112	26.8	39.3	34.8	38.4	25.9	29.5	16.1	19.6	23.2	25.0	21.4	17.9	19.6	5.4	1.8	17.0	2.7

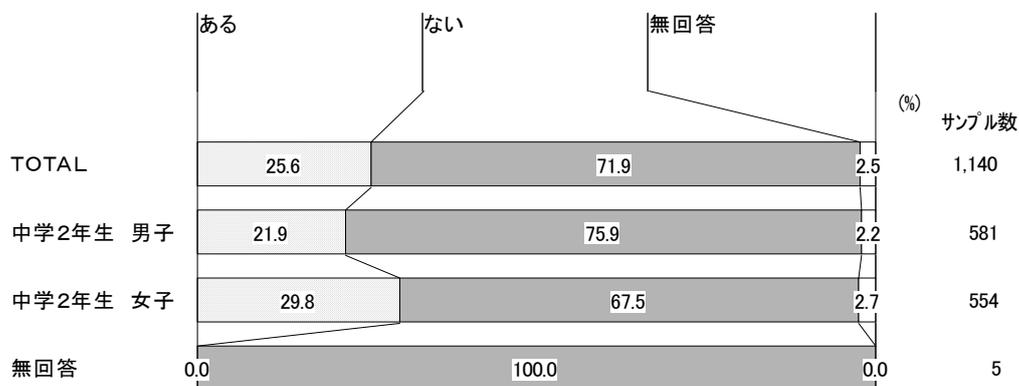
*学校の楽しさ別で10ポイント以上差がある項目に△/▽を付けています。
*選択肢は一部簡略化して表記している。

(6) 個別に教えてほしいと思った経験

問 11 ふだんの授業以外に、自分の苦手なことや困っていることについて、個別に先生に教えてほしいと思ったことはありますか。(○は1つ)

授業以外に、個別に先生に教えてほしいと思ったことが「ある」生徒は 25.6%である。

性別に見ると、「ある」と回答した生徒の割合は、男子に比べて女子のほうが約 8 ポイント高くなっている。



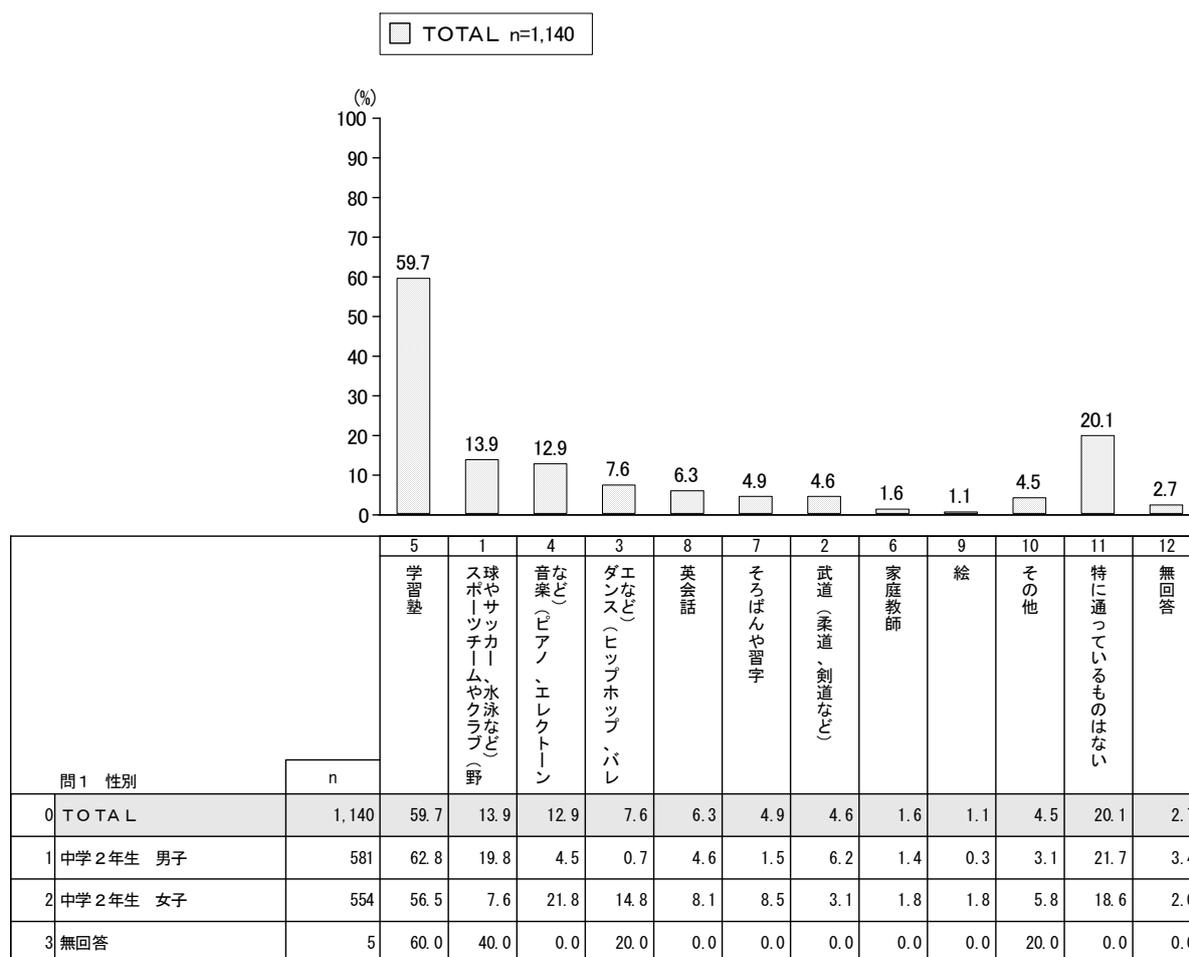
3 ふだんの生活の状況

(1) 習い事や塾の状況

問 12 習い事や塾に通っていますか。(〇はいくつでも)

「(習い事や塾等) 特に通っているものはない」生徒は約 2 割 (20.1%) で、約 8 割は何らかの習い事や塾に通っていることがわかる。中でも「学習塾」に通っている生徒が約 6 割 (59.7%) と特に多い。

性別に見ると、男子・女子ともに「学習塾」が最も多いが、2 番目に多くあげられているのは、男子では「スポーツチームやクラブ (野球やサッカー、水泳など)」(19.8%)、女子では「音楽 (ピアノ、エレクトーンなど)」(21.8%) となっている。



前回調査と比べると、「学習塾」に通っている生徒の割合は、47.2%から 59.7%と 12.5 ポイント増加している。

参考 平成 20 年調査結果 (複数回答)

n	スポーツ チームや クラブ	ピアノ、エ レクトーン その他の 音楽	学習塾	家庭教師	そろばん や習字	英会話	絵画など	特ひない	その他	無回答	
TOTAL	428	22.2%	16.8%	47.2%	1.6%	3.5%	6.3%	0.5%	24.8%	5.6%	4.4%

(2) 規則的な生活習慣

問 13 家では、勉強する時間・寝る時間・起きる時間・食べる時間はそれぞれ決まっていますか。
 (○は(ア)～(エ)ごとに、それぞれ1つずつ)

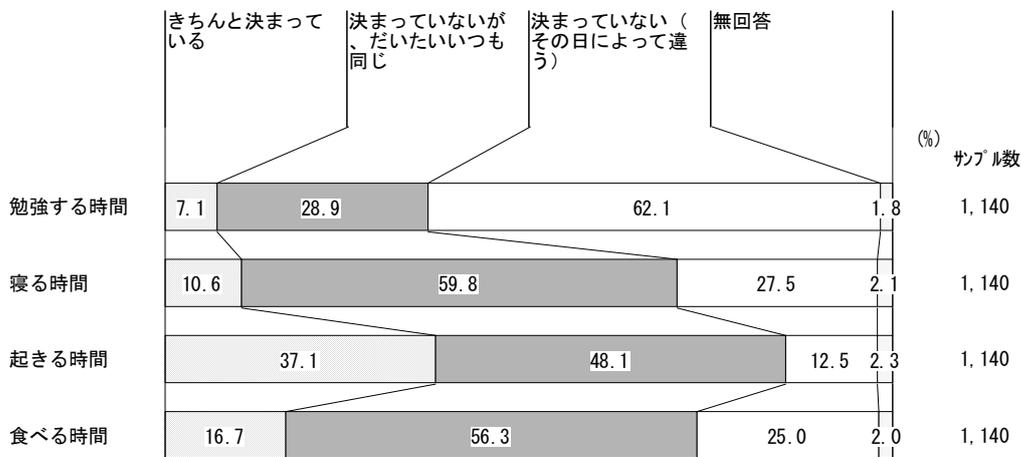
家で勉強する時間が「きちんと決まっている」生徒は7.1%、「決まっていないが、大体いつも同じ」が28.9%で、概ね3割強の生徒は、決まった時間に勉強をしている。

寝る時間が「きちんと決まっている」生徒は10.6%、「決まっていないが、大体いつも同じ」が59.8%で、約7割の生徒は、決まった時間に就寝している。

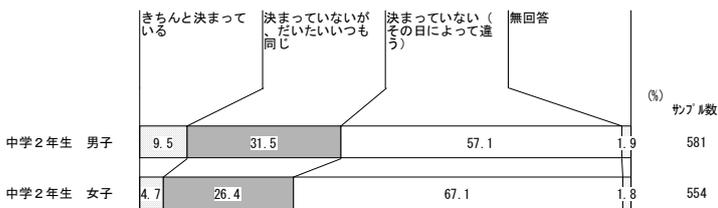
起きる時間が「きちんと決まっている」生徒は37.1%、「決まっていないが、大体いつも同じ」が48.1%で、概ね8割強の生徒は、決まった時間に起床している。

家で食事をする時間が「きちんと決まっている」生徒は16.7%、「決まっていないが、大体いつも同じ」が56.3%で、約7割の生徒は、決まった時間に食事をしている。

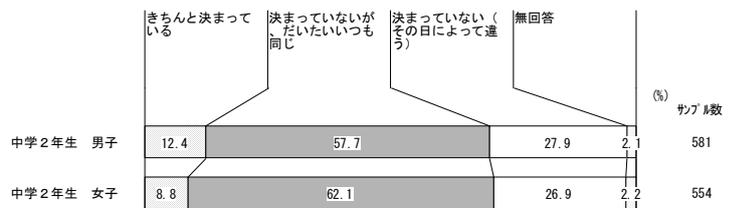
勉強する時間、寝る時間、食べる時間については、女子よりも男子の方が「きちんと決まっている」割合が高い。



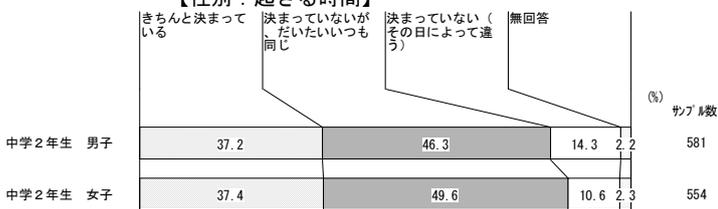
【性別：勉強する時間】



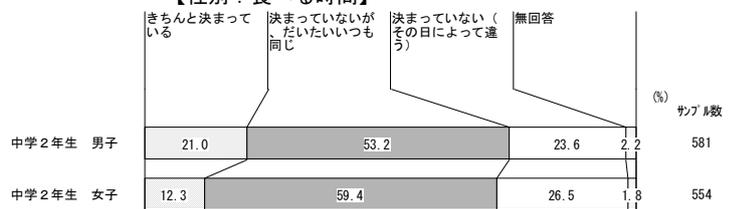
【性別：寝る時間】



【性別：起きる時間】



【性別：食べる時間】



前回調査と比べると、「勉強する時間」「寝る時間」「起きる時間」「食べる時間」のいずれも、「きちんと決まっている生徒の割合は微増している。

参考 平成 20 年調査結果

n	勉強する時間				寝る時間				
	きちんと決まっている	決まってい ないが、大 体いつも同 じ	決まってい ない(その 日によって 違う)	無回答	きちんと決 まっている	決まってい ないが、大 体いつも同 じ	決まってい ない(その 日によって 違う)	無回答	
TOTAL	428	6.8%	23.6%	63.1%	6.5%	9.3%	56.8%	27.3%	6.5%

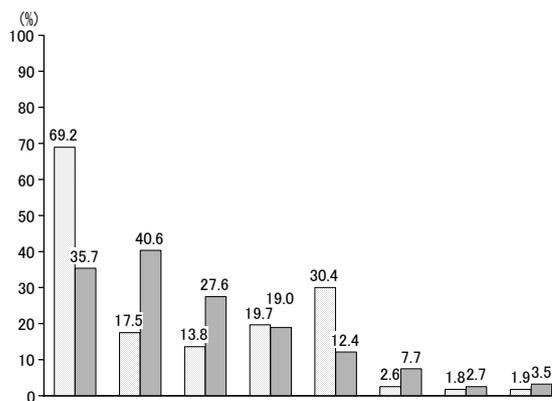
n	起きる時間				食べる時間				
	きちんと決 まっている	決まってい ないが、大 体いつも同 じ	決まってい ない(その 日によって 違う)	無回答	きちんと決 まっている	決まってい ないが、大 体いつも同 じ	決まってい ない(その 日によって 違う)	無回答	
TOTAL	428	33.4%	49.3%	10.7%	6.5%	15.4%	52.8%	24.8%	7.0%

(3) 学校以外の過ごし方

問 14 学校の授業以外では、主にどうやって過ごすことが多いですか。(○は平日・休日に、それぞれ1つ)

学校が終わってからの過ごし方としては、「部活動に参加する」生徒が 69.2%と最も多く、次いで「塾や習い事に行く」が 30.4%で続いている。なお、「自宅でひとりで過ごす」生徒が約 2割 (19.7%) 見られる。学校が休みの日の過ごし方としては、「友だちと遊ぶ」生徒が 40.6%と最も多く、次いで「部活動に参加する」が 35.7%で続いている。なお、「自宅でひとりで過ごす」生徒が約 2割 (19.0%) 見られる。

□ 平日 (学校が終わってから) n=1,140
■ 休日 (学校が休みの日) n=1,140



	n	1	2	3	4	5	6	7	8
		部活動に参加する	友だちと遊ぶ	家族と過ごす	自宅でひとりで過ごす	塾や習い事に行く	地域の行事や活動に参加する	その他	無回答
1 平日 (学校が終わってから)	1,140	69.2	17.5	13.8	19.7	30.4	2.6	1.8	1.9
2 休日 (学校が休みの日)	1,140	35.7	40.6	27.6	19.0	12.4	7.7	2.7	3.5

【性別: 男子】

1 平日 (学校が終わってから)	581	68.5	19.6	13.8	17.4	29.4	2.4	1.9	2.6
2 休日 (学校が休みの日)	581	38.7	39.4	25.3	18.1	12.9	7.2	2.4	4.8

【性別: 女子】

1 平日 (学校が終わってから)	554	70.0	15.2	13.9	22.0	31.6	2.9	1.6	1.3
2 休日 (学校が休みの日)	554	32.7	42.1	30.3	20.2	11.7	8.3	2.7	2.2

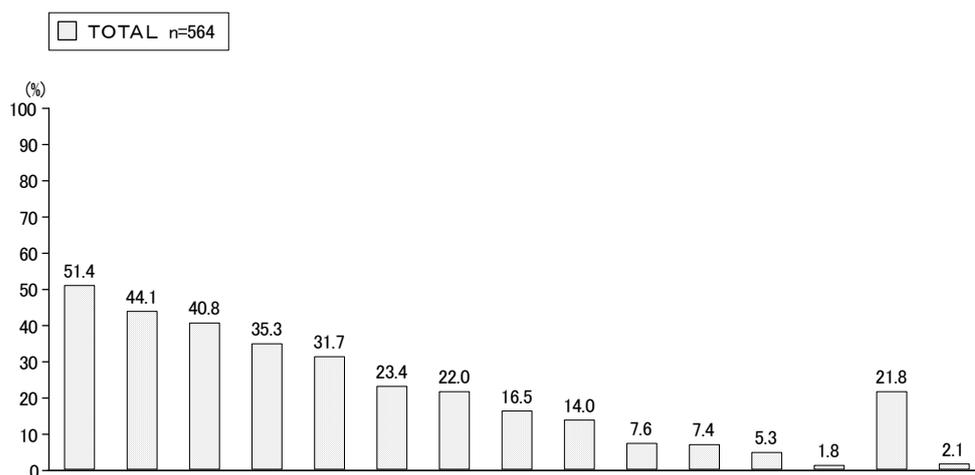
(4) 友だちとの外出先

問 15 友だち同士で外出するときは、どのようなところに行きますか。(〇はいくつでも)

※ 平日または休日に「友だちと遊ぶ」と回答した者

友だち同士で外出する際の外出先（目的）としては、「買い物」が51.4%と最も多く、次いで「公園」(44.1%)、「ゲームセンター」(40.8%)と続いている。

性別に見ると、男子では「公園」(52.1%)、「児童館・児童センター」(31.6%)、「ゲームセンター」(29.2%)の順だが、女子では「買い物」(79.5%)、「カラオケ」(57.9%)、「ゲームセンター」(53.1%)の順になっている。



問1 性別	n	8	6	10	9	11	1	12	4	3	2	5	7	13	14	15
		買い物	公園	ゲームセンター	カラオケ	映画館	児童館・児童センター	遊園地	スポーツ施設	公民館	図書館	会館 コミュニティセンターや地区	校庭	多摩六都科学館	その他	無回答
0 TOTAL	564	51.4	44.1	40.8	35.3	31.7	23.4	22.0	16.5	14.0	7.6	7.4	5.3	1.8	21.8	2.1
1 中学2年生 男子	288	25.0	52.1	29.2	13.9	19.8	31.6	10.8	22.2	22.9	5.2	8.7	8.7	2.1	25.0	1.7
2 中学2年生 女子	273	79.5	35.9	53.1	57.9	44.3	14.7	34.1	10.3	4.8	10.3	6.2	1.8	1.5	18.3	2.6
3 無回答	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

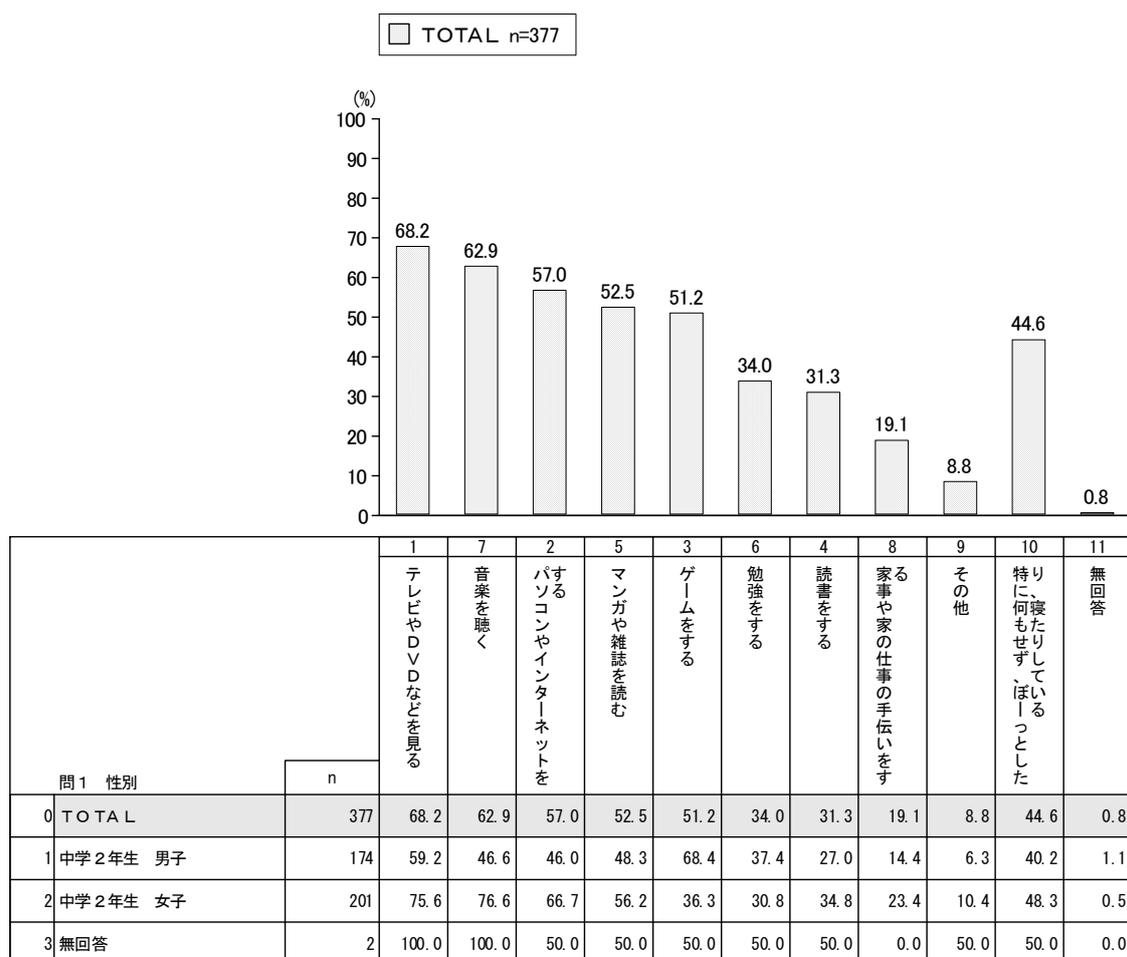
(5) 自宅での過ごし方

問16 何をして過ごしていますか。(〇はいくつでも)

※ 平日または休日に「自宅でひとりで過ごす」と回答した者

自宅での過ごし方としては、「テレビやDVDなどを見る」が68.2%と最も多く、次いで「音楽を聴く」(62.9%)、「パソコンやインターネットをする」(57.0%)と続いている。

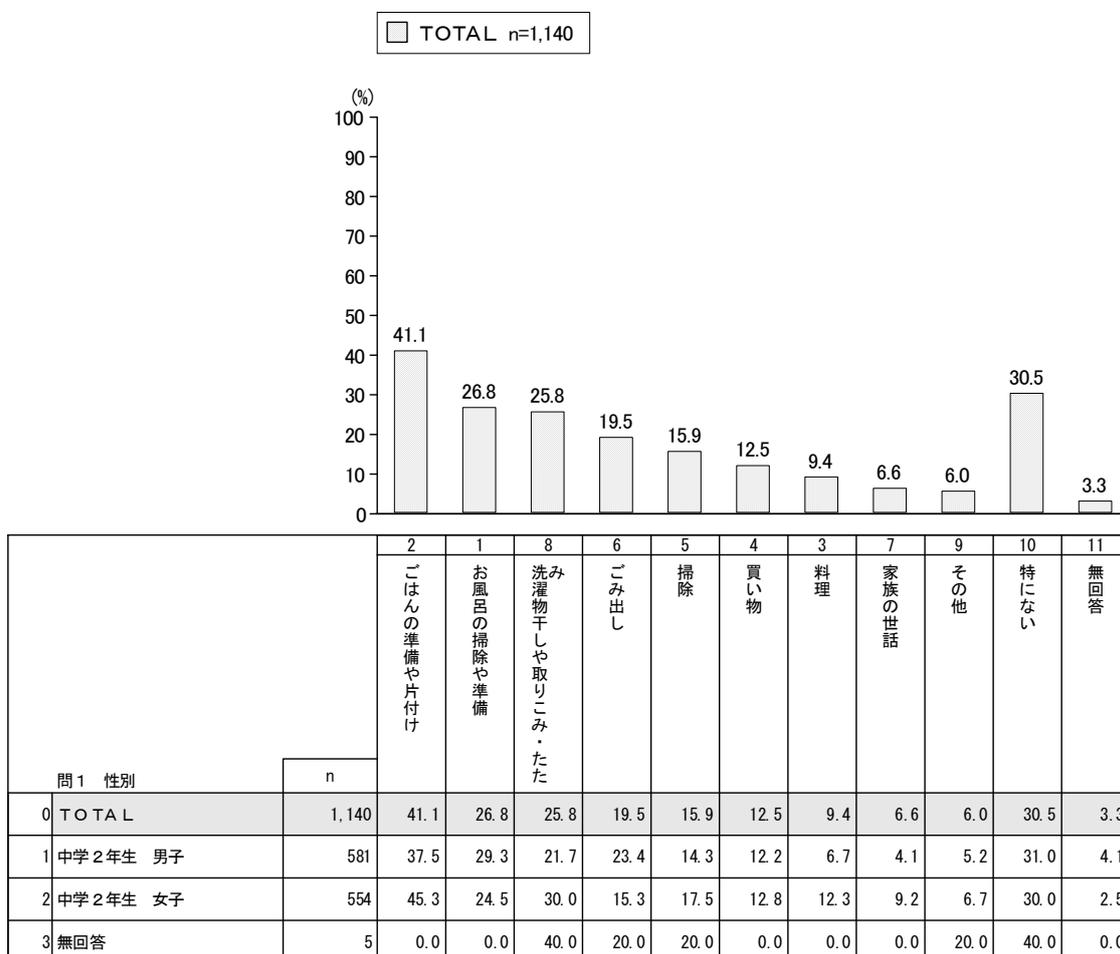
性別に見ると、男子では「ゲームをする」(68.4%)、「テレビやDVDなどを見る」(59.2%)、「マンガや雑誌を読む」(48.3%)の順だが、女子では「音楽を聴く」(76.6%)、「テレビやDVDなどを見る」(75.6%)、「パソコンやインターネットをする」(66.7%)の順になっている。



(6) 家の中で手伝うこと

問 17 家の中で決まって手伝うことがありますか。(○はいくつでも)

家の中で手伝うこととしては、「ごはんの準備や片付け」をあげる生徒が 41.1%と最も多く、次いで「お風呂の掃除や準備」(26.8%)、「洗濯物干しや取りこみ・たたみ」(25.8%)と続いている。なお、約3割の生徒は、「特にない」(30.5%)と回答している。



前回調査と比べると、家の中で決まって手伝うことが「特にない」と回答した生徒の割合は、ほぼ変わらない結果である(前回 29.7%、今回 30.5%)。

参考 平成 20 年調査結果 (複数回答)

n	お風呂の掃除や準備	配膳や片付け	料理	買い物	掃除	ごみだし	家族の世話	洗濯物干しやとりこみ・たたみ	特にない	その他	無回答
TOTAL ∴ 428	30.8%	37.4%	11.7%	17.3%	22.4%	18.9%	8.6%	27.8%	29.7%	4.9%	1.6%

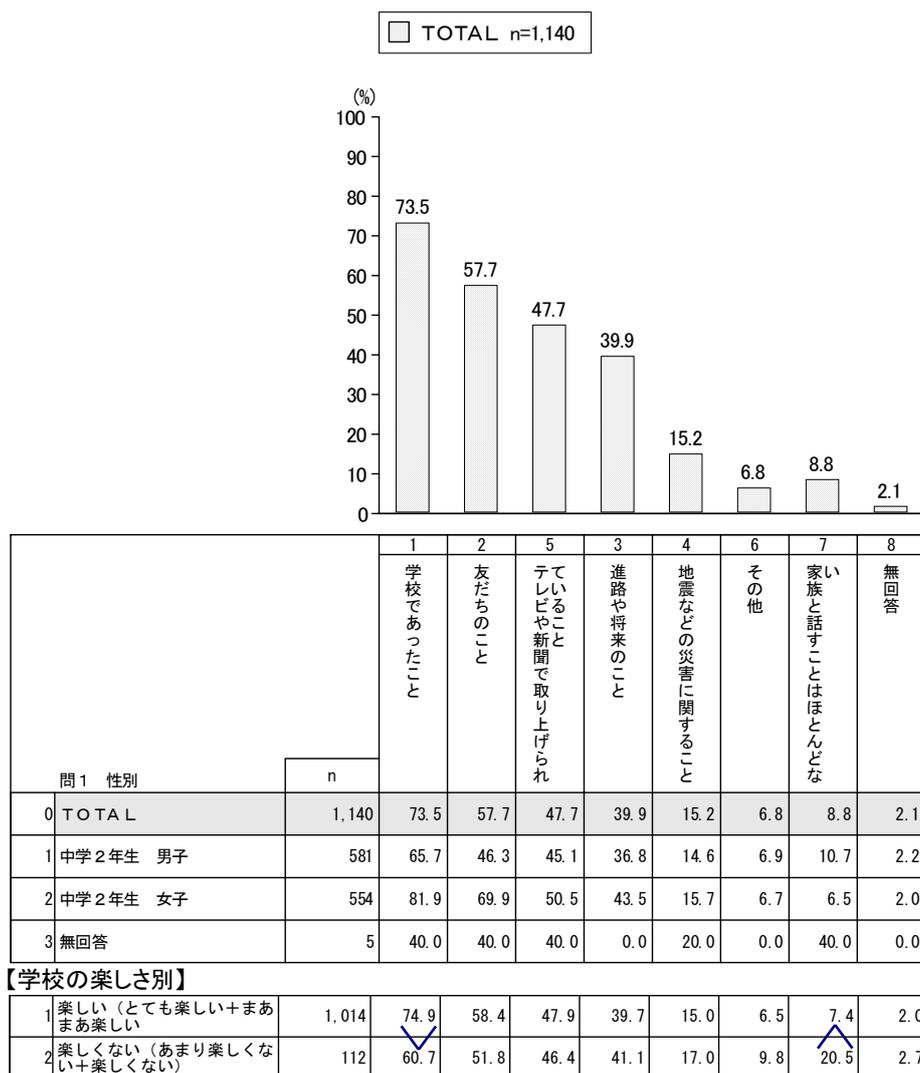
(7) 家族と話す内容

問 18 あなたは、以下のような内容について家族と話すことがありますか。(○はい/△は多少/□はいくつでも)

家族と話す内容としては、「学校であったこと」をあげる生徒が 73.5%と最も多く、次いで「友だちのこと」(57.7%)、「テレビや新聞で取り上げられていること」(47.7%)と続いている。

性別に見ると、男子・女子ともに同じ順番であげられているが、いずれの内容も男子に比べて女子のほうが話す割合が高くなっている。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しくないと回答している生徒は「学校であったこと」を話す割合が低く、「家族と話すことはほとんどない」が 20.5%と高い割合となっている。



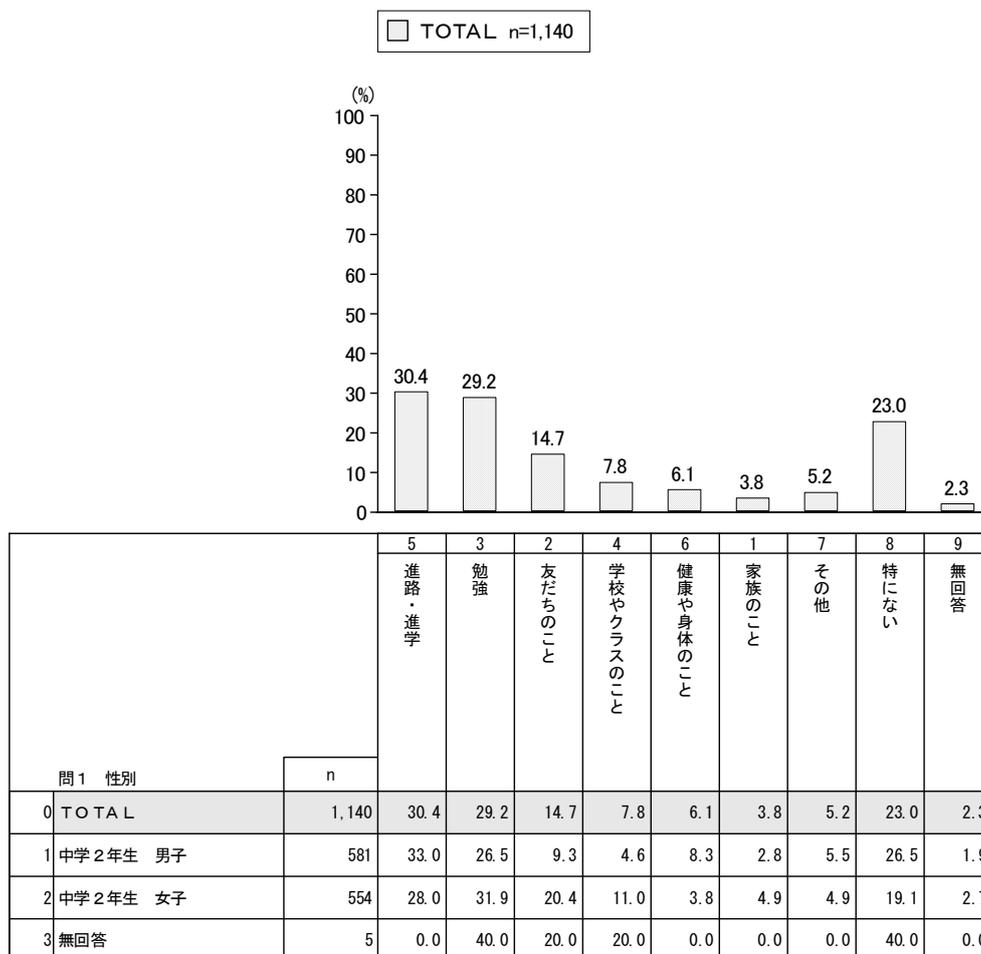
※ 学校の楽しさ別で 10 ポイント以上差がある項目に△/▽を付けています。

(8) ふだんの生活で気になっていること

問 19 ふだんの生活で、いちばん気になっていることは何ですか。(○は1つ)

ふだんの生活でいちばん気になっていることとしては、「進路・進学」(30.4%)と「勉強」(29.2%)をあげる生徒がそれぞれ約3割と多くなっている。なお、気になっていることが「特にない」と回答した生徒は23.0%で、7割以上の生徒には何かしら気になっていることがある。

性別に見ると、「友だちのこと」(男子9.3%、女子20.4%)や「学校やクラスのこと」(男子4.6%、女子11.0%)は、男子に比べて女子で高い割合となっている。



前回調査と比べると、「進路・進学」、「勉強」がそれぞれ10ポイント近く高い割合となっている。

参考 平成20年調査結果 (複数回答)

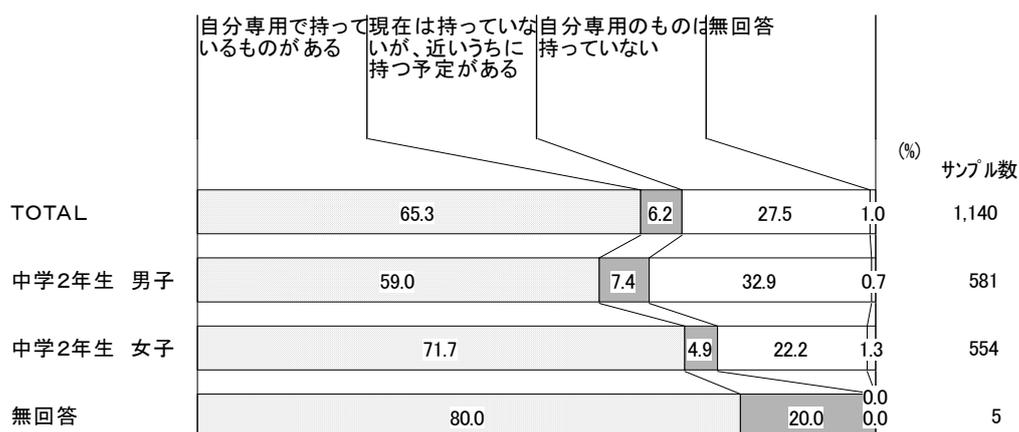
n	家族のこと	友だちのこと	勉強	学校やクラスのこと	進路・進学	健康や身体のこと	特にない	その他	無回答	
TOTAL	428	3.7	18.7	20.8	5.1	21.5	3.3	22.2	2.6	2.1

(9) 携帯電話やパソコンの所持状況

問 20 自分専用の携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。(○は1つ)

携帯電話やスマートフォン、パソコンに関して、「自分専用で持っているものがある」と回答した生徒は 65.3%で、「現在は持っていないが、近いうちに持つ予定がある」(6.2%)まで含めると、約7割の生徒は自分専用の携帯電話等を持っている(持つ予定)である状況がわかる。

性別に見ると、現在、自分専用の携帯電話等を持っている人の割合は、男子では約6割(59.0%)、女子では約7割(71.7%)と女子のほうが高いことがわかる。



(10) 携帯電話等の使用時間

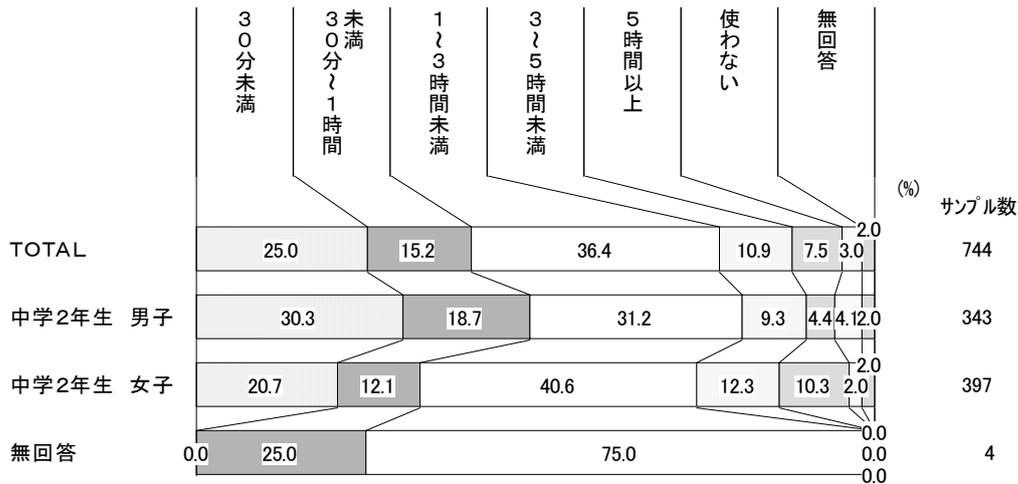
問 21 1日にどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使いますか。「平日」「休日」それぞれについてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

※「自分専用の携帯電話等を持っている」と回答した者

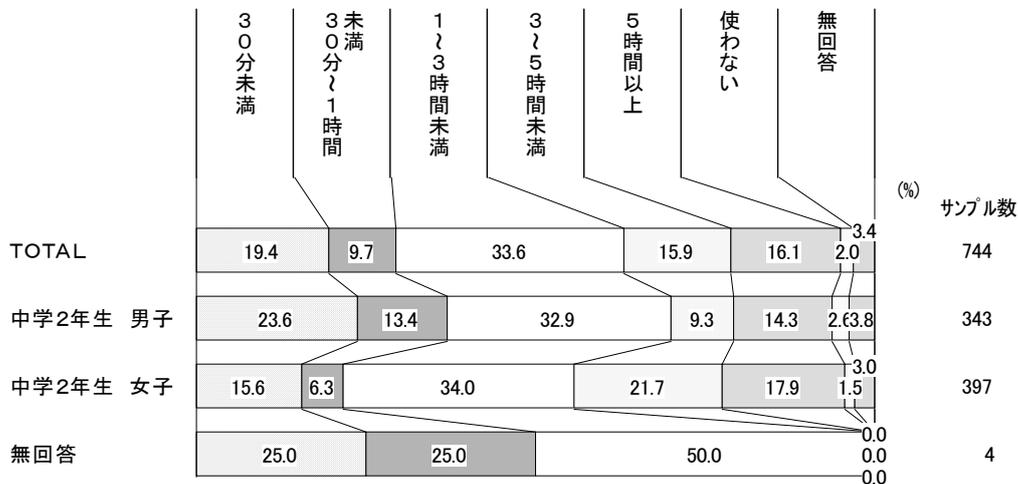
携帯電話やスマートフォン、パソコンの使用時間は、1日「1～3時間未満」が平日では36.4%、休日では33.6%を占めている。

性別に見ると、男子よりも女子のほうが使用時間が長い傾向にあり、女子の場合は、1日3時間以上使用している割合が、平日では約2割(22.6%)、休日では約4割(39.6%)いることがわかる。

【平日】



【休日】

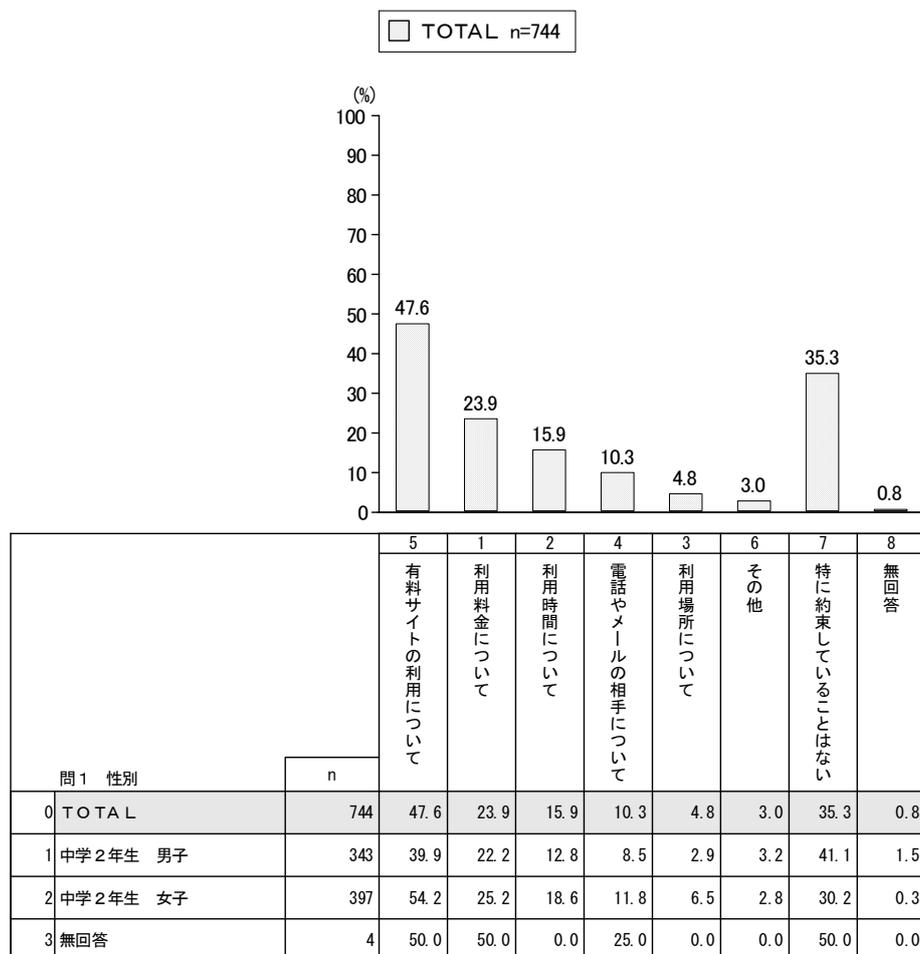


(11) 携帯電話等の使い方についての家族との約束

問 22 使い方について、家族と約束をしていることはありますか。(〇はいくつでも)

携帯電話やスマートフォン、パソコンの使い方については、35.3%の生徒が「特に約束していることはない」と回答しており、6割強の生徒は、家族と何らかの約束をしていることがわかる。約束の内容として最も多いのは「有料サイトの利用について」で、半数近く(47.6%)の生徒があげている。

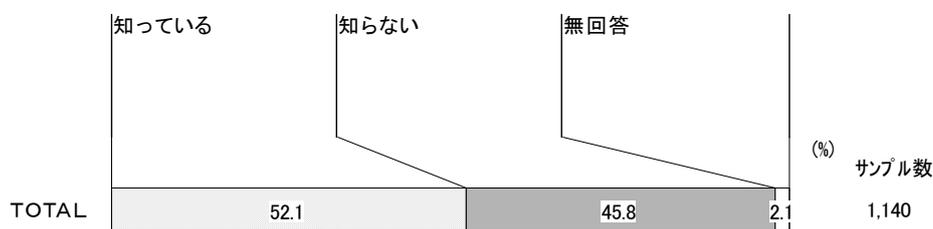
性別に見ると、「有料サイトの利用について」家族と約束をしている生徒の割合は、男子では39.9%、女子では54.2%と、約14ポイント女子のほうが高くなっている。



(12) 公民館の認知状況

問 23 あなたは公民館がどんなところか知っていますか。(○は1つ)

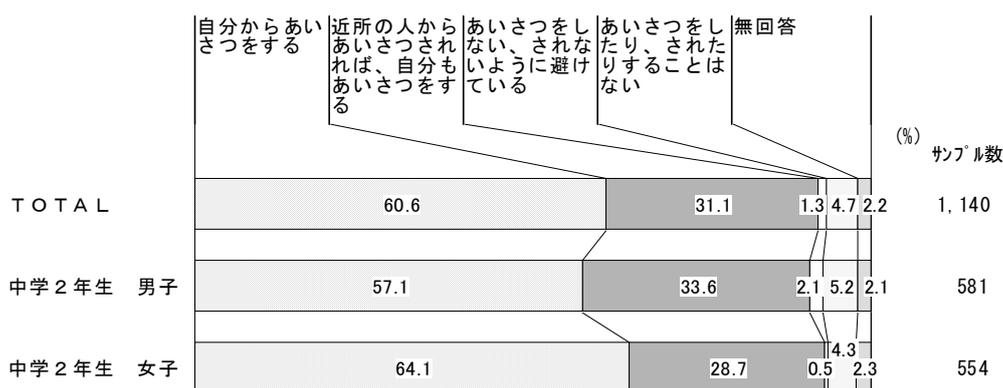
公民館がどんなところか「知っている」生徒は 52.1%で、「知らない」(45.8%) をやや上回っている。



(13) 近所とのつきあいの程度

問 24 ふだん、近所の人とはあいさつをしますか。(○は1つ)

近所の人に「自分からあいさつをする」生徒は 60.6%、「近所の人からあいさつされれば、自分もあいさつをする」が 31.1%となっており、約 9 割の生徒は近所の人にあいさつをしている状況である。



前回調査と比べると、選択肢の表記は若干異なるものの、あいさつをする生徒の割合はほぼ変わっていない。

参考 平成 20 年調査結果

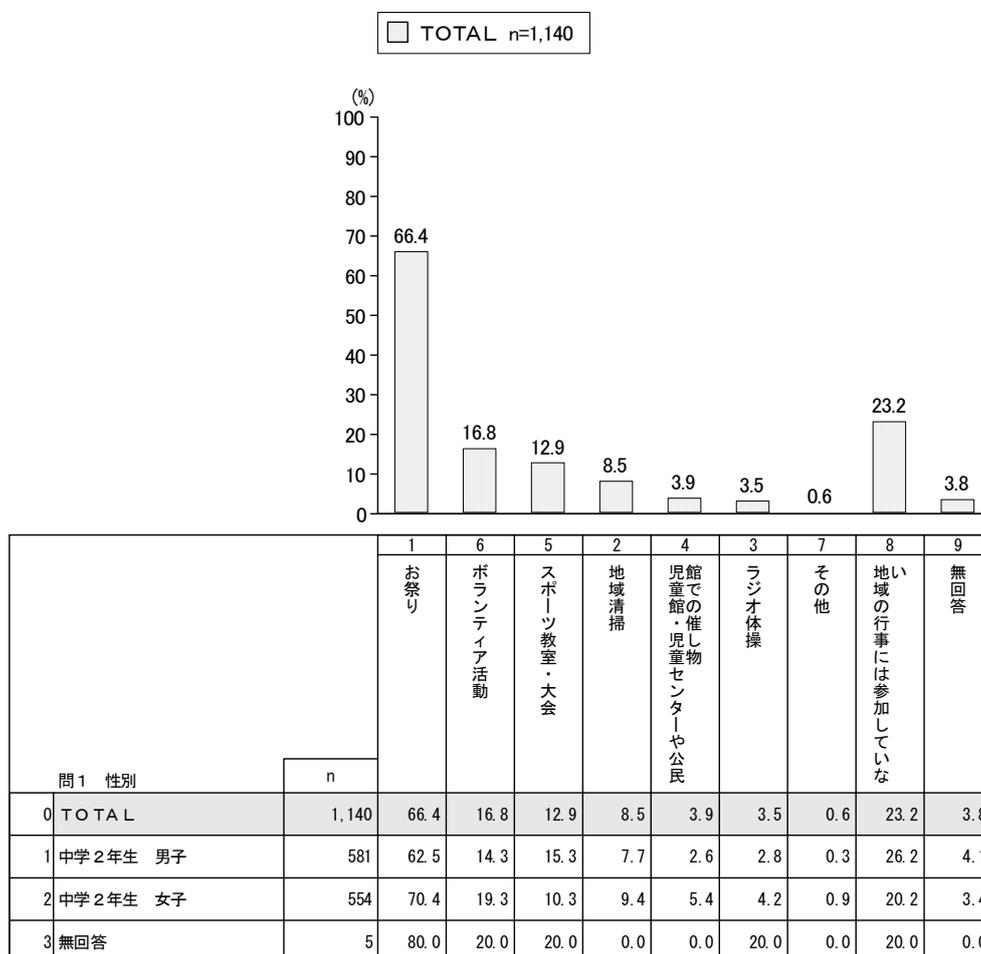
n	知っている人にはいつもあいさつする	あいさつをされたら返事をする	話したくないのであいさつしない	不審者が気になるのであいさつしない	知っている人がいないのであいさつしない	その他	無回答
TOTAL ∴ 428	60.7%	30.8%	1.2%	0.5%	0.9%	2.1%	3.7%

(14) 地域行事等への参加状況

問 25 以下のような地域の行事などに参加していますか。(〇はいくつでも)

参加している地域行事としては、「お祭り」(66.4%)をあげる生徒が最も多く、3人に2人は参加している。なお、「地域の行事には参加していない」生徒は23.2%である。

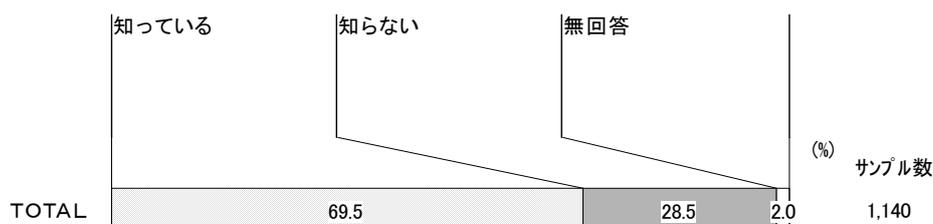
性別に見ると、女子の約2割(19.3%)は「ボランティア活動」に参加してことがわかる。



(15) 登下校時の避難場所の認知状況

問 26 あなたは、登下校の途中などに地震などの災害が起きたときに、どこに避難すればいいか知っていますか。(〇は1つ)

登下校中の避難場所を「知っている」生徒は、約7割(69.5%)である。



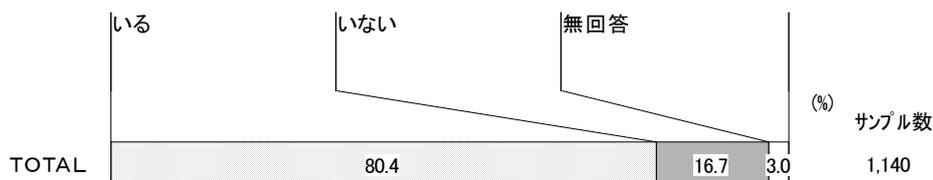
4 自分自身の意識や行動

(1) 相談相手の有無

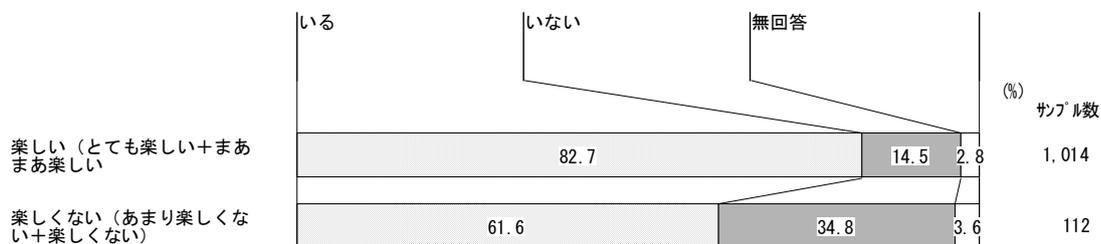
問 27 あなたは、いやなことやつらいことがあったとき、相談できる人がいますか。(○は1つ)

いやなことやつらいことがあったときに、約8割(80.4%)の生徒には相談できる人が「いる」が、16.7%は「いない」と回答している。

学校の楽しさ別に見ると、学校が楽しくないと回答した生徒の34.8%は相談できる人が「いない」としており、学校が楽しいと回答した生徒よりも高い割合となっている。



【学校の楽しさ別】

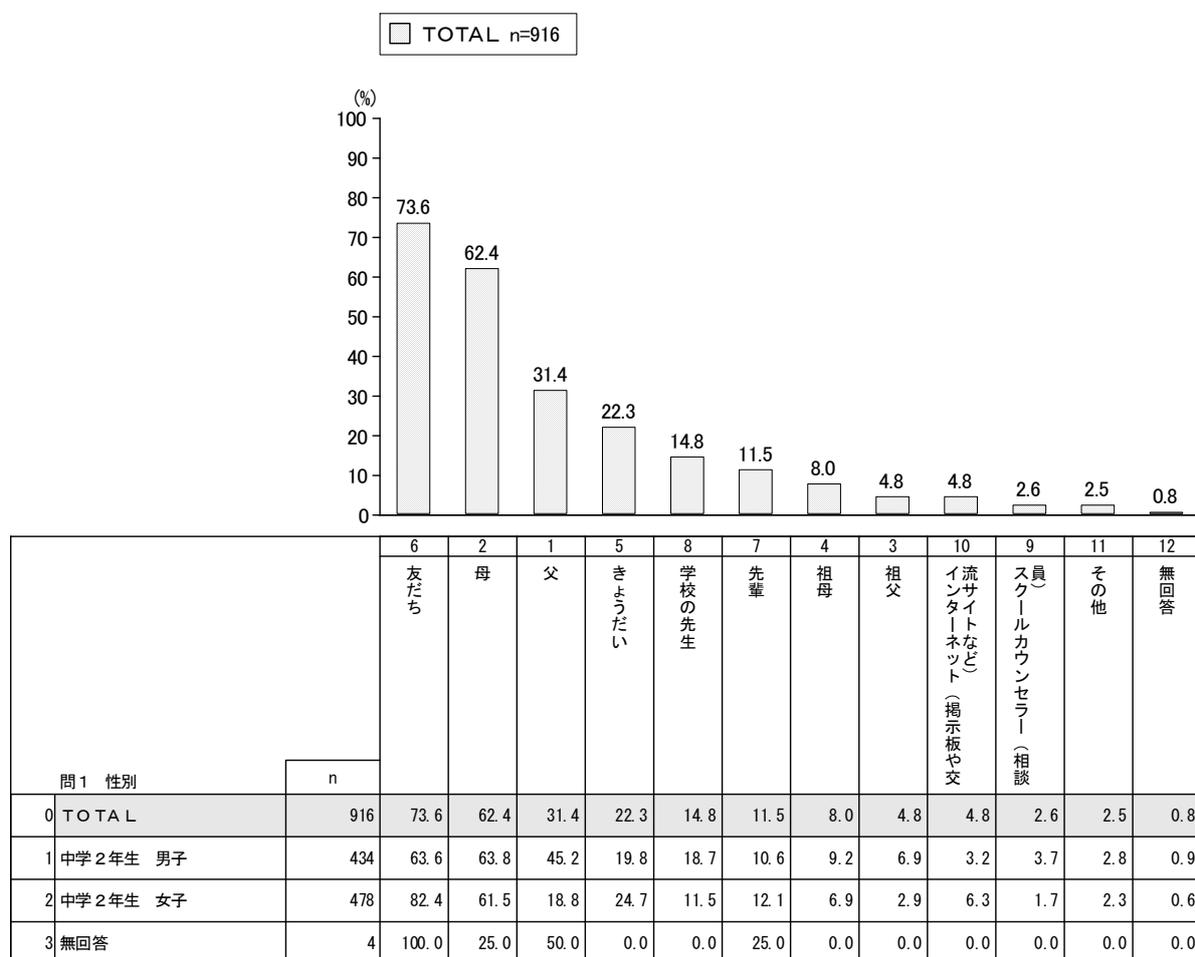


(2) 相談できる相手

問 28 相談できる人は誰ですか。(○はいくつでも)

相談できる相手としては、「友だち」が73.6%と最も多く、次いで「母」(62.4%)、「父」(31.4%)と続いている。

性別に見ると、女子では「友だち」をあげる生徒が82.4%と特に多く、「父」をあげる生徒が男子に比べて少ない(男子45.2%、女子18.8%)のが特徴である。

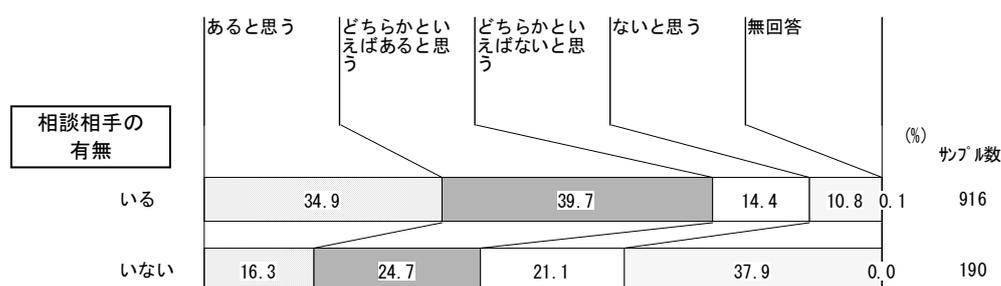
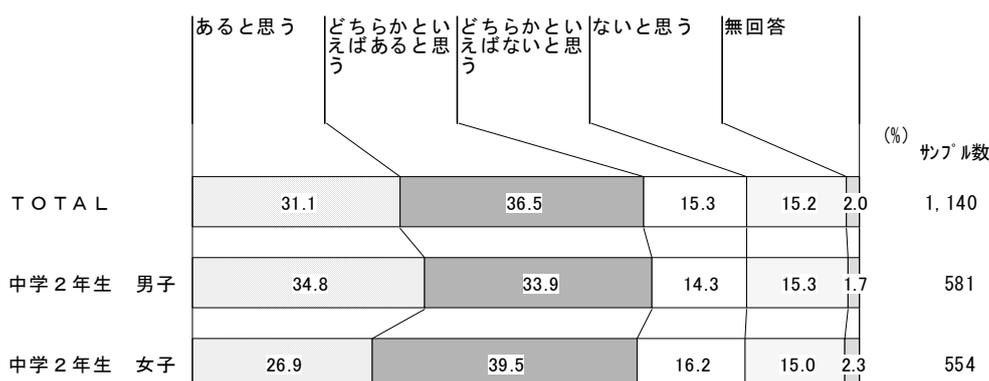


(3) 自分に自信のもてるところ

問 29 あなたは、自分に自信のもてること(よいところ)はありますか。(○は1つ)

自分に自信のもてること(よいところ)が「あると思う」と回答した生徒は31.1%、「どちらかといえばあると思う」は36.5%で、合わせると7割近くの生徒は自信のもてることがある一方、残りの約3割の生徒は自信のもてることがない(「ないと思う」15.2%、「どちらかといえばないと思う」15.3%)と考えていることがわかる。

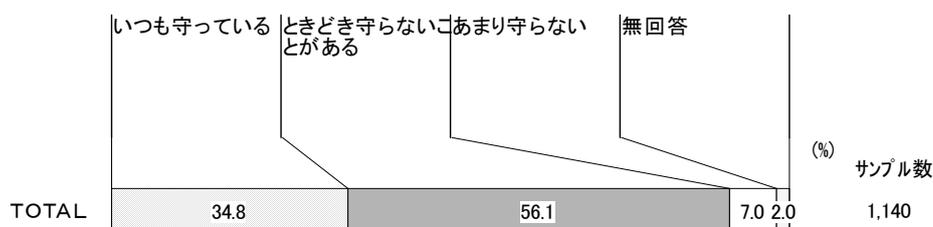
相談相手の有無別に見ると、相談相手がいないと回答した生徒は自分に自信のもてない割合が高く、「ないと思う」と「どちらかといえばないと思う」を合わせると、59.0%を占めている。



(4) 決まりや約束に対する意識・行動

問 30 あなたは、学校や家での決まりや約束を守っていますか。(○は1つ)

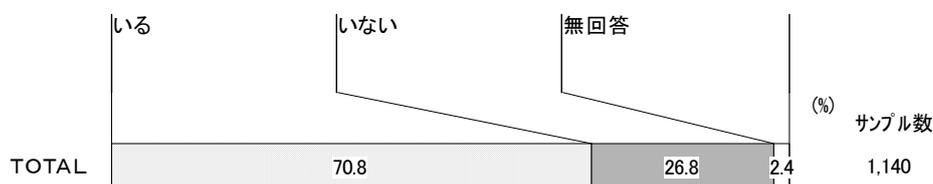
学校や家での決まりや約束を「いつも守っている」という生徒は34.8%で、56.1%は「ときどき守らないことがある」と回答している。



(5) 尊敬する人や目標にしている人

問 31 尊敬する人や目標にしている人はいますか。(○は1つ)

約7割の生徒には、尊敬する人や目標にする人が「いる」(70.8%)。

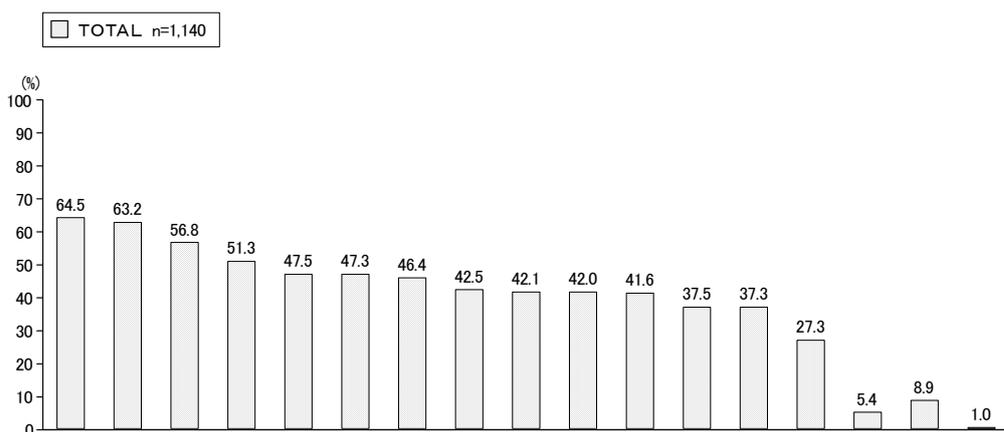


(6) 将来なりたい人物像

問 32 将来はどのような人になりたいですか。(○はいくつでも)

将来なりたい人物像としては、「優しく思いやりのある人」と回答した生徒が64.5%と最も多く、次いで「信頼される人」(63.2%)、「家族や友だちを大切にしている人」(56.8%)と続いている。

性別に見ると、男子では「信頼される人」と回答した生徒が58.7%と最も多く、女子では「優しく思いやりのある人」と回答した生徒が73.8%と最も多くなっている。



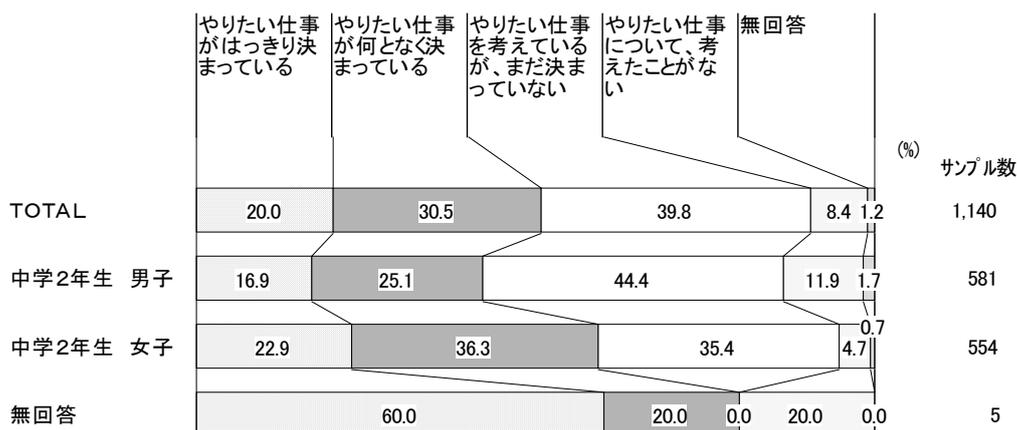
問 1 性別	n	人物像																
		5	13	6	10	3	9	2	4	14	7	12	8	11	1	15	16	17
0 TOTAL	1,140	64.5	63.2	56.8	51.3	47.5	47.3	46.4	42.5	42.1	42.0	41.6	37.5	37.3	27.3	5.4	8.9	1.0
1 中学2年生 男子	581	55.6	58.7	49.2	50.6	43.2	44.8	46.1	43.7	45.4	42.3	37.3	37.2	38.6	29.9	6.5	12.0	1.0
2 中学2年生 女子	554	73.8	67.9	64.8	52.0	52.0	50.2	46.9	41.5	38.4	41.7	45.8	37.9	35.7	24.4	4.3	5.6	0.9
3 無回答	5	60.0	60.0	60.0	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	60.0	40.0	60.0	20.0	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0

(7) 将来就きたい仕事の有無

問 33 将来やりたい仕事はありますか。(○は1つ)

将来、「やりたい仕事ははっきり決まっている」生徒は2割(20.0%)、約3割は「やりたい仕事は何となく決まっている」(30.5%)と回しており、約半数の生徒は就きたい仕事のイメージを持っていることがわかる。

性別に見ると、「やりたい仕事ははっきり決まっている」と「やりたい仕事は何となく決まっている」を合計した割合は、男子は42.0%、女子は59.2%となっており、男子に比べて女子のほうが、より就きたい仕事のイメージを持っていることがわかる



(8) 就きたい仕事の内容

問 34 どのような仕事をしたいと考えていますか。

※ 「やりたい仕事が決まっている」と回答した者

具体的にやりたい仕事についての自由記入欄を設けたところ、542名の記入があった。1人で複数の仕事を記入している生徒もあり、記入件数は合計649件である。

以下、主な記入内容及び件数を掲載する。

【スポーツ関係の仕事(サッカー・野球を除く)】 53件

- ・ スポーツ関係の仕事 (22件)
- ・ スポーツ選手 (9件)
- ・ バレリーナ・バレエ関係の仕事 (5件)
- ・ バスケットボール選手 (3件)
- ・ テニス関係の仕事 (3件)
- ・ スポーツインストラクター・トレーナー (3件) 他8件

【サッカー関係の仕事】 31件

- ・ サッカー選手 (19件)
- ・ サッカー関係の仕事 (12件)

【野球関係の仕事】 26件

- ・ 野球選手 (20件)
- ・ 野球関係の仕事 (6件)

【芸術・音楽・舞台等関係の仕事】 67件

- ・ 音楽関係の仕事・ピアニスト・ミュージシャン等 (17件)

-
- ・ 声優 (12 件)
 - ・ 歌手 (7 件)
 - ・ ダンサー・ダンス関係の仕事 (7 件)
 - ・ 絵を描く仕事・絵関係の仕事 (6 件)
 - ・ 俳優・舞台関係の仕事 (6 件)
 - ・ 芸能人・芸能関係の仕事 (6 件)
 - ・ 美術関係の仕事 (3 件) 他 3 件
-

【子どもに関する仕事】 50 件

- ・ 保育士 (36 件)
 - ・ 幼稚園・保育園の先生 (7 件)
 - ・ 子どもに関わる仕事 (4 件)
 - ・ 保育関係の仕事 (3 件)
-

【動物・植物・自然に関する仕事】 47 件

- ・ 動物関係の仕事 (14 件)
 - ・ 獣医 (10 件)
 - ・ 動物園・水族館の飼育員 (5 件)
 - ・ トリマー (5 件)
 - ・ 動物看護師 (2 件) 他 11 件
-

【教育関係、学者・研究者、人を教える仕事】 41 件

- ・ 小学校・中学校・高校等の先生 (26 件)
 - ・ 科学者・学者・研究者・研究職 (10 件) 他 5 件
-

【デザイン、ファッション、美容・理容関係の仕事】 39 件

- ・ ファッション関係の仕事・ファッションデザイナー (9 件)
 - ・ 美容師・理容師 (7 件)
 - ・ ヘアメイク・メイク関係の仕事 (7 件)
 - ・ 美容関係の仕事 (3 件) 他 13 件
-

【公務員】 36 件

- ・ 警察官 (15 件)
 - ・ 公務員・国家公務員 (10 件)
 - ・ 自衛官 (4 件)
 - ・ 航空管制官 (3 件)
 - ・ 消防士 (2 件) 他 2 件
-

【IT技術、アニメ・ゲーム関係の仕事】 34 件

- ・ イラストレーター (13 件)
 - ・ アニメ関係の仕事 (6 件)
 - ・ IT技術系の仕事 (6 件)
 - ・ ゲーム関係の仕事 (4 件)
 - ・ 漫画家 (3 件) 他 2 件
-

【医療関係の仕事】 34 件

- ・ 看護師 (14 件)
 - ・ 医師 (7 件)
 - ・ 薬剤師 (5 件)
 - ・ 医療関係の仕事 (6 件) 他 2 件
-

【料理や菓子づくり等に関する仕事】 19 件

- ・ 料理関係の仕事・料理人 (7 件)
 - ・ パティシエ・パティシエール (6 件)
 - ・ 栄養士 (2 件) 他 4 件
-

【福祉・心理に関する仕事】 13 件

- ・ カウンセラー (4 件)
 - ・ 心理学関係の仕事 (3 件)
 - ・ 介護士・介護事務 (3 件) 他 3 件
-

上記の他、法律に関する仕事（弁護士等）（5 件）、キャビンアテンダント（5 件）なども複数あげられている。

また、具体的な仕事の内容ではないが、「人のためになる仕事、人を助ける仕事」という回答が 20 件、「人と接する仕事、人を楽しませる仕事」という回答が 10 件見られる。

5 意見・要望等（自由回答）

※原文通りに記載

調査票の最後に、ふだんの生活で感じていることや、アンケートの感想などについての自由記入欄を設けたところ、196名の記入があった。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介する。掲載にあたっては、特に多くの生徒から寄せられた意見・要望や、調査票の設問からは浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望を紹介するよう心がけた。

《学校での勉強について》

- ・ 授業日数を増やして、全部4～5時間目にしてほしい。(男子)
- ・ 土・日を休みではなく、土曜は午前中授業にし、月～金までの授業を5・4時間にしてほしい。そうすれば月～金までの生活にゆとりができます。塾までの時間や家族との時間など平日で作ってほしいです。(女子)
- ・ 授業日数を減らしてほしい。(男子)
- ・ 学校の勉強分らない。(男子)
- ・ テストとかで最近が良い点数が取れないので授業をしっかりきいて、わからないことがあったら、先生に相談したいです。(男子)
- ・ クラスがさわがしい。(男子)

《学校での勉強以外のことについて》

- ・ 学校は友達などもいて楽しく生活できています。いじめなどもないので安心できます。(女子)
- ・ 今のところクラスでは仲良く過ごせています。しかし悪口のようなことを言われている人がたまにいますのが気になります。(女子)
- ・ 先生が生徒をいじめている気がする。(生徒にたいして毎日ひどい言葉をかける)(男子)
- ・ 先生は注意するんだったらみんなに注意して。(女子)
- ・ 先生のさべつがひどすぎだから、みんなおなじようにせつしてほしい。(女子)
- ・ 先生が生徒1人1人を差別化しているのはよくないと感じています。(男子)
- ・ 野球部の顧問の先生に、もう少し指導をしっかりやってほしい。(男子)
- ・ 先生がタバコを吸っていて、ランニングをしている時など、けむりが来ていやだ。(男子)
- ・ 学校の先生がタバコを吸うのはあまりいいことではないと思う。特に幼、小、中は成長する大事な時期なのにさまたげになっては困る。(女子)
- ・ 学校をきれいにしてほしい。トイレまじきたない。(男子)
- ・ 学校で決まり事が多すぎて、逆にそれを守らない人が増えている気がするのもう少し、毎日の学校生活をしばらく見守ってあげることも大切だと思います。(女子)
- ・ 学校のきまりがきびしい、自由がなくてやだ。(男子)
- ・ ケータイや音楽プレイヤーは学校に持って行っていいと思う。学校が始まる登校時や朝会の前なので、まだ自分の時間なのでつかってもいいと思う。(女子)

《いじめについて》

- ・ 大人はもっとしっかりして、いじめ問題に取り組むべきだと思う。いじめている人が悪いのに、いじめられている人を怒るような先生がいる。ヒドイ。(女子)
- ・ うちのクラスのみイジメが見られます。学校に来られなくなる人が出ています。常に誰かの悪口を言っている。からかいがやまない。とめたいけど自分がやられるからとめられない。こんな雰囲気は

《中学生》

嫌です。(女子)

- ・ いやがらせなどを行っている人がいるのでやめてもらいたい。やめたいと思う人もいるだろうけど、やめると自分がやられるという思いになると思う。その所をきちんとしてほしい。(女子)

《心配ごとや困りごとについて》

- ・ 最近頭が痛い。(女子)
- ・ たまに、自分の存在理由をひたすら考えて、死にたくなる。(男子)
- ・ 友達関係というか人間関係難しすぎる。学校行きたくない。たのしくない。高校に早く行ってエンジョイしたいけど、私の頭とかじゃどこも行けないというおちなので、ほんと悲しすぎる。(女子)
- ・ 先生たちは何で人の気持ちを考えずに悪いことだけを否定するのですか。(男子)
- ・ 最近インターネットをつなぐことが多く、お金がかかっている。(男子)
- ・ ふだんの生活についてふりかえって見ると、いろいろとなおさなきゃいけないことがあると思いました。(女子)
- ・ やりたくないことを先におえてから絵を描いているのに、親から「好きなことばかりするな」と注意されることがものすごく腹が立つなあと最近思っています。(女子)
- ・ 進路の事で父と母がうるさい。(女子)

《自分の将来について》

- ・ 最近、自分の将来について考えるようになった。いろんな所に住んだり、いろんな経験をしたいなって思う。(女子)
- ・ 将来についてすごく不安を感じる。(女子)
- ・ 将来のことや自分の高校のことがとても心配。(自分がちゃんとした高校にきちんと行けるのか)など。(女子)

《今回のアンケートについて》

- ・ アンケート楽しかったです。(男子)
- ・ こういうアンケートは自分を見直す機会でもあるのでいいと思う。(男子)
- ・ アンケートの質問がありきたりで、あまり自分が言いたい事が言い出せない。(男子)
- ・ もっといじめについてアンケートをとった方がいい。(男子)
- ・ このアンケートに答えたら、学校か何か対策をしてくれるのですか。(女子)
- ・ アンケート長かった。(女子)
- ・ 名前はかかないでと言っておきながら、あれだけ質問があつたら特定することが可能だ。名前をかかないで安心させて本音を聞くというような甘い考えは中学生にはやめてほしい。(男子)

《その他》

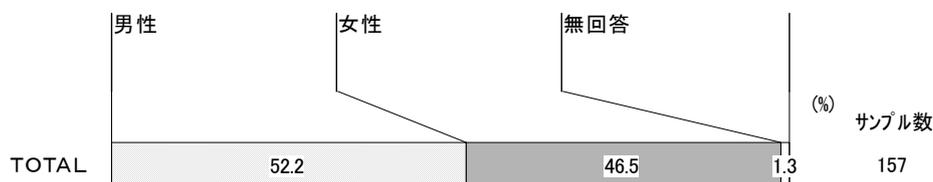
- ・ 様々な挑戦が出来る環境にしてほしい。(女子)
- ・ 想定外の災害がおこった時の訓練をもっとした方が良いと思う。学校や地域で。(女子)

1 基本的な属性

(1) 性別

問1 性別をお答えください。(○は1つ)

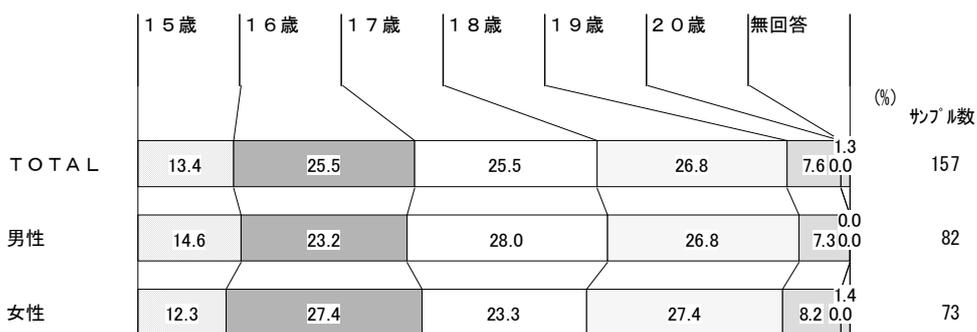
性別の構成は、男性 52.2%、女性 46.5%である。



(2) 年齢

問2 年齢(平成24年9月1日現在)をお答えください。(○は1つ)

年齢の構成は、15歳 13.4%、16歳 25.5%、17歳 25.5%、18歳 26.8%、19歳 7.6%である。



(3) 居住地区

問3 お住まいの町はどちらですか。(○は1つ)

居住地区の構成は、以下のとおりである。

	田無町	南町	西原町	緑町	谷戸町	北原町	向台町	芝久保町	新町
人数	8	6	7	3	14	1	15	16	8
構成比	5.1%	3.8%	4.5%	1.9%	8.9%	0.6%	9.6%	10.2%	5.1%

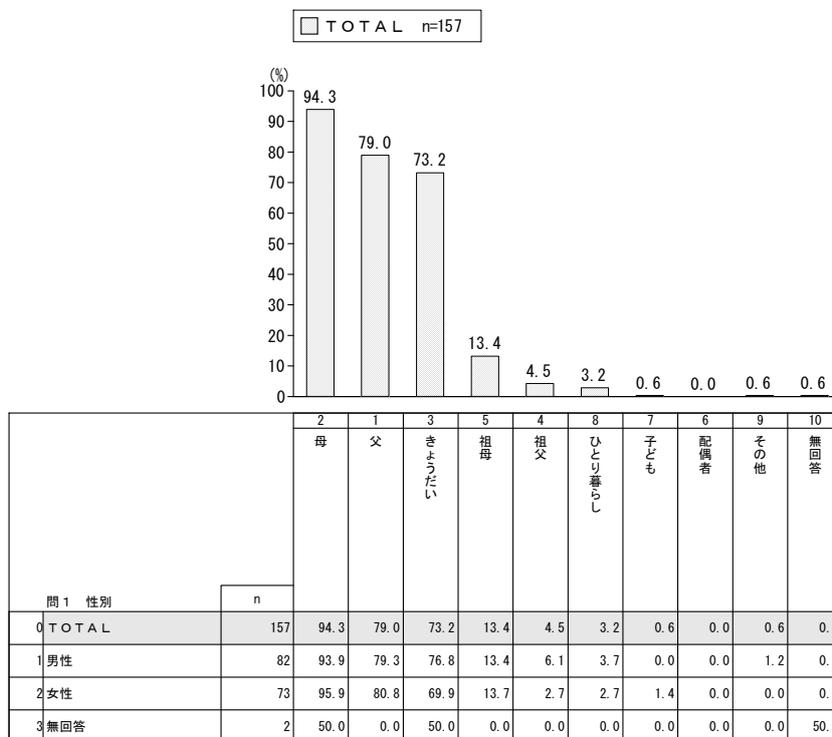
	柳沢	東伏見	保谷町	富士町	中町	東町	泉町	住吉町	ひばりが丘
人数	15	4	8	9	2	8	6	6	8
構成比	9.6%	2.5%	5.1%	5.7%	1.3%	5.1%	3.8%	3.8%	5.1%

	ひばりが丘北	栄町	北町	下保谷	無回答
人数	2	3	2	3	3
構成比	1.3%	1.9%	1.3%	1.9%	1.9%

(4) 同居家族

問4 現在、あなたと同居されているご家族はどなたですか。(○はいくつでも)

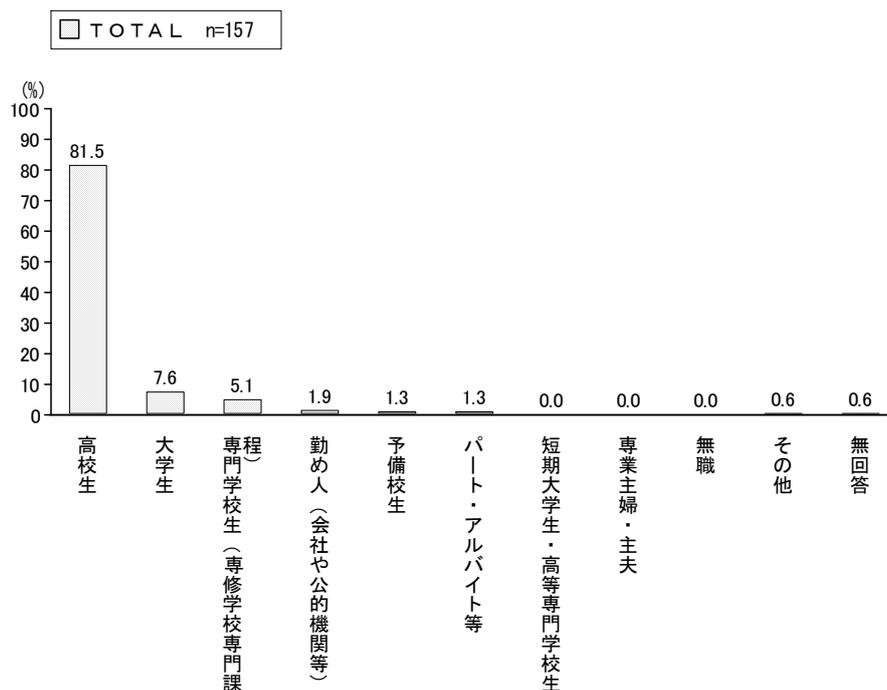
同居家族は、「母」が94.3%と最も多く、次いで「父」(79.0%)、「きょうだい」(73.2%)と続いている。



(5) 職業

問5 あなたの現在の職業をお答えください。(○は1つ)

「高校生」が81.5%を占めており、「大学生」が7.6%いる。



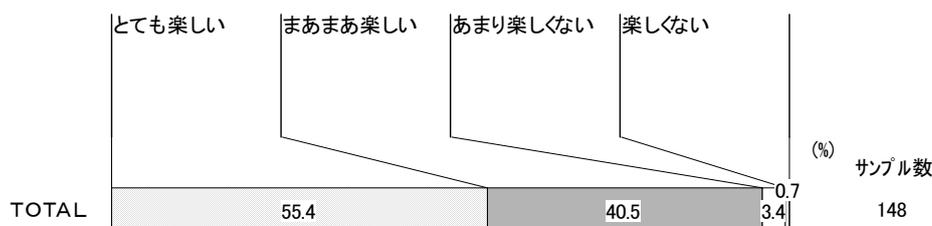
2 学校での生活の状況

(1) 学校の楽しさ

問6 学校は楽しいですか。(○は1つ)

※「高校生、短期大学生・高等専門学校生、専門学校生、大学生」と回答した者

学校に通っている人に対して、学校は楽しいかどうか尋ねたところ、「とても楽しい」と回答した人が55.4%、「まあまあ楽しい」が40.5%となっており、楽しくないとする回答は数%にとどまっている。



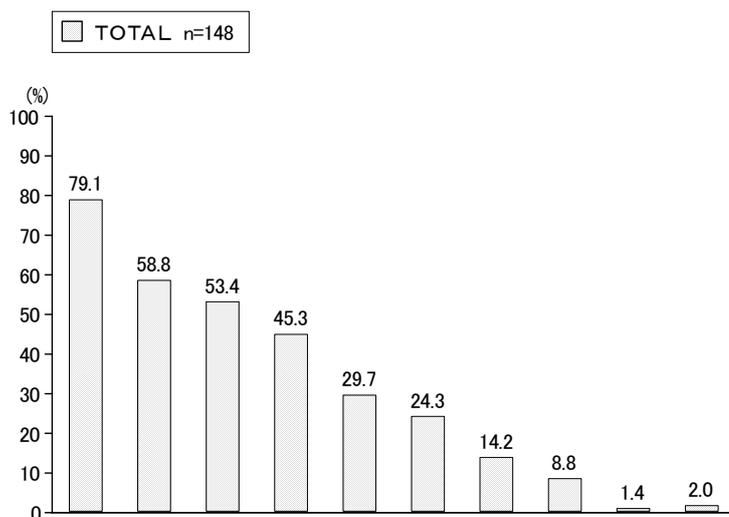
(2) 学校で楽しいところ

問7 学校のどんなところが楽しいですか。(○はいくつでも)

※「高校生、短期大学生・高等専門学校生、専門学校生、大学生」と回答した者

学校の楽しいところとしては、「友だちがいること」をあげる人が79.1%と最も多く、次いで「休み時間」(58.8%)、「部活動、サークル活動等」(53.4%)と続いている。

性別に見ると、「友だちがいること」や「修学旅行、体育祭、文化祭などの行事」をあげる人の割合は、男性に比べて女性のほうが10ポイント高く、反対に「授業」は男性のほうが10ポイント以上高くなっている。



問1 性別	n	4	2	8	6	1	3	5	7	9	10
		友だちがいること	休み時間	部活動、サークル活動等	修学旅行、体育祭、文化祭などの行事	授業	授業以外のクラス活動	先生がいること	図書室	その他	特にない
0 TOTAL	148	79.1	58.8	53.4	45.3	29.7	24.3	14.2	8.8	1.4	2.0
1 男性	79	73.4	58.2	54.4	36.7	35.4	26.6	13.9	8.9	2.5	1.3
2 女性	68	86.8	58.8	52.9	55.9	23.5	22.1	14.7	8.8	0.0	2.9
3 無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に△▽を付けています。

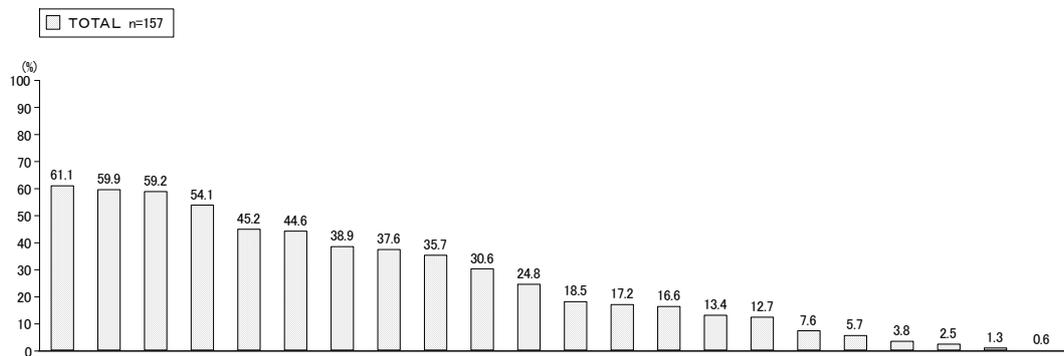
3 ふだんの生活の状況

(1) 自由な時間の過ごし方

問8 あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)

自由な時間の過ごし方としては、「テレビを見たり、ビデオ・DVDを見たりする」が61.1%と最も多く、次いで「友達と共に過ごす」(59.9%)、「音楽を聴く」(59.2%)と続いている。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが10ポイント以上高い項目は、「パソコンやインターネットを利用する」(男性48.8%、女性60.3%)、「特に何もせず、ひとりでぶらぶらしたり寝転がっている」(男性39.0%、女性52.1%)、「家族と共に過ごす」(男性29.3%、女性46.6%)、「ショッピングに行く」(男性17.1%、女性56.2%)である。反対に、男性のほうが10ポイント以上高い項目は、「テレビゲームをする」(男性31.7%、女性15.1%)、「スポーツ、ダンスなどをする」(男性24.4%、女性11.0%)、「スポーツ、映画、演劇などを見に行く」(男性23.2%、女性8.2%)である。



問1 性別	n	項目																					
		5	2	11	6	1	9	10	4	14	8	7	16	18	15	12	20	3	13	17	19	21	22
0 TOTAL	157	61.1	59.9	59.2	54.1	45.2	44.6	38.9	37.6	35.7	30.6	24.8	18.5	17.2	16.6	13.4	12.7	7.6	5.7	3.8	2.5	1.3	0.6
1 男性	82	59.8	62.2	56.1	48.8	39.0	42.7	41.5	29.3	17.1	32.9	31.7	24.4	13.4	23.2	14.6	9.8	9.8	3.7	4.9	2.4	2.4	1.2
2 女性	73	63.0	57.5	64.4	60.3	52.1	45.2	35.6	46.6	56.2	27.4	15.1	11.0	20.5	8.2	12.3	15.1	4.1	8.2	1.4	2.7	0.0	0.0
3 無回答	2	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

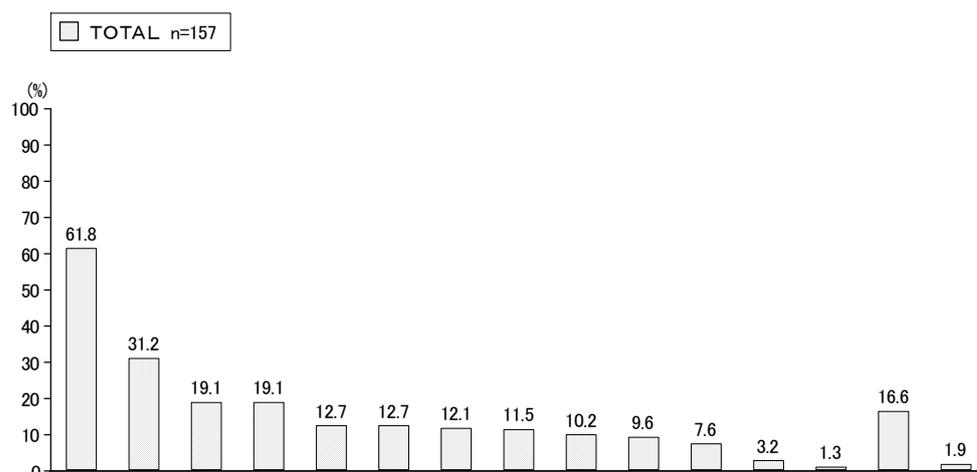
※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に△▽を付けています。

(2) 悩みや心配事

問9 あなたは、どんな悩みや心配事がありますか。(〇はいくつでも)

「悩みや心配事はない」と回答した人は16.6%で、8割以上の人は何らかの悩み・心配事を抱えていることがわかる。内容としては、約6割の人が「勉強や進学のこと」(61.8%)をあげ、最も多くなっている。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが10ポイント以上高い項目は、「容姿のこと」(男性11.0%、女性27.4%)、「性格のこと」(男性4.9%、女性20.5%)である。反対に、男性のほうが10ポイント以上高い項目は、「お金のこと」(男性24.4%、女性12.3%)である。なお、「悩みや心配事はない」と回答した人の割合は、男性では22.0%だが、女性では9.6%と低くなっており、約9割の女性は何らかの悩みや心配事を抱えていることがわかる。



問1 性別	n	1	2	8	12	5	10	3	4	6	11	9	7	13	14	15
		勉強や進学のこと	就職のこと	お金のこと	容姿のこと	友だちや仲間のこと	性格のこと	仕事のこと	家族のこと	異性のこと	健康のこと	政治や社会のこと	結婚のこと	その他	悩みや心配事はない	無回答
0 TOTAL	157	61.8	31.2	19.1	19.1	12.7	12.7	12.1	11.5	10.2	9.6	7.6	3.2	1.3	16.6	1.9
1 男性	82	58.5	34.1	24.4	11.0	8.5	4.9	11.0	7.3	11.0	9.8	8.5	3.7	1.2	22.0	1.2
2 女性	73	65.8	27.4	12.3	27.4	16.4	20.5	12.3	15.1	8.2	8.2	6.8	1.4	1.4	9.6	2.7
3 無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

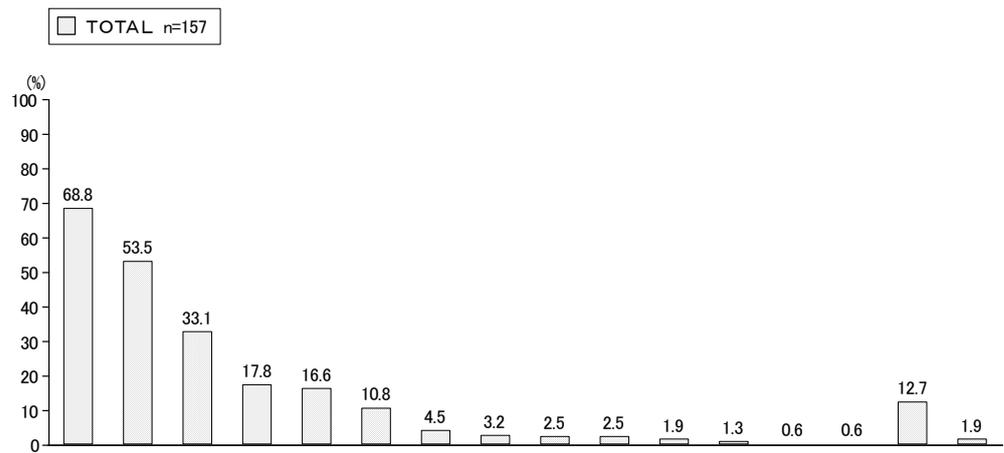
※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に△/▽を付けています。

(3) 悩みや心配事の相談相手

問10 あなたが悩みや心配事があった場合の相談相手として、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

悩みや心配事の相談相手としては、「学校（学校時代）の友だち」をあげる人は68.8%と最も多く、次いで「母」(53.5%)、「父」(33.1%)と続いている。なお、「誰にも相談しない」と回答した人が12.7%見られる。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが10ポイント以上高い項目は、「学校（学校時代）の友だち」(男性57.3%、女性80.8%)、「母」(男性43.9%、女性64.4%)、「きょうだい」(男性8.5%、女性24.7%)である。反対に、男性のほうが10ポイント以上高い項目は、「父」(男性39.0%、女性26.0%)である。なお、「誰にも相談しない」と回答した人の割合は、女性では6.8%だが、男性では18.3%と高くなっており、男性は女性に比べて、周囲に悩みや心配事をあまり相談しない状況がうかがえる。



問1 性別	n	相談相手															
		6 学校（学校時代）の友だち	2 母	1 父	7 学校（学校時代）の先生	3 きょうだい	8 学校（学校時代）の先輩	14 恋人	11 団体・グループなどの仲間	4 祖父母・親類	13 インターネットのサイト	12 インターネット上の友だち	15 カウンセラー、相談員	9 職場の同僚、上役や先輩	16 その他	17 誰にも相談しない	18 無回答
0 TOTAL	157	68.8	53.5	33.1	17.8	16.6	10.8	4.5	3.2	2.5	2.5	1.9	1.3	0.6	0.6	12.7	1.9
1 男性	82	57.3	43.9	39.0	15.9	8.5	6.1	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4	1.2	1.2	0.0	18.3	3.7
2 女性	73	80.8	64.4	26.0	19.2	24.7	15.1	4.1	4.1	2.7	2.7	1.4	1.4	0.0	1.4	6.8	0.0
3 無回答	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に△▽を付けています。

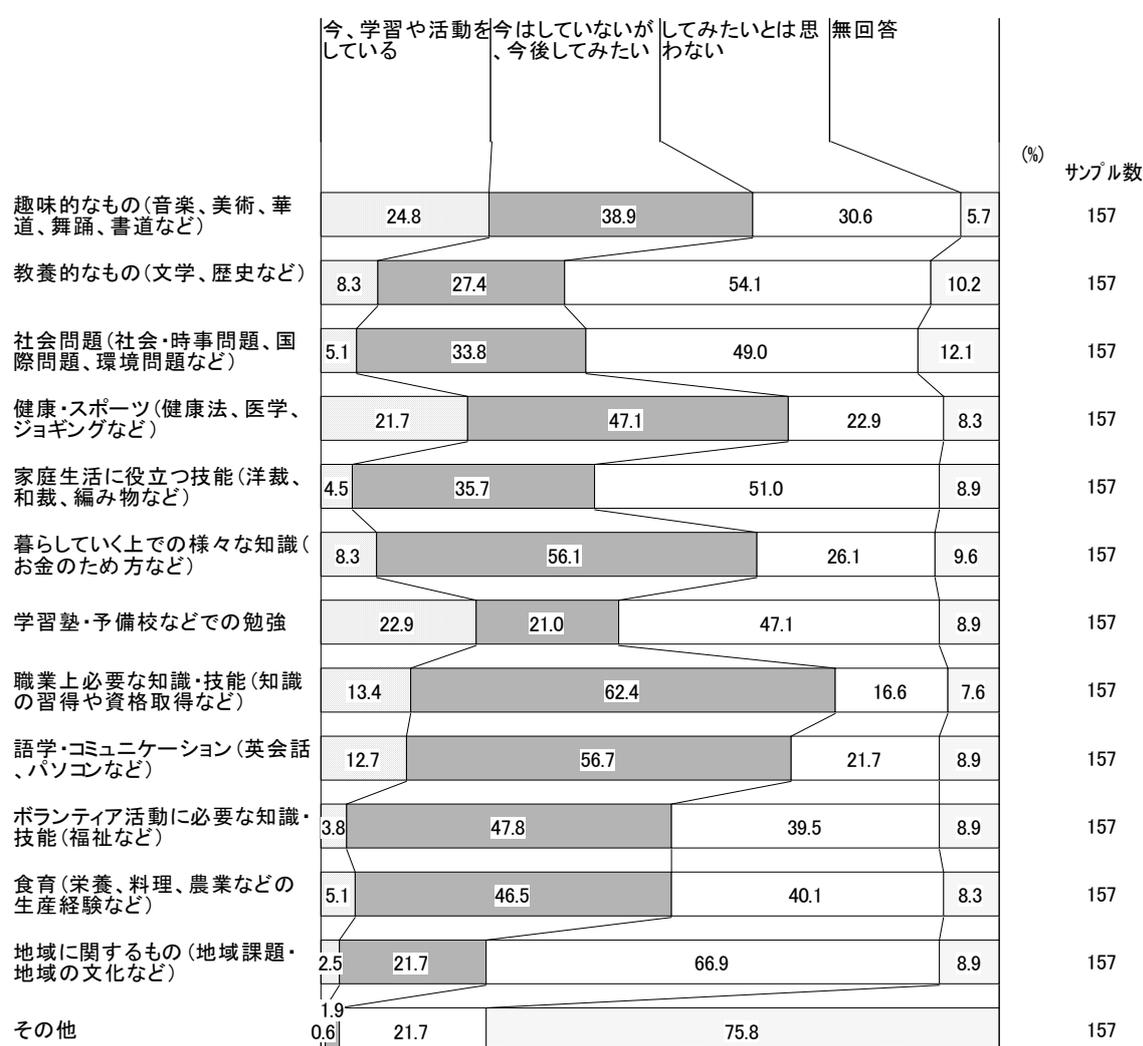
4 学校以外の学習や活動の状況

(1) 学習や活動の内容

問 11 現在、あなたは学校以外でどのような学習や活動をしていますか。また、今後してみたいと思いますか。
次の(ア)～(ス)のそれぞれの項目についてお答えください。(○は(ア)～(ス)ごとに、それぞれ1つずつ)

12の学習・活動のうち、「今、学習や活動をしている」人が最も多いのは、「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道など)」で、24.8%の人が活動している。次に多いのは、「学習塾・予備校などでの勉強」で、22.9%の人が活動している。

「今はしていないが、今後活動してみたい」と考えている人が最も多いのは、「職業上必要な知識・技能(知識の習得や資格の取得など)」で、62.4%の人に活動意向がある。また、学習塾・予備校などでの勉強以外は、実際に活動している人よりも、今は活動していないが活動してみたいと考えている人が多くっており、潜在的な活動意向が高い状況がうかがわれる。



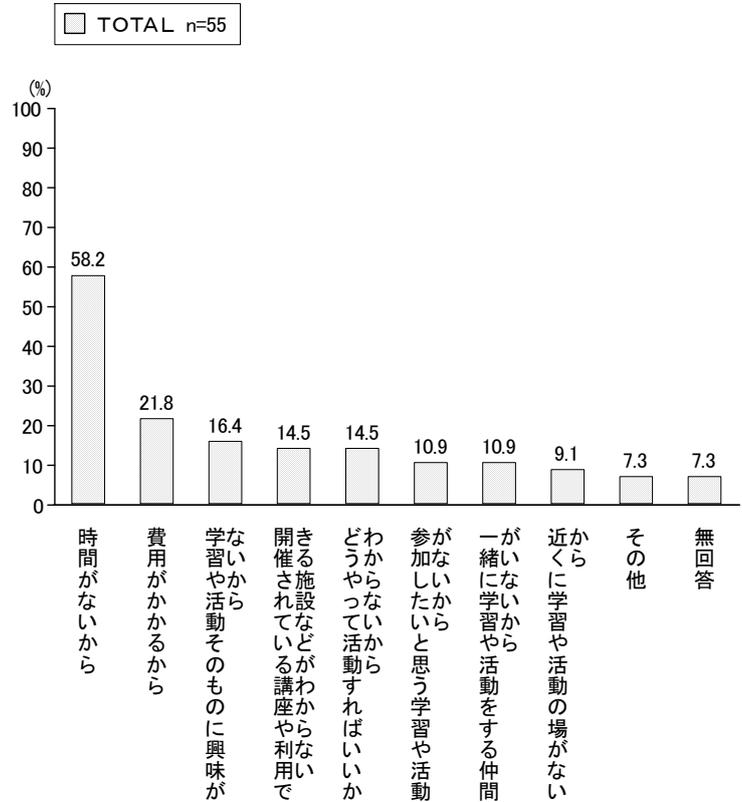
※学習・活動の種類の名前は、一部簡略化して記載している。

(2) 学習や活動ができない理由、しない理由

問12 学習や活動ができない理由、しない理由は何ですか。次の理由の中から、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

※「今、学習や活動をしているものが1つもない」と回答した者

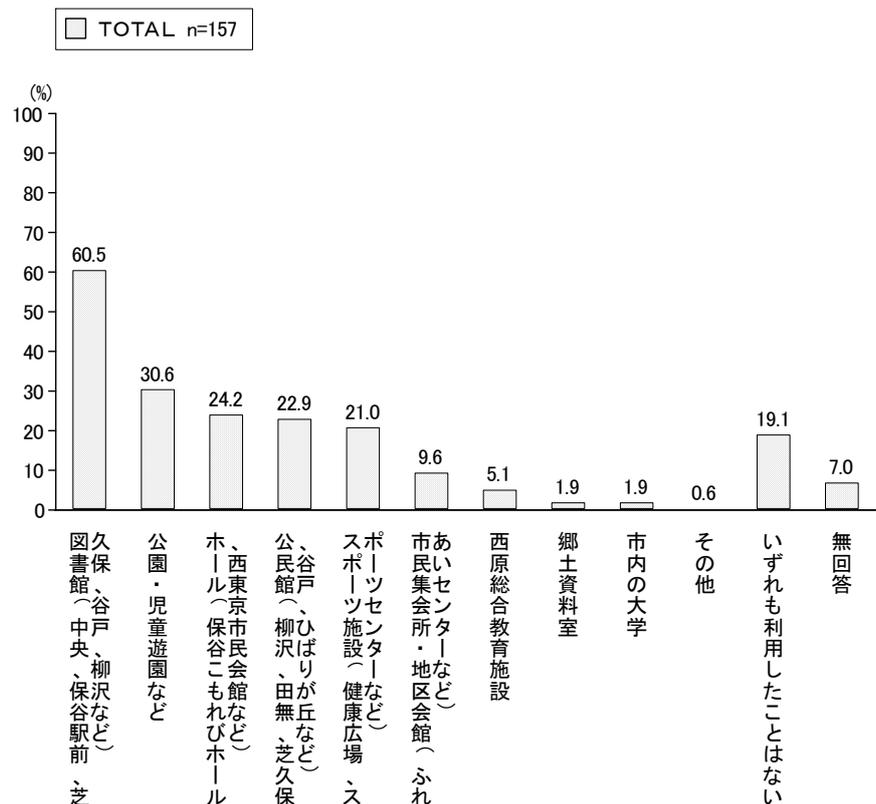
学習や活動が出来ない理由、しない理由としては、「時間がないから」と回答した人が58.2%と最も多く、次いで「費用がかかるから」が21.8%で続いている。



(3) 市内施設の利用状況

問13 あなたは、この1年間で、西東京市内の下記の施設を利用したことがありますか。利用したことがある施設を全てお答えください。(〇はいくつでも)

この1年間に最も利用されている市内の施設は、「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢など）」(60.5%)で、約6割の人が利用したことがあると回答している。

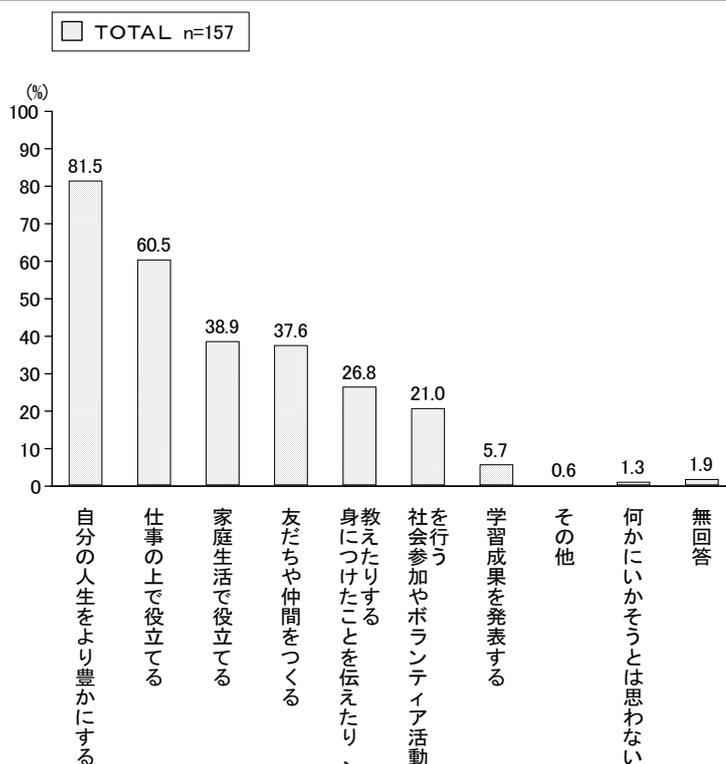


※選択肢は、一部簡略化して記載している。

(4) 学習や活動で得た知識・技術の活用方法

問14 あなたが学習や活動で知識や技術を得たとしたら、どのようにいかしていきたいと思いますか。(〇はいくつでも)

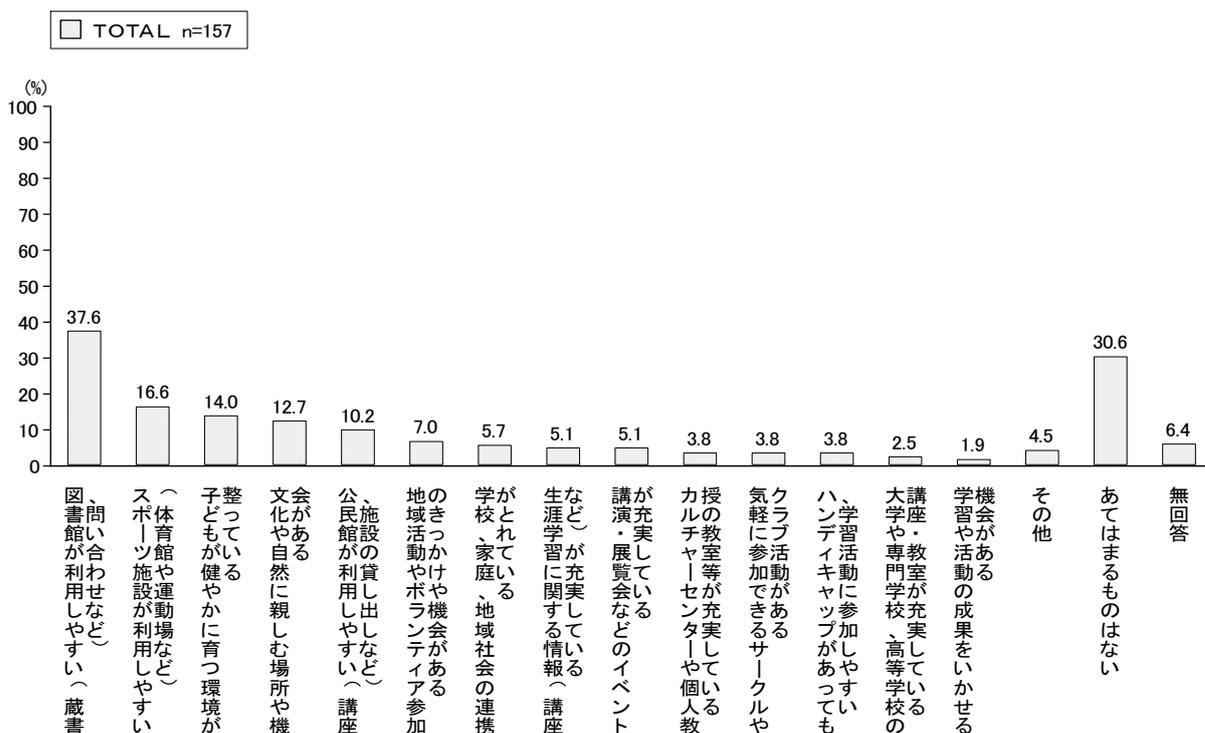
学習や活動で得た知識や技術の活用方法として、約8割の人は「自分の人生をより豊かにする」(81.5%)ことを望んでいる。次いで、「仕事の上で役立てる」(60.5%)、「家庭生活で役立てる」(38.9%)、「友だちや仲間をつくる」(37.6%)の順で続いている。



(5) 西東京市の学習環境

問15 現在の西東京市の学習環境について、あてはまると思うものをお答えください。(〇はいくつでも)

現在の西東京市の学習環境については、「図書館が利用しやすい(蔵書、問い合わせなど)」ことをあげる人が37.6%と最も多く、次いで「スポーツ施設が利用しやすい(体育館や運動場など)」が16.6%で続いている。



※選択肢は一部簡略化して記載している。

5 公民館・図書館の利用状況

(1) 公民館の利用状況

問 16 この1年間に、公民館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(○は1つ)

この1年間の公民館の利用経験を尋ねたところ、75.8%の人は「利用したことはない」と回答している。

		ほぼ毎日 利用	週4~5回 利用	週2~3回 利用	週1回 程度利用	月2~3回 利用	月1回 程度利用	年数回 利用	利用したこ とはない	無回答
人 数	157	0	0	1	1	5	7	22	119	2
構成比	100%	-	-	0.6%	0.6%	3.2%	4.5%	14.0%	75.8%	1.3%

(2) 公民館の利用目的・内容

問 17 公民館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(○はいくつでも)

※「この1年間に公民館を利用した」と回答した者

公民館を利用する目的・内容は、「ロビー利用（休憩、くつろぎ）」が55.6%と最も多い。

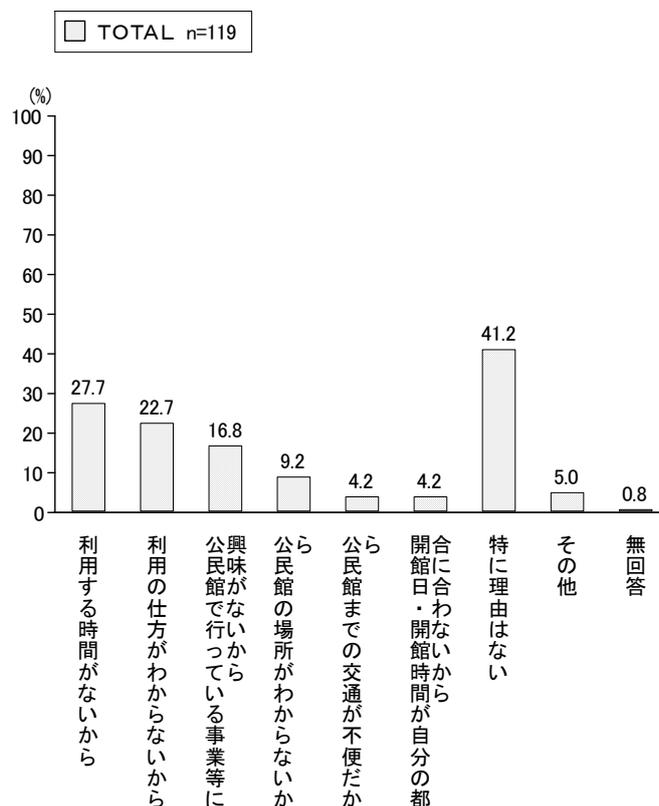
		ロビー利 用(休憩、 くつろぎ)	サークル 活動	公民館が 主催する 講座及び イベント	PTA、子ど も会、その 他各種団 体の活動	自治会関 係の活動	チラシ、パ ンフレット 等の情報 収集	市民企画 事業	その他	無回答
人 数	36	20	5	2	2	1	1	0	8	2
構成比	100%	55.6%	13.9%	5.6%	5.6%	2.8%	2.8%	-	22.2%	5.6%

(3) 公民館を利用しない理由

問 18 公民館を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※「この1年間に公民館を利用したことがない」と回答した者

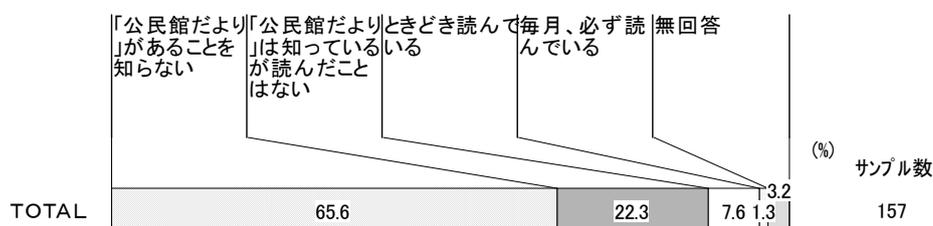
公民館を利用しない理由を尋ねたところ、約4割の人は「特に理由はない」(41.2%)と回答しているが、あげられた理由としては、「利用する時間がないから」が27.7%と最も多く、次いで「利用の仕方がわからないから」が22.7%で続いている。



(4) 「公民館だより」の認知状況

問 19 毎月1日に全戸配布される「公民館だより」を読んでいますか。(○は1つ)

公民館だよりを「毎月、必ず読んでいる」人は1.3%、「ときどき読んでいる」は7.6%となっており、合わせると約1割の人は、公民館だよりを読んだ経験があることがわかる。「公民館だよりは知っているが読んだことはない」人を合わせると、公民館だよりの認知率は約3割である。



(5) 図書館の利用状況

問 20 この1年間に、市の図書館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(○は1つ)

この1年間の図書館の利用経験を尋ねたところ、「利用したことはない」人は38.2%で、約6割の人は利用した経験がある。

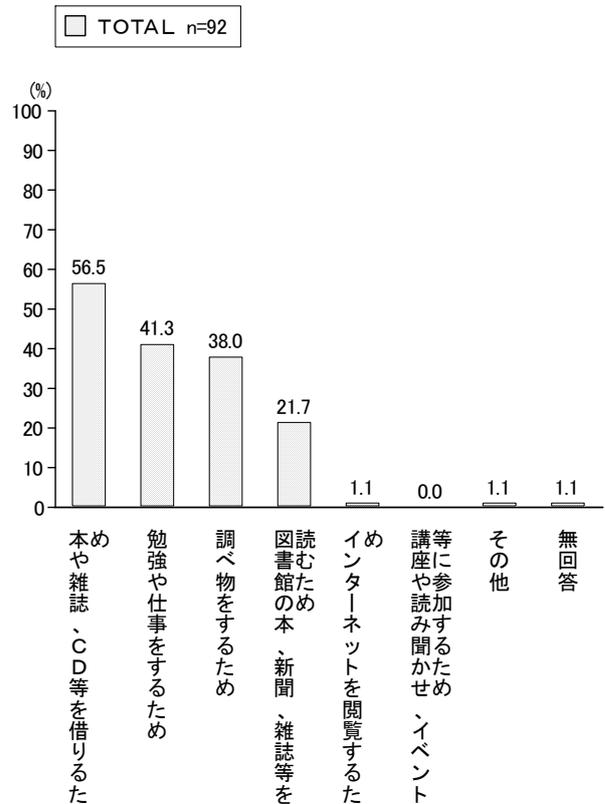
	ほぼ毎日 利用	週4~5回 利用	週2~3回 利用	週1回 程度利用	月2~3回 利用	月1回 程度利用	年数回 利用	利用したこ とはない	無回答
人 数	0	1	2	5	13	16	55	60	5
構成比	-	0.6%	1.3%	3.2%	8.3%	10.2%	35.0%	38.2%	3.2%

(6) 図書館の利用目的・内容

問 21 図書館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(○はいくつでも)

※「この1年間に図書館を利用した」と回答した者

図書館を利用する目的・内容は、「本や雑誌、CD等を借りるため」が56.5%と最も多く、次いで「勉強や仕事をするため」(41.3%)、「調べ物をするため」(38.0%)と続いている。

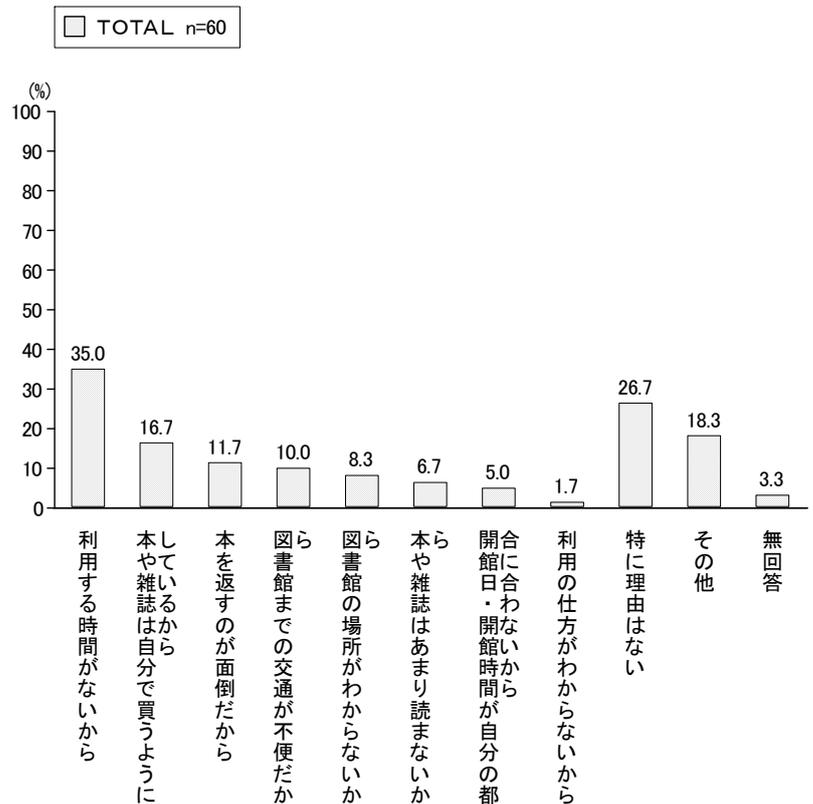


(7) 図書館を利用しない理由

問 22 図書館を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※「この1年間に図書館を利用したことがない」と回答した者

図書館を利用しない理由としては、「利用する時間がないから」が35.0%と最も多い。なお、「特に理由はない」という回答が26.7%見られる。

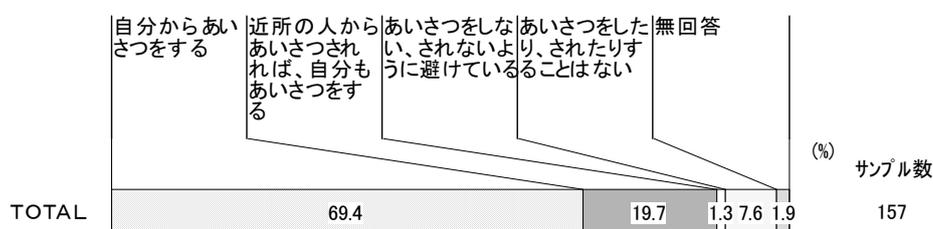


6 地域との関わりの状況

(1) 近所とのつきあいの程度

問 23 普段、近所の人とはあいさつをしますか。(○は1つ)

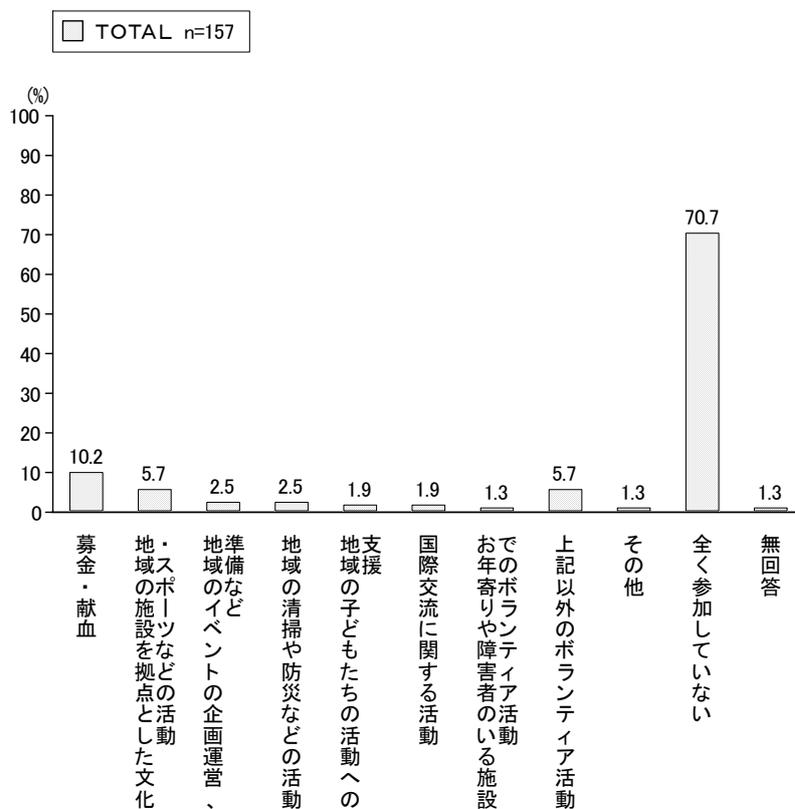
約7割の人は、普段、近所の人に「自分からあいさつをする」(69.4%)と回答している。



(2) 地域・社会活動への参加状況

問 24 あなたは、最近1年間で、次のような活動に参加したり、行ったりしたことがありますか。(○はいくつでも)

最近1年間に、「募金・献血」に行った人は10.2%、「地域の施設を拠点とした文化・スポーツなどの活動」に参加した人は5.7%で、地域活動や社会活動に「全く参加していない」人が約7割(70.7%)となっている。



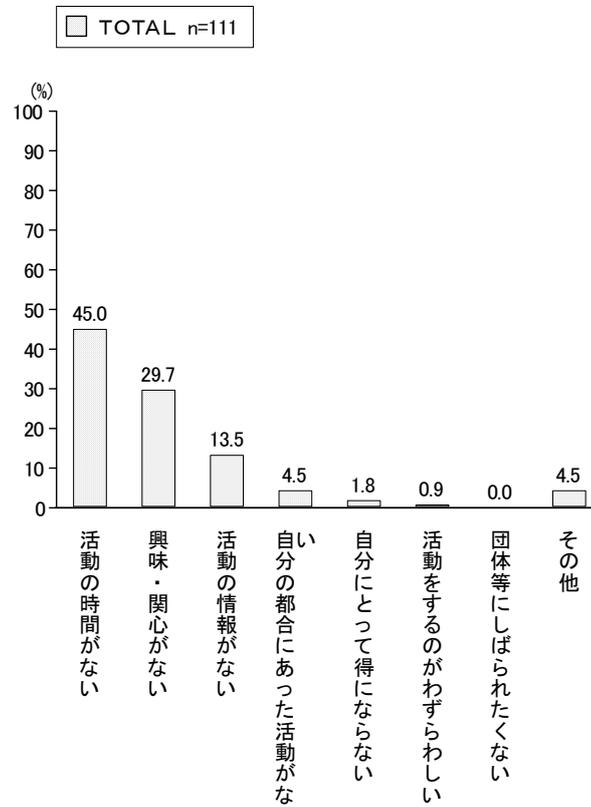
※選択肢は一部簡略化して記載している。

(3) 地域・社会活動に参加しない理由

問 25 あなたが、地域・社会での活動に参加しない主な理由は何ですか。(○は1つ)

※ 「最近1年間に地域・社会活動に参加したことがない」と回答した者

地域活動や社会活動に参加しない理由としては、「活動の時間がない」と回答した人が 45.0%と最も多く、次いで「興味・関心がない」が 29.7%で続いている。

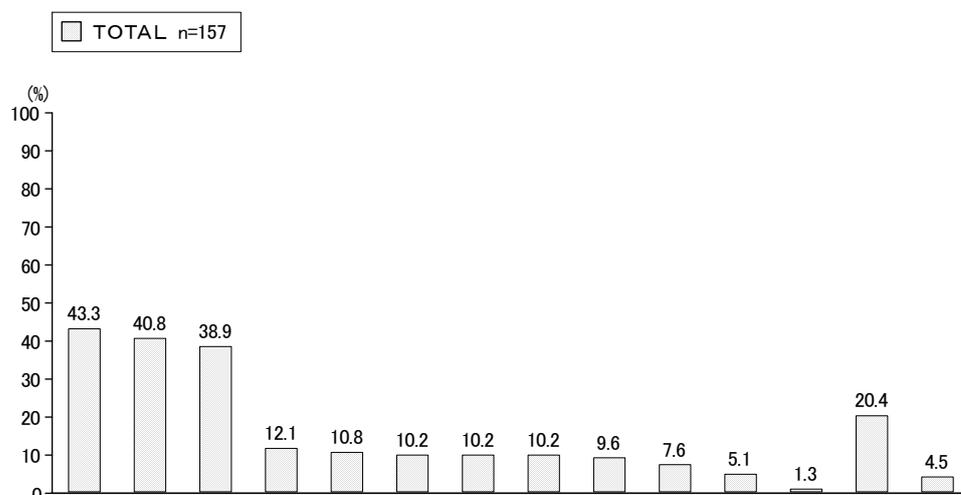


(4) 地域・社会活動への参加意向

問 26 あなたは、身近な小学校・中学校の取り組みやそこを拠点として行われる地域の活動について、どのようなことなら、参加・協力してもよいと思いますか。(〇はいくつでも)

参加・協力してもよい地域の活動が「特にない」と回答した人は 20.4%で、約8割の人には何らかの地域活動への参加・協力意向があることがわかる。参加・協力意向が最も高いのは、「学校の行事やイベント」の 43.3%、次いで「学校の授業やクラブ活動・部活動」(40.8%)、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」(38.9%)と続いている。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが 10 ポイント以上高い項目は、「学校の行事やイベント」(男性 32.9%、女性 56.2%)、「児童生徒の体験活動などにおける安全確保やサポート」(男性 4.9%、女性 15.1%)、「子どもの地域での過ごし方や活動などの広報誌づくり等」(男性 2.4%、女性 13.7%)である。反対に、男性のほうが 10 ポイント以上高い項目は、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」(男性 46.3%、女性 31.5%)である。



問1 性別	n	5	4	7	1	11	2	3	8	6	10	9	12	13	14
		学校の行事やイベント	学校の授業やクラブ活動・部活動	学校で行われる地域のスポーツ・文化活動	総合的な学習の時間や調べ学習などへの資料の提供	市民同士の交流や、まちづくりに関する活動	歴史、学習などの情報提供(地域学習のための情報提供)	児童生徒の体験活動などにおける安全確保やサポート	土日や行事などの企画・実施	学校図書館やコンピュータ利用などの施設開放運営	活動などの広報誌づくり等や子どもの地域での過ごし方や	児童生徒の非行防止や健全育成のための活動	その他	特にない	無回答
0 TOTAL	157	43.3	40.8	38.9	12.1	10.8	10.2	10.2	10.2	9.6	7.6	5.1	1.3	20.4	4.5
1 男性	82	32.9	41.5	46.3	9.8	9.8	13.4	4.9	7.3	9.8	2.4	2.4	2.4	22.0	3.7
2 女性	73	56.2	39.7	31.5	15.1	12.3	6.8	15.1	12.3	9.6	13.7	8.2	0.0	17.8	5.5
3 無回答	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

※男性・女性で 10 ポイント以上差がある項目に \wedge \vee を付けています。

※選択肢は一部簡略化して記載している。

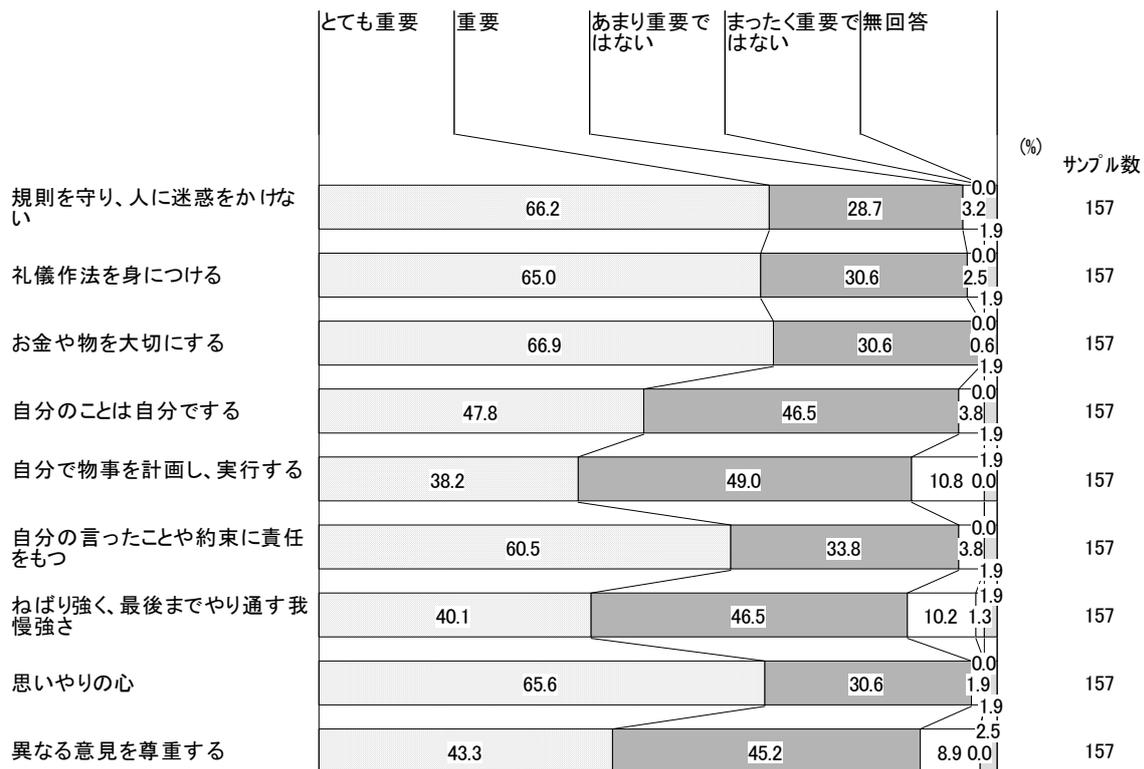
7 家庭の役割について

(1) 家庭で身につけるべきこと

問 27 あなたは、主に家庭で身につけるべきこととして、どのようなことが重要だと思いますか。

(○は(ア)~(ケ)にそれぞれ1つずつ)

家庭で身につけるべきこととして、「とても重要」あるいは「重要」と考えている人の割合は、提示した9つの項目すべてで8割以上となっており、「まったく重要ではない」あるいは「あまり重要ではない」と回答した人の割合が1割を超えているのは、「自分で物事を計画し、実行する」(10.8%)と「ねばり強く、最後までやり通す我慢強さ」(11.5%)の2項目のみである。



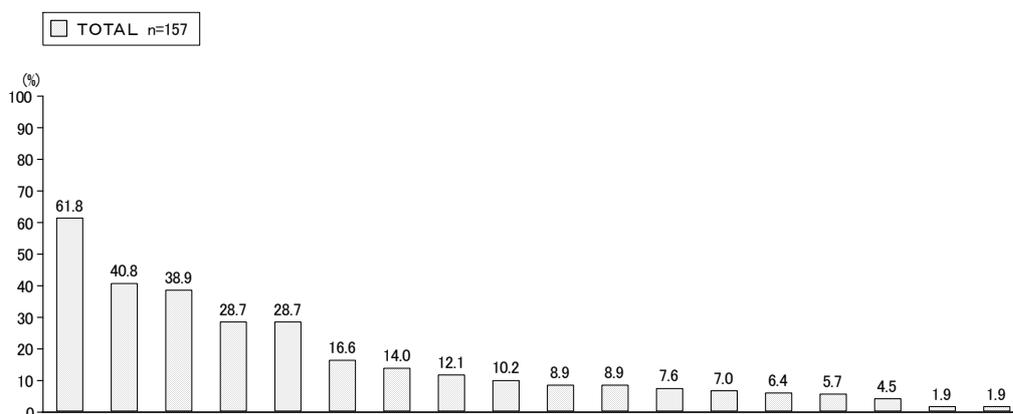
8 小学校・中学校について

(1) 小学校・中学校で教えることで重要なこと

問 28 西東京市の小学校・中学校で子どもたちに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

小学校・中学校で子どもたちに教えることとして重要だと思うことは、「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」と回答した人が 61.8%と最も多く、次いで「社会生活に必要な常識やマナー」(40.8%)、「人間関係を築く力」(38.9%)と続いている。

性別に見ると、男性に比べて女性のほうが 10 ポイント以上高い項目は、「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」(男性 54.9%、女性 68.5%)、「社会生活に必要な常識やマナー」(男性 30.5%、女性 53.4%)である。反対に、男性のほうが 10 ポイント以上高い項目は、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」(男性 34.1%、女性 23.3%)である。



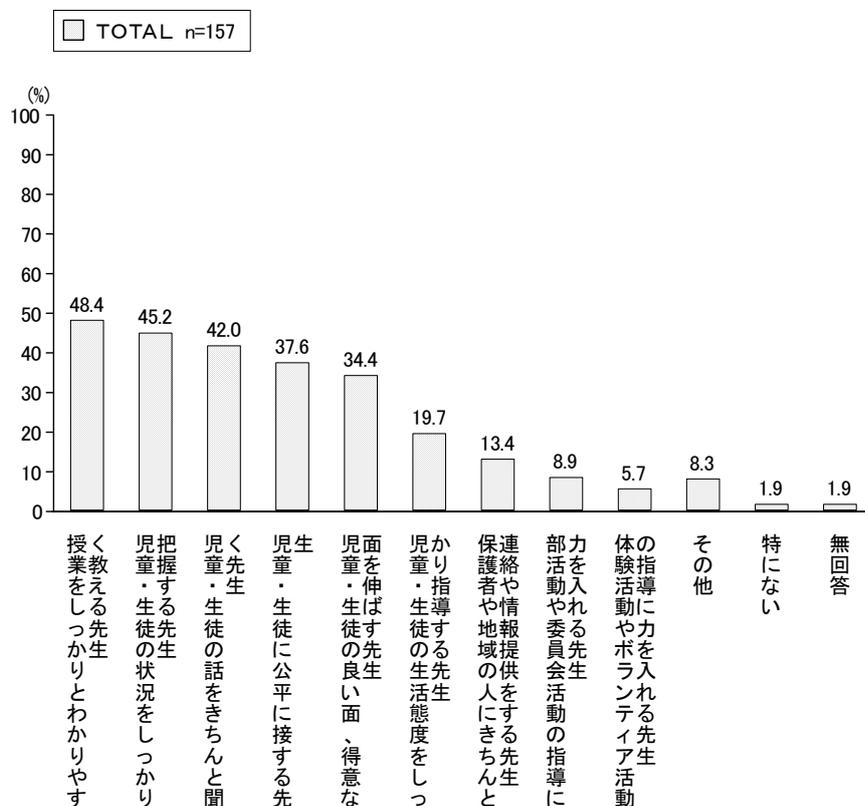
問 1 性別	n	1	4	2	3	9	5	11	6	7	12	16	10	13	14	8	15	17	18
0 TOTAL	157	61.8	40.8	38.9	28.7	28.7	16.6	14.0	12.1	10.2	8.9	8.9	7.6	7.0	6.4	5.7	4.5	1.9	1.9
1 男性	82	54.9	30.5	36.6	34.1	28.0	18.3	12.2	11.0	13.4	7.3	8.5	4.9	8.5	8.5	7.3	7.3	3.7	2.4
2 女性	73	68.5	53.4	41.1	23.3	28.8	15.1	16.4	12.3	6.8	11.0	9.6	11.0	5.5	4.1	4.1	1.4	0.0	1.4
3 無回答	2	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 男性・女性で 10 ポイント以上差がある項目に \wedge / \vee を付けています。

(2) 望ましい小学校・中学校の教師像

問 29 西東京市の小学校・中学校の先生は、どのような先生が望ましいと思いますか。(○は3つまで)

望ましい小学校・中学校の教師像としては、「授業をしっかりとわかりやすく教える先生」をあげる人が 48.4%と最も多く、次いで「児童・生徒の状況をしっかりと把握する先生」(45.2%)、「児童・生徒の話をきちんと聞く先生」(42.0%)と続いている。



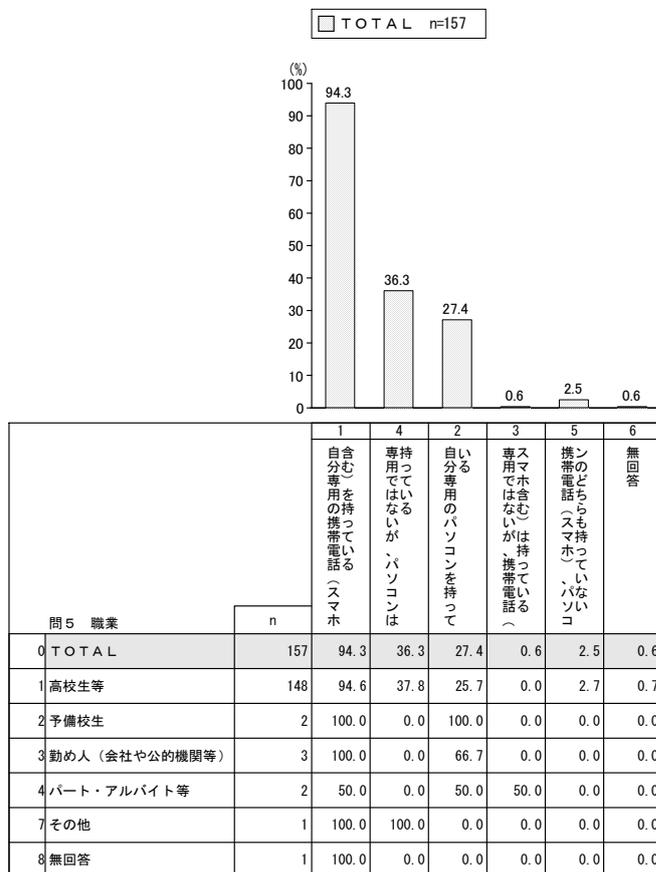
※選択肢は一部簡略化して記載している。

9 携帯電話・パソコンの利用状況

(1) 携帯電話やパソコンの所持状況

問 30 あなたは、自分専用の携帯電話(スマートフォン含む)、パソコンを持っていますか。(○はいくつでも)

「自分専用の携帯電話(スマートフォン含む)を持っている」人は94.3%、「自分専用のパソコンを持っている」を持っている人は27.4%である。



※選択肢は一部簡略化して記載している。

※高校生等には、「高校生」「短期大学生・高等専門学校生」「専門学校生」「大学生」が含まれる。

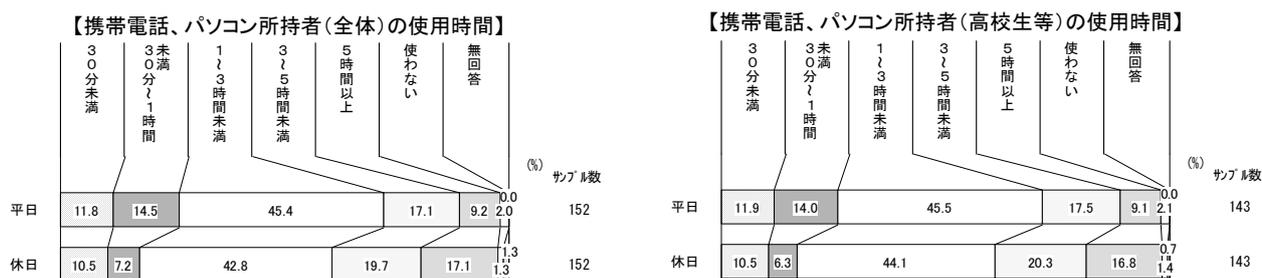
(2) 携帯電話、パソコンの使用時間

問 31 1日にどのくらいの時間、携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンを使いますか。

「平日」「休日」それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

※「携帯電話、パソコンを持っている」と回答した者(自分専用かどうかは問わない)

携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンの使用時間は、平日では「1~3時間未満」が45.4%、休日では「1~3時間未満」が42.8%を占める。なお、「5時間以上」使用する人も、平日では9.2%、休日では17.1%見られる。



※高校生等には、「高校生」「短期大学生・高等専門学校生」「専門学校生」「大学生」が含まれる。

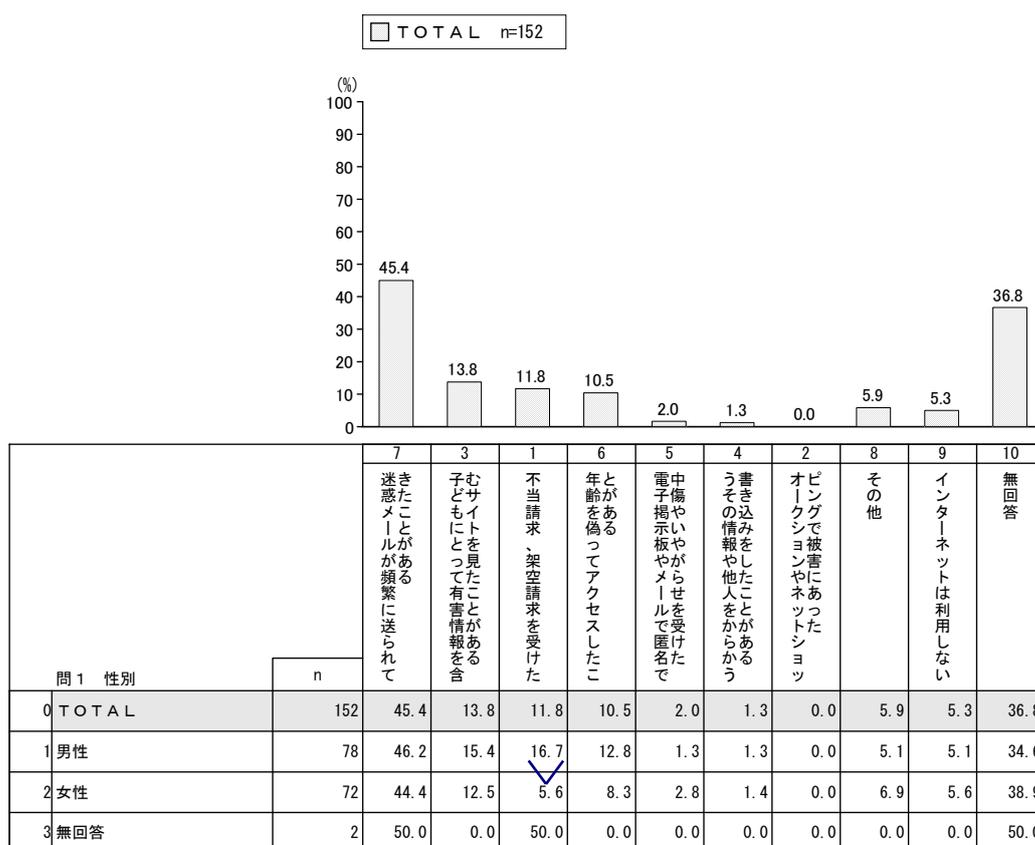
(3) インターネット利用の際のトラブル状況

問 32 携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンでインターネットを利用して、次のようなことがありましたか。(〇はいくつでも)

※「携帯電話、パソコンを持っている」と回答した者(自分専用かどうかは問わない)

携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンでインターネットを利用して、「迷惑メールが頻繁に送られてきたことがある」人が45.4%、「子どもにとって有害情報を含むサイトを見たことがある」人が13.8%、「不当請求、架空請求を受けた」ことがある人が11.8%いることがわかる。なお、「無回答」(36.8%)の大半は「携帯電話やパソコンを利用しているが、特に提示したようなトラブルはなかった」と想定される。

性別に見ると、「不当請求、架空請求を受けた」ことがある人の割合は、女性に比べて男性のほうが約11ポイント高くなっている。



【職業別】

1 高校生等	143	44.1	14.0	11.2	9.8	2.1	1.4	0.0	6.3	4.9	38.5
2 予備校生	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
3 勤め人(会社や公的機関等)	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 パート・アルバイト等	2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
7 その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 無回答	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 男性・女性で10ポイント以上差がある項目に $\swarrow \searrow$ を付けています。

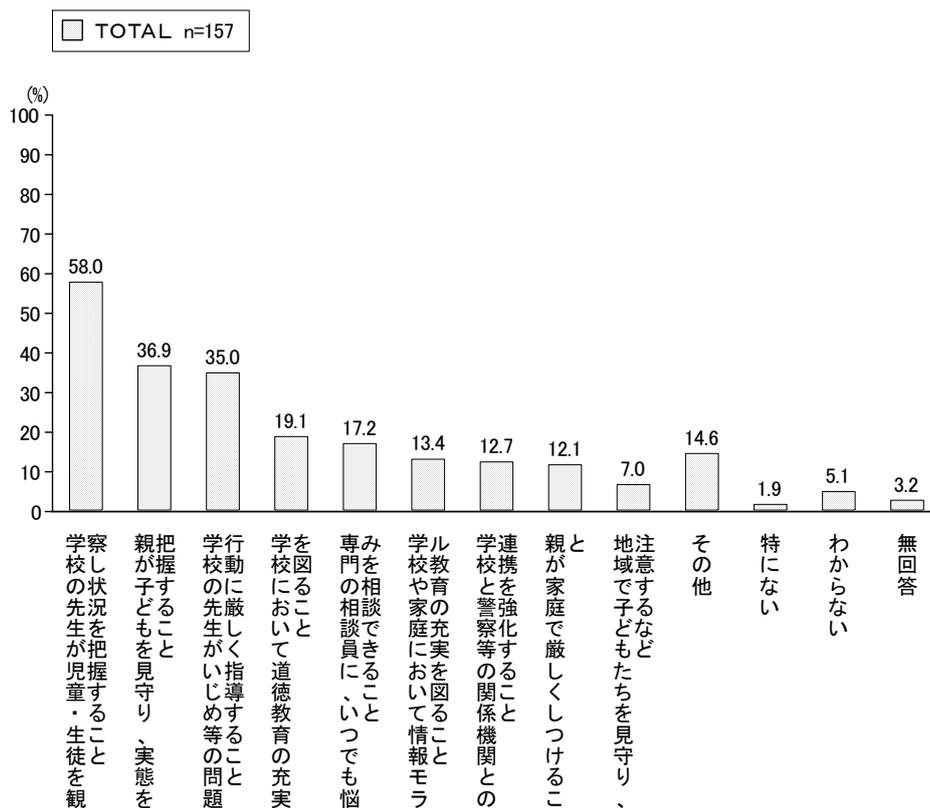
※ 選択肢は一部簡略化して記載している。

10 いじめや不登校問題について

(1) いじめや不登校等の防止のために必要な対策

問 33 あなたは、いじめや不登校などの問題を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

いじめや不登校などの問題を防止するために必要な対策としては、「学校の先生が児童・生徒を観察し状況を把握すること」をあげる人は58.0%と最も多く、次いで「親が子どもを見守り、実態を把握すること」(36.9%)、「学校の先生がいじめ等の問題行動に厳しく指導すること」(35.0%)と続いている。



※選択肢は一部簡略化して記載している。

11 意見・要望等（自由回答）

※原文通りに記載

調査票の最後に、学習や活動、学校教育等に関する意見や要望の自由記入欄を設けたところ、38名の記入があった。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介する。掲載にあたっては、特に多くの方から寄せられた意見・要望や、調査票の設問からは浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望を紹介するよう心がけた。

《いじめや不登校について》

- いじめ対策についてですが、学校にカウンセラーがいたり、いくら先生が「気軽に相談して」と言っても、本当に深刻ないじめを受けている子は、「相談室に入っていく」のを見られたりするものが怖くて、なかなか周りに相談できないのが実状だと思います。なので、例えば週に1度、学校から「封筒入りの紙」を配り「家に持って帰って」何か学校で困っていることがあったら書いて来させるようにして、週明けに「全員に」提出させれば、何も無い子は「特になし」と書けばいいし、悩みがある子は家で書くことで周りに知られたりせず、家庭で話し合うきっかけにもなるので良いと思います。（女性 17 歳）
- 不登校はいじめが原因でなるとは、限らないと思います。家庭環境に問題があったりコミュニケーション不足だったり理由は様々です。学校でいつでも相談できるカウンセラーさんがいると良いと思います。（女性 17 歳）
- いじめはやってはいけないと子供たちにしっかり教えてほしいです。（女性 16 歳）
- 昔のいじめと今のいじめの違いは子供達がネット環境に置かれているからだだと思います。正しいインターネットの使い方を指導していくべきだと思います。（女性 18 歳）
- 私自身中学校時代は不登校でした。そもそも不登校はただ学校に行くのが面倒くさいから、という理由でなる事は殆どありません。主な理由はイジメです。不登校は親のしつけでどうにかなるものではありません。イジメ問題をどうにかしない事には解決しない事だと私は考えています。基本的に不登校は自分を守る手段の一つなので、私は悪い事だとは思っていません。（女性 18 歳）
- 先生に見つからないように上手にやるのが「いじめ」です。いじめられた子は、大きくならないうちに親に言う事だと思います。（女性 16 歳）

《家庭でのしつけについて》

- 最近の親は子供を甘やかすすぎだと思う。親が子供の世界を狭くしている。もっと色々な事（楽しい事だけでなく、大変なこと）を経験させてあげるべき。（女性 16 歳）
- 家庭でも学校でも、やっていいことと悪いことの判断を小さい頃から教え込むことが大切だと思う。（女性 18 歳）
- 小中高と学校で色々学んできたが教育は間違っていないと思う。私は幼い子を見る機会が多いが自己主張が非常に苦手でコミュニケーションもほとんど出来ない子が多い。これは学校も責任があるが家庭内の方に非常に問題があると私は考える。（男性 18 歳）

《学校の授業について》

- 学習指導要領もありなかなか生徒全員が皆満足するような授業をすることは難しいと思いますが、興味や関心を引くような授業をして行ってほしいです。（女性 17 歳）
- 「総合の時間」や「調べ学習」の主旨が分からない。生徒としては『楽な時間』『遊びの時間』という意識しかない。（女性 18 歳）
- 小学校から、ディベートなどで、自分で考える力、発信する力、他の意見を聞く/認める力をつけていくべきだと思う。（女性 18 歳）
- 公立と私立との小中学校の教員の質の差が激しい。公立の教員に対して見直しを要求したい。また、たとえ公立であっても塾などに通わずとも上位の高校に合格できるだけだけの学力を身につけさせる授業を行ってほしいと思う。（男性 18 歳）

《学校環境について》

- ・ 学校は塾や予備校とは違い勉強だけを教えるところではないと思うので、もっと生徒同士が仲良くなれるような環境を作ってほしいなと思いました。(女性 17 歳)
- ・ 小学校・中学校 2 学期制の長所がわかりません。3 学期制がいいと思います。(女性 17 歳)
- ・ 同じ市内の学校であるのに設備にかくさがあるのはおかしい。(男性 16 歳)
- ・ 学校の先生の負担が大き過ぎるのではないのでしょうか。ヨーロッパでは「心（内面）」を育てる教会と「頭」を育てる学校が完全に役割分担をしています。(男性 18 歳)

《図書館について》

- ・ 図書館に学習できる環境がほしい。(女性 16 歳)
- ・ 私の家から一番近い図書館は柳沢図書館なのですが、勉強をするスペースが少ないため、増やして欲しいです。(女性 15 歳)
- ・ 図書館を増やしてほしいです。(女性 16 歳)
- ・ 私は週に 4 回ほど図書館を利用しています。とても快適で勉強しやすいのですが、たまに、おしゃべりをする人やひとり言をいう人、いびきをかく人がいます。私は学生なのでその方に注意することができません。なので、図書館の職員の方に注意してほしいと思います。(女性 17 歳)
- ・ 図書館は浮浪者のたまり場で勉強や調べ物が出来なく不便なのでなんとかしてほしい。(男性 17 歳)

《その他》

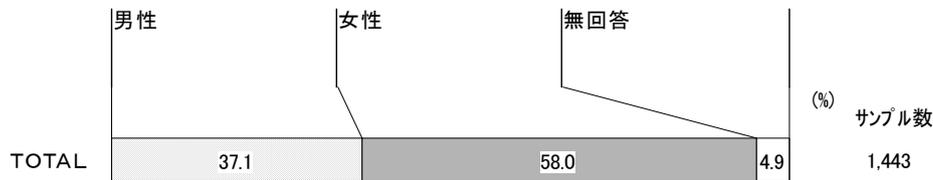
- ・ 食育は大事だと思う。自分で農業について勉強しているが、ファーストフードを早くから食べなれてしまうと日本の物のよさがわからなくなると思う。国産が高い理由を知る機会はまだまだ少ない。産地の人（特に法人の人）を中心としたイベントがあってもいいと思う。(男性 18 歳)
- ・ 今年は受験があり、市内のイベント等には参加していませんが終えたら積極的に参加したいです。(男性 17 歳)
- ・ 球技が自由に出来る公園や体育館等、子供が遊べる場をもっと増やしてほしい。(男性 16 歳)
- ・ 勉強できる自習室などを増やしてほしいです。テニスコートを増やしてほしいです。(女性 17 歳)
- ・ いつも市民会館の学習室を利用しているのですが、西東京市には、そのような学習室が、とても少なく困っています。安心して気軽に学習できる施設を増やしていただきたいと思います。(女性 17 歳)

1 基本的な属性

(1) 性別

問1 性別をお答えください。(○は1つ)

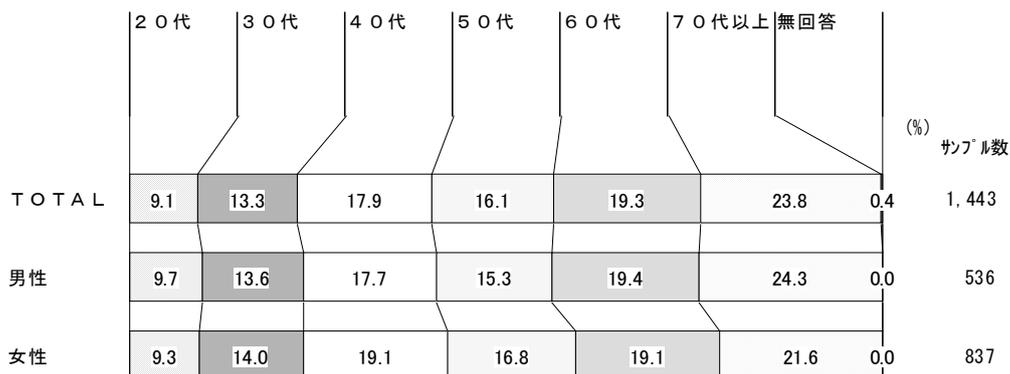
性別の構成は、男性 37.1%、女性 58.0%である。



(2) 年齢

問2 年齢をお答えください。(○は1つ)

年齢の構成は、20代 9.1%、30代 13.3%、40代 17.9%、50代 16.1%、60代 19.3%、70代以上 23.8%である。



(3) 居住地区

問3 お住まいの町はどちらですか。(○は1つ)

居住地区は、「芝久保町」が9.4%と最も多く、次いで「向台町」(7.9%)、「谷戸町」(7.4%)と続いている。

	田無町	南町	西原町	緑町	谷戸町	北原町	向台町	芝久保町	新町
人数	104	77	59	23	107	30	114	136	66
構成比	7.2%	5.3%	4.1%	1.6%	7.4%	2.1%	7.9%	9.4%	4.6%

	柳沢	東伏見	保谷町	富士町	中町	東町	泉町	住吉町	ひばりが丘
人数	89	34	83	69	63	45	60	59	65
構成比	6.2%	2.4%	5.8%	4.8%	4.4%	3.1%	4.2%	4.1%	4.5%

	ひばりが丘北	栄町	北町	下保谷	無回答
人数	22	33	39	56	10
構成比	1.5%	2.3%	2.7%	3.9%	0.7%

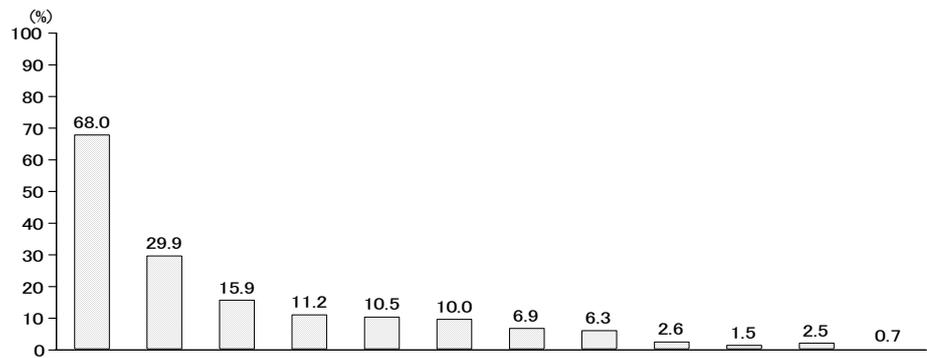
(4) 同居家族

問4 現在、あなたと同居されているご家族はどなたですか。(○はいくつでも)

同居家族は、「配偶者」が68.0%と最も多く、次いで「子ども(高校生以上)」(29.9%)、「父・母」(15.9%)と続いている。なお、約1割は「ひとり暮らし」(11.2%)である。

年代別の特徴を見ると、20代の67.2%は「父・母」と、30代の45.8%は「子ども(未就学)」と、50代の60.3%は「子ども(高校生以上)」と同居している。また、60代の約1割(12.2%)、70代以上の約2割(18.9%)は、「ひとり暮らし」であることがわかる。

□ TOTAL n=1,443



*問2 年齢	n	2	6	3	1	9	8	7	5	10	4	11	12
		配偶者	子ども(高校生以上)	父・母	ひとり暮らし	子ども(未就学)	子ども(小学生)	子ども(中学生)	兄弟姉妹	孫	祖父・祖母	その他	無回答
0 TOTAL	1,443	68.0	29.9	15.9	11.2	10.5	10.0	6.9	6.3	2.6	1.5	2.5	0.7
1 20代	131	19.1	0.8	67.2	9.9	14.5	2.3	0.0	45.8	0.0	7.6	1.5	0.0
2 30代	192	73.4	0.0	18.8	9.4	45.8	20.3	4.7	4.7	0.0	2.6	0.5	0.5
3 40代	259	77.2	30.1	17.8	5.0	15.8	35.5	29.7	3.1	0.0	1.2	0.8	0.0
4 50代	232	79.7	60.3	15.5	7.8	0.4	3.0	4.7	1.7	0.0	0.9	1.3	0.0
5 60代	279	76.7	38.4	6.8	12.2	0.4	0.0	0.4	1.1	1.8	0.7	3.2	0.4
6 70代以上	344	62.8	30.5	1.2	18.9	0.3	0.9	0.6	2.0	9.3	0.0	5.5	0.6
7 無回答	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(5) 職業

問5 あなたのご職業は、次のうちどれですか。(○は1つ)

職業は、「勤め人(会社や公的機関等)」が31.1%と最も多く、次いで「専業主婦・主夫」が22.1%で続いている。

年代別に見ると、30代では「勤め人(会社や公的機関等)」が56.8%、70代以上では「無職」が57.3%を占める。

(%)

n	自営業・事業主・農業	勤め人(会社や公的機関等)	パート・アルバイト等	専業主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答	
TOTAL	1,443	7.0	31.1	13.9	22.1	2.9	20.2	2.2	0.6
20代	131	0.8	44.3	15.3	6.1	31.3	2.3	-	-
30代	192	2.6	56.8	12.5	25.5	-	2.1	0.5	-
40代	259	8.9	48.3	18.5	20.8	-	2.7	0.4	0.4
50代	232	8.6	42.2	22.8	16.4	-	7.8	2.2	-
60代	279	8.2	18.6	16.1	31.5	0.4	22.2	2.9	-
70代以上	344	8.4	2.0	2.9	23.8	-	57.3	4.9	0.6
無回答	6	-	-	-	-	-	-	-	100.0

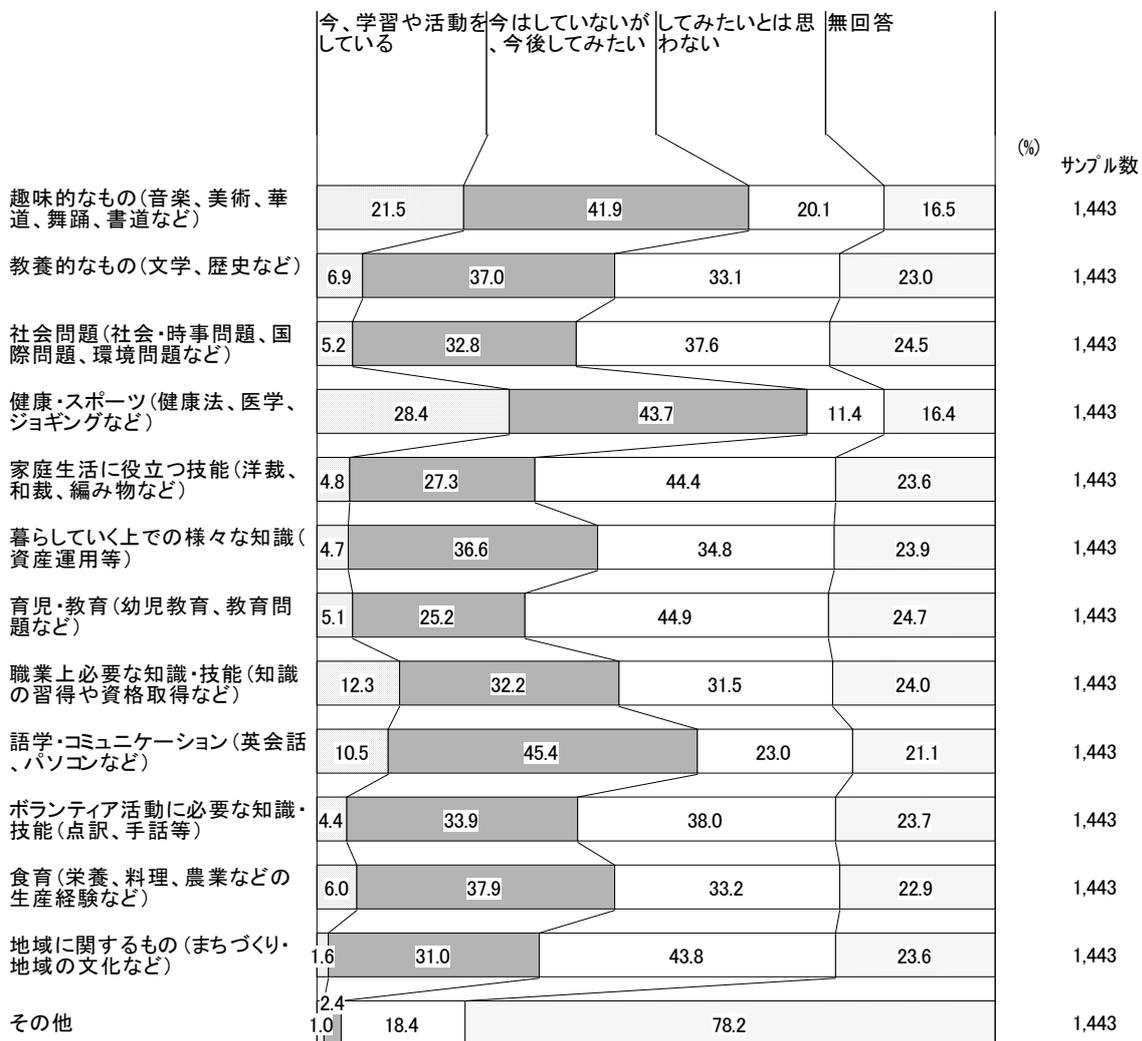
2 学習や活動の状況

(1) 学習や活動の内容

問6 現在、あなたはどのような学習や活動をしていますか。また、今後してみたいと思いますか。
次の(ア)～(ス)のそれぞれの項目についてお答えください。(○は(ア)～(ス)ごとに、それぞれ1つずつ)

12の学習・活動のうち、「今、学習や活動をしている」人が最も多いのは、「健康・スポーツ（健康法、医学、ジョギングなど）」で、約3割の人（28.4%）が活動している。次に多いのは、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」で、約2割の人（21.5%）が活動している。

「今はしていないが、今後してみたい」と考えている人が最も多いのは、「語学・コミュニケーション（英会話、パソコンなど）」で、45.4%の人に活動意向がある。また、いずれの学習・活動も、実際に活動している人よりも、今は活動していないが活動してみたいと考えている人が多くなっており、潜在的な活動意向が高い状況がうかがわれる。



※学習・活動の種類の名前は、一部簡略化して記載している。

年代別に見ると、20代では「今、学習や活動をしている」人が最も多いのは「職業上必要な知識・技能」で、35.1%が学習や活動をしている。また、30代では「今はしていないが、今後活動してみたい」人が最も多いのは「健康・スポーツ」で、65.1%に活動意向がある。

【学習や活動をしている内容(上位3項目)】

	n	1位	2位	3位
20代	131	職業上必要な知識・技能 35.1%	趣味的なもの 29.0%	健康・スポーツ 26.7%
30代	192	健康・スポーツ 22.4%	職業上必要な知識・技能 19.3%	趣味的なもの 13.5%
40代	259	健康・スポーツ 28.6%	趣味的なもの 15.8%	職業上必要な知識・技能 10.8%
50代	232	健康・スポーツ 32.3%	趣味的なもの 18.5%	職業上必要な知識・技能 14.7%
60代	279	健康・スポーツ 26.9%	趣味的なもの 24.4%	語学・コミュニケーション 10.8%
70代以上	344	健康・スポーツ 31.1%	趣味的なもの 27.3%	語学・コミュニケーション 10.5%

【今はしていないが、今後活動してみたい内容(上位3項目)】

	n	1位	2位	3位
20代	131	語学・コミュニケーション 61.1%	暮らしていく上での様々な知識 53.4%	健康・スポーツ 食育 各52.7%
30代	192	健康・スポーツ 65.1%	趣味的なもの 58.9%	語学・コミュニケーション 57.8%
40代	259	語学・コミュニケーション 63.7%	趣味的なもの 57.1%	健康・スポーツ 52.5%
50代	232	語学・コミュニケーション 52.2%	健康・スポーツ 51.3%	趣味的なもの 49.6%
60代	279	健康・スポーツ 42.7%	語学・コミュニケーション 41.6%	趣味的なもの 39.8%
70代以上	344	教養的なもの 22.4%	地域に関するもの 20.1%	社会問題 健康・スポーツ 各18.3%

※学習・活動の種類の名前は、一部簡略化して記載している。

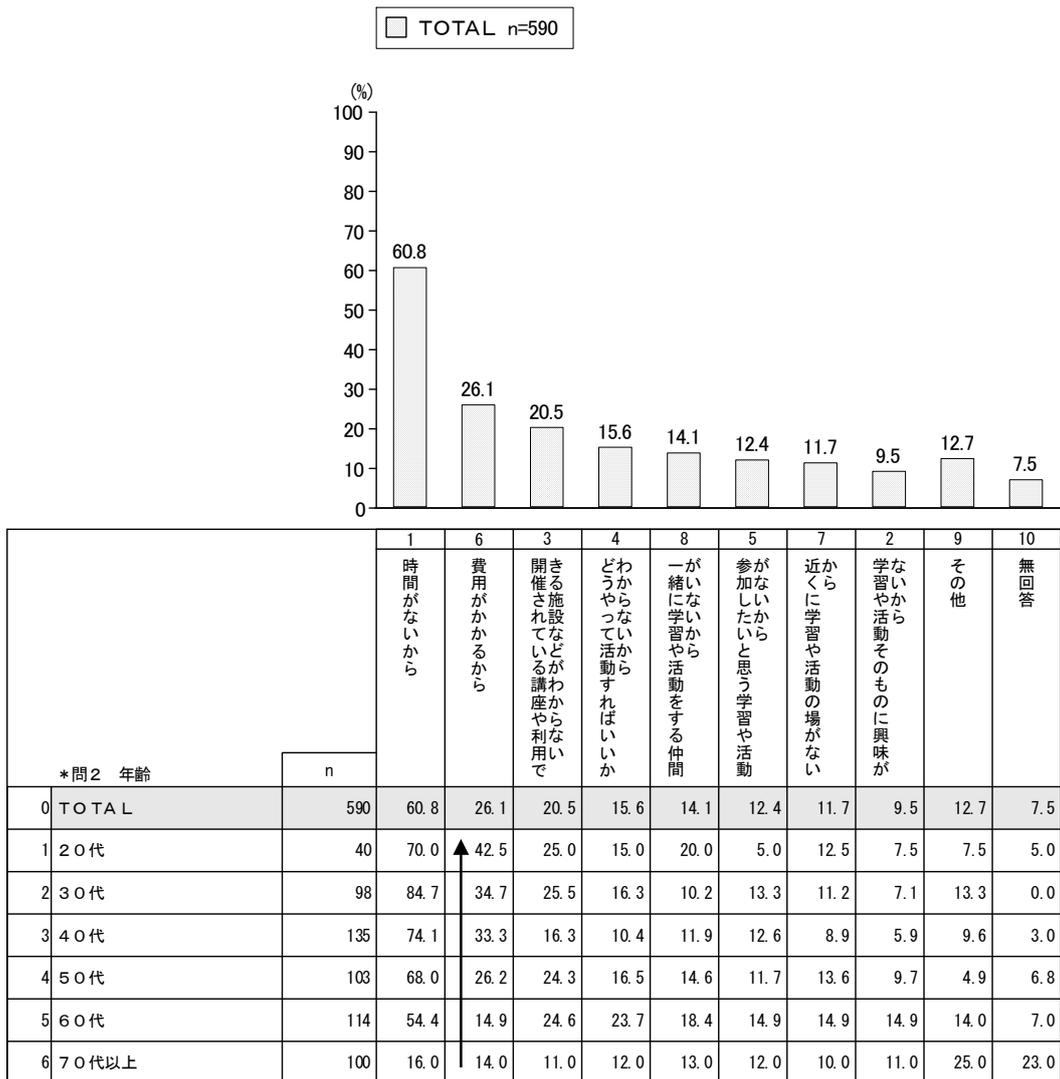
(2) 学習や活動ができない理由、しない理由

問7 学習や活動ができない理由、しない理由は何ですか。次の理由の中から、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

※「今、学習や活動をしているものが1つもない」と回答した者

学習や活動ができない理由、しない理由としては、「時間がないから」をあげる人が60.8%と最も多く、次いで「費用がかかるから」(26.1%)、「開催されている講座や利用できる施設などがわからない」(20.5%)と続いている。

年代別に見ると、「費用がかかるから」と回答した人の割合は年代が若いほど高く、20代では42.5%が理由としてあげている。また、60代では、「どうやって活動すればいいかわからないから」(23.7%)と回答した人が2割を超えている。



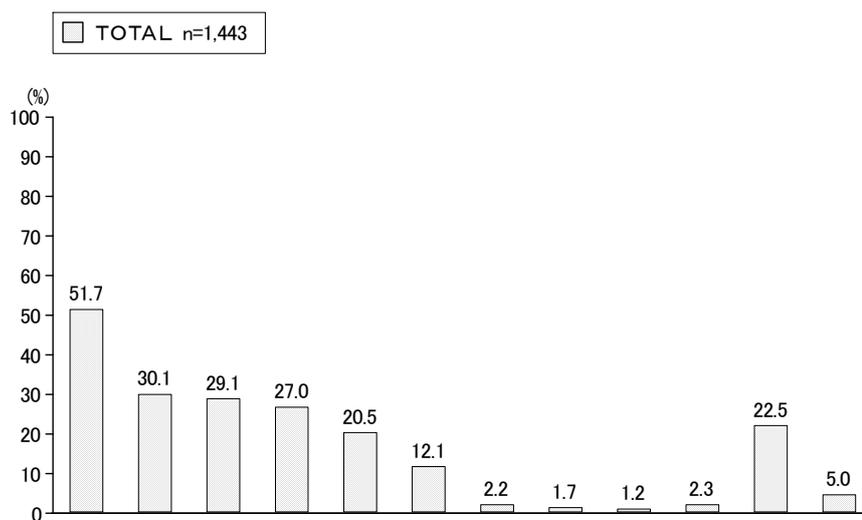
※選択肢は一部簡略化して記載している。

(3) 市内施設の利用状況

問8 あなたは、この1年間で、西東京市内の下記の施設を利用したことがありますか。利用したことがある施設をすべてお答えください。(〇はいくつでも)

この1年間に最も利用されている市内の施設は、「図書館（中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢など）」(51.7%)で、約半数の人が利用したことがあると回答している。次いで「ホール（保谷こもれびホール、西東京市民会館など）」(30.1%)、「公園・児童遊園など」(29.1%)の順で続いている。

性・年代別に見ると、「図書館」は女性40代の利用経験率が7割以上(72.5%)と特に高い。また、「公園・児童遊園など」は、低年齢児の子育て世代である男性30代(42.5%)と女性30代(58.1%)の利用経験率が高くなっている。「スポーツ施設（健康広場、スポーツセンターなど）」は、男性・女性ともに30代・40代での利用経験率が約3割と、他の年代に比べて高くなっている。



*性×年代	n	3	1	6	2	5	4	7	9	8	10	11	12
		久保、谷戸、柳沢など	保谷こもれびホール	児童遊園など	谷戸、柳沢、ひばりが丘など	スポーツセンターなど	市民集会所・地区会館 (ふれあいセンターなど)	西原総合教育施設	市内の大学	郷土資料室	その他	いずれも利用したことはない	無回答
0 TOTAL	1,443	51.7	30.1	29.1	27.0	20.5	12.1	2.2	1.7	1.2	2.3	22.5	5.0
1 男性20代	52	51.9	11.5	28.8	19.2	21.2	7.7	0.0	1.9	0.0	1.9	28.8	1.9
2 男性30代	73	63.0	24.7	42.5	17.8	30.1	4.1	0.0	2.7	0.0	4.1	15.1	0.0
3 男性40代	95	52.6	27.4	37.9	12.6	30.5	6.3	2.1	1.1	2.1	3.2	27.4	3.2
4 男性50代	82	40.2	26.8	29.3	11.0	14.6	6.1	0.0	3.7	3.7	0.0	28.0	6.1
5 男性60代	104	47.1	23.1	20.2	28.8	12.5	9.6	1.9	1.9	1.0	1.0	27.9	3.8
6 男性70代以上	130	49.2	33.1	26.2	36.9	12.3	16.2	4.6	3.1	3.8	2.3	23.8	8.5
7 女性20代	78	53.8	21.8	33.3	19.2	14.1	6.4	1.3	2.6	1.3	1.3	25.6	5.1
8 女性30代	117	65.8	38.5	58.1	24.8	29.1	14.5	2.6	0.9	0.0	4.3	13.7	2.6
9 女性40代	160	72.5	34.4	36.3	29.4	31.9	12.5	3.1	0.0	0.6	1.9	15.0	1.9
10 女性50代	141	51.8	28.4	25.5	19.9	19.9	9.2	2.1	0.7	0.0	2.1	25.5	2.1
11 女性60代	160	43.8	35.6	25.0	36.9	15.6	16.9	1.9	2.5	0.0	0.6	19.4	5.6
12 女性70代以上	181	40.9	32.6	13.3	38.1	18.8	21.5	3.9	1.7	2.8	4.4	24.9	10.5
13 無回答	70	35.7	31.4	10.0	28.6	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	1.4	24.3	10.0

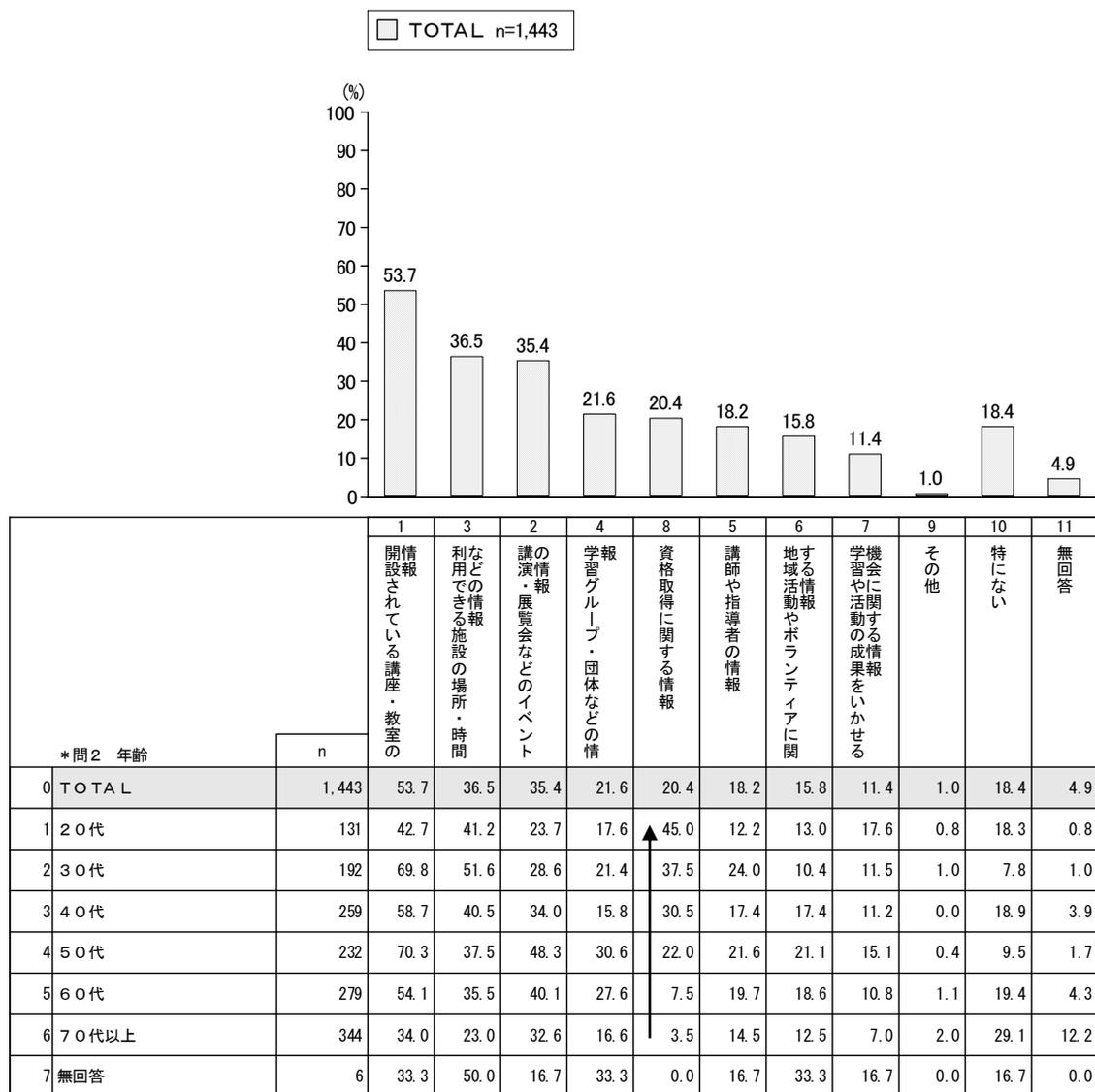
※選択肢は一部簡略化して記載している。

(4) 生涯学習に関して知りたい情報

問9 生涯学習に関して、どのような情報を知りたいと思いますか。(○はいくつでも)

生涯学習に関して知りたい情報としては、「開設されている講座・教室の情報」をあげる人が 53.7%と最も多く、次いで「利用できる施設の場所・時間などの情報」(36.5%)、「講演・展覧会などのイベントの情報」(35.4%)と続いている。

年代別に見ると、「資格取得に関する情報」と回答した人の割合は年代が若いほど高く、20代では45.0%が要望している。

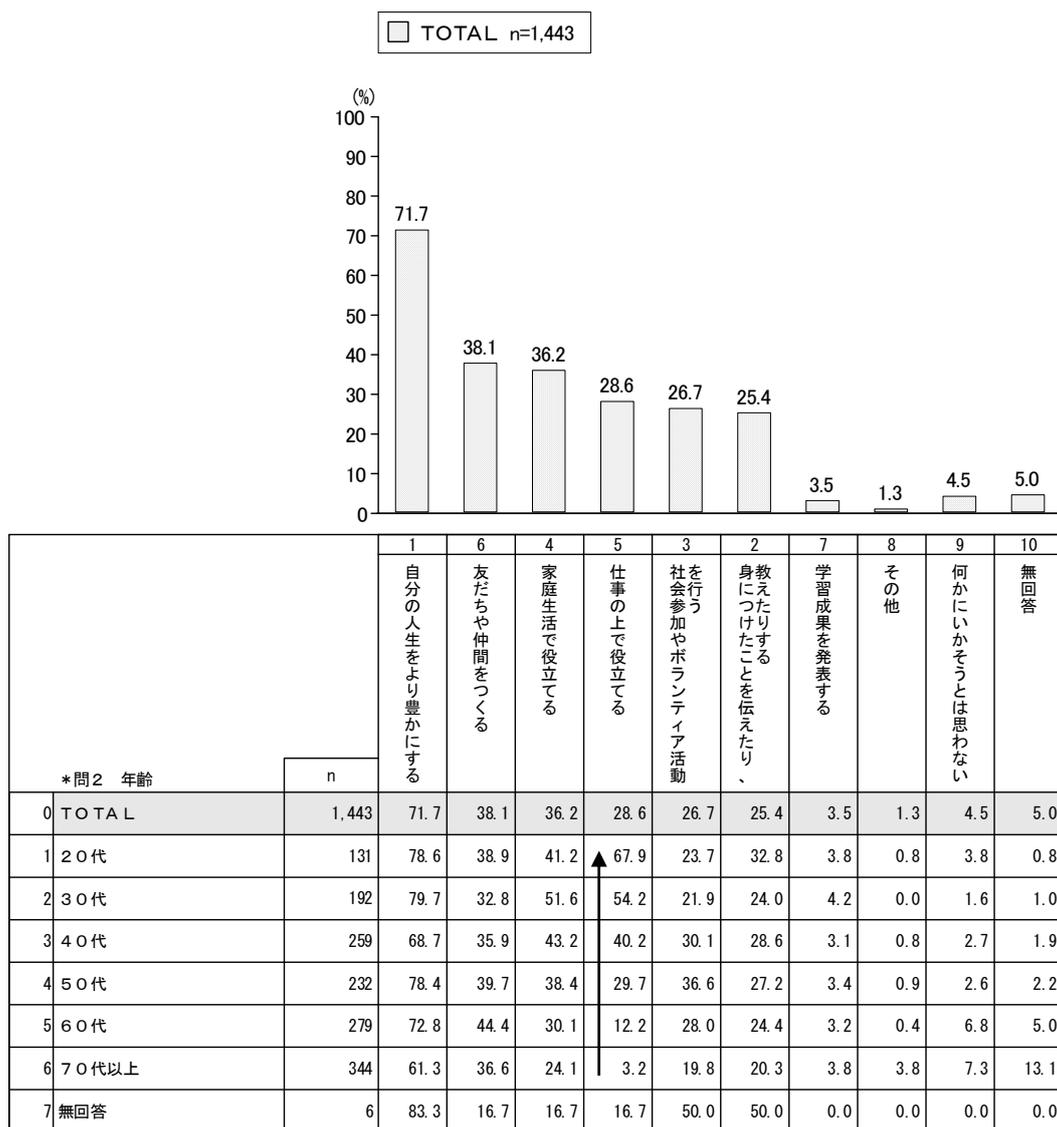


(5) 学習や活動で得た知識・技術の活用方法

問 10 あなたが学習や活動で知識や技術を得たとしたら、どのようにいかしていきたいと思いますか。
(〇はいくつでも)

学習や活動で得た知識や技術の活用方法として、約7割の人は「自分の人生をより豊かにする」(71.7%)ことを望んでいる。次いで「友だちや仲間をつくる」(38.1%)、「家庭生活で役立てる」(36.2%)の順で続いている。

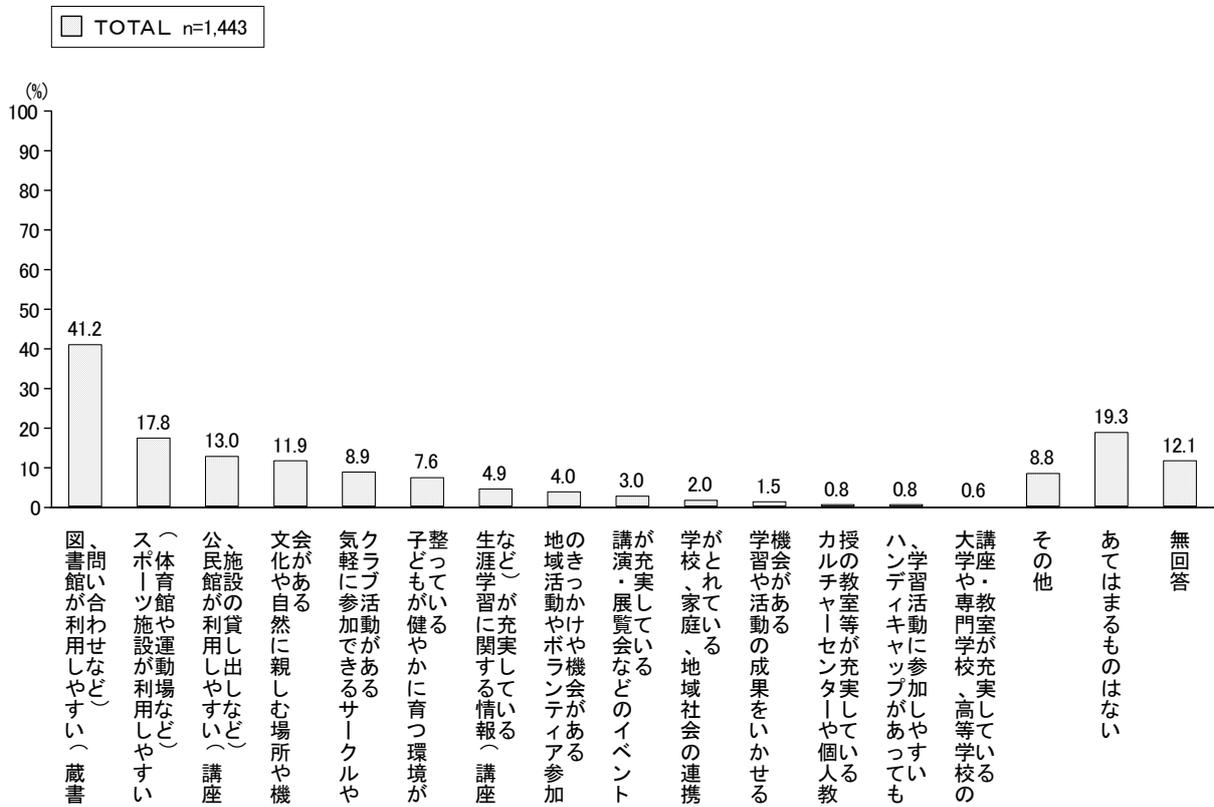
年代別に見ると、「仕事の上で役立てる」と回答した人の割合は年代が若いほど高く、20代では67.9%があげている。



(6) 西東京市の学習環境

問 11 現在の西東京市の学習環境について、あてはまると思うものをお答えください。(〇はいくつでも)

現在の西東京市の学習環境については、「図書館が利用しやすい(蔵書、問い合わせなど)」ことをあげる人が41.2%と最も多く、次いで「スポーツ施設が利用しやすい(体育館や運動場など)」が17.8%で続いている。



※選択肢は一部簡略化して記載している。

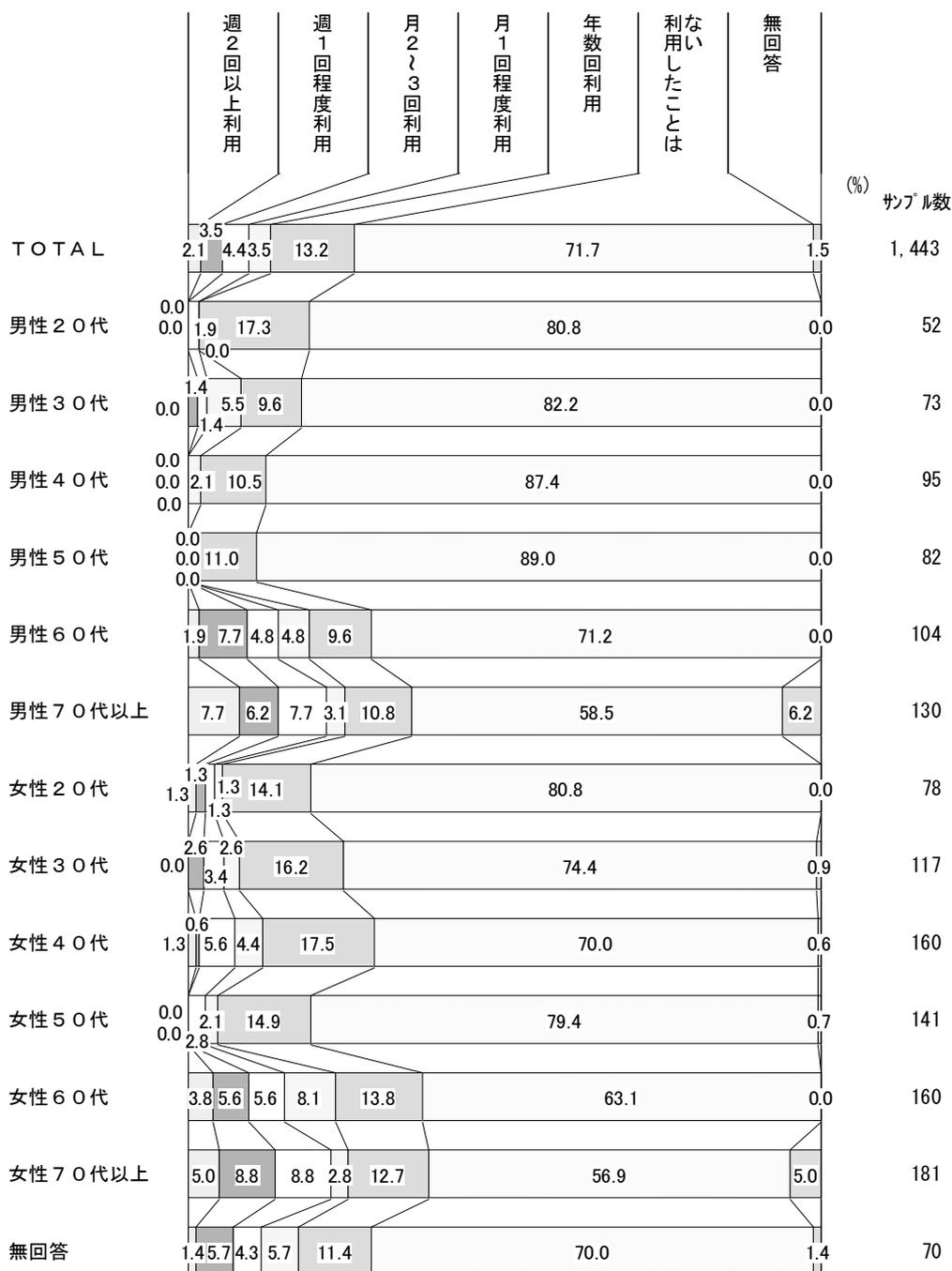
3 公民館・図書館の利用状況

(1) 公民館の利用状況

問 12 この1年間に、公民館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(○は1つ)

この1年間の公民館の利用経験を尋ねたところ、約7割の人は「利用したことはない」(71.7%)と回答している。

性・年代別に見ると、「利用したことはない」と回答した割合が8割未満であるのは、男性では60代(71.2%)と70代以上(58.5%)だけだが、女性では20代を除いていずれの年代でも8割未満となっている。全体的な傾向として、男性よりも女性のほうが利用率が高く、また年代では60代以上の利用率が高くなっていることがわかる。



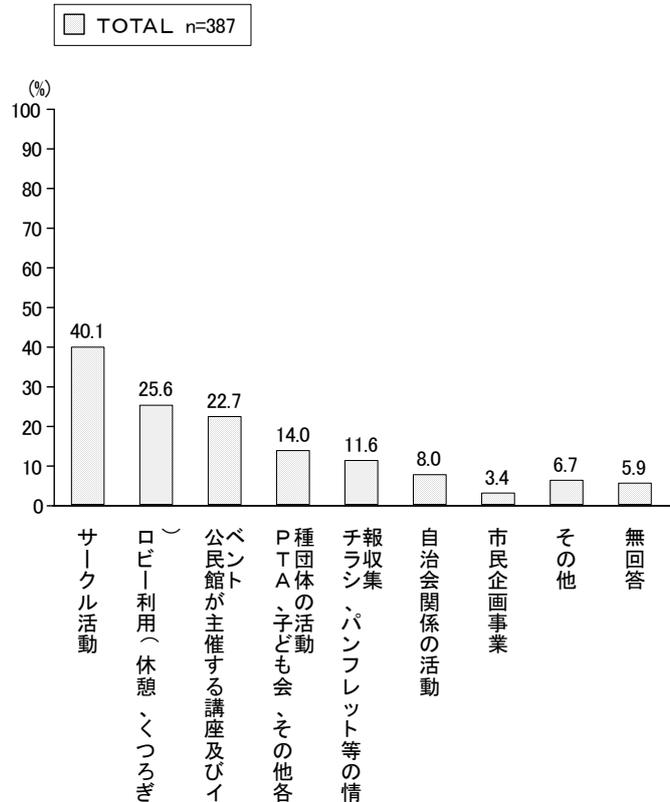
※「週2回以上利用」は、実際の調査では「ほぼ毎日利用」「週4〜5回利用」「週2〜3回利用」として聴取。割合が低いため、まとめて表記している。

（２）公民館の利用目的・内容

問 13 公民館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(○はいくつでも)

※「この1年間に公民館を利用した」と回答した者

公民館を利用する目的・内容は、「サークル活動」が 40.1%と最も多く、次いで「ロビー利用（休憩、くつろぎ）」(25.6%)、「公民館が主催する講座及びイベント」(22.7%)と続いている。

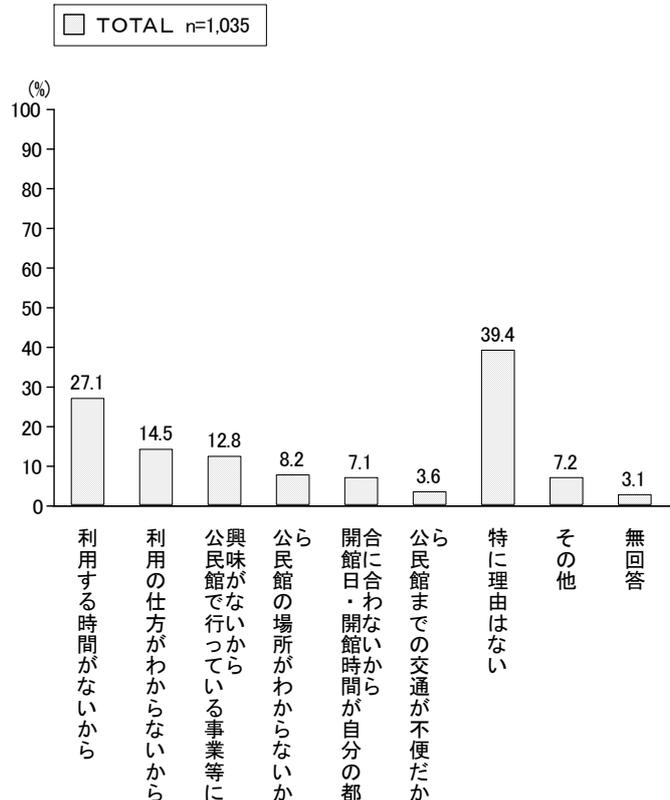


（３）公民館を利用しない理由

問 14 公民館を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※「この1年間に公民館を利用したことがない」と回答した者

公民館を利用しない理由を尋ねたところ、約 4 割の人は「特に理由はない」(39.4%)と回答しているが、あげられた理由としては、「利用する時間がないから」が 27.1%で最も多く、次いで「利用の仕方がわからないから」(14.5%)、「公民館で行っている事業等に興味がないから」(12.8%)と続いている。

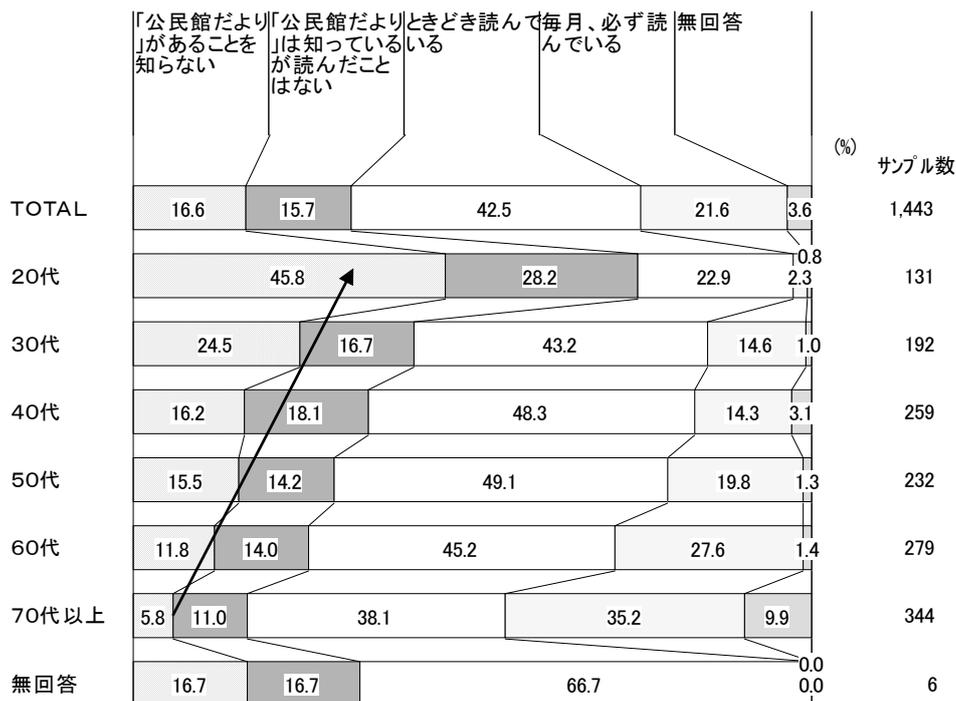


(4) 「公民館だより」の認知状況

問 15 毎月1日に全戸配布される「公民館だより」を読んでいますか。(○は1つ)

公民館だよりを「毎月、必ず読んでいる」人は21.6%、「ときどき読んでいる」は42.5%となっており、合わせると6割以上の人は、公民館だよりを読んだ経験があることがわかる。「公民館だより」は知っているが読んだことはない」人を合わせると、公民館だよりの認知率は約8割である。

年代別に見ると、「公民館だより」があることを知らない」人の割合は、年代が若いほど高く、20代では45.8%となっている。一方、70歳以上では、「毎月、必ず読んでいる」人が35.2%、「ときどき読んでいる」が38.1%で、7割以上の人が公民館だよりを読んだ経験があることがわかる。

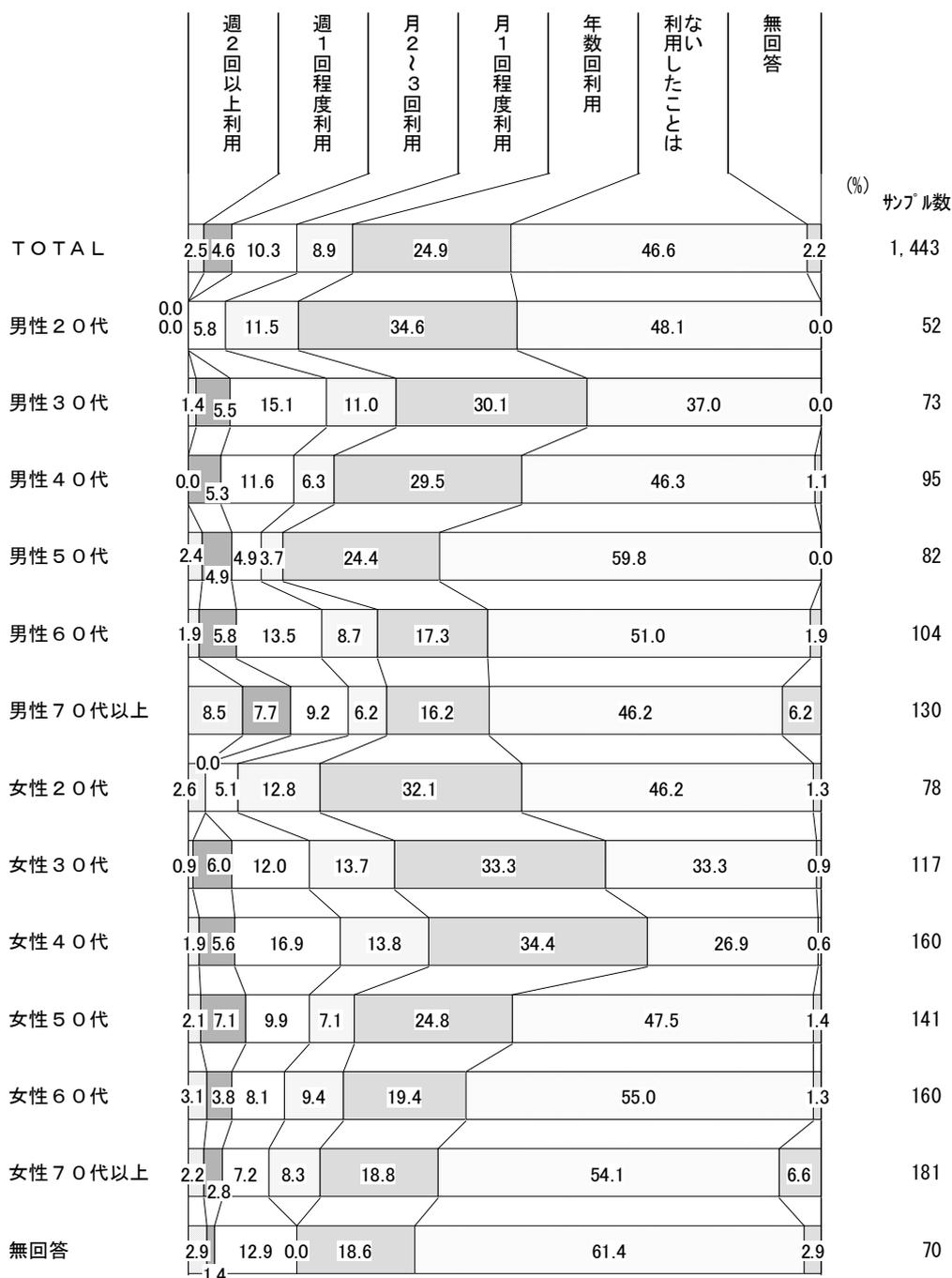


(5) 図書館の利用状況

問 16 この1年間に、市の図書館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(○は1つ)

この1年間の図書館の利用経験を尋ねたところ、「利用したことはない」人は46.6%で、半数以上の人は利用した経験がある。

性・年代別に見ると、「利用したことはない」と回答した割合が半数を超えているのは、男性の50代(59.8%)と60代(51.0%)、女性の60代(55.0%)と70代以上(54.1%)となっており、比較的年齢の高い世代の利用経験率が低くなっている。



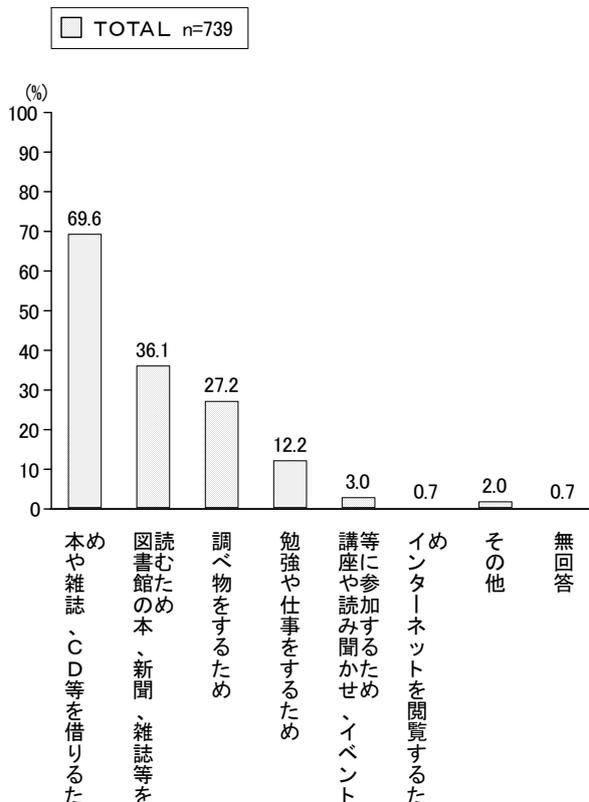
※「週2回以上利用」は、実際の調査では「ほぼ毎日利用」「週4~5回利用」「週2~3回利用」として聴取。割合が低いため、まとめて表記している。

(6) 図書館の利用目的・内容

問 17 図書館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

※「この1年間に図書館を利用した」と回答した者

図書館を利用する目的・内容は、「本や雑誌、CD等を借りるため」が69.6%と最も多く、次いで「図書館の本、新聞、雑誌等を読むため」(36.1%)、「調べ物をするため」(27.2%)と続いている。

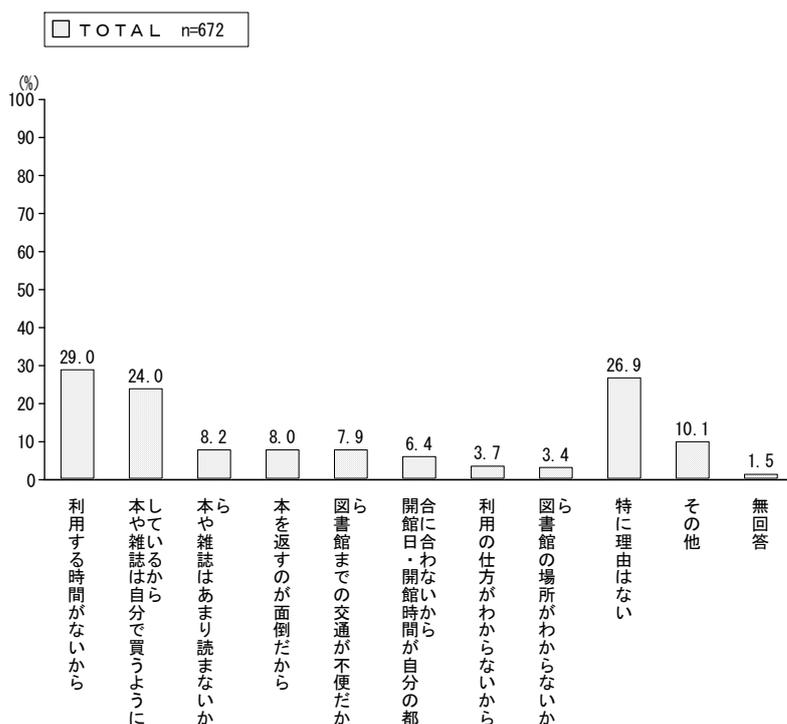


(7) 図書館を利用しない理由

問 18 図書館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

※「この1年間に図書館を利用したことがない」と回答した者

図書館を利用しない理由としては、「利用する時間がないから」が29.0%と最も多く、次いで「本や雑誌は自分で買うようにしているから」が24.0%で続いている。



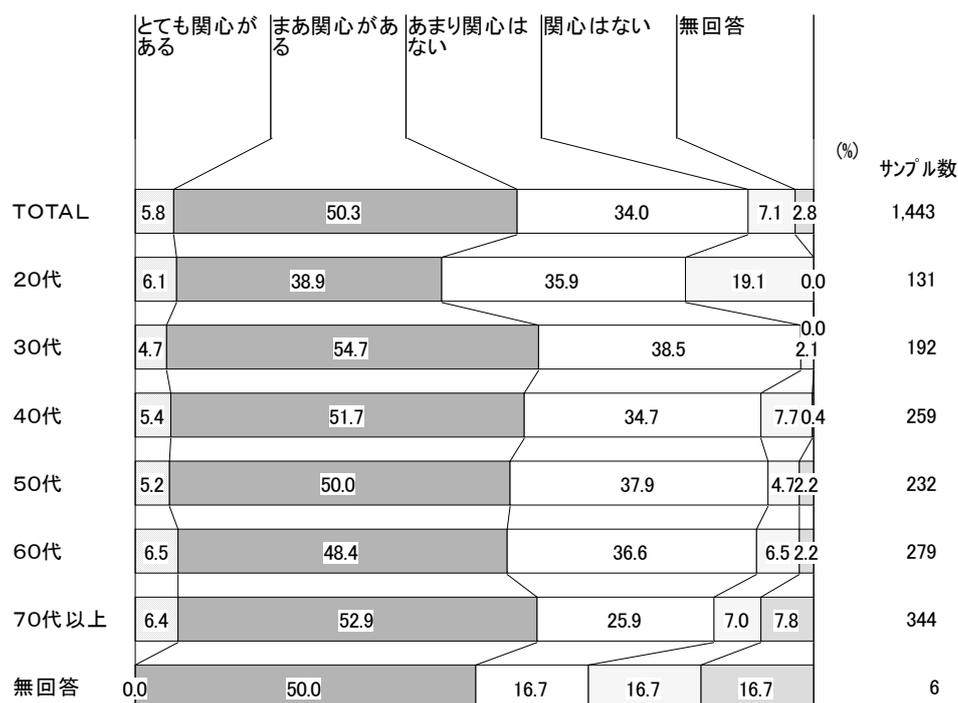
4 地域との関わりの状況

(1) 地域への関心の程度

問 19 あなたは、地域に関心があるほうだと思いますか。(○は1つ)

地域に「とても関心がある」人は 5.8%、「まあ関心がある」は 50.3%で、半数強の人は地域に関心を持っている。

年代別に見ると、30代～70代以上では、いずれも地域に関心がある人が半数を超えるが、20代では関心のある人よりも関心のない人のほうが多くなっている。

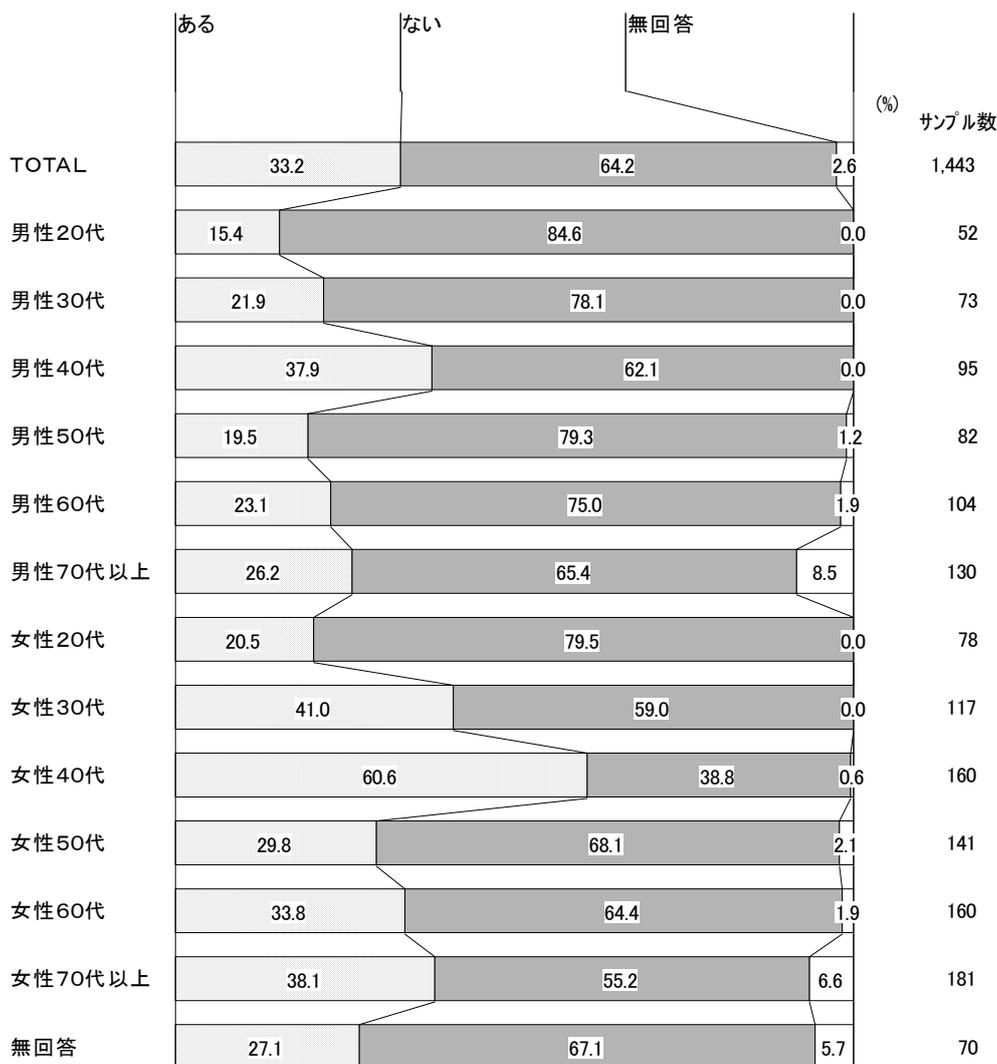


(2) 地域の子どもたちと接する機会の有無

問 20 ふだん、あなたは地域の子どもたち(小・中学生)と接する機会がありますか。(○は1つ)

ふだん、地域の子どもたち(小・中学生)と接する機会が「ある」人は33.2%で、64.2%は「ない」と回答している。

性・年代別に見ると、男性・女性ともに40代は、他の年代に比べて、地域の子どもたち(小・中学生)と接する機会が「ある」人の割合が高い。特に、女性40代では、接する機会が「ある」人が約6割と多くなっている。



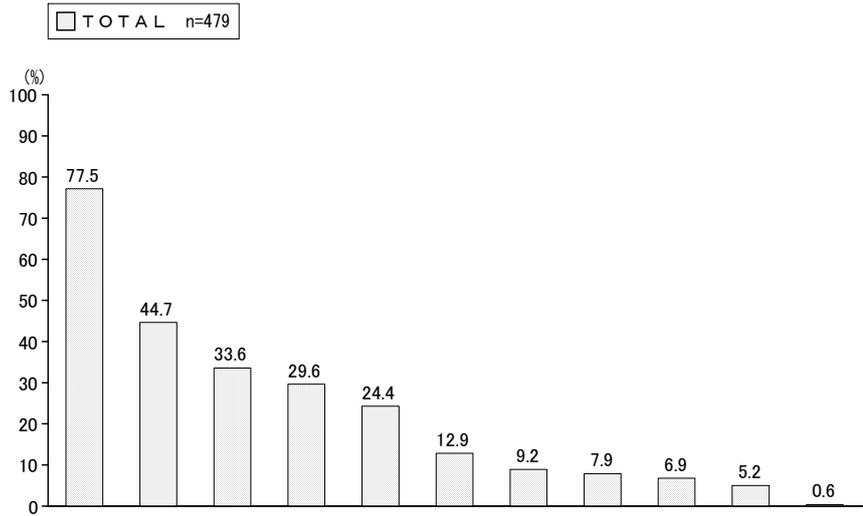
(3) 地域の子どもたちとの接し方

問 21 地域の子どもたち(小・中学生)とどのように接していますか。(〇はいくつでも)

※「地域の子どもたちと接する機会がある」と回答した者

子どもたち(小・中学生)との接し方としては、「出会ったときは、あいさつをする」が77.5%と最も多く、次いで「出会ったときは、声をかけたり、話をする」(44.7%)、「悪いことをしていることを見たときは、注意する」(33.6%)と続いている。

性別に見ると、「悪いことをしているところを見たときは、注意する」と回答した人の割合は、男性では26.9%、女性では36.8%と、約10ポイント女性のほうが高い。



問 1 性別	n	接し方										
		1	2	3	4	9	8	5	6	7	10	11
0 TOTAL	479	77.5	44.7	33.6	29.6	24.4	12.9	9.2	7.9	6.9	5.2	0.6
1 男性	134	73.9	40.3	26.9	23.9	20.1	11.9	6.0	6.0	12.7	2.2	0.0
2 女性	326	80.1	46.9	36.8	31.6	25.5	13.2	10.7	8.9	4.3	6.7	0.6
3 無回答	19	57.9	36.8	26.3	36.8	36.8	15.8	5.3	5.3	10.5	0.0	5.3

【年代別】

年代	n	1	2	3	4	9	8	5	6	7	10	11
1 20代	25	72.0	40.0	20.0	12.0	12.0	12.0	16.0	16.0	24.0	12.0	0.0
2 30代	65	80.0	38.5	30.8	20.0	26.2	9.2	7.7	4.6	6.2	4.6	1.5
3 40代	135	79.3	37.8	24.4	23.0	23.7	20.7	11.1	14.1	6.7	4.4	0.7
4 50代	60	71.7	35.0	40.0	26.7	25.0	16.7	5.0	8.3	8.3	6.7	0.0
5 60代	80	85.0	47.5	30.0	33.8	18.8	7.5	5.0	2.5	5.0	6.3	0.0
6 70代以上	112	73.2	60.7	48.2	45.5	30.4	8.0	11.6	4.5	4.5	3.6	0.9

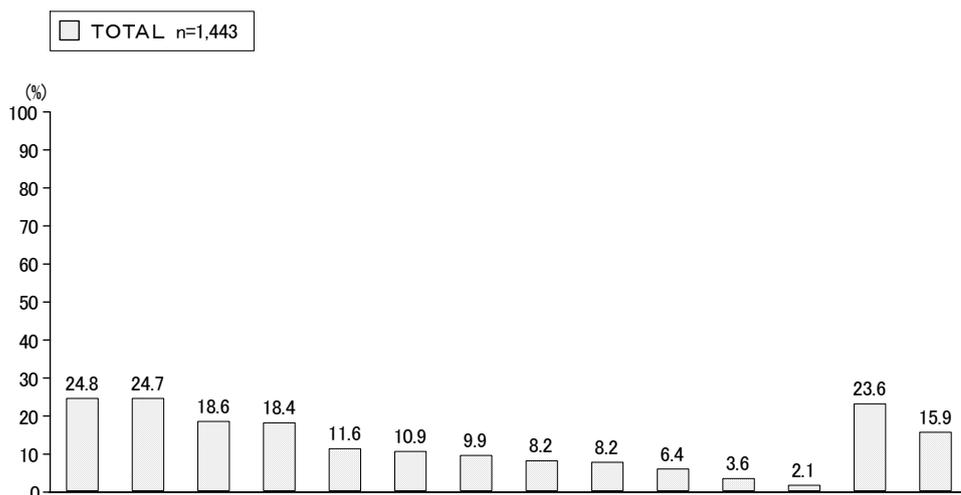
※選択肢は一部簡略化して記載している。

(4) 地域・社会活動への参加意向

問 22 あなたは、身近な小学校・中学校の取り組みやそこを拠点として行われる地域の活動について、どのようなことなら、参加・協力してもよいと思いますか。(〇はいくつでも)

参加・協力してもよい地域の活動としては、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」をあげる人が24.8%と最も多く、次いで「学校の行事やイベント」をあげる人が24.7%となっている。

年代別に見ると、20代では「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」(37.4%)や「学校の行事やイベント」(35.9%)以外にも、「学校の授業やクラブ活動・部活動」をあげる人が31.3%と、3割を超え、多くなっている。



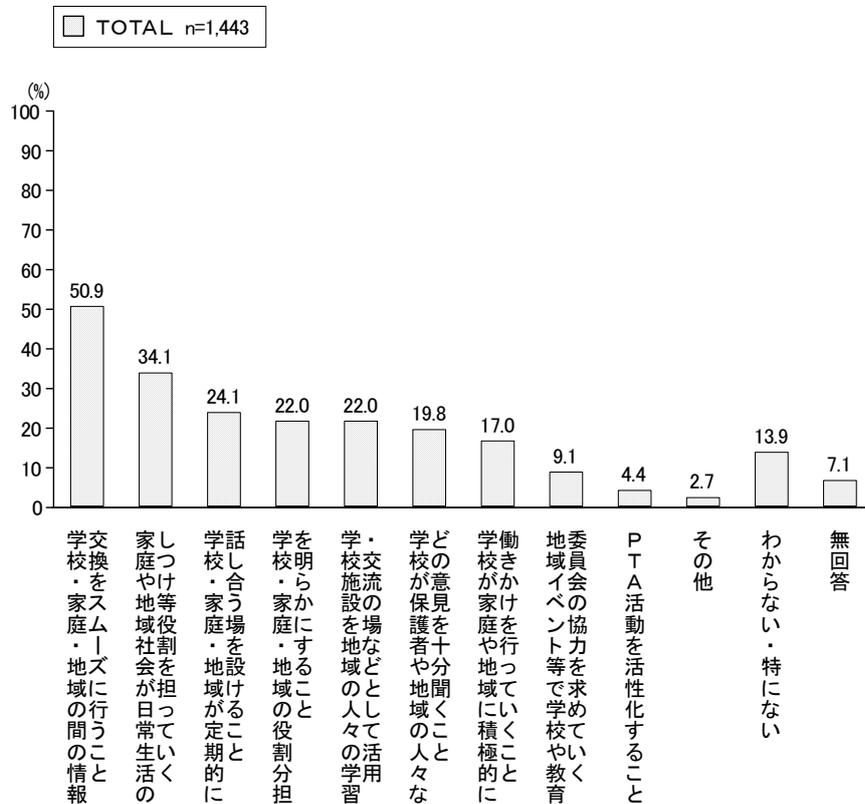
*問2 年齢	n	7	5	11	3	4	9	8	1	6	2	10	12	13	14
		学校で行われる地域のスポーツ・文化活動	学校の行事やイベント	市民同士の交流や、まちづくりに関する活動	児童生徒の体験活動などにおける安全確保やサポート	学校の授業やクラブ活動・部活動	成の子のための非行防止や健全育成のための活動	や行事などのかした親子イベント	習などへの資料の提供	学校図書館やコンピュータ	歴史・人材などの情報提供	活動などの広報紙づくり等	その他	特にない	無回答
0 TOTAL	1,443	24.8	24.7	18.6	18.4	11.6	10.9	9.9	8.2	8.2	6.4	3.6	2.1	23.6	15.9
1 20代	131	37.4	35.9	19.8	22.1	31.3	12.2	10.7	16.0	9.9	9.9	6.9	1.5	19.1	6.9
2 30代	192	37.5	33.3	19.8	28.1	21.4	14.6	26.0	17.2	12.0	8.3	8.9	1.0	17.7	6.3
3 40代	259	31.3	36.3	14.7	22.8	15.1	12.7	17.0	10.0	6.9	4.6	3.5	1.9	21.6	9.3
4 50代	232	27.6	20.3	24.6	18.5	11.6	9.9	7.3	9.1	13.4	8.6	3.9	2.2	22.4	12.9
5 60代	279	20.8	19.4	21.9	18.3	3.6	11.5	2.9	3.6	8.2	6.5	1.4	1.1	25.1	15.4
6 70代以上	344	9.6	14.5	13.4	8.4	2.3	7.3	2.9	2.3	2.6	3.8	1.2	3.8	29.9	32.0
7 無回答	6	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

※選択肢は一部簡略化して記載している。

(5) 学校・家庭・地域の連携・協力を深める上で大切なこと

問 23 学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なこととしては、「学校・家庭・地域の間の情報交換をスムーズに行うこと」をあげる人が 50.9%と最も多く、次いで「家庭や地域社会が日常生活におけるしつけ等役割を担っていく」が 34.1%で続いている。



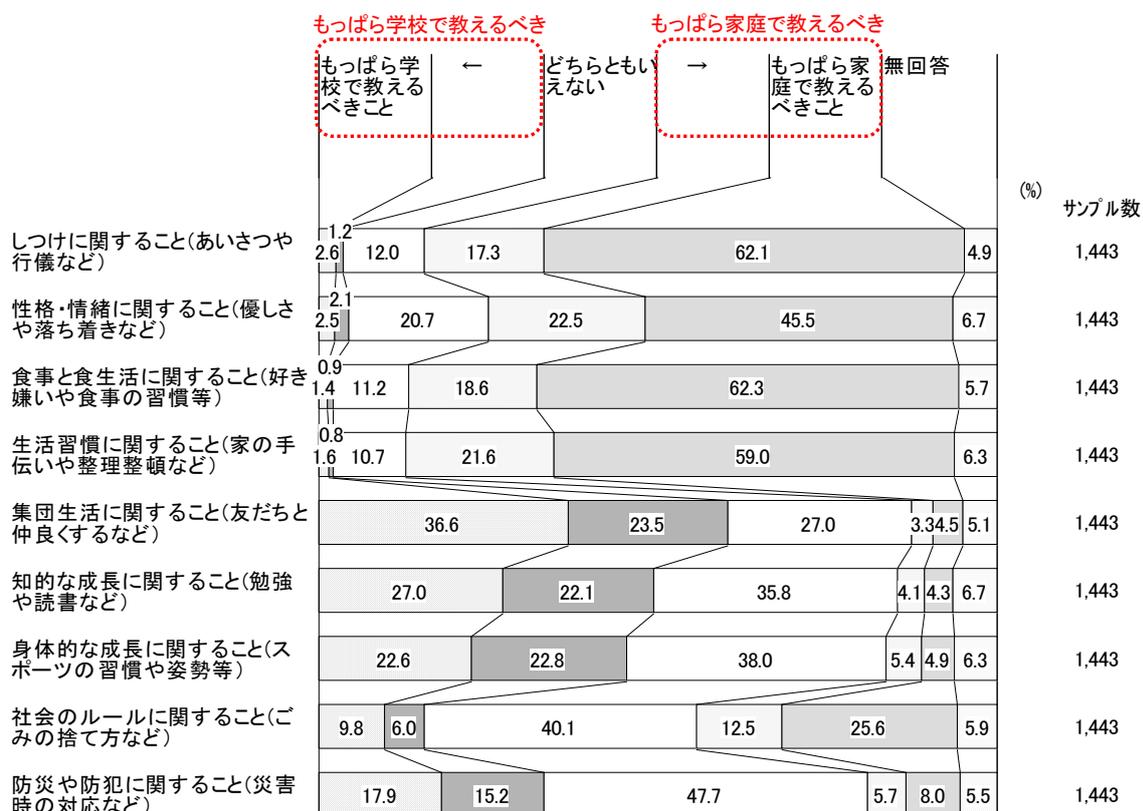
※選択肢は一部簡略化して記載している。

5 家庭の役割について

(1) 家庭で身につけるべきこと

問 24 次の(ア)～(ケ)の項目はそれぞれ、もっぱら学校で教えるべきこと、もっぱら家庭で教えるべきこと、のいずれだと思いますか。(○は(ア)～(ケ)にそれぞれ1つずつ)

半数以上の人々が、もっぱら学校で教えるべきと考えているのは、「集団生活に関すること（友だちと仲良くするなど）」(60.1%)、もっぱら家庭で教えるべきと考えているのは、「しつけに関すること（あいさつや行儀など）」(79.4%)、「性格・情緒に関すること（優しさや落ち着きなど）」(68.0%)、「食事と食生活に関すること（好き嫌いや食事の習慣等）」(80.9%)、「生活習慣に関すること（家の手伝いや整理整頓など）」(80.6%)である。

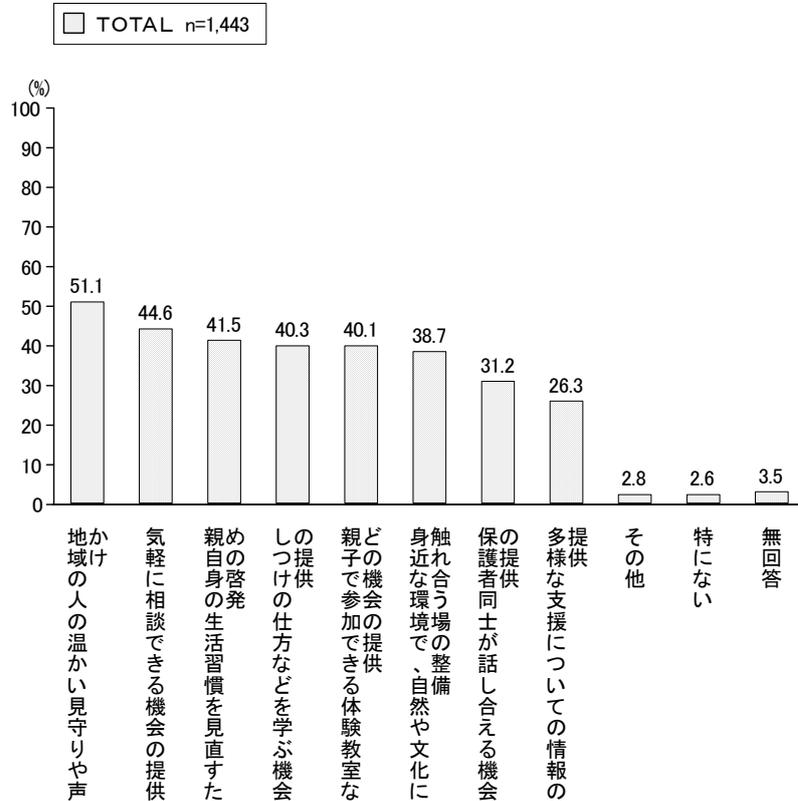


※選択肢は一部簡略化して記載している。

(2) 家庭教育を強化するために必要な支援

問 25 「親が子どもに教え、子どもを育む力」を養うために、必要な支援は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

家庭教育を強化するために必要な支援としては、「地域の人の温かい見守りや声かけ」をあげる人が51.1%と最も多く、次いで「気軽に相談できる機会の提供」(44.6%)、「親自身の生活習慣を見直すための啓発」(41.5%)と続いている。



子どもと同居している人について見ると、未就学の子どもがいる人では、「身近な環境で自然や文化に触れ合う場の整備」(54.3%)、「地域の人の温かい見守りや声かけ」(51.7%)、「親子で参加できる体験教室などの機会の提供」(51.7%)がそれぞれ半数を超え、多くあげられている。

(%)

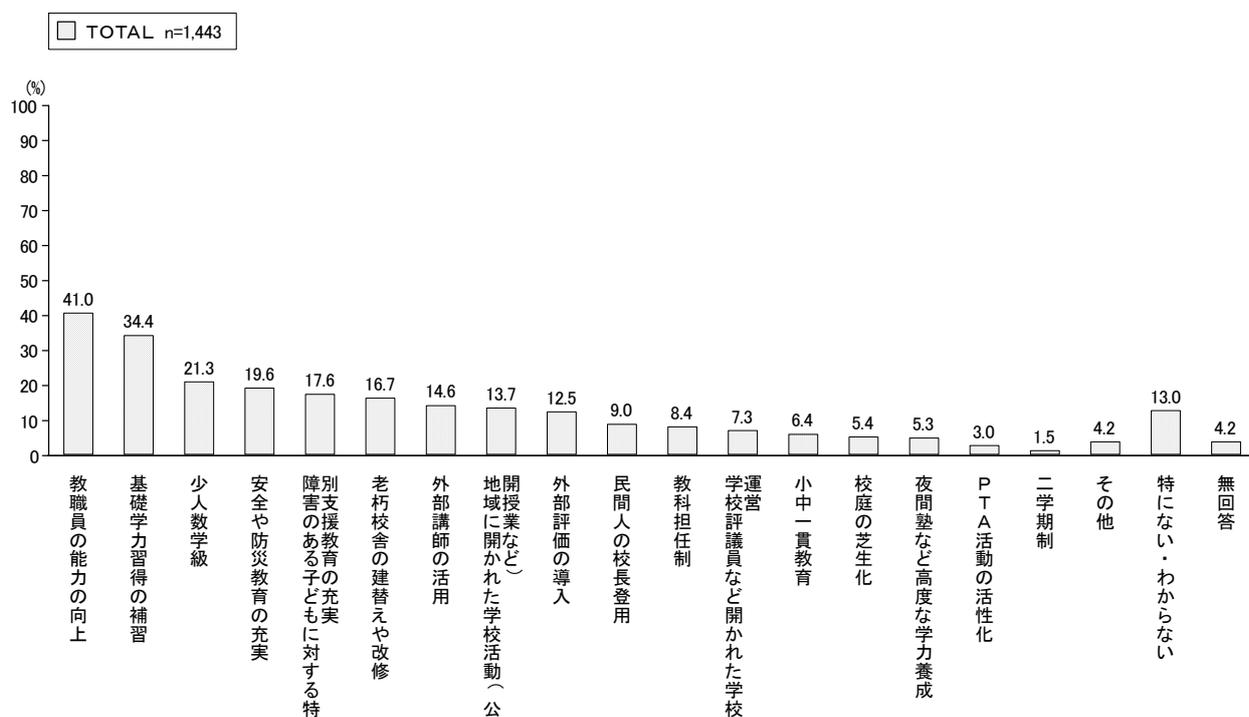
【同居者】	n	地域の人の温かい見守りや声かけ	気軽に相談できる機会の提供	親自身の生活習慣を見直すための啓発	しつけの仕方などを学ぶ機会の提供	親子で参加できる体験教室などの機会の提供	身近な環境で、自然や文化に触れ合う場の整備	保護者同士が話し合える機会の提供	多様な支援についての情報の提供	その他	特にない	無回答
子ども(高校生以上)	431	49.9	44.8	41.1	38.1	41.8	36.2	32.0	28.5	1.9	1.9	2.3
子ども(中学生)	100	36.0	36.0	31.0	34.0	28.0	40.0	27.0	22.0	5.0	2.0	1.0
子ども(小学生)	144	48.6	36.8	25.7	29.2	37.5	43.1	23.6	25.7	2.8	2.8	0.7
子ども(未就学)	151	51.7	41.1	30.5	27.8	51.7	54.3	30.5	34.4	3.3	2.0	2.0

6 学校教育について

(1) 公立学校教育で取り組んでほしいこと

問 26 今後、西東京市の公立学校教育で取り組んでほしいことは、どれですか。次の中から主なもの3つをお選びください。(〇は3つまで)

西東京市の公立学校教育で取り組んでほしいこととしては、「教職員の能力の向上」をあげる人が41.0%と最も多く、次いで「基礎学力習得の補助」(34.4%)、「少人数学級」(21.3%)と続いている。



子どもと同居している人について見ると、「老朽校舎の建替えや改修」に取り組んでほしいと考えている人は、小学生・未就学の子どもの同居している人では3割以上見られる。また、「小中一貫教育」と「校庭の芝生化」の2項目については、未就学の子どもの同居している人では、1割以上の人が希望している。

(%)

【同居者】		教職員の能力の向上	基礎学力習得の補助	少人数学級	安全や防災教育の充実	障害のある子どもに対する特別支援教育の充実	老朽校舎の建替えや改修	外部講師の活用	地域に開かれた学校活動(公開授業など)	外部評価の導入	民間人の校長登用
子ども(高校生以上)	n=431	47.8	39.0	24.8	18.6	16.7	14.4	15.1	13.7	12.5	9.7
子ども(中学生)	n=100	38.0	35.0	30.0	21.0	13.0	28.0	19.0	6.0	13.0	17.0
子ども(小学生)	n=144	41.7	36.1	40.3	22.2	13.9	34.7	10.4	9.0	9.0	11.1
子ども(未就学)	n=151	45.7	25.8	23.2	29.1	14.6	37.1	19.9	18.5	15.9	6.6

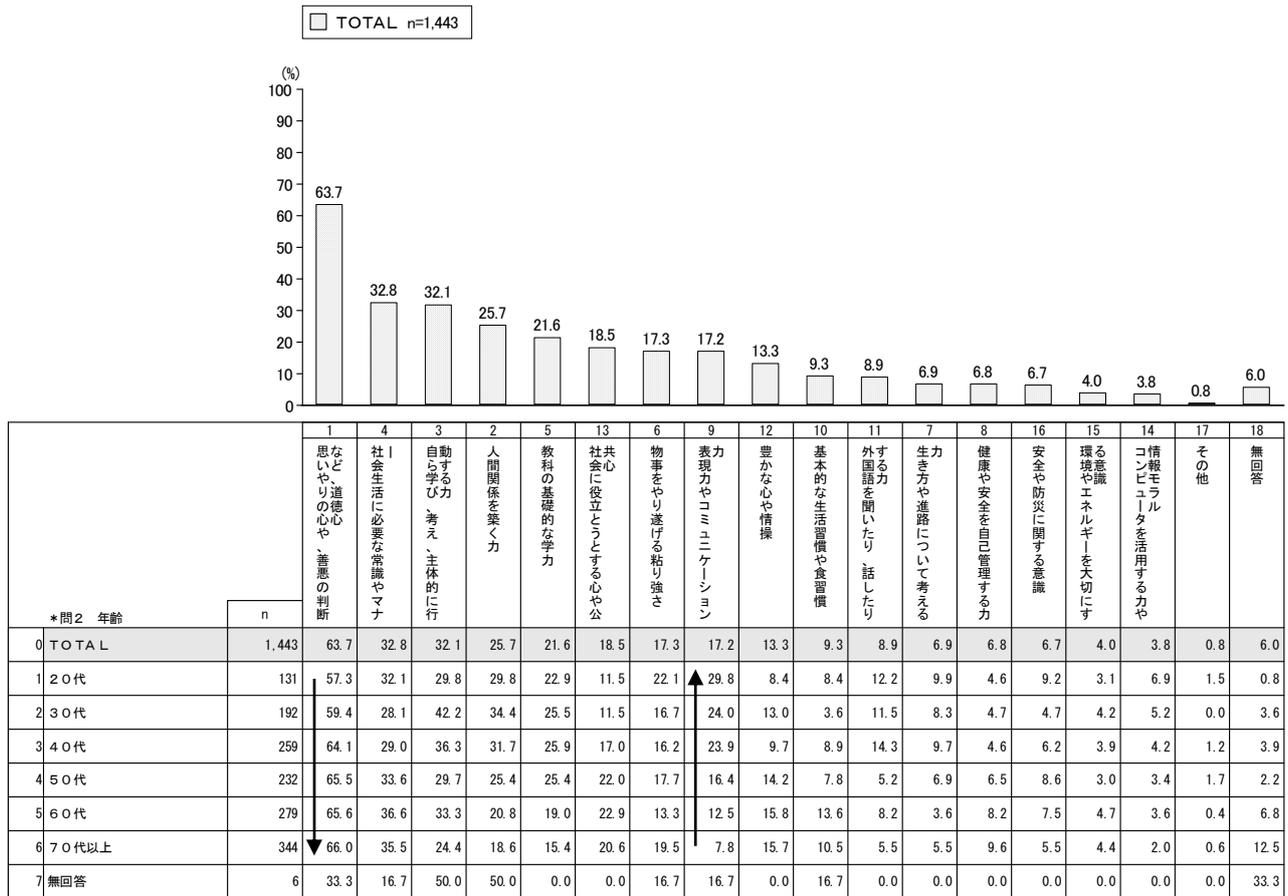
【同居者】		教科担任制	学校評議員など開かれた学校運営	小中一貫教育	校庭の芝生化	夜間塾など高度な学力養成	PTA活動の活性化	二学期制	その他	特にない・わからない	無回答
子ども(高校生以上)	n=431	5.6	8.6	5.3	3.9	6.3	3.0	1.6	3.2	11.8	3.5
子ども(中学生)	n=100	3.0	8.0	4.0	5.0	18.0	2.0	2.0	8.0	10.0	1.0
子ども(小学生)	n=144	6.9	6.3	7.6	9.7	12.5	0.7	2.1	7.6	3.5	1.4
子ども(未就学)	n=151	9.3	7.3	10.6	13.9	7.3	0.0	0.0	7.9	4.0	0.7

(2) 学校教育で教えることで重要なこと

問 27 西東京市の学校教育で子どもに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

学校教育で子どもに教えることで重要なこととしては、「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」をあげる人が 63.7%と特に多く、次いで「社会生活に必要な常識やマナー」(32.8%)、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」(32.1%)と続いている。

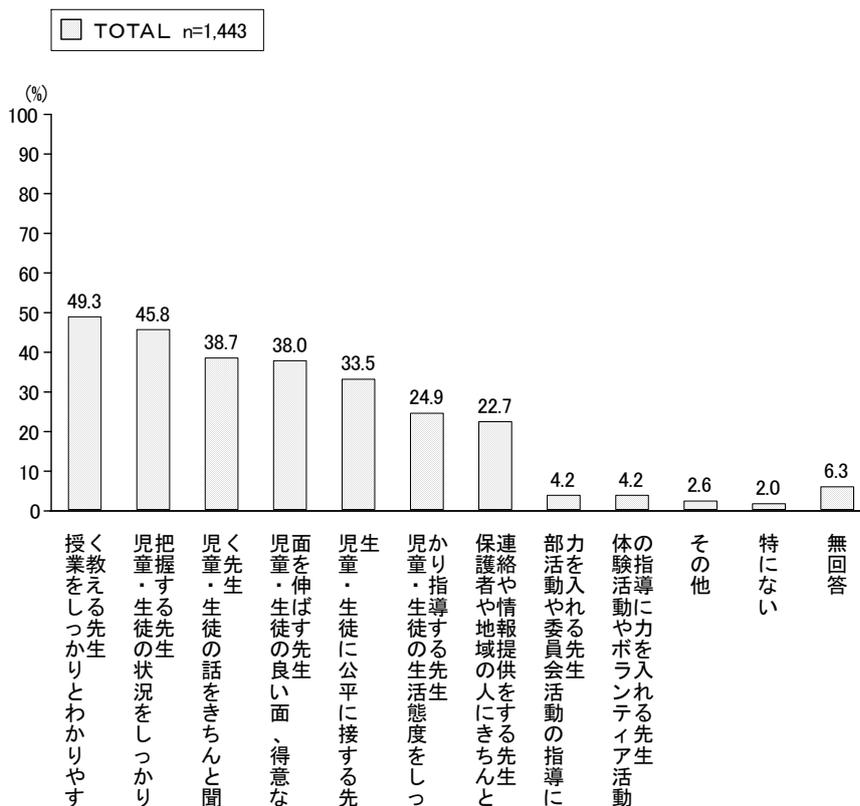
年代別に見ると、「思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心」を重要だと思う人の割合は、年代が上がるほど高く、「表現力やコミュニケーション力」を重要だと思う人の割合は、年代が若い世代ほど高くなる傾向にある。



(3) 望ましい小学校・中学校の教師像

問 28 西東京市の小中学校の先生は、どのような先生が望ましいと思いますか。(〇は3つまで)

望ましい小学校・中学校の教師像としては、「授業をしっかりとわかりやすく教える先生」をあげる人が 49.3%と最も多く、次いで「児童・生徒の状況をしっかりと把握する先生」が 45.8%で続いている。

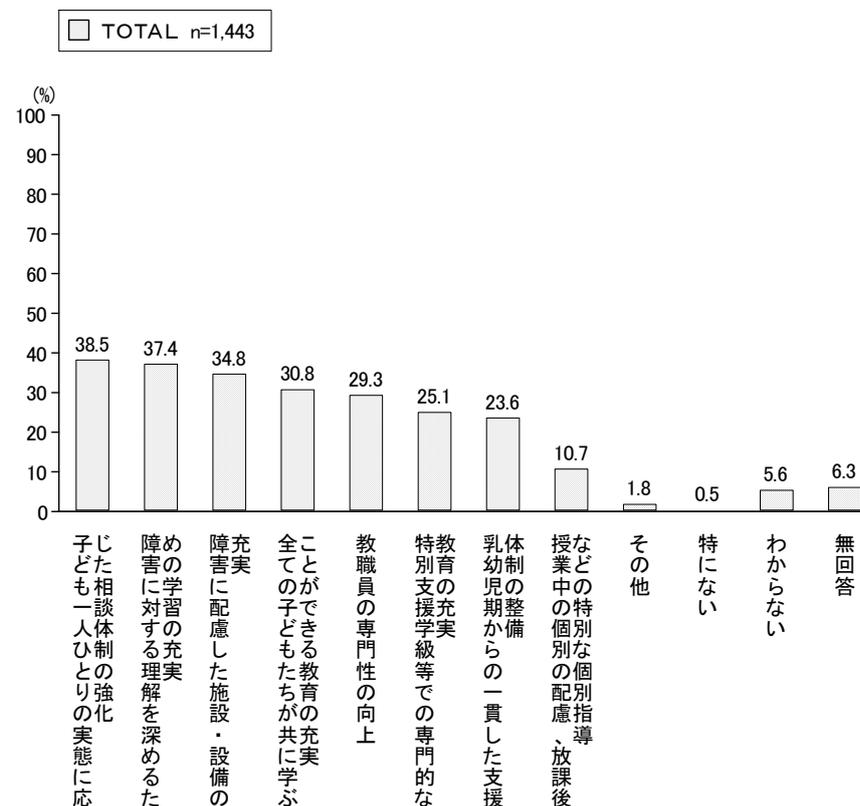


※選択肢は一部簡略化して記載している。

(4) 障害のある子どもたちの教育を充実するために必要な取組

問 29 あなたは、障害のある子どもたちの教育の充実のために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

障害のある子どもたちの教育の充実のために必要な取り組みとしては、「子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化」をあげる人が 38.5%と最も多く、次いで「障害に対する理解を深めるための学習の充実」(37.4%)、「障害に配慮した施設・設備の充実」(34.8%)と続いている。



※選択肢は一部簡略化して記載している。

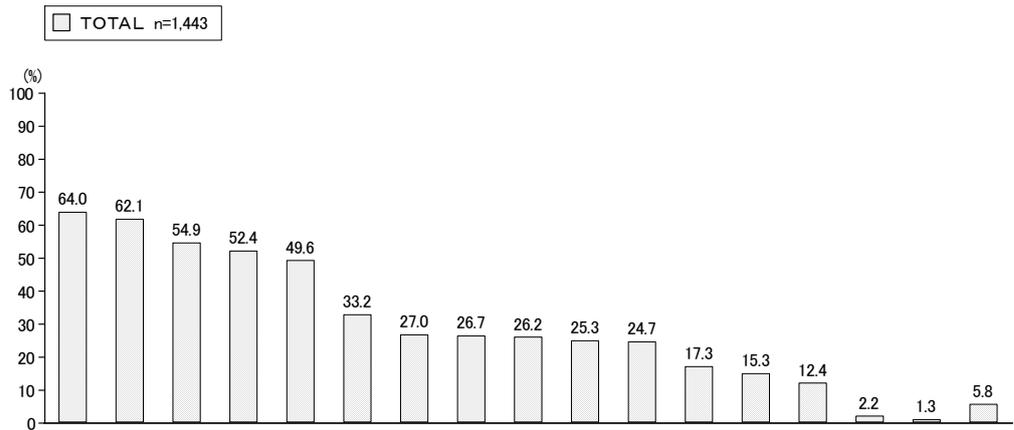
7 西東京市の子どもたちについて

(1) 西東京市の子どもたちになってもらいたい将来像

問 30 あなたは、西東京市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。(〇はいくつでも)

西東京市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいかと尋ねたところ、「優しく思いやりのある人」と回答した人が 64.0%と最も多く、次いで「相手の立場に立って考えられる人」(62.1%)、「自分の頭で考え、判断し、行動できる人」(54.9%)と続いている。

性別に見ると、「相手の立場に立って考えられる人」(男性 55.6%、女性 67.0%)と「夢、目標を持っている人」(男性 27.6%、女性 37.0%)の2項目は、男性に比べて女性のほうが約 10 ポイント高くなっている。



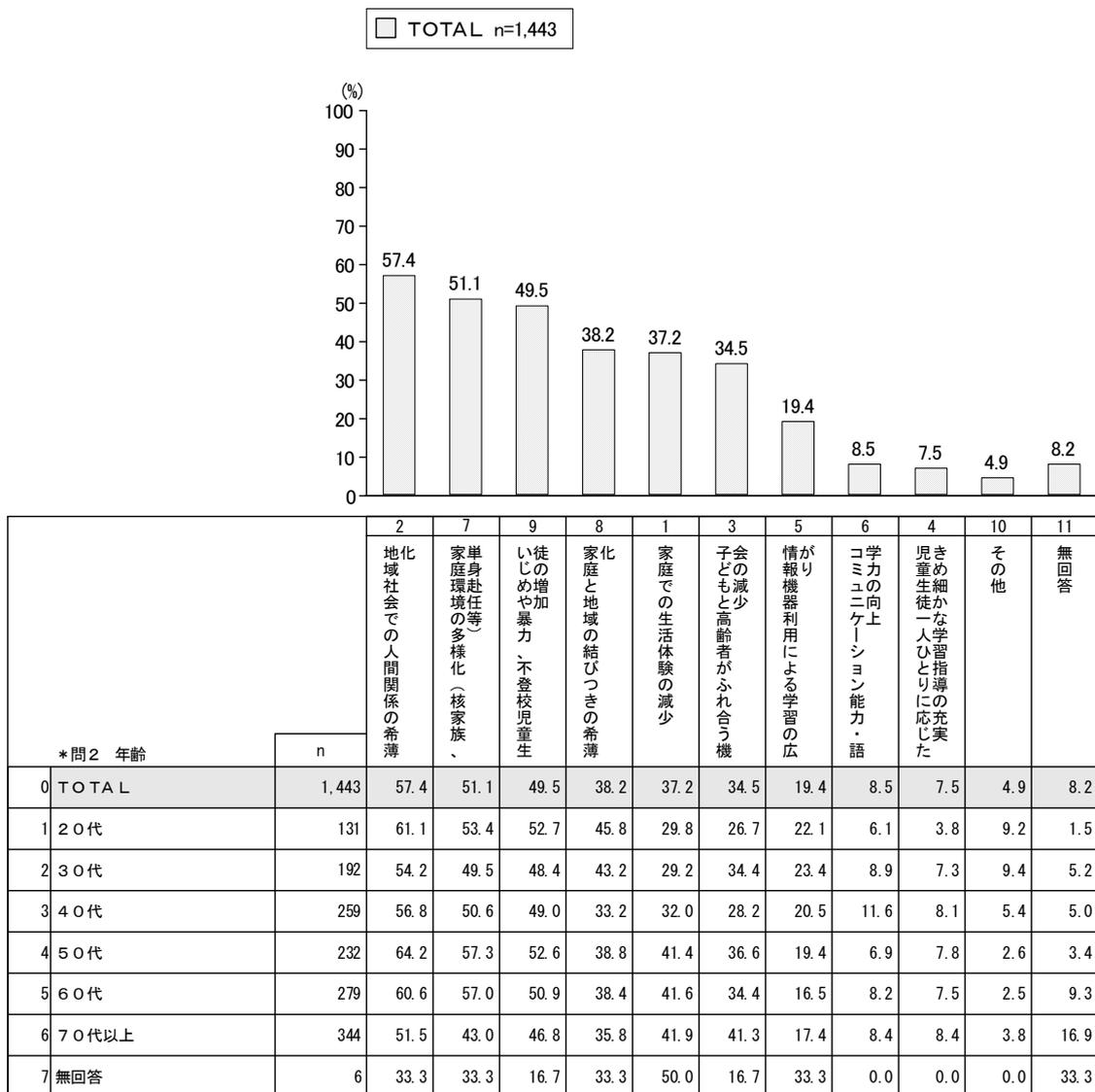
問1 性別	n	5	12	10	6	3	9	14	7	11	13	4	8	2	1	15	16	17
		優しく思いやりのある人	相手の立場に立って考えられる人	自分頭で考え、判断し、行動できる人	家族や友達を大切にしている人	自分の意見をきちんと言え人	夢、目標を持っている人	社会の役に立っている人	自分から進んで行動を起こせる人	まわりの人をサポートできる人	信頼される人	いろいろなことにチャレンジする人	ユニークで想像力が豊かな人	尊敬される人	リーダーシップのある人	その他	わからない	無回答
0 TOTAL	1,443	64.0	62.1	54.9	52.4	49.6	33.2	27.0	26.7	26.2	25.3	24.7	17.3	15.3	12.4	2.2	1.3	5.8
1 男性	536	63.1	55.6	51.9	48.1	45.7	27.6	24.3	27.1	25.7	24.3	24.6	18.3	15.1	15.3	2.6	1.5	6.0
2 女性	837	65.6	67.0	57.0	55.0	52.1	37.0	28.7	26.5	26.4	26.2	25.6	17.2	15.4	10.5	2.2	1.2	5.3
3 無回答	70	52.9	52.9	52.9	54.3	50.0	30.0	27.1	25.7	27.1	22.9	15.7	11.4	15.7	12.9	0.0	1.4	10.0

(2) 西東京市の子どもたちを取り巻く環境の変化

問 31 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(〇はいくつでも)

子どもたちを取り巻く環境の変化について尋ねたところ、「地域社会での人間関係の希薄化」と回答した人が57.4%と最も多く、次いで「家庭環境の多様化(核家族、単身赴任等)」(51.1%)、「いじめや暴力、不登校児童生徒の増加」(49.5%)と続いている。

年代別に見ると、「家庭と地域の結びつきの希薄化」をあげる人の割合は、20代・30代では4割を超えているが、40代以上では3割台となっている。一方、「家庭での生活体験の減少」をあげる人の割合は20代～40代では約3割であるが、50代以上では約4割と高くなっている。



※選択肢は一部簡略化して記載している。

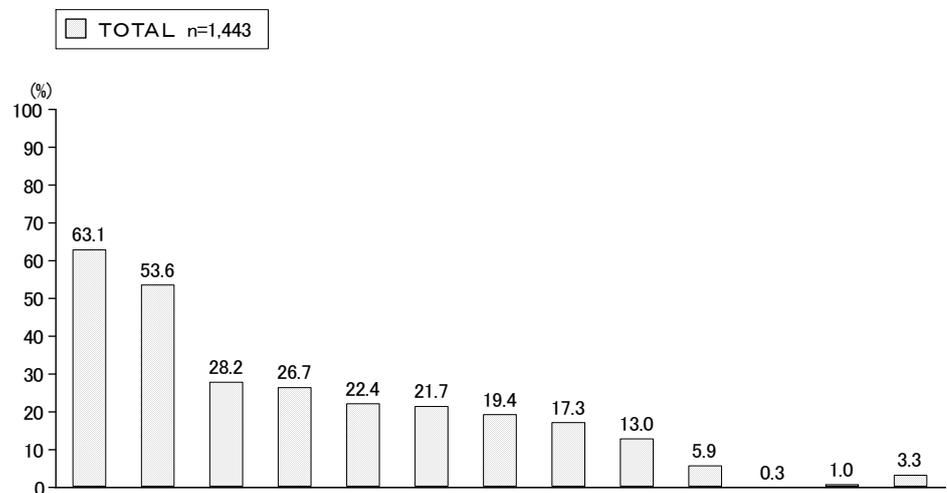
8 いじめや不登校問題について

(1) いじめや不登校等の防止のために必要な対策

問 32 あなたは、いじめや不登校などの問題を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

いじめや不登校などの問題を防止するために必要な対策としては、「親が子どもを見守り、実態を把握すること」をあげる人が63.1%と最も多く、次いで「学校の先生が児童・生徒を観察し状況を把握すること」が53.6%で続いている。

性別に見ると、女性に比べて男性が5ポイント以上高い項目は、「学校の先生がいじめ等の問題行動に厳しく指導すること」(男性34.9%、女性24.1%)と「親が家庭で厳しくしつけること」(男性17.7%、女性9.8%)の2項目である。反対に、男性に比べて女性が5ポイント以上高い項目は、「親が子どもを見守り、実態を把握すること」(男性58.6%、女性66.4%)と「専門の相談員に、いつでも悩みを相談できること」(男性20.0%、女性30.1%)の2項目である。



問1 性別	n	1	4	5	7	3	6	8	9	2	10	11	12	13
		親が子どもを見守り、実態を把握すること	学校の先生が児童・生徒を観察し状況を把握すること	学校の先生がいじめ等の問題行動に厳しく指導すること	専門の相談員に、いつでも悩みを相談できること	学校や家庭において情報モラル教育の充実を図ること	学校において道徳教育の充実を図ること	学校と警察等の関係機関との連携を強化すること	地域で子どもたちを見守り、注意するなど	親が家庭で厳しくしつけること	その他	特になし	わからない	無回答
0 TOTAL	1,443	63.1	53.6	28.2	26.7	22.4	21.7	19.4	17.3	13.0	5.9	0.3	1.0	3.3
1 男性	536	58.6	52.1	34.9	20.0	19.4	22.6	21.6	16.0	17.7	6.7	0.4	1.5	3.9
2 女性	837	66.4	55.1	24.1	30.1	24.0	20.5	18.3	18.0	9.8	5.7	0.2	0.8	2.5
3 無回答	70	57.1	48.6	25.7	37.1	25.7	28.6	15.7	17.1	15.7	1.4	0.0	0.0	8.6

※選択肢は一部簡略化して記載している。

同居している子どもがいる人と、いない人を比べて見ると、「親が家庭で厳しくしつけること」と回答した人の割合は、同居している子どもがいる人では9.4%、いない人では16.0%となっている。

【同居者】	n	(%)												
		親が子どもを見守り、実態を把握すること	学校の先生が児童・生徒を観察し状況を把握すること	学校の先生がいじめ等の問題行動に厳しく指導すること	専門の相談員に、いつでも悩みを相談できること	学校や家庭において情報モラル教育の充実を図ること	学校において道徳教育の充実を図ること	学校と警察等の関係機関との連携を強化すること	地域で子どもたちを見守り、注意するなど	親が家庭で厳しくしつけること	その他	特になし	わからない	無回答
同居している子どもがいる	688	69.6	56.1	29.5	27.8	23.4	19.3	19.5	16.3	9.4	6.0	0.1	0.3	1.9
同居している子どもはいない	745	57.3	51.7	27.0	25.6	21.7	23.9	19.6	18.1	16.0	5.8	0.4	1.7	4.3

9 意見・要望等（自由回答）

※原文通りに記載

調査票の最後に、学習や活動、学校教育等に関する意見や要望の自由記入欄を設けたところ、392名の記入があった。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介する。掲載にあたっては、特に多くの方から寄せられた意見・要望や、調査票の設問からは浮き彫りにされにくい課題・問題点を中心に、より代表性・具体性のある意見・要望を紹介するよう心がけた。

《学習や活動について》

- ・ 高齢者向け学習会（健康や老後生活）等公民館や福社会館で実施してほしい。（男性 70 代以上）
- ・ 土・日・祝日・夜間でも受講料が安く、わかりやすい講座を作ってほしい。（女性 30 代）
- ・ 資格取得のための講座などがあれば良いと思う。（男性 30 代）
- ・ 気軽に生涯学習に参加できる場を作って頂きたいです。また、地域でつながりができる場も作って頂きたいです。（女性 20 代）
- ・ ひきこもっている老人（1 人暮らしなど）が参加しやすいサークルの企画・人気があつてなかなか入れないサークルは 1 年交代にして、新しい人達が参加出来るようにしてほしい。（女性 60 代）
- ・ 運動場が少ない気がします。スポーツを通しての人間形成も必要だと感じます。（男性 30 代）
- ・ 生涯学習活動やサークル活動を行う場所が少なく、困っている団体が多い。公共施設を柔軟に運用することで、工夫できないものかと思う。（女性 50 代）
- ・ 学習や活動の場が、保谷方面に片寄っていて向台町近辺では少ないため、非常に不便に感じています。（女性 30 代）
- ・ 生涯学習・スポーツなどについては、市の施設で実施しているものは行きたくても土・日・夜間のものがなく参加できません。社会人に配慮した曜日・時間設定をお願いします。（男性 50 代）
- ・ 健診で運動不足と指摘されておりますが、なかなか市で開催する各種活動とスケジュールが合いません。可能であれば、帰宅後、あるいは、休日にしか参加できない労働者を対象にしたイベントを継続的に催していただければ重い腰を上げる方も増えていくのではないのでしょうか。（男性 50 代）
- ・ 学習やボランティア等をしたい時にすぐ出来る体制が不十分だと思います。たとえば単発的に今週は何曜日の午後に 2 時間とかボランティアをしたいと考えた時に、市内の、たとえば介護施設で「おむつたたみ」の人数が足りないといったようなことがネットで見られて、申し込みできるようなシステムがあればいいのにと感じます。（女性 60 代）
- ・ 子供が小さいので、保育施設等が備わっていないと、なかなか自身の学習活動は出来ないと思います。一時保育もありますが、確実に利用できる訳ではないので。（女性 30 代）
- ・ 生涯学習を通して生きがいのある西東京市にして下さい。市には専門知識や経験豊富な方が沢山住んでいると思うので、そのような方々が教育に参加できるシステムがあると良い。（男性 50 代）
- ・ 自分自身に時間をかけることができる様になったら、いろいろなチャレンジをしたいと考えています。その時に、健康維持・趣味的な活動には是非参加させていただきたい。（女性 60 代）
- ・ 一年後退職したら、得意な分野でボランティアをしたいと思っています。少しでも地域の方のお役に立てたら嬉しいです。（女性 60 代）

《学習や活動に関する情報について》

- ・ サークルの情報をもっと下さい。（男性 30 代）
- ・ いろいろなサークルの紹介・情報を知りたいと思いますが、なかなか目にとまりません。どこで情報を入れたらいいかが、もっと分かるといいと思います。（男性 50 代）
- ・ 色々な情報を紙面で情報発信して欲しいです。（女性 40 代）
- ・ 公民館やスポーツ施設でのサークルや習い事、講習などは、もっとシンプルな一覧があつたらあり

がたいです。(女性 30 代)

《公民館について》

- ・ 週に定期的に公民館に行き、仲間と話すこと、家族以外の方と、そして身近な地域で、学べることは、とてもありがたいことで、公民館の活動で人生が豊になりました。(女性 70 代以上)
- ・ 公民館の音楽活動に参加して 20 年以上になります。お陰で友達の輪が広がり、楽しく心豊かな時を過ごしています。近頃はピアノがある部屋取りが大変な現状が続き悩みの種です。(女性 70 代以上)
- ・ 公民館だよりをいつも見っていますが、講座の内容がありきたりというか、昔からやっているもので、なかなかやりたいものが見つからず、残念に思っています。(女性 40 代)
- ・ 公民館などで行っている行事（西東京公民館だより）に参加したくても申し込みの定員が 20 人～25 人位が多く高齢者は気おくれします。もう少し自由参加を増やしてほしい。(無回答)
- ・ 公民館・地区会館を有料して、本当に価値あるサークル活動を優先するべきだと思います。(有料にしても、それほど負担は大きくないし、市の財政にもプラスになる) また、市主催の講座等を充実し、公民館活動の質的向上を図るべき。(男性 70 代以上)
- ・ 公民館の事業の企画について、専門性の高い、社会教育主事資格をもつ、専任の職員を配置してほしい。(女性 40 代)

《図書館について》

- ・ 図書館は 9 時から開けてほしい。(女性 40 代)
- ・ 図書館をもっと利用したいと思っていますが、学習室(机)が少なく、ほとんど利用出来ません。住いから遠くの図書館を利用するのも不便ですし、施設の平均化をお願いしたい。(女性 50 代)
- ・ 図書館での勉強スペースを多く作ってほしいです。谷戸図書館にラウンジのようなスペースはありますが、休憩スペースのような場所は人声で勉強はできる所ではないので。(女性 20 代)
- ・ 図書館の学習スペースの充実に力を入れて頂けると嬉しいです。落ち着いて「学習」する「環境」を提供することは、とても大切なことだと思います。(子供にも。大人にも。)(女性 40 代)
- ・ 図書館を中心とする情報提供は更に充実させる様配慮願いたい。(男性 60 代)
- ・ 大学図書館からのその借り出しが可能な制度を希望します。(男性 60 代)
- ・ 保谷駅前図書館が一番近くてアクセスが良く便利だが、機械化が進みすぎている。子どもに「お願いします」「ありがとうございます」という機会を与えてほしい。ここでは館員さんと一言も交わすことなく、本を借り、返すことができちゃう。(女性 30 代)

《学校での教育について》

- ・ 子供達に学ぶ事の楽しさを教えられる学校が増えてほしいと思う。(男性 50 代)
- ・ 西東京市の子供だけではありませんが、マナーのなっていない子供が多い。学校でもマナーの教育がもっと必要では。(第一は親のしつけですが)(女性 20 代)
- ・ 学校教育については第一にいじめ(校内犯罪)は起こらないように注意を払い、起こった場合は厳正な対応が必要だと考えます。学力も大切ですが、社会人となるための基本的な集団でのルール、考え方を身につけて欲しいと思います。(男性 50 代)
- ・ 小、中学校の先生方には国語、数学といった勉強そのものよりも、生徒が尊敬できる大人であることを求めます。(女性 20 代)
- ・ 学校は忙し過ぎます。雑用を減らし、先生方が子供達と向き合う時間の確保をしてあげて欲しいと思います。(男性 60 代)
- ・ 教師はもっと自信を持って子供、親に対してきびしく対応して欲しい。きびしさは、速効性は無いが後々に効果が歴然を現れると思います。(男性 60 代)

- ・ 学校教育の中でも、ボランティア活動（障害者、老人への）を取り組むことができれば良いと思います。（女性 50 代）
- ・ 子供さんの学習は先生だけでたよる事なく人生の長い体験経験をされた人達の話聞かせる場もあって良いと思います。三世帯同居が少ない中できっと役に立つと思います。（女性 50 代）
- ・ 教育のプログラムとして、ひとつのアイデアです。『仕事の現場を訪れる』受け入れる側の能力にもよると思いますが、保育園・幼稚園・デイサービス施設などを授業の一環として課外学習する。農業・西特産品の製造・生産体験など、実体験してやることによって高校・大学進学後の勉学の方向性を選択する役に立てられるかと思います。商店街・企業・工場の見学も、地域との連携という意味で学校外の大人達の意識にも刺激になるのではないのでしょうか。（女性 70 代以上）
- ・ 仕事で平日保護者会等積極的に参加できない親の子供には、明らかに差別していました。いじめられていても見て見ぬふり、クラス全員の前で「仕事休んで保護者会に来ない親は子供を思っていない」と平然と言っていました。もっと質の高い教師を採用すべきかと思います。（女性 40 代）
- ・ 小、中学校の教育方針や様子など知りたいと思っても、どのように情報を得たらよいか、わかりにくいと思います。（女性 30 代）
- ・ 校舎の耐震性をきちんと見直し早急に対応をしていただきたい。大切な子供達が安心して勉強できる環境の整備を要望します。（女性 40 代）
- ・ 校舎周辺の整備が不十分の感はいなめない。児童生徒に整った環境と安全を意識させる為にも美観・安全に配慮した校舎周辺整備が求められる。（男性 70 代以上）

《家庭での教育・しつけについて》

- ・ 思いやりのある子供にするには、家庭や学校が協力し合って人間性を豊かに育てられる様にしてほしい。（女性 70 代以上）
- ・ 子供が悪くなるのは親の責任。子供は親の鏡。学校や社会のせいにする事が 1 番の問題であり。たとえば動物とのかかわり等命の大切さから親がきちんと教えるべきだと思います。（女性 50 代）
- ・ 子供のしつけや教育の責任は、親にあると考えます。学校はそれを助けるものであり、親はそれを理解し学校教育には積極的に協力すべきだと思います。正しいしつけ、教育であれば、厳しい指導であっても良いと考えています。（男性 40 代）
- ・ しつけは家庭の問題と考えており、学校にそれを押しつけるのは間違い。と同時に地域ぐるみで子供の成長を見守っていける社会でありたいと思います。色々な年代の人が一緒に子供を見守る事で、かたよらないバランスのとれた子供に育つのでは。（女性 40 代）
- ・ 今の子供は注意すると「くそ・ばばあ」等と悪口を言う子がいる。それは家庭の躰けが出来ていないと思う。今の母親は子供を叱ることをあまりしないような気がする。電車の中で走り回ったり大声を出しても親は注意しない。（女性 70 代以上）
- ・ 昔の親がそうであったように、親は自分の子どもを、責任をもって育て社会に出す事を覚悟すること。昔の地域がそうであったように、地域はすべての子どもが地域の宝であることをしっかりと認識し、行動することともに、甘えすぎてはならないだろう。（男性 70 代以上）
- ・ 子供達の犯罪、いじめ問題等、昔私達が子供の頃を考えますと想像もつきません。これは母親が仕事、仕事で子供と充分向きあって見てあげることが出来ず、しつけ等、ゆきとどいていないからかと思います。何でも学校の先生方の教育が悪いように云われがちですが、とんでもない。その子供のあの程度のことは家庭内での生活ぶりから来ているのではとしみじみ思います。（女性 60 代）
- ・ 学校側が PTA や保護者、生徒に甘すぎると思います。何でも学校側に押しつけ、自分達のやるべき家庭教育や給食費の未払い等、勝手すぎると思います（全ての人とは思いませんが）学校は勉強（学問）を教えるところです。家庭教育までやる必要はないと思います。家庭教育は家庭でしっかりやるよう指導すべきです。それには親の意識改革が必要だと思います。これからは学校や諸先生方がきざんとした態度でリードして行っていただきたいです。（女性 70 代以上）
- ・ 自分の子供は自分で育てる。しつけを学校や地域、他人に任せきりにしない。学校や地域はあくま

でもサポートである。社会の変化やサービスの多様化、充実化で「子育てサポート」を間違っているような気がする。子供へのサポートと同様に「親」の責任教育も必要ではないかと思う。(女性 30 代)

《地域との関わりについて》

- ・ 朝、学校帰りに会った時に、挨拶をしておはよう、おかえりなさいという言葉をかけても睨むくらいで返事なしで悲しい気持ちです。もう少し地域で考えた方がよいのではと思う。(女性 70 代以上)
- ・ 子供が学校を卒業すると、学校との接点は殆どなくなってしまう。土、日或いは長期休暇を活用した地域の人々と接触頻度が高まるような活動を今より多く行い、かつ、それを行っているとの情報を是非、発信していく仕組みをお願いしたい。(男性 50 代)
- ・ 学校という場所は閉鎖的になりやすい傾向があるので、父母に限らず地域社会との幅広い交流を行う必要がある。(男性 50 代)
- ・ 学校とかの行事やイベントに興味があり、参加したいが、働いている人にも配慮してほしい。行事やイベントが平日にありすぎて、フルで働いている私にはとても厳しい。(女性 30 代)
- ・ 情操教育の一貫として、地域の老人施設などに遊びに行く機会を作り、子供にお年寄りを好きになってほしいと思う。(女性 30 代)
- ・ 地域の子と接する機会が少ないのですが、まずあいさつの出来る環境が出来ればよいと思う。他人の子も注意できること、そして注意を受け入れられる子であって欲しい。また、子供の自転車のマナーを学校はきちんと教えて欲しい。(女性 30 代)
- ・ 大学で子供のことを学んでいるのですが、もっと地域と子供達の関わりが増え安心して暮らせる町が増えていくと良いと思っています。また、現代の子供達は、公園でゲームをして遊んだり、ゲームが中心の遊びが中心であり、体を動かして遊ぶ楽しさやおもしろさをあまり体験できていないのではないかと思うので、そういった楽しさを伝える機会などがあったら良いと思いました。(女性 20 代)
- ・ 部活動を市民に開放し、小学生や市民を受け入れて下さい。昨年度より中学校の部活動の手伝いをしていますが、このことにより、多くの生徒と知り合う事ができました。部活動を地域に開放する視点を持ち、市民の交流の場となればと思っています。生徒と地域のつながりが市民の生徒を譲る意識を高め、又、大規模災害時の共助の土台作りに活かされると思います。(男性 30 代)
- ・ 小・中学校のクラブ活動を市民がサポートする(参加する)機会をつくってほしい。子どもと様々な市民のコミュニケーションが深まる。(男性 40 代)
- ・ 現在、子ども関連のセラピストの学校へ通っています。学んだことを地域で活かしたら本望です。門戸が開かれたら、是非協力したいと考えています。自分の持っているものを地域に還元できたら嬉しいと思います。(女性 30 代)
- ・ 社協のボランティアに参加していますが、小学校や中学校側からの支援がここ 5~7 年間まったくなくなりました。街づくりには地域の子供の参加や協力(ボランティア)や交流が不可欠です。市の教育の一環としてもぜひ協力をして欲しい。(無回答)

《いじめや不登校について》

- ・ 子どもの周りにいる大人が、尊敬・信頼できないから、いじめや学級崩壊が起こるのだと思います。親も教育者も、もっと子どもを見てあげてください。(女性 20 代)
- ・ 学校でのいじめの問題には、心を痛めています。学校側は責任を回避せず、真剣に取組み、いじめにより命を断つ子供がなくなるようにして欲しいと切に願います。(女性 60 代)
- ・ いじめはどこの国にもあります。学校とは限らず社会に出てからもあります。小中学校のいじめを無くしようとするのではなく、いじめられても生きる強さを持たせることが必要。(男性 70 代以上)
- ・ 特にいじめに対して学校がかくす様な事をしないでもっとオープンに指導する。いじめられている子の親と同等にいじている親の意見を発表する。(女性 70 代以上)
- ・ いじめなどの問題が起こった時に隠蔽するのではなく、きちんと公表し、素早く対処して頂きたい。閉鎖的な教育委員会の体質を変える為にも外部の民間人を登用するなどして改革すべきだと思います。

(女性 30 代)

- いじめや不登校等については、親はもちろんであるが、教師がもっと関心をもって観察、指導を強化する事が必要。無関心教師が多過ぎる。(男性 70 代以上)
- 学校にいじめ、不登校についての専門家が少なからずいないと、解決は出来ないと思っています。とかく担任の先生に責任が多くあると考えがちですが、学習指導、学級経営など忙しく、無理だと考えています。(男性 60 代)
- 子供のいじめや不登校を失くすには、小・中学校の教員が、「考える時間」を持てるような職場の環境がなければならないと思う。様々な仕事に追われたり、教員同士でコミュニケーションが盛んにできるような環境がないとすれば、子供たちに目を向けることは難しいのではないかと。教師が力を発揮できるように、学校の管理者や子供の親が協力していかなければいけないと思う。教師の悪い点ばかりあげつらったりせず、いい所をきちんと評価できるような体制を作るといいと思う。(男性 40 代)
- いじめや不登校について、先生方も忙しく大変なのもわかるが不安で苦しい思いをしている子供が居ることを忘れないでほしい。勉強を教えるだけが教師の仕事では無い。勉強だけなら塾でできる。学校では集団で生活すること、決まりを守ること、人の気持ちを理解すること、コミュニケーションのとり方、友人。学校は色々な事を身につける子供の世界の最大のコミュニティーだ。(女性 30 代)
- 今、いじめ問題が多いが、担任一人に任せるのではなく、学校全体で対応していく姿勢で児童の指導にあたってほしい。(男性 50 代)
- 子どもがいじめで不登校になったことがあります。その時、学校、教育委員会の対応に不信感を持ちました。まず、何故いじめられた子が勉強する場がないのか?とかく、いじめた子が守られている様に感じます。本当に未来を考えるのなら、教育、人間育成は大切です。(女性 40 代)
- 去年、我が子もいじめに会いました。「言葉の暴力」という事もあり、学校に相談しても「気にするな」とか「別の友人をさがしたら」という対応でしたが、次第にエスカレートし、学校に行けない状態が続きました。その時思った事は「なぜいじめている生徒が学校に通っているのか」ということでした。何度も学校に相談し、いじめている生徒もわかっているはずなのに、注意しても聞かないとの事でした。「停学させる」という手段がなぜ無いのでしょうか。いじめた人が学校に通えることは、いじめを肯定しているように思えます。そして、いじめを受けた生徒は心を痛めたうえ、学校にも行けず、つらい思いをしています。不公平ではないでしょうか。(女性 40 代)

《障害のある子供への対応について》

- 障害児に対する教育・療育の機会が少なすぎる。特別支援学校(学級)が充実していない。もっと積極的に相談にのってくれる方が必要。(男性 40 代)
- 子供達がいつでも相談できる相談所を学校内外に設ける必要があります。臨床心理士だけでなく、子供達の発達を視点に於いて相談に応じられる臨床発達心理士の採用も考えて下さい。(女性 60 代)
- 大人の発達障害が広く認知されるようになってきた昨今。小さなうちから回りが認める事、障害ではなく特性をとらえること(残念な事ではなく、認めたくないような事ではなく・・・)で普通に、又、それ以上に社会に適応していけると思います。(女性 40 代)
- 現在、障害者センターにてリハビリ等教育を受けていますが、障害の程度に応じて対応して頂いています。学校教育もそれが理想かも知れません。学校生活もクラス単位だけでなく、上級生と下級生が一緒に行動し、上級生が指導できるシステムを考えてみる事も有りかなと思います。(男性 60 代)
- 2 人の子供が市内の小学校にお世話になっていますが、それぞれの同級生に発達障害の生徒やその疑いのある生徒が複数おり学習環境が乱れていることが多々あります。特別支援学級などに通級するか否かの最終判断は保護者が握っているようですが、あまりに他の生徒の学習を阻害するようであれば行政から指導・指示という形でその生徒にふさわしい学校や学級に移ってもらうことは出来ないのでしょうか。多くの保護者の言いにくい悩みと希望です。(男性 30 代)

《その他》

- 学校、地域、家庭がそれぞれの役割を押しつけ合うのではなく、情報を共有し、それぞれの枠を超

えた協力体制を。(男性 20 代)

- ・ 子供を育てる、社会を良くする。家庭、学校、地域社会すべてに責任があると思う。何か事が起きた時に責任の押しつけ合いでなく、皆が各々の責任を自覚出来なければ良い方向へは進まないと思う。(男性 50 代)
- ・ 行政ができること、できないことをきちんと判断して計画を立案してもらいたい。行政がやるべきことと、民間、家庭でやるべきことを判断して計画を立案してもらいたい。コストパフォーマンスを良く検討して無駄なことに予算を使用しないでもらいたい。(男性 40 代)
- ・ 学校や自治体でやれることには限りがあるので、できるだけボランティア団体や地域の組織を活用することが必要だと思う。西東京市は、そのような団体・活動を奨励したり、組織化したり、アドバイスしたりする形で自らの目的を達成するのが良い。(男性 40 代)
- ・ 西東京市内の中学生が、母校の学校の門で喫煙している姿を近所の方が見かねて学校へ連絡すると、「門の外での出来事なので対処しません」と回答されたそうです。子供を教育する側の指導を再確認し、行政・学校・地域が協力して、非行のない安全な街づくりに努めて頂きたい。(女性 30 代)
- ・ 近隣の市、区等に於いては郷土資料館があり、土地の歴史文化を大切にしておられるように思われます。西東京市には、郷土資料室はありますがあまりにもおそまつで他を訪問するとはずかしく感じられます。充実した資料館にしていいただければと希望します。(女性 70 代以上)
- ・ 公園や広場に行くと野球はダメ、サッカーはダメとどこでも記載されています。こういった環境が地域との係わりや友達同士のつながりを希薄なものにしているのではないのでしょうか。遊ぶところが無いから結局市外に出て遊ぶしかない状況です。(男性 40 代)
- ・ 公務員なので仕方ないことだが、親子で参加できる催しが平日ばかり、仕事をしているので乳児と共に参加できる楽しいことを、土日に行なってくれるといいのに、と思っています。働いているお母さんは案外孤独だと思います。(女性 30 代)
- ・ 今、「食育」が必要です。関心をもっている人は何人いるのでしょうか。「食」は人に良いと書きますネ。健康的な食生活は、生きる為には重要です。病は食べた物のつけから、又病気を治すのも食べ物です。子供がキレル、いじめ等は栄養のバランスからおこります。賢い子供が育ち、円満な家庭生活がおくれる様に、食の大切さを知ってほしいです。(女性 70 代以上)

しょうがくせいよう せいかつ 小学生用 ふだんの生活についてのアンケート

【記入のおねがい】

このアンケートは、あなたのふだんの生活のようすについてたずねるものです。自分が思ったとおりに書いてください。

【注意】

- ◆それぞれの質問の答えの中で、自分にあてはまるものの番号に○をつけてください。
- ◆あてはまる答えがない場合は、「その他」のこの中に答えを書いてください。
- ◆名前は書かないでください。
- ◆質問の中で、答えたくない質問がある場合には、答える必要はありません。

問1 あなたは何年生ですか。(○は1つ)

- 1 4年生 2 6年生

問2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

- 1 男 2 女

問3 どの小学校に通っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 田無 | 11 栄 |
| 2 保谷 | 12 泉 |
| 3 保谷第一 | 13 谷戸第二 |
| 4 保谷第二 | 14 東 |
| 5 谷戸 | 15 柳沢 |
| 6 東伏見 | 16 上向台 |
| 7 中原 | 17 本町 |
| 8 向台 | 18 住吉 |
| 9 碧山 | 19 けやき |
| 10 芝久保 | |

問4 一緒に住んでいる人は誰ですか。(○はいくつでも)

- 1 お父さん
2 お母さん
3 おじいさん
4 おばあさん
5 きょうだい
6 その他 ()

がっこう せいかつ 学校での生活のようすについてお答えください

問5 学校は楽しいですか。(〇は1つ)

- 1 とても楽しい
- 2 まあまあ楽しい
- 3 あまり楽しくない
- 4 楽しくない

問6 学校のどんなところが楽しいですか。(〇はいくつでも)

- 1 授業
- 2 休み時間
- 3 授業以外のクラス活動
- 4 友だちがいること
- 5 先生がいること
- 6 遠足や運動会などの行事
- 7 図書室
- 8 クラブ活動
- 9 給食
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問7 学校で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 授業がわからない
- 2 授業中さわがしい、集中できない
- 3 友だちがいない
- 4 いやな友だちがいる
- 5 先生がきびしい
- 6 先生が悩みや意見を聞いてくれない
- 7 給食のこと
- 8 学校の決まりごと(校則)がきびしい
- 9 教室やトイレなど、学校の施設がきたない・古い
- 10 クラブ活動のこと
- 11 自由がない
- 12 その他 ()
- 13 特にない

問8 この1年くらいの間に、学校に通うときや学校から帰るとき(登下校時)に危険な思いをしたことはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 車や自転車の急な飛び出しなど、事故にあった(あいそうになった)
- 2 不審者に声をかけられた
- 3 公園などの遊具で遊んでいてケガをした(しそうになった)
- 4 その他 ()
- 5 危険な思いをしたことはない



問9 学校や先生に望むこと（してほしいこと）は何ですか。（〇はいくつでも）

- 1 体験学習などをたくさんできるようにしてほしい
- 2 興味のあることをたくさん勉強できるようにしてほしい
- 3 いじめのない楽しい生活の送れる学校づくりをしてほしい
- 4 全国の子どもの中で自分の学力がどれくらいなのかを教えてください
- 5 わるいことをしたときは、きちんと注意してほしい
- 6 がんばっていることをもっと認めてほしい（ほめてほしい）
- 7 先生にはみんなに平等に接してほしい
- 8 一人ひとりの力に合わせた内容を教えてください
- 9 勉強がわかるようにしてほしい
- 10 学校の校舎や教室、学習で使う道具などをよくしてほしい
- 11 悩みや意見をじっくり聞いてほしい
- 12 クラブ活動に力を入れてほしい
- 13 行事が楽しくなるようにしてほしい
- 14 先生以外のの人に学校に来てもらって、一緒に勉強したり遊んだりしてほしい
- 15 その他（ ）
- 16 特にない

問10 ぶだんの授業以外に、自分の苦手なことや困っていることについて、個別に先生に教えてほしいと思ったことはありますか。（〇は1つ）

- 1 ある 2 ない

ぶだんの生活のようすについてお答えください

問11 習い事や塾に通っていますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1 スポーツチームやクラブ
(野球やサッカー、水泳など) | 6 家庭教師 |
| 2 武道（柔道、剣道など） | 7 そろばんや習字 |
| 3 ダンス（ヒップホップ、バレエなど） | 8 英会話 |
| 4 音楽（ピアノ、エレクトーンなど） | 9 絵 |
| 5 学習塾 | 10 その他（ ） |
| | 11 特に通っているものはない |

問12 家では、勉強する時間・寝る時間・起きる時間・食べる時間はそれぞれ決まっていますか。（〇は（ア）～（エ）ごとに、それぞれ1つずつ）

	きちんと決まっている	決まっていないが、 だいたいいつも同じ	決まっていない (その日によって違う)
(ア) 勉強する時間	1	2	3
(イ) 寝る時間	1	2	3
(ウ) 起きる時間	1	2	3
(エ) 食べる時間	1	2	3

問13 学校の授業以外では、主にどうやって過ごすことが多いですか。

(○は平日・休日に、それぞれ1つ)

	平日 (学校が終わってから)	休日 (学校が休みの日)
(ア) 友だちと遊ぶ	1	1
(イ) 家族と過ごす	2	2
(ウ) 自宅でひとりで過ごす	3	3
(エ) 塾や習い事に行く	4	4
(オ) 地域の行事や活動に参加する	5	5
(カ) その他 ()	6	6

<平日または休日に「友だちと遊ぶ」と答えた人におたずねします。>

問14 友だち同士で外出するときは、どのようなところに行きますか。(○はいくつでも)

1 児童館・児童センター	8 買い物
2 図書館	9 カラオケ
3 公民館	10 ゲームセンター
4 スポーツ施設	11 映画館
5 コミュニティセンターや地区会館	12 遊園地
6 公園	13 多摩六都科学館
7 校庭	14 その他 ()

<平日または休日に「自宅でひとりで過ごす」と答えた人におたずねします。>

問15 何をして過ごしていますか。(○はいくつでも)

1 テレビやDVDなどを見る	7 音楽を聴く
2 パソコンやインターネットをする	8 家事や家の仕事の手伝いをする
3 ゲームをする	9 その他 ()
4 読書をする	10 特に何もせず、ぼーっとしたり、寝たりしている
5 マンガや雑誌を読む	
6 勉強をする	

問16 家の中で決まって手伝うことがありますか。(○はいくつでも)

1 お風呂の掃除や準備	6 ごみ出し
2 ごはんの準備や片付け	7 家族の世話
3 料理	8 洗濯物干しや取りこみ・たたみ
4 買い物	9 その他 ()
5 掃除	10 特にない

問17 あなたは、以下のような内容について家族と話すことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 学校であったこと | 5 テレビや新聞で取り上げられていること |
| 2 友だちのこと | 6 その他 () |
| 3 進路や将来のこと | 7 家族と話すことはほとんどない |
| 4 地震などの災害に関すること | |

問18 父だんの生活で、いちばん気になっていることは何ですか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 家族のこと | 5 将来の学校や職業のこと |
| 2 友だちのこと | 6 健康や身体のこと |
| 3 勉強 | 7 その他 () |
| 4 学校やクラスのこと | 8 特にない |

問19 自分専用の携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1 自分専用で持っているものがある |
| 2 現在は持っていないが、近いうちに持つ予定がある |
| 3 自分専用のものは持っていない |

＜「自分専用で持っているものがある」と答えた人におたずねします。＞

問20 1日にどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使いますか。
「平日」「休日」それぞれについてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

- | | | | |
|------|-----------|-----------|---------|
| 【平日】 | 1 30分未満 | 3 1～3時間未満 | 5 5時間以上 |
| | 2 30分～1時間 | 4 3～5時間未満 | 6 使わない |

- | | | | |
|------|-----------|-----------|---------|
| 【休日】 | 1 30分未満 | 3 1～3時間未満 | 5 5時間以上 |
| | 2 30分～1時間 | 4 3～5時間未満 | 6 使わない |

問21 使い方について、家族と約束をしていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 利用料金について | 5 有料サイトの利用について |
| 2 利用時間について | 6 その他 () |
| 3 利用場所について | 7 特に約束していることはない |
| 4 電話やメールの相手について | |



にしとうきょうし
西東京市には、6つの公民館があります（柳沢、田無、芝久保、谷戸、ひばりが丘、
ほうやえきまえ
保谷駅前）。
こうみんかん
公民館では、ちいき ひとひと あつ
地域の人が集まり、さまざまな活動（かつどう）をしています。

とい
問22 あなたは公民館がどんなところか知っていますか。（○は1つ）

- 1 知っている
- 2 知らない

とい
問23 ふだん、近所の人とはあいさつをしますか。（○は1つ）

- 1 自分からあいさつをする
- 2 近所の人からあいさつされれば、自分もあいさつをする
- 3 あいさつをしない、されないように避けている
- 4 あいさつをしたり、されたりすることはない（近所の人をほとんど知らない）

とい
問24 以下のような地域の行事などに参加していますか。（○はいくつでも）

- 1 お祭り
- 2 地域清掃
- 3 ラジオ体操
- 4 児童館・児童センターや公民館での催し物
- 5 スポーツ教室・大会
- 6 ボランティア活動
- 7 その他（)
- 8 地域の行事には参加していない

とい
問25 あなたは、登下校の途中などに地震などの災害が起きたときに、どこに避難すれば
いいか知っていますか。（○は1つ）

- 1 知っている
- 2 知らない

あなた自身のことについてお答えください

問26 あなたは、いやなことやつらいことがあったとき、相談できる人がいますか。(〇は1つ)

- 1 いる
- 2 いない

<「いる」と答えた人におたずねします。>

問27 相談できる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|--------------------------|
| 1 お父さん | 7 友だち (年上) |
| 2 お母さん | 8 学校の先生 |
| 3 おじいさん | 9 スクールカウンセラー (相談員) |
| 4 おばあさん | 10 インターネット (掲示板や交流サイトなど) |
| 5 きょうだい | 11 その他 () |
| 6 友だち (同年) | |

問28 あなたは、自分に自信のもてること (よいところ) はありますか。(〇は1つ)

- 1 あると思う
- 2 どちらかといえばあると思う
- 3 どちらかといえばないと思う
- 4 ないと思う

問29 あなたは、学校や家での決まりや約束を守っていますか。(〇は1つ)

- 1 いつも守っている
- 2 ときどき守らないことがある
- 3 あまり守らない

問30 尊敬する人や目標にしている人はいますか。(〇は1つ)

- 1 いる
- 2 いない



問31 将来はどのような人になりたいですか。(○はいくつでも)

- 1 リーダーシップのある人
- 2 尊敬される人
- 3 自分の意見をきちんと言える人
- 4 いろいろなことにチャレンジする人
- 5 やさしく思いやりのある人
- 6 家族や友だちを大切にする人
- 7 自分から進んで行動を起こせる人
- 8 ユニークで想像力が豊かな人
- 9 夢、目標を持っている人
- 10 自分の頭で考え、判断し、行動できる人
- 11 まわりの人をサポートできる人
- 12 相手の立場に立って考えられる人
- 13 信頼される人
- 14 社会の役に立てる人
- 15 その他 ()
- 16 わからない

問32 将来やりたい仕事はありますか。(○は1つ)

- 1 やりたい仕事が決まっている
- 2 やりたい仕事は何となく決まっている
- 3 やりたい仕事を考えているが、まだ決まっていない
- 4 やりたい仕事について、考えたことがない

<「やりたい仕事が決まっている」「やりたい仕事は何となく決まっている」と答えた人におたずねします。>

問33 どのような仕事をしたいと考えていますか。

最後に、ふだんの生活について感じていること、このアンケートの感想などがありましたら、自由に記入してください。

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

中学生用 日常生活についてのアンケート

【記入のお願い】

このアンケートは、あなたの日常生活の様子について尋ねるものです。自分が思ったとおりに書いてください。

【注意】

- ◆それぞれの質問の答えの中で、自分にあてはまるものの番号に○をつけてください。
- ◆あてはまる答えがない場合は、「その他」のかっこの中に答えを書いてください。
- ◆名前は書かないでください。
- ◆質問の中で、答えたくない質問がある場合には、答える必要はありません。

=====

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

1 男	2 女
-----	-----

問2 どの中学校に通っていますか。(○は1つ)

1 田無第一	6 青嵐
2 保谷	7 柳沢
3 田無第二	8 田無第四
4 ひばりが丘	9 明保
5 田無第三	

問3 一緒に住んでいる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1 父
2 母
3 祖父
4 祖母
5 きょうだい
6 その他()

問4 部活動は何をしていますか。(○は1つ)

1 運動系の部活	3 運動系と文化系の部活を
2 文化系の部活	両方ともやっている
	4 部活はしていない

<部活をしている人にお尋ねします。>

問5 一日何時間くらい部活動をしていますか。

平日 時間 休日 時間

学校での生活の様子についてお答えください

問6 学校は楽しいですか。(○は1つ)

- 1 とても楽しい
- 2 まあまあ楽しい
- 3 あまり楽しくない
- 4 楽しくない

問7 学校のどんなところが楽しいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 授業 | 7 図書室 |
| 2 休み時間 | 8 部活動 |
| 3 授業以外のクラス活動 | 9 給食 |
| 4 友だちがいること | 10 その他 () |
| 5 先生がいること | 11 特にない |
| 6 運動会などの行事 | |

問8 学校で困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1 授業がわからない | 8 学校の決まりごと(校則)がきびしい |
| 2 授業中さわがしい、集中できない | 9 教室やトイレなど、
学校の施設がきたない・古い |
| 3 友だちがいない | 10 部活動のこと |
| 4 いやな友だちがいる | 11 自由がない |
| 5 先生がきびしい | 12 その他 () |
| 6 先生が悩みや意見を聞いてくれない | 13 特にない |
| 7 給食のこと | |

問9 この1年くらいの中に、学校に通うときや学校から帰るとき(登下校時)に危険な思いをしたことはありますか。(○はいくつでも)

- 1 車や自転車の急な飛び出しなど、事故にあった(あいそうになった)
- 2 不審者に声をかけられた
- 3 公園などの遊具で遊んでいてケガをした(しそうになった)
- 4 その他 ()
- 5 危険な思いをしたことはない



問10 学校や先生に望むこと（してほしいこと）は何ですか。（〇はいくつでも）

- 1 体験学習などをたくさんできるようにしてほしい
- 2 興味のあることをたくさん勉強できるようにしてほしい
- 3 いじめのない楽しい生活の送れる学校づくりをしてほしい
- 4 全国の子どもの中で自分の学力がどれくらいなのかを教えてください
- 5 悪いことをしたときには、きちんと注意してほしい
- 6 がんばっていることをもっと認めてほしい（ほめてほしい）
- 7 先生にはみんなに平等に接してほしい
- 8 一人ひとりの力に合わせた内容を教えてください
- 9 勉強がわかるようにしてほしい
- 10 学校の校舎や教室、学習で使う道具などをよくしてほしい
- 11 悩みや意見をじっくり聞いてほしい
- 12 部活動に力を入れてほしい
- 13 行事が楽しくなるようにしてほしい
- 14 先生以外の人に学校に来てもらって、一緒に勉強したり遊んだりしてほしい
- 15 その他（ ）
- 16 特になし

問11 ふだんの授業以外に、自分の苦手なことや困っていることについて、個別に先生に教えてほしいと思ったことはありますか。（〇は1つ）

- 1 ある
- 2 ない

ふだんの生活の様子についてお答えください

問12 習い事や塾に通っていますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1 スポーツチームやクラブ
(野球やサッカー、水泳など) | 6 家庭教師 |
| 2 武道（柔道、剣道など） | 7 そろばんや習字 |
| 3 ダンス（ヒップホップ、バレエなど） | 8 英会話 |
| 4 音楽（ピアノ、エレクトーンなど） | 9 絵 |
| 5 学習塾 | 10 その他（ ） |
| | 11 特に通っているものはない |

問13 家では、勉強する時間・寝る時間・起きる時間・食べる時間はそれぞれ決まっていますか。（〇は（ア）～（エ）ごとに、それぞれ1つずつ）

	きちんと決まっている	決まっていないが、 だいたいいつも同じ	決まっていない (その日によって違う)
(ア) 勉強する時間	1	2	3
(イ) 寝る時間	1	2	3
(ウ) 起きる時間	1	2	3
(エ) 食べる時間	1	2	3

問14 学校の授業以外では、主にどうやって過ごすことが多いですか。

(○は平日・休日に、それぞれ1つ)

	平日 (学校が終わってから)	休日 (学校が休みの日)
(ア) 部活動に参加する	1	1
(イ) 友達と遊ぶ	2	2
(ウ) 家族と過ごす	3	3
(エ) 自宅でひとりで過ごす	4	4
(オ) 塾や習い事に行く	5	5
(カ) 地域の行事や活動に参加する	6	6
(キ) その他 ()	7	7

＜平日または休日に「友達と遊ぶ」と答えた人にお尋ねします。＞

→ 問15 友達同士で外出するときは、どのようなところに行きますか。(○はいくつでも)

1 児童館・児童センター	8 買い物
2 図書館	9 カラオケ
3 公民館	10 ゲームセンター
4 スポーツ施設	11 映画館
5 コミュニティセンターや地区会館	12 遊園地
6 公園	13 多摩六都科学館
7 校庭	14 その他 ()

＜平日または休日に「自宅でひとりで過ごす」と答えた人にお尋ねします。＞

→ 問16 何をして過ごしていますか。(○はいくつでも)

1 テレビやDVDなどを見る	6 勉強をする
2 パソコンやインターネットをする	7 音楽を聴く
3 ゲームをする	8 家事や家の仕事の手伝いをする
4 読書をする	9 その他 ()
5 マンガや雑誌を読む	10 特に何もせず、ぼーっとしたり、寝たりしている

問17 家の中で決まって手伝うことがありますか。(○はいくつでも)

1 お風呂の掃除や準備	6 ごみ出し
2 ごはんの準備や片付け	7 家族の世話
3 料理	8 洗濯物干し取りこみ・たたみ
4 買い物	9 その他 ()
5 掃除	10 特にない

問18 あなたは、以下のような内容について家族と話すことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 学校であったこと | 5 テレビや新聞で取り上げられていること |
| 2 友だちのこと | 6 その他 () |
| 3 進路や将来のこと | 7 家族と話すことはほとんどない |
| 4 地震などの災害に関すること | |

問19 ふだんの生活で、いちばん気になっていることは何ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 家族のこと | 5 進路・進学 |
| 2 友だちのこと | 6 健康や身体のこと |
| 3 勉強 | 7 その他 () |
| 4 学校やクラスのこと | 8 特にない |

問20 自分専用の携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1 自分専用で持っているものがある |
| 2 現在は持っていないが、近いうちに持つ予定がある |
| 3 自分専用のものは持っていない |

＜「自分専用で持っているものがある」と答えた人にお尋ねします。＞

→ 問21 1日にどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォン、パソコンを使いますか。「平日」「休日」それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

- | | | | |
|------|-----------|-----------|---------|
| 【平日】 | 1 30分未満 | 3 1～3時間未満 | 5 5時間以上 |
| | 2 30分～1時間 | 4 3～5時間未満 | 6 使わない |

- | | | | |
|------|-----------|-----------|---------|
| 【休日】 | 1 30分未満 | 3 1～3時間未満 | 5 5時間以上 |
| | 2 30分～1時間 | 4 3～5時間未満 | 6 使わない |

→ 問22 使い方について、家族と約束をしていることはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 利用料金について | 5 有料サイトの利用について |
| 2 利用時間について | 6 その他 () |
| 3 利用場所について | 7 特に約束していることはない |
| 4 電話やメールの相手について | |



あなた自身のことについてお答えください

問27 あなたは、いやなことやつらいことがあったとき、相談できる人がいますか。

(○は1つ)

<p>1 いる</p> <p>2 いない</p>

＜「いる」と答えた人にお尋ねします。＞

問28 相談できる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1 父	7 先輩
2 母	8 学校の先生
3 祖父	9 スクールカウンセラー(相談員)
4 祖母	10 インターネット(掲示板や交流サイトなど)
5 きょうだい	11 その他()
6 友だち	

問29 あなたは、自分に自信のもてること(よいところ)はありますか。(○は1つ)

1 あると思う
2 どちらかといえばあると思う
3 どちらかといえばないと思う
4 ないと思う

問30 あなたは、学校や家での決まりや約束を守っていますか。(○は1つ)

1 いつも守っている
2 ときどき守らないことがある
3 あまり守らない

問31 尊敬する人や目標にしている人はいますか。(○は1つ)

1 いる
2 いない



問32 将来はどのような人になりたいですか。(○はいくつでも)

- 1 リーダーシップのある人
- 2 尊敬される人
- 3 自分の意見をきちんと言える人
- 4 いろいろなことにチャレンジする人
- 5 優しく思いやりのある人
- 6 家族や友だちを大切にする人
- 7 自分から進んで行動を起こせる人
- 8 ユニークで想像力が豊かな人
- 9 夢、目標を持っている人
- 10 自分の頭で考え、判断し、行動できる人
- 11 まわりの人をサポートできる人
- 12 相手の立場に立って考えられる人
- 13 信頼される人
- 14 社会の役に立てる人
- 15 その他 ()
- 16 わからない

問33 将来やりたい仕事はありますか。(○は1つ)

- 1 やりたい仕事が決まっている
- 2 やりたい仕事が決まらずに決まっている
- 3 やりたい仕事を考えているが、まだ決まっていない
- 4 やりたい仕事について、考えたことがない

<「やりたい仕事が決まっている」「やりたい仕事が決まらずに決まっている」と答えた人にお尋ねします。>

問34 どのような仕事をしたいと考えていますか。

最後に、ふだんの生活について感じていること、このアンケートの感想などがありましたら、自由に記入してください。

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

西東京市 教育に関するアンケート調査

市民の皆様には、日頃から西東京市教育行政にご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

西東京市教育委員会では、平成21年3月に「西東京市教育計画（計画期間：平成21年度から平成25年度）」を策定し、現在、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

このたびの調査は、次期「西東京市教育計画（計画期間：平成26年度から平成30年度）」を策定するにあたって、市民の皆様の教育に関するお考えやご意見を伺い、その結果を今後、計画策定を進める上での基礎資料として活用し、より西東京市にふさわしい計画としたいと考えております。

今回の調査にあたりましては、平成24年9月1日現在、市内にお住まいの平成5年4月2日～平成9年4月1日生まれの方々から400人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただき、そのおひとりとして、あなた様にもご協力をお願いすることになりました。

なお、調査は無記名で、お答えはすべて統計的に処理しますので、個人のお名前が明らかになることはありません。また、皆様からいただきました回答の集計結果は、市報や市のホームページなどで公表いたします。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成24年10月
西東京市教育委員会

- 1 お送りした封筒のあて名のご本人がお答えください。何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 2 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、平成24年10月26日（金）までに投函してください。（※ 切手は不要です。）
- 3 このアンケートについてのお問合せは、下記までお願いします。

【西東京市教育委員会 教育部教育企画課 企画調整係】

TEL 042-438-4070

FAX 042-423-2872

はじめに、ご自身のことについてお尋ねします

問1 性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 年齢(平成24年9月1日現在)をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 15歳 | 3 17歳 | 5 19歳 |
| 2 16歳 | 4 18歳 | 6 20歳 |

問3 お住まいの町はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1 田無町 | 13 富士町 |
| 2 南町 | 14 中町 |
| 3 西原町 | 15 東町 |
| 4 緑町 | 16 泉町 |
| 5 谷戸町 | 17 住吉町 |
| 6 北原町 | 18 ひばりが丘 |
| 7 向台町 | 19 ひばりが丘北 |
| 8 芝久保町 | 20 栄町 |
| 9 新町 | 21 北町 |
| 10 柳沢 | 22 下保谷 |
| 11 東伏見 | |
| 12 保谷町 | |

問4 現在、あなたと同居されているご家族はどなたですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------|
| 1 父 |
| 2 母 |
| 3 きょうだい |
| 4 祖父 |
| 5 祖母 |
| 6 配偶者 |
| 7 子ども |
| 8 ひとり暮らし |
| 9 その他 () |

問5 あなたの現在の職業をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 高校生 | 6 勤め人(会社や公的機関等) |
| 2 短期大学生・高等学校専門学校生 | 7 パート・アルバイト等 |
| 3 専門学校生(専修学校専門課程) | 8 専業主婦・主夫 |
| 4 大学生 | 9 無職 |
| 5 予備校生 | 10 その他 () |

普段の生活のことについてお尋ねします

問8 あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)

- 1 特に何もせず、ひとりでぶらぶらしたり、寝転がっている
- 2 友だちと共に過ごす
- 3 恋人と共に過ごす
- 4 家族と共に過ごす
- 5 テレビを見たり、ビデオ・DVDを見たりする
- 6 パソコンやインターネットを利用する
- 7 テレビゲームをする
- 8 読書をする
- 9 マンガ(週刊誌・雑誌)を読む
- 10 勉強をする
- 11 音楽を聴く
- 12 ピアノ、ギターなど楽器を演奏する
- 13 園芸、手芸、料理、工作などをする
- 14 ショッピングに行く
- 15 スポーツ、映画、演劇などを見に行く
- 16 スポーツ、ダンスなどをする
- 17 ハイキング、小旅行などに行く
- 18 カラオケ、ゲームセンター、パチンコなどで過ごす
- 19 ボランティア活動に参加する
- 20 家事や家の仕事の手伝いをする
- 21 その他 ()

問9 あなたは、どんな悩みや心配事がありますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1 勉強や進学のこと | 6 異性のこと | 11 健康のこと |
| 2 就職のこと | 7 結婚のこと | 12 容姿のこと |
| 3 仕事のこと | 8 お金のこと | 13 その他 |
| 4 家族のこと | 9 政治や社会のこと | () |
| 5 友だちや仲間のこと | 10 性格のこと | 14 悩みや心配事はない |

問10 あなたが悩みや心配事があった場合の相談相手として、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1 父 | 7 学校(学校時代)の先生 | 13 インターネットのサイト |
| 2 母 | 8 学校(学校時代)の先輩 | 14 恋人 |
| 3 きょうだい | 9 職場の同僚、上役や先輩 | 15 カウンセラー、相談員 |
| 4 祖父母・親類 | 10 近所の人 | 16 その他 |
| 5 配偶者 | 11 団体・グループなどの仲間 | () |
| 6 学校(学校時代)の友だち | 12 インターネット上の友だち | 17 誰にも相談しない |

学校以外の学習や活動についてお尋ねします

西東京市では、必要に応じて、いつでも・どこでも・だれもが学ぶことができ、その成果をいかすことのできる生涯学習社会を目指し、様々な取組を行っています。

問11 現在、あなたは学校以外でどのような学習や活動をしていますか。また、今後してみたいと思いますか。次の(ア)～(ス)のそれぞれの項目についてお答えください。
(○は(ア)～(ス)ごとに、それぞれ1つずつ)

	今、学習 や活動を している	今はして いないが、 今後して みたい	してみたい とは思わ ない
(ア) 趣味的なもの (音楽、美術、華道、舞踊、書道など)	1	2	3
(イ) 教養的なもの (文学、歴史など)	1	2	3
(ウ) 社会問題 (社会・時事問題、国際問題、環境問題など)	1	2	3
(エ) 健康・スポーツ (健康法、医学、ジョギング、水泳など)	1	2	3
(オ) 家庭生活に役立つ技能 (洋裁、和裁、編み物など)	1	2	3
(カ) 暮らしていく上での様々な知識 (お金のため方・使い方など)	1	2	3
(キ) 学習塾・予備校などでの勉強	1	2	3
(ク) 職業上必要な知識・技能 (知識の習得や資格の取得など)	1	2	3
(ケ) 語学・コミュニケーション (英会話、パソコン、話し方など)	1	2	3
(コ) ボランティア活動に必要な知識・技能 (福祉や被災地支援など)	1	2	3
(サ) 食育 (栄養、料理、農業などの生産経験など)	1	2	3
(シ) 地域に関するもの (地域課題・地域の文化・郷土史など)	1	2	3
(ス) その他 ()	1	2	3

1つでも「1 今、学習や活動をしている」に○がついた方は、次ページの問13にお進みください。

<問11で「今、学習や活動をしている」ことに1つも○がつかなかった方にお尋ねします。>

問12 学習や活動ができない理由、しない理由は何ですか。次の理由の中から、あてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 時間がないから 2 学習や活動そのものに興味がないから 3 開催されている講座や、利用できる施設などがわからないから 4 どうやって活動すればいいかわからないから 5 参加したいと思う学習や活動がないから 6 費用がかかるから 7 近くに学習や活動の場がないから 8 一緒に学習や活動をする仲間がないから 9 その他 () |
|--|

問13 あなたは、この1年間で、西東京市内の下記の施設を利用したことがありますか。
利用したことがある施設を全てお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 ホール(保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無)
- 2 公民館(柳沢、田無、芝久保、谷戸、ひばりが丘、保谷駅前)
- 3 図書館(中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘、新町分室)
- 4 市民集会所・地区会館(ふれあいセンター、東伏見コミュニティセンター、アスタ市民ホール含む)
- 5 スポーツ施設(健康広場、スポーツセンター、きらっと など)
- 6 公園・児童遊園など
- 7 西原総合教育施設
- 8 郷土資料室
- 9 市内の大学
- 10 その他 ()
- 11 いずれも利用したことはない

問14 あなたが学習や活動で知識や技術を得たとしたら、どのようにいかしていきたい
と思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 自分の人生をより豊かにする
- 2 身につけたことを伝えたり、教えたりする
- 3 社会参加やボランティア活動を行う
- 4 家庭生活で役立てる
- 5 仕事の上で役立てる
- 6 友だちや仲間をつくる
- 7 学習成果を発表する
- 8 その他 ()
- 9 何かにいかそうとは思わない

問15 現在の西東京市の学習環境について、あてはまると思うものをお答えください。
(〇はいくつでも)

- 1 生涯学習に関する情報(講座、指導者、団体活動など)が充実している
- 2 公民館が利用しやすい(講座、施設や備品の貸し出しなど)
- 3 図書館が利用しやすい(蔵書、問い合わせ、各種サービスなど)
- 4 スポーツ施設が利用しやすい(体育館や運動場など)
- 5 大学や専門学校、高等学校の講座・教室が充実している
- 6 カルチャーセンターや個人教授の教室などが充実している
- 7 気軽に参加できるサークルやクラブ活動がある
- 8 地域活動やボランティアに参加するきっかけや機会がある
- 9 講演・展覧会などのイベントが充実している
- 10 文化や自然に親しむ場所や機会がある
- 11 学習や活動の成果をいかせる機会がある
- 12 子どもが健やかに育つ環境が整っている
- 13 学校、家庭、地域社会の連携がとれている
- 14 ハンディキャップがあっても、学習活動に参加しやすい
- 15 その他 ()
- 16 あてはまるものはない

公民館や図書館についてお尋ねします

西東京市内には、6つの公民館と7つの図書館があります。

公民館は、「参加」と「自治」をモットーに、サークルの会場提供や主催事業での学習機会を提供するとともに、学びの学習相談を行っています。

また、図書館では、図書やCDなどの貸出を行っているほか、調べたいことや必要な情報を探すお手伝いもしています。

問16 この1年間に、公民館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 ほぼ毎日利用 | 4 週1回程度利用 | 7 年数回利用 |
| 2 週4～5回利用 | 5 月2～3回利用 | 8 利用したことはない |
| 3 週2～3回利用 | 6 月1回程度利用 | |

＜この1年間に公民館を利用した方にお尋ねします。＞

問17 公民館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 ロビー利用（休憩、くつろぎ） | 5 市民企画事業 |
| 2 サークル活動 | 6 PTA、子ども会、その他各種団体の活動 |
| 3 自治会関係の活動 | 7 チラシ、パンフレット等の情報収集 |
| 4 公民館が主催する講座及びイベント | 8 その他（ ） |

＜この1年間に公民館を利用したことがない方にお尋ねします。＞

問18 公民館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 利用する時間がないから | 5 利用の仕方がわからないから |
| 2 公民館までの交通が不便だから | 6 公民館で行っている事業等に興味がないから |
| 3 開館日・開館時間が自分の都合に合わないから | 7 特に理由はない |
| 4 公民館の場所がわからないから | 8 その他（ ） |

問19 毎月1日に全戸配布される「公民館だより」を読んでいますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1 「公民館だより」があることを知らない |
| 2 「公民館だより」があることは知っているが、読んだことはない |
| 3 ときどき読んでいる |
| 4 毎月、必ず読んでいる |

問20 この1年間に、市の図書館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 ほぼ毎日利用 | 4 週1回程度利用 | 7 年数回利用 |
| 2 週4～5回利用 | 5 月2～3回利用 | 8 利用したことはない |
| 3 週2～3回利用 | 6 月1回程度利用 | |

＜この1年間に図書館を利用した方にお尋ねします。＞

問21 図書館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 本や雑誌、CD等を借りるため | 5 勉強や仕事をするため |
| 2 図書館の本、新聞、雑誌等を読むため | 6 講座や読み聞かせ、イベント等に参加するため |
| 3 インターネットを閲覧するため | 7 その他 () |
| 4 調べ物をするため | |

＜この1年間に図書館を利用したことがない方にお尋ねします。＞

問22 図書館を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 利用する時間がないから | 6 本を返すのが面倒だから |
| 2 図書館までの交通が不便だから | 7 本や雑誌はあまり読まないから |
| 3 開館日・開館時間が自分の都合に合わないから | 8 本や雑誌は自分で買うようにしているから |
| 4 図書館の場所がわからないから | 9 特に理由はない |
| 5 利用の仕方がわからないから | 10 その他 () |

地域との関わりについてお尋ねします

問23 普段、近所の人とはあいさつをしますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 自分からあいさつをする |
| 2 近所の人からあいさつされれば、自分もあいさつをする |
| 3 あいさつをしない、されないように避けている |
| 4 あいさつをしたり、されたりすることはない(近所の人をほとんど知らない) |

問24 あなたは、最近1年間で、次のような活動に参加したり、行ったりしたことがありますか。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1 地域のイベントの企画運営、準備など |
| 2 地域の清掃や防災などの活動 |
| 3 地域の子どもたちの活動への支援 |
| 4 地域の施設を拠点とした、文化・スポーツ・教養などの活動 |
| 5 お年寄りや体の不自由な人のいる施設におけるボランティア活動 |
| 6 国際交流に関する活動 |
| 7 募金・献血 |
| 8 上記以外のボランティア活動 |
| 9 その他 () |
| 10 全く参加していない |

次の問25は、問24で「全く参加していない」とお答えになった方にお尋ねします。

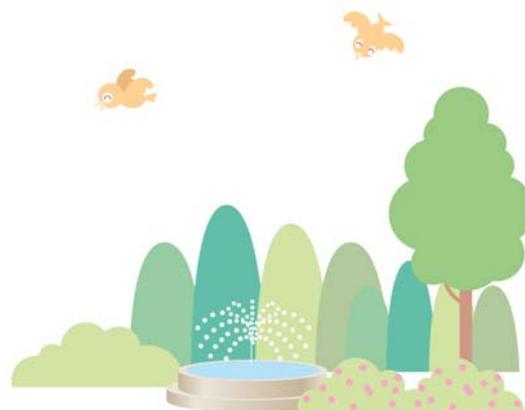
問25 あなたが、地域・社会での活動に参加しない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 活動の時間がない 2 活動の情報がない 3 自分の都合にあった活動がない 4 団体等にしばられたくない 5 活動をするのがわずらわしい 6 自分にとって得にならない 7 興味・関心がない 8 その他 () |
|--|

問26 あなたは、身近な小学校・中学校の取り組みやそこを拠点として行われる地域の活動について、どのようなことなら、参加・協力してもよいと思いますか。

(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| <p><小学校・中学校の取り組みへの参加・協力について></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な学習の時間や調べ学習などへの資料の提供 2 地域学習のための情報提供（歴史、人材、活動などの情報） 3 児童生徒の体験活動などにおける安全確保やサポート 4 学校の授業やクラブ活動・部活動 5 学校の行事やイベント 6 学校図書館やコンピュータールームなどの施設開放運営 <p><地域の活動への参加・協力について></p> <ol style="list-style-type: none"> 7 学校で行われる地域のスポーツ・文化活動 8 土日をいかした親子イベントや行事などの企画・実施 9 児童生徒の非行防止や健全育成のための活動 10 子どもの地域での過ごし方や活動についての広報誌づくり等 11 市民同士の交流や、まちづくりに関する活動 12 その他 () 13 特にない（理由：) |
|---|



家庭のことについてお尋ねします

問27 あなたは、主に家庭で身につけるべきこととして、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は(ア)~(ケ)にそれぞれ1つずつ)

	とても重要	重要	あまり重要 ではない	まったく重 要ではない
(ア) 規則を守り、人に迷惑をかけない	1	2	3	4
(イ) 礼儀作法を身につける	1	2	3	4
(ウ) お金や物を大切にする	1	2	3	4
(エ) 自分のことは自分でする	1	2	3	4
(オ) 自分で物事を計画し、実行する	1	2	3	4
(カ) 自分の言ったことや約束に責任をもつ	1	2	3	4
(キ) ねばり強く、最後までやり通す我慢強さ	1	2	3	4
(ク) 思いやりの心	1	2	3	4
(ケ) 異なる意見を尊重する	1	2	3	4

学校のことについてお尋ねします

問28 西東京市の小学校・中学校で子どもたちに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

1 思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心	10 基本的な生活習慣や食習慣
2 人間関係を築く力	11 外国語を聞いたり、話したりする力
3 自ら学び、考え、主体的に行動する力	12 豊かな心や情操
4 社会生活に必要な常識やマナー	13 社会に役立つとうとする心や公共心
5 教科の基礎的な学力	14 コンピュータを活用する力や情報モラル
6 物事をやり遂げる粘り強さ	15 環境やエネルギーを大切にする意識
7 生き方や進路について考える力	16 安全や防災に関する意識
8 健康や安全を自己管理する力	17 その他 ()
9 表現力やコミュニケーション力	

問29 西東京市の小学校・中学校の先生は、どのような先生が望ましいと思いますか。(〇は3つまで)

1 授業をしっかりとわかりやすく教える先生
2 児童・生徒の良い面、得意な面を伸ばす先生
3 児童・生徒の状況をしっかりと把握する先生
4 児童・生徒の話をきちんと聞く先生
5 児童・生徒に公平に接する先生
6 児童・生徒の生活態度をしっかりと指導する先生
7 部活動や委員会活動の指導に力を入れる先生
8 体験活動やボランティア活動の指導に力を入れる先生
9 保護者や地域の人に対して、きちんと連絡や情報提供をする先生
10 その他 ()
11 特にない

携帯電話・パソコン等の利用についてお尋ねします

問30 あなたは、自分専用の携帯電話(スマートフォン含む)、パソコンを持っていますか。
(○はいくつでも)

- 1 自分専用の携帯電話(スマートフォン含む)を持っている
- 2 自分専用のパソコンを持っている
- 3 自分専用ではないが、携帯電話(スマートフォン含む)は持っている
- 4 自分専用ではないが、パソコンは持っている
- 5 携帯電話(スマートフォン含む)、パソコンのどちらも持っていない

⇒「5 携帯電話(スマートフォン含む)、パソコンのどちらも持っていない」と答えた方は、次のページの間33にお進みください。

→ <携帯電話(スマートフォン含む)、パソコンを持っている方にお尋ねします。>

問31 1日にどのくらいの時間、携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンを使いますか。「平日」「休日」それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

【平日】

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 30分未満 | 3 1～3時間未満 | 5 5時間以上 |
| 2 30分～1時間 | 4 3～5時間未満 | 6 使わない |

【休日】

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 30分未満 | 3 1～3時間未満 | 5 5時間以上 |
| 2 30分～1時間 | 4 3～5時間未満 | 6 使わない |

問32 携帯電話(スマートフォン含む)やパソコンでインターネットを利用して、次のようなことがありましたか。(○はいくつでも)

- 1 不当請求、架空請求を受けた
- 2 オークションやインターネットショッピングで被害にあった
- 3 18歳未満の子どもにとって有害な情報(性的な内容、残虐的・暴力的な内容、自殺を誘発する内容、犯罪を誘発する内容などの情報)を含むサイトを見たことがある
- 4 匿名で、うその情報や、他人をからかう書き込みをしたことがある
- 5 電子掲示板やメールで、匿名で中傷やいやがらせを受けたことがある
- 6 年齢を偽ってアクセスしたことがある
- 7 迷惑メールが頻繁に送られてきたことがある
- 8 その他 ()
- 9 インターネットは利用しない

いじめや不登校についてお尋ねします

問33 あなたは、いじめや不登校などの問題を防止するためには、どのようなことが必要だと思えますか。(〇は3つまで)

- 1 親が子どもを見守り、実態を把握すること
- 2 親が家庭で厳しくしつけること
- 3 学校や家庭において情報モラル教育の充実を図ること
- 4 学校の先生が児童・生徒を注意深く観察し、状況を把握すること
- 5 学校の先生がいじめ等の問題行動に対して厳しく指導すること
- 6 学校において道徳教育の充実を図ること
- 7 専門の相談員（スクールカウンセラー）に、いつでも悩みを相談できること
- 8 学校と警察や子ども家庭支援センター等の関係機関との連携を強化すること
- 9 地域で子どもたちを見守り、注意するなど
- 10 その他（）
- 11 特になし
- 12 わからない



最後に、ご自身の学習や活動、または学校教育等に関して、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
返送用の封筒に入れて、10月26日（金）までにご返送ください（切手は不要です）。

西東京市 教育に関するアンケート調査

市民の皆様には、日頃から西東京市教育行政にご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

西東京市教育委員会では、平成21年3月に「西東京市教育計画（計画期間：平成21年度から平成25年度）」を策定し、現在、さまざまな施策に取り組んでいるところです。

このたびの調査は、次期「西東京市教育計画（計画期間：平成26年度から平成30年度）」を策定するにあたって、市民の皆様の教育に関するお考えやご意見を伺い、その結果を今後、計画策定を進める上での基礎資料として活用し、より西東京市にふさわしい計画としたいと考えております。

今回の調査にあたりましては、平成24年9月1日現在、市内にお住まいの20歳以上の方々（平成5年4月1日以前にお生まれの方々）から3,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただき、そのおひとりとして、あなた様にもご協力をお願いすることになりました。

なお、調査は無記名で、お答えはすべて統計的に処理しますので、個人のお名前が明らかになることはありません。また、皆様からいただきました回答の集計結果は、市報や市のホームページなどで公表いたします。

お忙しいところお手数をおかけいたしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成24年10月
西東京市教育委員会

- 4 お送りした封筒のあて名のご本人がお答えください。何らかの事情により、ご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 5 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、平成24年10月26日（金）までに投函してください。（※ 切手は不要です。）
- 6 このアンケートについてのお問合せは、下記までお願いします。

【西東京市教育委員会 教育部教育企画課 企画調整係】

TEL 042-438-4070

FAX 042-423-2872

はじめに、ご自身のことについてお尋ねします

問1 性別をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 20歳～29歳 | 5 60歳～69歳 |
| 2 30歳～39歳 | 6 70歳～80歳 |
| 3 40歳～49歳 | 7 80歳以上 |
| 4 50歳～59歳 | |

問3 お住まいの町はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1 田無町 | 12 保谷町 |
| 2 南町 | 13 富士町 |
| 3 西原町 | 14 中町 |
| 4 緑町 | 15 東町 |
| 5 谷戸町 | 16 泉町 |
| 6 北原町 | 17 住吉町 |
| 7 向台町 | 18 ひばりが丘 |
| 8 芝久保町 | 19 ひばりが丘北 |
| 9 新町 | 20 栄町 |
| 10 柳沢 | 21 北町 |
| 11 東伏見 | 22 下保谷 |

問4 現在、あなたと同居されているご家族はどなたですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------|---------------|
| 1 ひとり暮らし | 6 子ども (高校生以上) |
| 2 配偶者 | 7 子ども (中学生) |
| 3 父・母 | 8 子ども (小学生) |
| 4 祖父・祖母 | 9 子ども (未就学) |
| 5 兄弟姉妹 | 10 孫 |
| | 11 その他 () |

問5 あなたのご職業は、次のうちどれですか。(○は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 自営業・事業主・農業 |
| 2 勤め人 (会社や公的機関等) |
| 3 パート・アルバイト等 |
| 4 専業主婦・主夫 |
| 5 学生 |
| 6 無職 |
| 7 その他 () |

ご自身の学習や活動についてお尋ねします

西東京市では、必要に応じて、いつでも・どこでも・だれもが学ぶことができ、その成果をいかすことのできる生涯学習社会を目指し、様々な取組を行っています。

問6 現在、あなたはどのような学習や活動をしていますか。また、今後してみたいと思いますか。次の(ア)～(ス)のそれぞれの項目についてお答えください。

(○は(ア)～(ス)ごとに、それぞれ1つずつ)

	今、学習 や活動を している	今はして いないが、 今後して みたい	してみたい とは思わ ない
(ア) 趣味的なもの (音楽、美術、華道、舞踊、書道など)	1	2	3
(イ) 教養的なもの (文学、歴史など)	1	2	3
(ウ) 社会問題 (社会・時事問題、国際問題、環境問題など)	1	2	3
(エ) 健康・スポーツ (健康法、医学、ジョギング、水泳など)	1	2	3
(オ) 家庭生活に役立つ技能 (洋裁、和裁、編み物など)	1	2	3
(カ) 暮らしていく上での様々な知識 (資産運用・各種医療保険の利活用等)	1	2	3
(キ) 育児・教育 (幼児教育、教育問題など)	1	2	3
(ク) 職業上必要な知識・技能 (知識の習得や資格の取得など)	1	2	3
(ケ) 語学・コミュニケーション (英会話、パソコン、話し方など)	1	2	3
(コ) ボランティア活動に必要な知識・技能 (点訳、手話、介護等)	1	2	3
(サ) 食育 (栄養、料理、農業などの生産経験など)	1	2	3
(シ) 地域に関するもの (まちづくり・地域の文化・郷土史など)	1	2	3
(ス) その他 ()	1	2	3

1つでも「1 今、学習や活動をしている」に○がついた方は、次ページの間8にお進みください。

<問6で「今、学習や活動をしている」ことに1つも○がつかなかった方にお尋ねします。>

問7 学習や活動ができない理由、しない理由は何ですか。次の理由の中から、あてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

- 1 時間がないから
- 2 学習や活動そのものに興味がないから
- 3 開催されている講座や、利用できる施設などがわからないから
- 4 どうやって活動すればいいかわからないから
- 5 参加したいと思う学習や活動がないから
- 6 費用がかかるから
- 7 近くに学習や活動の場がないから
- 8 一緒に学習や活動をする仲間がないから
- 9 その他 ()

問8 あなたは、この1年間で、西東京市内の下記の施設を利用したことがありますか。
利用したことがある施設をすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 ホール(保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無)
- 2 公民館(柳沢、田無、芝久保、谷戸、ひばりが丘、保谷駅前)
- 3 図書館(中央、保谷駅前、芝久保、谷戸、柳沢、ひばりが丘、新町分室)
- 4 市民集会所・地区会館(ふれあいセンター、東伏見コミュニティセンター、アスタ市民ホール含む)
- 5 スポーツ施設(健康広場、スポーツセンター、きらっと など)
- 6 公園・児童遊園など
- 7 西原総合教育施設
- 8 郷土資料室
- 9 市内の大学
- 10 その他 ()
- 11 いずれも利用したことはない

問9 生涯学習に関して、どのような情報を知りたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 開設されている講座・教室の情報
- 2 講演・展覧会などのイベントの情報
- 3 利用できる施設の場所・時間などの情報
- 4 学習グループ・団体などの情報
- 5 講師や指導者の情報
- 6 地域活動やボランティアに関する情報
- 7 学習や活動の成果をいかせる機会に関する情報
- 8 資格取得に関する情報
- 9 その他 ()
- 10 特になし

問10 あなたが学習や活動で知識や技術を得たとしたら、どのようにいかしていきたい
と思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 自分の人生をより豊かにする
- 2 身につけたことを伝えたり、教えたりする
- 3 社会参加やボランティア活動を行う
- 4 家庭生活で役立てる
- 5 仕事の上で役立てる
- 6 友だちや仲間をつくる
- 7 学習成果を発表する
- 8 その他 ()
- 9 何かにいかそうとは思わない

問11 現在の西東京市の学習環境について、あてはまると思うものをお答えください。
(○はいくつでも)

- | | |
|----|---|
| 1 | 生涯学習に関する情報（講座、指導者、団体活動など）が充実している |
| 2 | 公民館が利用しやすい（講座、施設や備品の貸し出しなど） |
| 3 | 図書館が利用しやすい（蔵書、問い合わせ、各種サービスなど） |
| 4 | スポーツ施設が利用しやすい（体育館や運動場など） |
| 5 | 大学や専門学校、高等学校の講座・教室が充実している |
| 6 | カルチャーセンターや個人教授の教室などが充実している |
| 7 | 気軽に参加できるサークルやクラブ活動がある |
| 8 | 地域活動やボランティアに参加するきっかけや機会がある |
| 9 | 講演・展覧会などのイベントが充実している |
| 10 | 文化や自然に親しむ場所や機会がある |
| 11 | 学習や活動の成果をいかせる機会がある |
| 12 | 子どもが健やかに育つ環境が整っている |
| 13 | 学校、家庭、地域社会の連携がとれている |
| 14 | ハンディキャップがあっても、学習活動に参加しやすい |
| 15 | その他（ ） |
| 16 | あてはまるものはない |

公民館や図書館についてお尋ねします

西東京市内には、6つの公民館と7つの図書館があります。
 公民館は、「参加」と「自治」をモットーに、サークルの会場提供や主催事業での学習機会を提供するとともに、学びの学習相談を行っています。
 また、図書館では、図書やCDなどの貸出を行っているほか、調べたいことや必要な情報を探すお手伝いもしています。

問12 この1年間に、公民館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|-----------|
| 1 | ほぼ毎日利用 | 4 | 週1回程度利用 | 7 | 年数回利用 |
| 2 | 週4～5回利用 | 5 | 月2～3回利用 | 8 | 利用したことはない |
| 3 | 週2～3回利用 | 6 | 月1回程度利用 | | |

＜この1年間に公民館を利用した方にお尋ねします。＞

問13 公民館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|------------------|---|---|
| 1 | ロビー利用（休憩、くつろぎ） | 5 | 市民企画事業 |
| 2 | サークル活動 | 6 | PTA、子ども会、その他各種団体の活動 |
| 3 | 自治会関係の活動 | 7 | チラシ、パンフレット等の情報収集 |
| 4 | 公民館が主催する講座及びイベント | 8 | その他（ ） |

＜この1年間に公民館を利用したことがない方にお尋ねします。＞

問14 公民館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 利用する時間がないから | 5 利用の仕方がわからないから |
| 2 公民館までの交通が不便だから | 6 公民館で行っている事業等に興味がないから |
| 3 開館日・開館時間が自分の都合に合わないから | 7 特に理由はない |
| 4 公民館の場所がわからないから | 8 その他 () |

問15 毎月1日に全戸配布される「公民館だより」を読んでいますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1 「公民館だより」があることを知らない |
| 2 「公民館だより」があることは知っているが、読んだことはない |
| 3 ときどき読んでいます |
| 4 毎月、必ず読んでいます |

問16 この1年間に、市の図書館を利用しましたか。また、利用した方は、どの程度利用しましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 ほぼ毎日利用 | 4 週1回程度利用 | 7 年数回利用 |
| 2 週4～5回利用 | 5 月2～3回利用 | 8 利用したことはない |
| 3 週2～3回利用 | 6 月1回程度利用 | |

＜この1年間に図書館を利用した方にお尋ねします。＞

問17 図書館を利用する目的・内容は次のうちどれにあたりますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 本や雑誌、CD等を借りるため | 5 勉強や仕事をするため |
| 2 図書館の本、新聞、雑誌等を読むため | 6 講座や読み聞かせ、イベント等に参加するため |
| 3 インターネットを閲覧するため | 7 その他 () |
| 4 調べ物をするため | |

＜この1年間に図書館を利用したことがない方にお尋ねします。＞

問18 図書館を利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 利用する時間がないから | 6 本を返すのが面倒だから |
| 2 図書館までの交通が不便だから | 7 本や雑誌はあまり読まないから |
| 3 開館日・開館時間が自分の都合に合わないから | 8 本や雑誌は自分で買うようにしているから |
| 4 図書館の場所がわからないから | 9 特に理由はない |
| 5 利用の仕方がわからないから | 10 その他 () |



地域との関わりについてお尋ねします

問19 あなたは、地域に関心があるほうだと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1 とても関心がある | 3 あまり関心はない |
| 2 まあ関心がある | 4 関心はない |

問20 くだん、あなたは地域の子どもたち(小・中学生)と接する機会がありますか。(〇は1つ)

- | |
|------|
| 1 ある |
| 2 ない |

▶ <「ある」と答えた方にお尋ねします。>

問21 地域の子どもたち(小・中学生)とどのように接していますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1 出会ったときは、あいさつをする |
| 2 出会ったときは、声をかけたり、話をする |
| 3 悪いことをしているところを見たときは、注意する |
| 4 良いことをしているところを見たときは、ほめる |
| 5 子どもが困ったときや悩んでいるときに相談に乗っている |
| 6 子ども会などの地域活動を一緒にしている |
| 7 子どもたちにスポーツ活動・文化活動などの指導をしている |
| 8 地域の祭りやイベントで子どもと触れ合っている |
| 9 子どもたちの登下校時や、遊んでいるときなどに見守っている |
| 10 その他 () |

問22 あなたは、身近な小学校・中学校の取り組みやそこを拠点として行われる地域の活動について、どのようなことなら、参加・協力してもよいと思いますか。

(〇はいくつでも)

<小学校・中学校の取り組みへの参加・協力について>

- 1 総合的な学習の時間や調べ学習などへの資料の提供
- 2 地域学習のための情報提供(歴史、人材、活動などの情報)
- 3 児童生徒の体験活動などにおける安全確保やサポート
- 4 学校の授業やクラブ活動・部活動
- 5 学校の行事やイベント
- 6 学校図書館やコンピュータールームなどの施設開放運営

<地域の活動への参加・協力について>

- 7 学校で行われる地域のスポーツ・文化活動
- 8 土日をいかした親子イベントや行事などの企画・実施
- 9 児童生徒の非行防止や健全育成のための活動
- 10 子どもの地域での過ごし方や活動についての広報誌づくり等
- 11 市民同士の交流や、まちづくりに関する活動
- 12 その他 ()
- 13 特にない(理由:)

問23 学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 学校・家庭・地域の役割分担を明らかにすること |
| 2 | 学校・家庭・地域間の情報交換をスムーズに行うこと |
| 3 | 学校・家庭・地域が定期的に話し合う場を設けること |
| 4 | 学校が家庭や地域に対して積極的に働きかけを行っていくこと |
| 5 | 学校が保護者や地域の人々、関係機関の意見を十分聞くように努めること |
| 6 | 学校施設を地域の人々の学習・交流の場やコミュニティの拠点として活用すること |
| 7 | 家庭や地域社会が、日常生活におけるしつけ等、積極的に役割を担っていくこと |
| 8 | P T A活動を活性化すること |
| 9 | 地域でのイベント等の開催において、学校や教育委員会の協力を求めていくこと |
| 10 | その他 () |
| 11 | わからない・特になし |

家庭での教育についてお尋ねします

問24 次の(ア)～(ケ)の項目はそれぞれ、もっぱら学校で教えるべきこと、もっぱら家庭で教えるべきこと、のいずれだと思いますか。(〇は(ア)～(ケ)にそれぞれ1つずつ)

	もっぱら 学校で教える べきこと	←	どちらとも いえなし	→	もっぱら 家庭で教える べきこと
(ア) しつけに関する事 (あいさつや行儀など)	1	2	3	4	5
(イ) 性格・情緒に関する事 (優しさや落ち着きなど)	1	2	3	4	5
(ウ) 食事と食生活に関する事 (好き嫌いや食事の習慣など)	1	2	3	4	5
(エ) 生活習慣に関する事 (家の手伝いや整理整頓など)	1	2	3	4	5
(オ) 集団生活に関する事 (友だちと仲良くするなど)	1	2	3	4	5
(カ) 知的な成長に関する事 (勉強や読書など)	1	2	3	4	5
(キ) 身体的な成長に関する事 (スポーツの習慣や姿勢など)	1	2	3	4	5
(ク) 社会のルールに関する事 (ごみの捨て方や交通ルールなど)	1	2	3	4	5
(ケ) 防災や防犯に関する事 (災害時の対応など)	1	2	3	4	5

問25 「親が子どもに教え、子どもを育む力」を養うために、必要な支援は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1 しつけの仕方などを学ぶ機会の提供
- 2 親子で参加できる体験教室などの機会の提供
- 3 身近な環境で、自然や文化に触れ合う場の整備
- 4 気軽に相談できる機会の提供
- 5 親自身の生活習慣を見直すための啓発
- 6 保護者同士が話し合える機会の提供
- 7 多様な支援についての情報の提供
- 8 地域の人の温かい見守りや声かけ
- 9 その他 ()
- 10 特にない

学校での教育についてお尋ねします

問26 今後、西東京市の公立学校教育で取り組んでほしいことは、どれですか。次の中から主なもの3つをお選びください。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1 少人数学級 | 10 二学期制 |
| 2 民間人の校長登用 | 11 小中一貫教育 |
| 3 教科担任制 | 12 P T A活動の活性化 |
| 4 教職員の能力の向上 | 13 地域に開かれた学校活動（公開授業など） |
| 5 外部講師の活用 | 14 学校評議員など開かれた学校運営 |
| 6 基礎学力習得の補習 | 15 外部評価の導入 |
| 7 夜間塾など高度な学力養成 | 16 老朽校舎の建替えや改修 |
| 8 障害のある子どもに対する
特別支援教育の充実 | 17 校庭の芝生化 |
| 9 安全や防災教育の充実 | 18 その他 () |
| | 19 特にない・わからない |

問27 西東京市の学校教育で子どもに教えることとして、重要だと思うことは何ですか。
(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 思いやりの心や、善悪の判断など、道徳心 | 10 基本的な生活習慣や食習慣 |
| 2 人間関係を築く力 | 11 外国語を聞いたり、話したりする力 |
| 3 自ら学び、考え、主体的に行動する力 | 12 豊かな心や情操 |
| 4 社会生活に必要な常識やマナー | 13 社会に役立つとする心や公共心 |
| 5 教科の基礎的な学力 | 14 コンピュータを活用する力や情報モラル |
| 6 物事をやり遂げる粘り強さ | 15 環境やエネルギーを大切にする意識 |
| 7 生き方や進路について考える力 | 16 安全や防災に関する意識 |
| 8 健康や安全を自己管理する力 | 17 その他 () |
| 9 表現力やコミュニケーション力 | |

問28 西東京市の小中学校の先生は、どのような先生が望ましいと思いますか。
(○は3つまで)

- | |
|---------------------------------|
| 1 授業をしっかりとわかりやすく教える先生 |
| 2 児童・生徒の良い面、得意な面を伸ばす先生 |
| 3 児童・生徒の状況をしっかりと把握する先生 |
| 4 児童・生徒の話をきちんと聞く先生 |
| 5 児童・生徒に公平に接する先生 |
| 6 児童・生徒の生活態度をしっかりと指導する先生 |
| 7 部活動や委員会活動の指導に力を入れる先生 |
| 8 体験活動やボランティア活動の指導に力を入れる先生 |
| 9 保護者や地域の人に対して、きちんと連絡や情報提供をする先生 |
| 10 その他 () |
| 11 特にない |

問29 あなたは、障害のある子どもたちの教育の充実のために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------|
| 1 すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実 |
| 2 乳幼児期からの一貫した支援体制の整備 |
| 3 子ども一人ひとりの実態に応じた相談体制の強化 |
| 4 特別支援学級等での専門的な教育の充実 |
| 5 授業中の個別の配慮、放課後や授業中などの特別な個別指導 |
| 6 教職員の専門性の向上 |
| 7 障害に配慮した施設・設備の充実 |
| 8 障害に対する理解を深めるための学習の充実 |
| 9 その他 () |
| 10 特にない |
| 11 わからない |

西東京市のことについてお尋ねします

問30 あなたは、西東京市の子どもたちに、将来どのような人になってもらいたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 リーダーシップのある人
- 2 尊敬される人
- 3 自分の意見をきちんと言える人
- 4 いろいろなことにチャレンジする人
- 5 優しく思いやりのある人
- 6 家族や友達を大切にする人
- 7 自分から進んで行動を起こせる人
- 8 ユニークで想像力が豊かな人
- 9 夢、目標を持っている人
- 10 自分の頭で考え、判断し、行動できる人
- 11 まわりの人をサポートできる人
- 12 相手の立場に立って考えられる人
- 13 信頼される人
- 14 社会の役に立てる人
- 15 その他 ()
- 16 わからない

問31 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 家庭での生活体験の減少
- 2 地域社会での人間関係の希薄化
- 3 子どもと高齢者がふれ合う機会の減少
- 4 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導の充実
- 5 情報機器利用による学習の広がり
- 6 コミュニケーション能力・語学力の向上
- 7 家庭環境の多様化(核家族、単身赴任、親の深夜労働等)
- 8 家庭と地域の結びつきの希薄化
- 9 いじめや暴力、不登校児童生徒の増加
- 10 その他 ()



子どもたちのいじめや不登校についてお尋ねします

問32 あなたは、いじめや不登校などの問題を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 親が子どもを見守り、実態を把握すること
- 2 親が家庭で厳しくしつけること
- 3 学校や家庭において情報モラル教育の充実を図ること
- 4 学校の先生が児童・生徒を注意深く観察し、状況を把握すること
- 5 学校の先生がいじめ等の問題行動に対して厳しく指導すること
- 6 学校において道徳教育の充実を図ること
- 7 専門の相談員（スクールカウンセラー）に、いつでも悩みを相談できること
- 8 学校と警察や子ども家庭支援センター等の関係機関との連携を強化すること
- 9 地域で子どもたちを見守り、注意するなど
- 10 その他（)
- 11 特にない
- 12 わからない



最後に、ご自身の学習や活動、または学校教育等に関して、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
返送用の封筒に入れて、10月26日（金）までにご返送ください（切手は不要です）。

西東京市教育計画策定のためのアンケート調査 報告書

発行日 平成 25 年 3 月

発 行 西東京市教育委員会 教育部教育企画課
〒202-8555 西東京市中町 1-5-1

電 話 042(438)4070 (直通)